にいみ 新見 →新見（岡山）

にいみど 新治 →新治川

にいむら 新良貝 安藤国（現在の鹿児島県）の古称。和名抄に薩摩国出水郡の一郷として新良貝郷と見える。

にいやま 新山 大字名。和名抄に薩摩国出水郡の一郷として新良貝郷と見える。

にいやまうら 新浦 →新浦（岡山）

にいやまむら 新里村 【新里村】 明治22年市制町村制施行に際し、赤城山南麓の新里・鳥羽・粕川・膳・下神梅・上神梅・野中・小平・西原・山上・奥沢・小出・大川・荻原・小暮・西鹿田・東鹿田・新川・藤阿久・山上・小平・西原・山上・奥沢・小出・大川・荻原・小暮・西鹿田・東鹿田・新川・藤阿久の各村が合併して成立した村。村名は新里・鳥羽・粕川の各村から1字ずつとって命名。

にいやまむら 新山村 →北山村（奈良）

にいやまむら 新山村 →北山村（奈良）

にいやまむら 新山村 →北山村（奈良）

ス

スージン　崇仁（すうじん）

【崇仁面】朝鮮平安南道成川郡の東南部。郡邑成川を距る約二〇粁。地形南北に長く、ほぼ南端を頂点とする三角形を成し、南北の長さ二〇粁餘。四境略ど山を以て繞らし東境は嶮峻にして北部及び西部はやや低平なり。東境は御馬北大峯山脈の連亙する處にして以て黄海道谷山郡を距て、西百年山（一、二一七米）・勿禁山等屹立し、その麓部と雖も七〇〇米前後に達す。何川は南江の一支流川、北境山地に發源し中央峡谷部を南流して大谷面に出づるも、兩岸相迫りて殆ど低地を見ず、農產の見るべきものなし。林野多く、特に東部山地には老樹林立する原始林を見る。面邑檜倉附近には成興鐵山あり金・銀・銅を出す。道路は何れも等外道路にして、中央峡谷部を縦走するものの外は何れも峻嶮多く、交通便ならず。檜倉はほぼ中央に位し、その東南方山中に箕子墓殿ありて春秋に祭典を行ふ。附近は樹海を成し景勝の地たり。また檜倉より北隣の大邱面化仁里に至る十餘粁は成川金鉱（成興鐵山）朝鮮重要鐵山の一。日本鐵業株式會社の所有に屬し金・銀・銅を出すこと多し。昭和十年中の產額は金鉱鐵八九〇六噸（一、六九萬圓）に達せり。使役人員約八百名。

【崇仁面】朝鮮京畿道高陽郡の東部。京城府の北に隣り、東北は楊州郡に接す。地勢、西境に北漢山（八三六米）屹立し、稍めて峻嶺なるも東方に急斜し、大部分は低平にして、農耕行はる。北漢山は花崗岩性の峨々たる山貌を呈し、最高峰白雲臺より南方に李朝肅宗の時築城せし山城の城壁いまなほ殘存す。住民は農を主業となし、米・麥・綿花・豆類等を產す。交通、一等道路京元街道は、ほぼ中央部を貫き、里道各所に通じ、鐵道京元線は東端を掠めて清涼里驛（京城府）または會洞驛（楊州郡蘆海面）に近く、交通便利なり。聚落は貞陵里・水踰里・月谷里・石串里等を主要なるものとし、北部の牛耳洞及び加五里は櫻花を以て著はる。特に牛耳洞は溪流に臨みて櫻樹も多く、觀る者多く、花季には京城府民の訪遊する者甚だ多く、花季には京城驛より會洞驛まで臨時列車を運轉す。本面はもと地域廣く、南方は清涼里附近より京城東大門外に及ぶ地を占めたりしが、昭和十一年四月、その南半を京城府に編入して現在の境域となる。

スーセー　崇正面（すうせい）

【崇正面】朝鮮平安北道渭原郡の南端。東より東南にかけては江界郡に、西南は楚山郡に界す。東西約二〇粁、南北最も所は二五粁を超ゆ。鴨綠江に入る渭原江の支流濕梧江の上源にて、南境には崇積山（一、九九四米）・白嶽山（一、八二三米）等の高峯峙ち、東境・西南境にも一五〇〇—一八〇〇米の山嶺連り、國内至る處山勢深く森林をなす。諸水中央部に集りて濕梧江となり北流して甸昌面に出づ。江に沿うて幅狹き低地ありて玉蜀黍・粟・大小豆等の農產物を出し、漢場鐵山より出金・銀・鉛を產す。面邑龍淵洞は面の北部濕梧江右岸の低地にあり、道路は江の本支流の谷に沿ひ四隣に通ずるも交通甚だ不便なり。

スイアン　遂安（すいあん）

【遂安郡】朝鮮黄海道十七郡の一。道の東北部に位す。郡の中央を北大峯山脈東北より西南に向つて横臨し、彦眞山（一、二〇米）・天子山（七五六米）・甘朴山及び甑峰山（八七九米）等相連りて分水嶺をなし、その他境内に險峻走りて山岳重疊し平地に乏し。分水嶺の南東斜面には大坪川・楮洞川・彦眞川等發し合して總成江となり、北斜面に天子山に發する栗里川ありて郡の北境を限る南江に合し、この流域にはやや廣き平野開く、また西南部には黄州川發す。住民は農を主業とし粟（六・五萬石）・小麥・大豆・小豆・玉蜀黍・棉（一〇八萬斤）・煙草・大麻等は主たる農產物にして、米は道内にて收穫最も少く一萬石に滿たず。山地には火田今尚ほ多し。林野殆ど濶く、栗・木炭等の林產多く、副業に養蠶・養牛行はれ牛の役引頓鈴から ず。工產は紙・陶器多く、特に朝鮮紙製造は近年遂安製紙組合により統制せられ窓紙・山紙等の產額一六萬圓に達す。鑛產には金・銀・黒鉛等あり、遂安金鑛と楮洞金山（水口面）とは特に採掘盛なり。交通、平壤より來りて郡の中央を東南に貫く二等道路あり、途中遂安より黄州・瑞興に三等道路通じ、また北境を流るる南江には舟楫の便あり。行政上、十一箇面に分ち郡廳を遂安面に置く。本郡は高句麗時代の鐵案縣にして新羅朝に至り穀郡に改め、高麗顯宗の時、谷州（谷山郡）に屬して縣令を置きしが、忠宣王に至り遂安郡と稱す。

【遂安面】朝鮮黄海道遂安郡の略中央部。略方形を呈し東西・南北共に約一一—一二粁に亙る。北境中部に天子山（七五六米）、西境に證鳳山（五七三米）、東北部に遊東山（五四六米）あり て、面の北部は山地をなし、中部以南は二〇〇—三〇〇米の丘陵地多し。總成江の支流僅羅川西北山地に發して東南に流れ南部の丘陵地の間を蛇流して東南部より大坪面に出づ。その兩岸には所々に低地ありて畑地拓け麥・大豆その他の產產あり、また養蠶・畜牛行はる。遂安街は面の中部東偏にて、北部山地と中部丘陵地の間の低地に位し郡廳其他諸官衙の所在地たり。道路ここより四通し交通上の中心をなし、地方物資の集散地をなす。

【遂安金鑛】朝鮮黄海道の鉱業鑛山。鑛

床は遂安郡の徳匠中央、大千面・積洞面に跨るものを主とし、尚ほ水口・皐谷・道所等の諸面にも跨る。鑛床は鹿狄花崗岩より成る鹿眞山（一、二一〇米）の周圍に發達せるものの一部にして、前カンブリヤの石灰岩と花崗岩との接觸部に發達し柘榴石・透輝石・ルードキヒ鑛・柱石其他のスカルン鑛物に伴ひて斑銅鑛・黄銅鑛其他の硫化物を產し、自然金を混在す。鑛石は金銅鑛として品位高しと稱せられ、のち明治三十八年英國鑛山技師の再發見に係り、韓國政府より遂安郡内に於ける鑛業權を賦與せられしに始まる。最盛時（大正六年）には年產二七五萬瓩圓に及びしことあり、次で同十三年には鑛脈斷絶し休鑛せしが僅許もなく復活し、今日盛に稼行せらる。現在の遂安金鑛は鑛區面積約三二〇〇ヘクタールにして、その製錬場は大千面楠亭里にあり、昭和十年度產額は金一・九瓩（〇・六萬圓）・銀〇・二瓩・金銀鑛一・九瓩（九三・八萬圓）。

ズイウン　瑞雲面（ずいうん）

安城郡の南部。東南は忠清北道に、西南は忠清南道に界す。東境南部に東嶺山脈の瑞雲山（五七四米）聳え、その山嶺南北に延び面の東半部は山地をなすも、西半部は稷陽面・笠場面との界に高き一〇〇米内外の丘陵を挟むのみにて地平坦にして安城川の支流西流し畓拓けて米を產し、畑地は大豆の產少からず。西南境の忠清南道天安郡笠場面に跨りて鑛區を有する青橋鑛山の外、諸成鑛山等ありて金・銀鑛等を產し、また正豐金山ありて砂金を出す。道路は西部の平地を南北に通じ、朝鮮京南鐵道京畿線また西部を掠め、その稷山驛（笠場面内）・古地驛（稷陽面内）・安城驛（安城面）等にも達からざれば交通不便たらず。

スイオー　睡鴨島（すいおう）→松林面（しょうりんめん）（朝鮮黄海道海州郡）

スイカ　水下面（すいか）

朝鮮咸鏡南道端川郡の西部。西南は北青郡に、西北は豐山郡に界し、東西約二五粁、南北約三〇粁の廣面積を占む。摩天嶺山脈南部の山地にて東境には山峰山（一、二六四米）・覆蓋山（一、五六六米）等、西境には着砂峯（一、五九六米）・大德山（一、〇一一米）等の山嶺いづれも南方に連なり、面内にも北部に團峰山（一、四三〇米）、南部に德江嶺（一、一〇七米）等の山地ありて、低地に乏し。西北隅豐山部より來る南大川西境及び中部の山地を横ぎり南北山地より落つる谷川を合せて東南に流れ、南隅何多面を過ぎ端川（渡道面）に至りて日本海に注ぐ。川に沿ひて所々に幅狹き低地あり。農產これを點綴し道路また通ず。栗・稗・大豆等の農產あり。また大德・直洞・釜洞の鑛山ありて金・銀・銅・亜鉛等の鑛產を出す。（大德鑛山）金・銀・鉛を採鉱す。地質は硬質水成岩にして雲母片岩・綠色粘板岩・石灰岩・硅岩の層より成り、地表各處に陽緻鐵又は石英鐵の露出を見る。鑛床は石灰岩の部分に於ける交代鑛床にして、煙鏑狀をなせる銅長き鑛體なり。鑛石は含金方鉛鑛を主體とし、金・銀・亜鉛及び黄銅鑛を隨伴す。含金品位は一瓲中一五瓦を普通とし、なほ硫化カドミウムを隨伴するものあり。操業は略ど動力を使用せず手掘式による。昭和十年中產額、金銀鑛九七七瓩（一〇・四萬圓）。

スイカン　水汗面（すいかん）

朝鮮忠清北道報恩郡の南部。南は沃川郡に界す。小白山脈支脈の山地にて、東南境に峙つ金積山（六五二米）の脈は東境を、南境中部の斗里峰（四九四米）の山嶺は中部を、西隣懐北面の東境にも三〇〇—四〇〇米の山地ありて何れも北方に連り、面を東西の二谷に分つ。報青川（錦江の支流）に入る粗乾川は面の西南部に發し西の谷を北流し後北部を東に折れ、東北部に於て東の谷を北流する支流を合す。かくて二川の谷とその會流點に低地をつくり水田拓く。米・麥・大豆・麻等の農產あり。三等道路の一は粗乾川に沿ひて北部を東西に、一は東部の谷を南北に通ずるも交通なほ便利ならず。

スイキョー　水郷（すいきょう）→水郷（すいきょう）

スイグン　水郡線（すいぐんせん）

省線東北線の一部。水戸市と郡山市とを結ぶ。省線常磐線の水戸驛より發して北に向ひ、茨城縣那珂郡を經て栃木縣に入り、東白川郡・石川郡・田村郡を通じ安積郡永盛村にある東北本線の安積永盛驛に至る全長一三七・五粁。更に那珂郡菅谷村の上菅谷驛より北方の同久慈郡太田町の常陸太田驛に至る九・五粁の支線を分つ。なほ東白川郡棚倉町の磐城棚倉驛にて社線白棚鐵道に接續す。

スイゲツ　水月湖（すいげつこ）

福井縣三方郡の西北部、日本海岸に近き汽水湖。三方湖・久々子湖と共に三方三湖（また日向湖と共に四湖ともいふ）と稱す。四面殆んど山にして、久々子湖とは浦見川水道、日向湖とは幅狹隘道を以て連なり、三方湖とは天然の水道にて結ばる。湖岸線一四・八粁、面積五・〇二平方粁、深度三四米。また東方は岬により菅沼を分離するもその深度は一二米内外に過ぎず。水色緑または黄にして透明度一—四米。夏には藍藻の「水の華」を生ず。水温は夏季は表面二九度、冬季は六度位、二〇米附近は一年中一三度前後にして、底部は一四度位、これ高温高鹹なる海水流入するがためにして、夏には變温層をなす。鹽化物は表面〇・八%位にして、二〇米以下は三%位、即ち海水の五分の一なり。表層は强アルカリ性にして、一〇米前後に硝酸性の所があり、底層は中性なり。溶解性酸素は表面にては過飽和なるも一二米附近より底には全く消失し硫化水素これに代り、三〇米にては一立中に五四瓦に達し、我國にては最多量なり。深水層は一年中循環することなく多量の榮養

スイケ——スイケ

スイゲン 水原 すいげん

【水原町】 朝鮮京畿道水原郡の一。

京城の南方約三十粁の一。

京釜線に水原駅があり、郡庁はその北方約二粁の地にある。

【水原郡】 朝鮮京畿道の一郡。

京城の南方に位する。郡の東北部に大山山脈が走り、その支脈は西南に向つて郡内に延び、支脈の一は三角山に連なり、漢江の北岸に至る。一は三〇〇米の山嶺となつて郡の東境を劃し、支脈及び西南部より発する川は漢江に注ぐ。漢江は郡の北境を流れ、郡の西北部は平野をなす。

郡内を流れる川は漢江の支流安養川及び禿山川で、安養川は郡の東北部より発し、禿山川は郡の中央より発し、共に西流して漢江に入る。

郡内の交通は京釜線及び京元線の二鉄道と、京城より仁川に至る国道、京城より議政府に至る国道、京城より果川に至る国道、京城より利川に至る国道、京城より安養を経て果川に至る道路、京城より議政府を経て楊州に至る道路、水原より安養を経て果川に至る道路、水原より烏山を経て振威に至る道路、水原より烏山を経て利川に至る道路、水原より烏山を経て振威に至る道路、水原より烏山を経て議政府に至る道路、水原より烏山を経て楊州に至る道路、水原より烏山を経て果川

スイス——スイス

スイス——スイス

スイス——スイス

スイス——スイス

り東北に向ひて貝設島・水晶島・秋男留島・男留島・恋物島・春苅島・多樂島及び數多の岩礁竝び、何れも低平なる小島に過ぎざるも、恋物・水晶・多樂・男留の諸島は稍々大なり。定住者皆んどなきも漁季には昆布採取者多く蝟集す。

スイジョー　春照村（すいじょう　はるてるむら）　滋賀縣近江國坂田郡の東部。伊吹山の西南山麓。東は岐阜縣不破郡・揖斐郡に界す。東北境は伊吹山脈の一部にて、北隣に伊吹山（一三七七米）聳え、西南へ傾斜す。西南部は姉川中流の盆地の一部を占め、山麓一帶は桑園、その他は水田多し。米・繭を主産とし、甘藷・藥草の特産物あり。村の南部及び西部を北國脇往還貫通し、數條の縣道・山道を分岐す。省線東海道本線は南端をかすめ近江長岡驛は近し。古くは和名抄、坂田郡大原鄕の內に屬せしものゝ如し。もと息長川（今の天ノ川）の上流にありしを以て水上邑と稱したり。然るに屢々大火あるに及びこれ水の上と稱するに依るものとし水上の字を創りて照の字に代へ水照邑と稱し、天智天皇の御代に至り更に春照邑と改む。近世多くシュンジョーと讀みしが今は專らスイジョーと讀み地人は單にスイジョと發音す。北國平平記に天正十年柴田勝家が前田利家をして春照を燒拂はしむる由見ゆれば、當時より美濃・越前間の一驛たりしを知るべし。大字藤川は建保百首に「奥のあらしさそふ伊吹の山ざくら花をもらすな關の藤川」とある地にして藤原定家の寓址あり。定家側々此地の林兵太夫なる者の家に寓居し庭にまかせて庭園を築き朝夕これを愛す。いま腰掛石・定家櫻等存し、彼の筆にかゝる藤川百首の一卷は林家に秘藏さる。〔教覺院〕大字藤川にあり。新義眞言宗豐山派。曉水山龍泉寺と號し、建治九年の建立に係り初め天台宗たりしが、永正年間兵火に罹り、のち再建して現宗に改む。〔杉本坊〕大字上平寺にあり。新義眞言宗智山派。往古大谷寺と稱し當寺また其一たれども一山衰退して今當坊のみを存す。〔大樂寺〕大字大清水にあり。眞宗佛光寺派。觀眞法印の開基せる眞言宗の古刹たりしが、明尊法印の時覺上人に歸依して現宗に轉ず。寬文十年證庵上人より現寺號を下賜さる。

スイショク　水色（すいしき）　朝鮮總督府鐵道京義本線の驛。明治四十一年設置。京畿道高陽郡恩平面にあり。

スイジン　水神森（すいじんもり）　東京市向島區隅田町一丁目、隅田川神社（隅田川の總稱せし故の稱。別稱、淨島・水神岡・言問岡。奥州街道の驛舍隅田千軒宿と稱せられし事あり。古の隅屋の渡に近く隅田川に臨み、風光佳にして古來洛外名勝地の一として知らる。八笑人・五「今つかもいつ幾日は、向島の洲崎でも水神の森でもいいから、曇ばやしがあるといゝ噂守）の社地。水神を合祀し水神社とも

スイジョク　水色（すいしき）　朝鮮總督府鐵道京義本線の驛。明治四十一年設置。京畿道高陽郡恩平面にあり。

スイジン　水神森（すいじんもり）　東京市向島區隅田町一丁目、隅田川神社（隅田川の總稱せし故の稱。別稱、淨島・水神岡・言問岡。奥州街道の驛舍隅田千軒宿と稱せられし事あり。古の隅屋の渡に近く隅田川に臨み、風光佳にして古來洛外名勝地の一として知らる。八笑人・五「今つかもいつ幾日は、向島の洲崎でも水神の森でもいいから、曇ばやしがあるといゝ噂

スイズ　水津村（すいづむら）　新潟縣佐渡國佐渡郡佐渡島の東海岸。前佐渡山脈の東北端を占め、西は尾根を境に兩津灣岸の河崎村に、南は岩首村に界す。西境をなす大隅山（六〇四米）一帶の山脈は、東海岸に傾斜し岩石海岸をなす。北端の海上に龍王島と稱する一岩石屹立し、近くに絕壁燈臺あり。集落は海岸に沿ひて點在し概ね漁村をなし、耕作・牧畜・林業も行はる。海岸に沿ひ兩津町に至る縣道通じ、その他、山越の二條の道路あり何れも兩津灣岸に出づ。海路定期發動汽船の便あり。古く戒は和名抄、賀茂部勳知鄕の內に屬せしものか。鉱場鹽竈は明治二十八年に設置せられ、燈質不騎白光、光達距離十八浬にして、夜灣の南角に位置せるを以て東方新潟より進航する船舶はこれを望みて灣港に入泊す。

スイズ　杉津（すいづ）　細井縣教員部東浦村の大字。省線北陸本線の杉津驛（明治二十九年設置）を置く。

スイセー　水清面（すいせいめん）　朝鮮平安北道宣川郡の西部。西北は清江を距てて深川面、西は同江口を距てて鐵山郡に對し、南は海に面す。東北境に近く約四五〇米の山岳聳え西及び南に緩傾斜する外は概ね低平にして、北部清江江岸、海岸、設に東南部に何れも稍々廣き平地あり田畑を開拓く。北及び西の境を劃する清江は何口に於て一—二軒の河幅を成して一部舟楫の便あり。海岸はやや出入あるも泥堆乎出し碇泊の便に乏し。產物に米・大豆・棉・蠶叺等及び魚類あり。道路は何れも等外路線にして交通未だ便ならず。

スイセキ　瑞石面（ずいせきめん）　朝鮮江原道洪川郡の東部。東北は麟蹄郡に接し、東南は平昌郡に界し、南は橫城郡に隣る。頂點を北に有する略五角形をなし、北境に鷹峰山（一一〇三米）、東境に雲嶺山（九八〇米）等ありて四境は其等の山地によりて圍まるも、中央部は盆地をなし洪川江の上流乃村川は山地の水を集めて之を劃し西北隣乃村面に出づ。米・蓼・大豆・麻等の農產あり。三浦金鑛よりは金・銀を產す。盆地中の西部に面色豐岩里ありて定日に市を開く。

スイゼンジ　水前寺（すいぜんじ）　熊本市出水町にあり。省線豐肥本線の水前寺驛（大正三年設置）あり。

スイタ　吹田町（すいたまち）　大阪府攝津國三島郡の西南隅。神崎川の北岸にあり。川を隔てて大阪市の北部に接す。淀川および神崎川の沖積原の一部を占めて土地平坦なり。神崎川は南境に沿ひて西方に向ふ。全村水田よく拓け攝津米の產多し。外にビール醸造行はれ大日本麥酒會社の吹田工場あり。人口密度大にして一方軒五八一一人なり。集部に一街道走りて大

阪市北部と北方を東西に延びる西國街道とを連絡す。省線東海道本線は東北より西南に走り、北部に吹田驛（明治九年設置）あり。また之より南方へ貨物線分れ省線片町線と結ぶ。社線京阪電氣鐵道東部を東北より西南にかすめ、南約〇・五粁にて之より分るる支線は中部を北へ貫き千里村に至り東・西吹田の二驛あり。古くは吹田庄といひ、西國寺家の所領たり。歌枕に高濱と云ふは町の西南方の神崎河畔を云へるもの。更科日記に「高濱といふ處に止りたる夜いたうふけて舟の揖の音きこゆ、問ふなれば遊びの來るなりけり。人々興じて舟にさしつけさせたり。遠き火の光に一宿の柚長やかに扇さし隱して歌うたひたるいと哀に見ゆ」とあるも之なり。京伏見往來の航路に當り、岸邊より波高くして藤所なりしが觀音の靈により安全を得たりと傳ふ。昔は松林江に沿うて白鷺來り巢ひ、朱樓の水に倚りて吳舟越船の人を呼びけん。續後撰に「來て見れば千代もへぬへし高濱の松に群れ居る鶴の毛衣　太玉天皇」と見ゆ。また後嵯峨院が大臣實の吹田の山莊に御幸ありて川口鵜飼などおろさせて「川舟のさしていづくか我がならぬ旅とはいはに宿と定めむ（御製）」など興じ給ひしこと增鏡に見えたり。今は川幅も松枯れて空しく昔の跡を偲ぶのみ。正平八年三月、官軍の石堂・吉良等、土岐頼康と此地に戰ひて敗る。大永六年十二月、細川澄元の兵此處に陣し城成れて堺に走るなど戰場となりしことあり。吹田城は永享中須田河內守の居城にて、慶址定かならねど大日本寫消會社の附近に纔かに城の前・城の內等の名を留む。近世は竹中・御料・柘植・出作の四方に分れ各々領主を異にせり。竹中方は豐臣秀吉の旗下蒲川助八郎（弘治二年）、のち德川氏の旗下竹中貞右衞門重貫（慶長五年）の所領たり。御料方は板倉周防守（寬永三年）、德川氏郡代所轄（明曆三年）、稻葉丹波守（天和二年）、德川氏郡代（同三年）となれり。柘植方は秀吉の旗下山岡道阿彌（弘治二年）、德川氏旗下柘植三四郎正俊（慶長五年）なり。出作方は郡代間宮三右衞門（元和元年）、板倉周防守（寬文九年）、稻葉丹波守（享保八年）等領主の變遷を見たり。明治元年七月此等各方はその管轄を離れ、大阪司農局の所轄となり、同時に東中西の三組に分れたり。明治二年兵庫縣管轄に移りしが、明治五年より大阪府管轄に屬し、明治二十二年町村制實施と同時に各組を廢し、吹田村となり明治四十一年町制を施行し以て今日に至る。〔護國寺〕曹洞宗。牛頭山と號す。康曆二年、大徹の開創にして初め牛頭山護久寺と稱せしも、康應年間、足利義滿これを新願所となし護國寺と改む。寬文年間、僧祖印、堂宇を建て本寺を再興。所藏の紺本着色觀音菩薩像一幅は國寶。

スイタ　次田（すいた）　【次田】→次田（筑前國）　【次田】　土佐國（高知縣）の古地名。和名抄香川郡次田鄕あり。其地は今詳かならざるも、香川郡森山村・秋山村等の地か。

スイチン　水鎭面（すいちんめん）　朝鮮平安北道義州郡の西部。義州邑の東北に隣り西北は鴨綠江に沿ひ、對岸は滿洲國安東省鳳安縣の地なり。南境に金剛山（五二四米）ある外、東部は高度二〇〇米程度の臺地性丘陵、西南部は低平にて畑地多く、玉蜀黍・大豆・粟等の農產を出し、德建鑛山ありて金・銀・鉛を產す。義州邑より昌城方面への二等道路西の中部を東北に走り、等外道路また隣接諸面に通じ交通不便ならず。面邑雲川洞は中央部に位し面事務所あり。鴨綠江岸の水口鎭に於て渡船を以て對岸滿洲國と連絡あり、此地は日淸・日露兩役に於ける我軍渡河地點の一にして、附近丘陵に我が砲兵陣地の址多く、第一軍の記念碑を存す。

スイトー　水東面（すいとうめん）　朝鮮慶尙南道咸陽郡の東邊中部。南江上流の左岸に位し、東は山淸郡に接す。東境北部に德篤山（六六六米）ありてその脈東境を南下し、その西にこれと並行する一山嶺あり、南部に蓮華山（四四三米）を起し、その北境に鶴舞山（五五一米）峙ち、その南にまた一脈ありて南方に延び、中部西偏の昇安山（三〇八米）となり、それより陵夷して蓮華山の北麓に近づく。ために面內は山地多くなりこれら山麓間の谷地と、西境を南流する南江岸に沿ひ北部と南部に小低地あり水田拓く。米・大豆・麻等の農產を出し、また蔗草和工・木器類等の手工業行はる。二等道路南江の左岸に近く南北に通じ、中部にて咸陽に至る一路を統つも、內部の谷地は交通なほ便利ならず。

スイドー　水洞（すいどう）　【水洞面】　朝鮮咸鏡南道高原郡の中部。北は永興郡に界す。狼林山脈南部の山地にて、その支脈は東方に延び北境には五峰山（一二八九米）・三角險山・九鶴山、南境には松魚直山・飛雨峯（一一四〇米）・八峯山等の山脈をなし、面內山地ふかし。水洞川は西部の山地の谷を東流す。南隣山谷面より來る德池江は水洞川を合して中部以東を東流し郡內面に出づ。江に沿ひて幅狹き低地あり、米・大豆・粟・神等の農產、山地よりは薪材を出し、また水興・八興兩鑛山の鑛區に當り金・銀・金銀鐵及び鉛等を產す。面邑城內里は中部の南邊水洞川と德池江との合流點に位す。鐵道、平元東部線東方より來り面內に彌亀・稷田・仁興・城內の四驛（何れも昭和十二年開業）を置く。〔水興鐵山〕鑛區の一部は雲谷面に跨る。鑛區一帶は主として石灰岩より成り時に千枚岩を挾む。鑛床はこの石灰岩の層理に胚胎せる含金石英脈にして、交代作用を示せる部位あり。主なる鑛脈は上店に三脈、下店に三

脈、及び將軍峰脈・鉱泊脈等にして、各脈の露頭より十數個所の斜下又は切上にて採鑛し鑛石は手選の上、元山日本鑛業買鑛所に送鑛す。昭和十年中の產額は金約三瓩、銀約一瓩、金銀鑛約六千瓲にして、その價額約三三萬圓。

【水洞面】朝鮮江原道高城郡の中部。南北約三六粁、東西は北部の狹き處にて僅に二粁、中部の最廣部にて約一八粁を占める大面。朝鮮半島の背幹をなす大白山脈北部の山地を占め、西南境に冠山(一、三二〇米)、西北境中部に鵲峯(一、〇四三米)、東境には小鵲峯(六八〇米)・乾鳳山(九一〇米)・香爐峯(一、二九三米)等聳え、東・中・西の三條の山脈と共間に挟まれたる東西二條の緩谷をつくる。海金剛の南にて日本海に朝する南江は西面の山中に發し鵲峯の西麓を穿ちて西の谷を南流し、後中部の山脈を横ぎりて東の谷に出で北に流れて高城面に出づ。大部分は山地なれども南江の谷には狹長の低地ありて大豆・粟・稗等を產し、また薪炭を出す。月產・大東鑛山ありて金・銀を採掘す。面積廣きも住民は僅に七千餘人に過ぎず衛度頗る稀薄なり。無路東西の谷は沿ひ、また支流に沿ひて四隣に通ずるも、多くは四〇〇—五〇〇米の峠ありて交通便利ならず。

スイドーバシ 水道橋 東京市神田區と小石川區・本郷區との境の神田川に架せし橋。古くは吉祥寺橋といひしが此橋の東に神田上水の水道の大樋を架せしを以て專ら水道橋といふ。いま橋側に中央線の水道橋驛(明治二十九年設置)あり。遊子方言「あなたは番町さんといふおかただ、せんど朝、水道橋までめしたお客だ」

スイトク 水德 朝鮮總督府鐵道慶全西部線の驛(昭和七年設置)。朝鮮全羅南道順天郡別良面にあり。

スイニュー 水入 【水入面】朝鮮江原道楊口郡の北部。西は金化郡、北は淮陽郡、東は麟蹄郡に界す。略方形の地域を占め東西・南北約二〇粁內外あり。朝鮮半島の脊梁をなす大白山脈の西斜面にて謂ゆる嶺西高原の一部に當り、東境に鷹峯(一、二九〇米)、東北部に智惠山(一、〇二二米)、南西部に魚躍山(一、二七七米)、西北境に龍門山(一、〇六八米)等の高山聳り面內は六〇〇—七〇〇米の高原をなし、北漢江の支流金剛川は名勝金剛山に發して西南流し、面の北部に入り西北半部の水を集め曲流蛇行所々に峽谷をなし西北境に於て本流に合す。また同じく北漢江の支流、水入川は北方長楊面より來りて面の東部を南西流し東南半部の水を合せ東南境より方山面に出づ。これら河川の谷に沿ひて所々に幅狹き小低地ありて麥・大豆・粟・棉花・麻等を產す。三等道路東部を南北に通じ、北行約二〇粁にして金剛山電鐵の末驛單發に至るを得べきも交通なほ便なちず。水入川に沿ひて南邑文登里あり。【水入川】朝鮮江原道の河。漢江の一支。楊口郡の北部、馬佩嶺(六九七米)の南に發源し、水入面・方山面を南流し、北面に於て東方の大鹿山に發し西流する一支を併せて西南流すること約五粁、楊川郡境に於て北漢江に合す。流程約五〇粁。流域は概ね林野にて、アカマツ等の森林をなし、狹長なる平地あるも灌漑の利に乏しく、僅に畑作行はれて麥・棉花等を產す。

スイバラ 水原町 新潟縣越後國北蒲原郡の西部。鵜島潟の南方。阿賀野川東岸の沖積地にあり、土地平坦にて水田開け、市部には桑園多し。米・繭を產し、東南隅の鹽湖よりは鹽の特產あり、東京その他へ移出す。町は近時機業地として榮え、新發田町に次ぐ郡內の大邑なり。省線羽越本線は町の東南部を貫き水原驛(大正元年設置)を置く。縣道五線の集合交叉點にして、新潟・新津・保田・新發田・鳥屋へ各バスを通じ交通便なり。古くは和名抄、沼垂郷足羽郷の內に屬せしものか。中世は附近諸村と共に白河庄と稱せらる。水原一に杤原に作り、上杉氏の時杉原氏ありて邑主たり。其城塞は神明嗣の邊と傳ふるもいま民宅となりて分明ならず。德川氏の時にはここに代官を置して七萬三千石を收む。明治元年七月官軍この地を取り越後府を置く。同九月新潟府と改め、二年七月此地に水原縣を置きしも三年三月廢して新潟縣と改む。大字下條は北國大平記に下條の梁女と見ゆる地なり。梁女は蔥し阿田豐前の子なりしもの、如く、管寧武儀には下條の地を梁女の會葬安田筑前に加恩ありと見ゆ。【明治天皇水原行在所】指定史蹟。大字下條、佐藤伊左衛門宅にあり。明治十一年明治天皇北陸東海御巡幸の際、九月二十日御滯儀を召されたる所にして舊規模よく保存せらる。なほこの時皮張戰役の裝束類あらせらる。

スイヒン 水濱電車線 社線竝氣軌道。茨城縣水戸市內の袋町より省線常磐線の水戸驛前、東茨城郡の磯濱町の磯濱・大洗の二驛を經て那珂郡德田の德驛に至る。全長二〇・五粁。水戸市より海水浴場として著名なる大洗海岸に通ず。袋線驛より市內東柵町間は七分毎に東柵町驛より東茨城郡上大野村大字濱田の濱田驛間は十分毎に運轉す。

ズイホ 瑞穗面 朝鮮全羅北道沃溝郡の東北部。東南は益山郡に隣る。西北境に高度二〇〇米內外の丘陵地ありて東南に緩く傾斜し、中部より東南一帶は土地低平にして水田廣く拓く。殊に東南部は臨陂・五山・北一の三面に連る臨益水利組合の壓橋潤(同組合貯水池)用水によりて灌漑せられ米產甚だ多く、隣接の臨陂面に跨る湖南鐵山の鐵鑛に當り金・銀を出す。東南は裡里邑に西は臨陂に通路を通じ、總督府鐵道湖南本線の裡里驛

へは約七粁を隔て、面の東部はその黃豆驛(黃登面內)に近く、交通不便ならず。【瑞穗神社】無格社。祭神、天照大神・豐受大神・宇賀御魂命。大正八年創建す。例祭、九月十七日。

スイホー 水豐面 朝鮮平安北道開祖郡の東南隅。東北は昌城郡・東南は泰川郡、西南は龜城郡に境す。東西約一八粁、南北約二〇粁。東境に貳豪嶺・梨花山、西北界に昌昌山、西南境には天津峯・註冒山等高さ七〇〇—八〇〇米の山岳聳え、概ね山地をなす。大寧江の上流外南面より來り、西北より東南に貫流し、四邊の山地よりの湧水を併せ、江西面に出づ。大寧江に沿ふ谷地に多少の耕地拓け數落點在し、大豆・玉蜀黍・粟等の產あり。また大金・德富・新得・黑蛙・德安等の鐵山ありて金・銀・砂金・黑鉛等を出す。等外道路大寧江と其支流に沿ひて四隣に通ずるも交通なほ便ならず。

ズイホー 瑞芳街 臺灣臺北州基隆郡の北部。基隆市の東南に隣り、北は海に面す。管內は概ね山地にして、街の中央を流るゝ基隆河の兩岸に若干の平地を有するのみなり。本街地方は昔より降雨多き地として名高し。街の主なる產業は農業・茶業・水產業・林業・鑛業等なるも、最も盛なるは鑛業にして管內に重疊せる山には多量の金・銀・銅・石炭等を埋藏す。管內住民の大半は殆ど斯業に從事し、その採掘量も莫大にて本街は純然たる鑛山町の觀あり。殊に金瓜石鑛山よりの金產は本邦に於ても有數のものとす。其他瑞芳金山・九分金山あり、また大字猴硐・柑子瀨・龍潭堵等より粗石炭を出し、基隆河よりは相當量の砂金を採取し得らる。主要なる農產物は米・蔬菜・甘藷等なるも平地少きため其產出は街の需要を滿すにも足らず。されど丘陵には茶樹の栽培盛に行はれ、四季を通じて生產さるゝ茶の產額年約九萬圓に達し、又山地よりは若干の木材・竹材・薪炭材を出す。なほ水產業は主要なる產業の一をなし是に從事する者亦尠からず。漁勵機船、日本型・支那型漁船を以てする近海漁業盛にして、其主たる漁獲物は鰹・惣田鰹・鯵・烏賊等にして若干の水產製造をもなす。其の總額約十二萬圓。商業は主として管內住民を相手とする小賣商にして野菜・魚肉・鳥獸肉・日用雜貨品・米・和洋雜貨・呉服反物・陶磁器・藥種商等なり。瑞芳・九分には小賣市場を有し、金融機關には瑞芳信用組合を有す。瑞芳は本街第一の繁街地にして、管內鑛山勞働者の本據地とも云ふべく、大小店舖櫛比し、小公學校・郵便局の設けあり、また瑞芳驛は宜蘭線の一驛にして街內物資の集散の大半は此地にて行よ。金瓜石は純然たる鑛山町にして、金山を背景とするを以て、總ては活潑にして、小公學校・郵便局等の他、金山會社經營の慰安的設備も完備し、宛然山間の別天地をなす。交通はその地勢に比し便利良好(黃登面內)に近く、交通不便ならず。【瑞穗神社】無格社。祭神、天照大神・豐受大神・宇賀御魂命。大正八年創建す。例祭、九月十七日。

スイホー 水豐面 朝鮮平安北道開祖郡の東南隅。東北は昌城郡・東南は泰川郡、西南は龜城郡に境す。東西約一八粁、南北約二〇粁。東境に貳豪嶺・梨花山、西北界に昌昌山、西南境には天津峯・註冒山等高さ七〇〇—八〇〇米の山岳聳え、概ね山地をなす。大寧江の上流外南面より來り、西北より東南に貫流し、四邊の山地よりの湧水を併せ、江西面に出づ。大寧江に沿ふ谷地に多少の耕地拓け數落點在し、大豆・玉蜀黍・粟等の產あり。また大金・德富・新得・黑蛙・德安等の鐵山ありて金・銀・砂金・黑鉛等を出す。等外道路大寧江と其支流に沿ひて四隣に通ずるも交通なほ便ならず。

ズイホー 瑞芳街 臺灣臺北州基隆郡の北部。基隆市の東南に隣り、北は海に面す。管內は概ね山地にして、街の中央を流るゝ基隆河の兩岸に若干の平地を有するのみなり。本街地方は昔より降雨多き地として名高し。街の主なる產業は農業・茶業・水產業・林業・鑛業等なるも、最も盛なるは鑛業にして管內に重疊せる山には多量の金・銀・銅・石炭等を埋藏す。管內住民の大半は殆ど斯業に從事し、その採掘量も莫大にて本街は純然たる鑛山町の觀あり。殊に金瓜石鑛山よりの金產は本邦に於ても有數のものとす。其他瑞芳金山・九分金山あり、また大字猴硐・柑子瀨・龍潭堵等より粗石炭を出し、基隆河よりは相當量の砂金を採取し得らる。主要なる農產物は米・蔬菜・甘藷等なるも平地少きため其產出は街の需要を滿すにも足らず。されど丘陵には茶樹の栽培盛に行はれ、四季を通じて生產さるゝ茶の產額年約九萬圓に達し、又山地よりは若干の木材・竹材・薪炭材を出す。なほ水產業は主要なる產業の一をなし是に從事する者亦尠からず。漁勵機船、日本型・支那型漁船を以てする近海漁業盛にして、其主たる漁獲物は鰹・惣田鰹・鯵・烏賊等にして若干の水產製造をもなす。其の總額約十二萬圓。商業は主として管內住民を相手とする小賣商にして野菜・魚肉・鳥獸肉・日用雜貨品・米・和洋雜貨・呉服反物・陶磁器・藥種商等なり。瑞芳・九分には小賣市場を有し、金融機關には瑞芳信用組合を有す。瑞芳は本街第一の繁街地にして、管內鑛山勞働者の本據地とも云ふべく、大小店舖櫛比し、小公學校・郵便局の設けあり、また瑞芳驛は宜蘭線の一驛にして街內物資の集散の大半は此地にて行よ。金瓜石は純然たる鑛山町にして、金山を背景とするを以て、總ては活潑にして、小公學校・郵便局等の他、金山會社經營の慰安的設備も完備し、宛然山間の別天地をなす。

スイホ——スイリ

文人騷客の總讃せる所、訪客頗る多し。【瑞芳海水浴場】大字深澳の海濱にあり。附近一帶は遠淺にして、水清く、基隆郡下隨一の形勝地なり。夏時浴客多く、瑞芳驛よりは、定期乘合自動車の便あり。【月眉山靈泉寺】四脚亭より北十町にて風光明媚の地月眉山に達す。地に一古刹あり街本島人の信仰する者多し。【劉明燈題詩碑跡】街の東南方に聳ゆる三貂嶺の嶮に在り。同治六年の冬、淡蘭使者劉明燈北巡の際、三貂嶺の嶮を過逸し、石壁に詩を題して銅珠し以て記念碑とせしもの即是れなり。【鼻頭角燈臺】大字鼻頭に在り。第四等燈臺にして、燈質は圓柱白色、毎三十秒に一光を發す。明弧は南八十九度東より南、西を經て北十一度西までニ五八度間、燈火の高さ基礎より十二、五米餘、水面より約六十四米なり。光達距離二十一浬なり。【北白川宮三貂嶺御遺跡地】街の東南豐濱庄との境をなす峻嶮なる一嶺上に在り。本嶺は、清朝時代にありては淡水、噶瑪蘭兩廳の境界をなし、基隆より宜蘭に達する要道に當りしも、路嶮にして車馬を通ずる事能はず、徒歩辛じて之を越ゆる事を得るの難處なりき。明治二十八年日清戰役の後、本島の衣帝國の版圖に歸するや、北白川宮能久親王殿下は、全枝玉葉の御身を以て、清國官兵の蠢動する臺灣征討の任務を帶びさせられ近衛師團を率ゐて、同年五月三十一日本島の北角なる澳底に御上陸遊ばされ征臺の軍を指揮せらる。六月二日午前六時、殿下は本隊を率ゐて頂雙溪御發瑞芳に向はせらる。此日大雨にして、暑熱高きに將兵皆冬衣なり。殿下は南日の如く脚絆・草鞋の御姿にて進み給ひ、武丹坑より三貂嶺の嶮にかゝりては、青竹を御杖とし將兵と共に御徒走にて頂上に達せられ、それより九芎橋に降り、鉾に此の天嶮五里餘を踏破して瑞芳に到着し給へり。三貂嶺の頂上に稍平坦なる百坪許りの所あり、殿下當日此の地點にて御休憩、御膳等を使はせられしを以て、之を記念するため臺灣總督府は昭和十年十二月五日此地を史蹟に指定し故殿下の御遺業を偲ぶ事となせり。【北白川宮瑞芳御舍營所址】大字柑子嶺瑞芳公學校内に在り。御舍營の建物はもと砂金局の公館にして小高き處に存し、改建當時は賊軍これを屯營とし使用したるが、其後燒失し、所在の高處また削り平げられたる爲、原狀を失ひたるも、其位置略ぼ現在校庭東部に存する高所の整地に當るが如し。明治二十八年六月二日殿下は三貂嶺の嶮を御突破、午後三時、瑞芳に御着、直ちに負傷者を勞ひ、一々之を慰め、賊の屯營の跡を御舍營所に充てゝ之に入らせ給ひしが、ビスケットを以て夕食に充て、明日の基隆攻略計畫を定め、十一時過ぎ土間の一部に煉瓦を敷枚重ね其の上に入口の扉を置きしがそれにて、一枚の毛布に裹られたるまゝ其處にて御寢みありしなり。明治三十一年四月十五日、瑞芳守備第二中隊、碑を此の地點に建てゝ、表面上部に「紀念碑」の三字を題し、其下に當時御督軍の歌を刻せり。其文に曰く「明治二十八年征臺之役、故陸軍大將熾仁親王殿下、提近衛師團、上陸澳底、以六月二日駐磯清水於瑞芳、乃令諸將於此矣、犒之矣、此日殿下卓輦聖杖越三貂之嶺、親晉士卒、全軍感之感奮焉」

【瑞芳】街の東南方約一六粁。因境は高さ二〇〇—三〇〇米程度の丘陵に圍まれ、面内にも所々に高さ一〇〇—二〇〇米内外の丘陵起伏するも、東南境に發する濁江の一支慶安川中部を北流して東西よりの小川を併せ、それらの沿岸には幅狹き低地あり水田よく拓く。農產に米・麥・大豆等を出す。水原・屬州を繫ぐ朝鮮京東鐵道面の中部を東西に貫き三街・龍仁・麻坪の三驛（共に昭和五年開業）を設け、一等道路またこれに並行す。龍仁驛所在の金良場里は面の中央部慶安川の左岸に連ち縣廳を置かれ、地方物資の集散地たり。

スイリ 水裏港 みなとり ↓龍井庄（臺灣臺中州大甲郡）

スイリコー 水裡坑 すいりこう 臺灣總督府鐵道集線の一驛（大正十一年設置）

臺灣臺中州新高郡集落庄にあり。

スイリュー 瑞龍山 ずいりゅうざん ↓登田村（茨城縣）

スイリン 水林庄 すいりんしょう 臺灣臺南州北港郡の西南部。曾内概ね平地にして、僅に庄の中央部に、尖山と稱する一丘陵低平にて耕地よく拓け、米・麥・大豆・棉花・煙草等の農產を出す。二等道路中部を略東西に走り、東は濁陽、西は長城郡長城に通じ、大粉里はこれに沿ひ面事務所あり、鐵道光州線の濁陽驛へ約五粁を隔て交通不便ならず。

スイヨ 水餘面 すいよめん 朝鮮京畿道龍仁郡の中部。水原の東南方約一六粁。因境は高さ二〇〇—三〇〇米程度の丘陵に圍まれ、面内にも所々に高さ一〇〇—二〇〇米内外の丘陵起伏するも、東南境に發する濁江の一支慶安川中部を北流して東西よりの小川を併せ、それらの沿岸には幅狹き低地あり水田よく拓く。農產に米・麥・大豆等を出す。水原・屬州を繫ぐ朝鮮京東鐵道面の中部を東西に貫き三街・龍仁・麻坪の三驛（共に昭和五年開業）を設け、一等道路またこれに並行す。龍仁驛所在の金良場里は面の中央部慶安川の左岸に連ち縣廳を置かれ、地方物資の集散地たり。

スイリコー 水裡坑 すいりこう 臺灣總督府鐵道集線の一驛（大正十一年設置）

臺灣臺中州新高郡集落庄にあり。

スイリュー 瑞龍山 ずいりゅうざん ↓登田村（茨城縣）

スイリン 水林庄 すいりんしょう 臺灣臺南州北港郡の西南部。曾内概ね平地にして、僅に庄の中央部に、尖山と稱する一丘陵

スイワ——スエ

を有する外、丘陵乃至山と稱すべきものなく、河川は、庄の南、東石郡六脚庄との境を流るゝ北港溪あるのみ。屈つて其地勢變化に乏し。本庄は純然たる農村部、落と稱するも不可なく、管内に拓けたる耕地は、大部分嘉南大圳組合の灌漑區域に屬す。總戸數に對する農業戸數割合は七六・六一%に達し、其農產總額は、百七十五萬圓に上る。主なる產物は、米・甘藷・豆類・落花生・蔬菜・大麥等にして、就中米產額は最も多し。されど灌漑の便良好ならざるを以て第一期作に於ては、殆ど其收穫を見ず。農家に於て副業的に營まるゝ畜產に於ては、水牛・黃牛・養種牛・豚・山羊・家禽の飼育盛にして、豚は管外に搬出せらるゝ事多し。其他管内適處に設けられたる灌漑用貯水池及北港溪よりは、鰡魚・草魚・鮒等の漁獲あり。工業に於ては、麵類・醬油・煉瓦・鐵工・竹細工・木製品・煎摺及精米等ありて多種を數なるも、規模小にして特に擧ぐべきものなく、又商業に於ても管内住民を顧客とする小賣商あるのみ。金融機關としては僅に一の信用組合を有す。本庄は、臺灣縱貫鐵道濱線に位置せざる關係上、其交通は、便利とは稱すべからざるも、北港街を起點とする製糖會社の營業線は、庄の北部・中部・南部に通じ、又道路も是に略並行して發達し、何れも自動車の通行ありて貨客の輸送に不便を感ずる事無し。本庄の沿革は詳ならざるも、清國の版圖に歸する前は既に多數の蕃人散在し土地を開拓し居れりと云ふ。後康熙五十二年清の領臺に及び、顯建省の泉州・漳州より移民來りて土地を開き文教を興隆せりと云ふ。のち諸羅縣の設置せらるゝに及び、當地方には大槺榔東頂堡、尖山堡、蔦松堡置かれ、何れも諸羅縣に屬せしが、光緒十四年、府縣の廢合により新に建置を見たる雲林縣の管轄下に屬しあたり。明治二十八年臺灣の我版圖に歸するや翌二十九年には民政布かれ、臺中縣に屬せしが、大正九年十月全面的地方制度改正に當りて大槺榔東頂堡中の四庄（現大字）、尖山堡中の五庄（現大字）、蔦松堡中の五庄（現大字）は斯かれて水林庄の名稱の下に一括統一せられ、臺南州北港郡の管轄に屬する事となりたり。同時に水樣林は、水林と改められ本庄庄役場の所在地となれり。庄下に於て最も早く開拓せられしは大字水林、土間厝の地にして、北港溪岸なる北港（古の笨港）より上陸せし漳人により明代より開け、鄭氏領臺當時は、其部將なりし陳姓の者により開墾の地となれりと云ふ。次で、尖山・大潭・萬美・牛挑灣の各大字の地方、乾隆三十年代泉州人により開かれたりと云ふ。大字柑子嶺の柑子は、ナンキンハゼにして、往時此附近にナンキンハゼの育成しあるため其名稱出でしものの如く、又大字尖山は、同地に尖山なる一丘陵あるより其名出でしなるべし。

スイワ 瑞和 ずいわ 【瑞和面】朝鮮平安南道龍岡郡の西北部。北は江西郡と境し、西は黃海に臨む。東南方に烏石山屹立し、その山脚面の南端に及んで僅かに五〇—八〇米の低丘を見るのみ、他は一眸數里の平野にして、河川數條これを灌漑し何れも北流し、江西郡に入りて海に注ぐ。海岸は低沙濱をなし泥堆遠く干出するを以て舟楫の便を缺くも、畦田として利用せらる。產物は米・麥・大豆・棉・吼・麻等を主とす。中央を二等道路貫きてバスを通じ、里道縱橫に走り路面また佳良なるを以て交通は便なり。

【瑞和面】朝鮮江原道麟蹄郡の北部。地西北より東南に長く、長さ四〇粁に近きも幅は最廣部にて一五粁に滿たず。大白山脈北部の西斜面に位し、基山（一三二〇米）・香爐峯（一二九三米）・鷹峯山（一二七一米）等は東北より東南の境上に聳え、鷹峯（一二九〇米）・加七峯（一二四二米）・大嚴山（一三一六米）等西境上に峙ち、面内西北部には間〻峯（一一六一米）ありて到る處山地をなす。北漢江の支流麟北川、西北境に源を發し東西兩山地の間を曲流しつつ南下し、西隣楊安面に遊き所に於て甚だしき峽谷を造り更に南流して北面に出づ。川と之に合する東四よりの支谷に沿ひて幅狹き低地あり。麥・大豆・米・粟・綿・蘇等を出す。南部麟北川盆地の低地に面事務所所在の眞和里あり、定期市も開かる。道路は谷地に沿ひ四隣に通ずるも交通なほ便利ならず。

スエ 主惠 すえ 尾張國（愛知縣）古地名。和名抄、山田郡に主惠鄕あり、その地今の瀨戸市の一部及び東春日井郡旭村の邊に當り、神皇抄に末御厨とあるも此地なり。一に篠木村・藤岡村の邊なりともいふ。

スエ 周淮 すえ 上總國の古郡名。古の須惠國に起因するも建郡の沿は詳かならず。延喜式に郡名見え、和名抄は季と訓じ山家・山名・飯田・三直・丸田・海坐・藤部・勝部・勝川の九鄕を置く。拾芥抄周淮（岡崎とあるは轉寫の誤りなるべし）に作り、中世周東・周西の二郡に分つ。江戸時代の始め舊に復せしも慶後周集或は周淮に作り郡名考以後周淮とす。明治三十年東方の望陀郡と西方の天羽郡と合併して君津郡を建つ。※須惠國

スエ 須江村 すえむら 宮城縣登米郡桃生郡の略々中央部。石卷市の西北約八粁、面積七・四七方粁。隨前平野東南の大谷地低地帶に屬し村の北部及中部に二つの小臺地を見る外概ね低平なり。米の產多し。道路は中部を東西に通ずるものと南部を西北より東南に通ずるものあり。前者は東方の石卷線鹿又驛に通じ、後者は東南方石卷市に至る。この地は和名抄、牡鹿郡賀美鄕の地にして近世は渠谷庄に屬す。

부산극장 부산좌 ⇨ 부산극장 ⇨ 부산극장 ⇨ 부산극장

番地は約に過し、戸数は非本法等のために合実面積が広けられる。

スエノ　末野　末広郡の町名。明治三十九年大村並び四村を合併し上野村を置く。

スエノマツヤマ　末之松山　末野町の名所。古今集大歌所御歌に「君が代は尽きじ物を住の江の松も昔の人や見ましと詠まれた松山もあるが、今では松林も伐られて、その名残りを留めるに過ぎない。

スエハラ　末原　末広郡の町名。大正十二年設置。

スエヒロ　末広　【末広郡】　末野町の西部、大正四年設置。

【末広郡】　末広町の東部、大正四年設置。

スエモリ　末森村　末広郡の町名。大正六年設置。

スエヨシ　末吉　【末吉村】　末吉町の北部、大正十二年設置。

【末吉町】　重要な行政区画の一

せそそ事務をせ、來ニ日ニ至リテ、本國ニ歸ル。

カカス 鹽酸 Acidum hydrochloricum 鹽化水素ノ水溶液ニシテ、無色ノ發煙性液體ナリ。

カカス 鹽素 Chlorum 元素ノ一ニシテ、黃綠色ノ有毒氣體ナリ。

カカス 鹽素酸加里 Kalium chloricum 鹽素酸ノ加里鹽ニシテ、無色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽素酸曹達 Natrium chloricum 鹽素酸ノ曹達鹽ニシテ、無色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽素酸鹽 Chloras 鹽素酸ノ鹽類ノ總稱。

カカス 鹽素酸瓦斯 Gas chlorici 鹽素酸加里ヲ熱シテ發生スル瓦斯ニシテ、無色ノ氣體ナリ。

カカス 鹽素水 Aqua chlorata 鹽素ノ水溶液ニシテ、黃綠色ヲ呈ス。

カカス 鹽素瓦斯 Gas chlori 鹽素ノ氣體ナリ。

カカス 鹽素石灰 Calx chlorata 消石灰ニ鹽素ヲ吸收セシメタルモノニシテ、白色ノ粉末ナリ。

カカス 鹽化亞鉛 Zincum chloratum 鹽酸ニ亞鉛ヲ溶解シテ製スル白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽化加里 Kalium chloratum 鹽酸ノ加里鹽ニシテ、無色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽化曹達 Natrium chloratum 鹽酸ノ曹達鹽ニシテ、無色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽化第二鐵 Ferrum sesquichloratum 鐵ヲ鹽酸ニ溶解シテ製スル褐色ノ液體ナリ。

カカス 鹽化第一鐵 Ferrum chloratum 鐵ヲ鹽酸ニ溶解シテ製スル淡綠色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽化第二水銀 Hydrargyrum bichloratum 昇汞ノ別名。

カカス 鹽化第一水銀 Hydrargyrum chloratum 甘汞ノ別名。

カカス 鹽化水素 Acidum hydrochloricum 鹽酸ノ別名。

カカス 鹽化水素瓦斯 Gas acidi hydrochlorici 鹽化水素ノ氣體ナリ。

カカス 鹽化アンモニア Ammonium chloratum 鹽酸ニアンモニアヲ中和シテ製スル白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽化アンモニウム Ammonium chloratum 鹽化アンモニアノ別名。

カカス 鹽化カルシウム Calcium chloratum 鹽酸ニ石灰ヲ溶解シテ製スル白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽化金 Aurum chloratum 金ヲ王水ニ溶解シテ製スル黃色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽化金曹達 Natrium chloratum auricum 鹽化金ト鹽化曹達トノ複鹽ニシテ、黃色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽化ビスマス Bismuthum chloratum 鹽酸ニビスマスヲ溶解シテ製スル白色ノ粉末ナリ。

カカス 鹽化マグネシウム Magnesium chloratum 鹽酸ニ苦土ヲ溶解シテ製スル白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽化マンガン Manganum chloratum 鹽酸ニ二酸化マンガンヲ溶解シテ製スル淡紅色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽化ヨード Iodum chloratum ヨードヲ鹽素ニ溶解シテ製スル黃色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽基 Basis 酸ト作用シテ鹽ヲ生ズル物質ノ總稱。

カカス 鹽基性 Basicitas 鹽基ノ有スル性質ニシテ、酸ト作用シテ鹽ヲ生ズル性質ヲ謂フ。

カカス 鹽基性鹽 Salia basica 鹽基ト酸トノ作用ニ依リテ生ズル鹽ニシテ、酸ノ一部ヲ殘スモノヲ謂フ。

カカス 鹽酸 Acidum hydrochloricum 鹽化水素ノ水溶液ニシテ、無色ノ發煙性液體ナリ。

カカス 鹽酸アンモニア Ammonium chloratum 鹽酸ニアンモニアヲ中和シテ製スル白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸キニーネ Chininum hydrochloricum キニーネノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸コカイン Cocainum hydrochloricum コカインノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸ジアスターゼ Diastasum hydrochloricum ジアスターゼノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ粉末ナリ。

カカス 鹽酸ジギタリス Digitalinum hydrochloricum ジギタリスノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸ストリキニーネ Strychninum hydrochloricum ストリキニーネノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸ピロカルピン Pilocarpinum hydrochloricum ピロカルピンノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸ヒドラスチニン Hydrastininum hydrochloricum ヒドラスチニンノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸ヒドロキシルアミン Hydroxylaminum hydrochloricum ヒドロキシルアミンノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸ピリドキシン Pyridoxinum hydrochloricum ピリドキシンノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸ヒンダケイン Hindakainum hydrochloricum ヒンダケインノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸ベンジルアミン Benzylaminum hydrochloricum ベンジルアミンノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸モルヒネ Morphinum hydrochloricum モルヒネノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸ヨヒンベ Yohimbinum hydrochloricum ヨヒンベノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸リドカイン Lidocainum hydrochloricum リドカインノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸レセルピン Reserpinum hydrochloricum レセルピンノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸ロベリン Lobelinum hydrochloricum ロベリンノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸ワソプレシン Vasopressinum hydrochloricum ワソプレシンノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ粉末ナリ。

カカス 鹽酸ワンダケイン Wandakainum hydrochloricum ワンダケインノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽素 Chlorum 元素ノ一ニシテ、黃綠色ノ有毒氣體ナリ。

カカス 鹽素酸 Acidum chloricum 鹽素酸ノ水溶液ニシテ、無色ノ液體ナリ。

カカス 鹽素酸加里 Kalium chloricum 鹽素酸ノ加里鹽ニシテ、無色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽素酸曹達 Natrium chloricum 鹽素酸ノ曹達鹽ニシテ、無色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽素酸鹽 Chloras 鹽素酸ノ鹽類ノ總稱。

カカス 鹽素酸瓦斯 Gas chlorici 鹽素酸加里ヲ熱シテ發生スル瓦斯ニシテ、無色ノ氣體ナリ。

カカス 鹽素水 Aqua chlorata 鹽素ノ水溶液ニシテ、黃綠色ヲ呈ス。

カカス 鹽素瓦斯 Gas chlori 鹽素ノ氣體ナリ。

カカス 鹽素石灰 Calx chlorata 消石灰ニ鹽素ヲ吸收セシメタルモノニシテ、白色ノ粉末ナリ。

カカス 鹽化亞鉛 Zincum chloratum 鹽酸ニ亞鉛ヲ溶解シテ製スル白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽化加里 Kalium chloratum 鹽酸ノ加里鹽ニシテ、無色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽化曹達 Natrium chloratum 鹽酸ノ曹達鹽ニシテ、無色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽化第二鐵 Ferrum sesquichloratum 鐵ヲ鹽酸ニ溶解シテ製スル褐色ノ液體ナリ。

カカス 鹽化第一鐵 Ferrum chloratum 鐵ヲ鹽酸ニ溶解シテ製スル淡綠色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽化第二水銀 Hydrargyrum bichloratum 昇汞ノ別名。

カカス 鹽化第一水銀 Hydrargyrum chloratum 甘汞ノ別名。

カカス 鹽化水素 Acidum hydrochloricum 鹽酸ノ別名。

カカス 鹽化水素瓦斯 Gas acidi hydrochlorici 鹽化水素ノ氣體ナリ。

カカス 鹽化アンモニア Ammonium chloratum 鹽酸ニアンモニアヲ中和シテ製スル白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽化アンモニウム Ammonium chloratum 鹽化アンモニアノ別名。

カカス 鹽化カルシウム Calcium chloratum 鹽酸ニ石灰ヲ溶解シテ製スル白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽化金 Aurum chloratum 金ヲ王水ニ溶解シテ製スル黃色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽化金曹達 Natrium chloratum auricum 鹽化金ト鹽化曹達トノ複鹽ニシテ、黃色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽化ビスマス Bismuthum chloratum 鹽酸ニビスマスヲ溶解シテ製スル白色ノ粉末ナリ。

カカス 鹽化マグネシウム Magnesium chloratum 鹽酸ニ苦土ヲ溶解シテ製スル白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽化マンガン Manganum chloratum 鹽酸ニ二酸化マンガンヲ溶解シテ製スル淡紅色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽化ヨード Iodum chloratum ヨードヲ鹽素ニ溶解シテ製スル黃色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽基 Basis 酸ト作用シテ鹽ヲ生ズル物質ノ總稱。

カカス 鹽基性 Basicitas 鹽基ノ有スル性質ニシテ、酸ト作用シテ鹽ヲ生ズル性質ヲ謂フ。

カカス 鹽基性鹽 Salia basica 鹽基ト酸トノ作用ニ依リテ生ズル鹽ニシテ、酸ノ一部ヲ殘スモノヲ謂フ。

カカス 鹽酸 Acidum hydrochloricum 鹽化水素ノ水溶液ニシテ、無色ノ發煙性液體ナリ。

カカス 鹽酸アンモニア Ammonium chloratum 鹽酸ニアンモニアヲ中和シテ製スル白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸キニーネ Chininum hydrochloricum キニーネノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸コカイン Cocainum hydrochloricum コカインノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸ジアスターゼ Diastasum hydrochloricum ジアスターゼノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ粉末ナリ。

カカス 鹽酸ジギタリス Digitalinum hydrochloricum ジギタリスノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸ストリキニーネ Strychninum hydrochloricum ストリキニーネノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸ピロカルピン Pilocarpinum hydrochloricum ピロカルピンノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸ヒドラスチニン Hydrastininum hydrochloricum ヒドラスチニンノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸ヒドロキシルアミン Hydroxylaminum hydrochloricum ヒドロキシルアミンノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸ピリドキシン Pyridoxinum hydrochloricum ピリドキシンノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸ヒンダケイン Hindakainum hydrochloricum ヒンダケインノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸ベンジルアミン Benzylaminum hydrochloricum ベンジルアミンノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸モルヒネ Morphinum hydrochloricum モルヒネノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸ヨヒンベ Yohimbinum hydrochloricum ヨヒンベノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸リドカイン Lidocainum hydrochloricum リドカインノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸レセルピン Reserpinum hydrochloricum レセルピンノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸ロベリン Lobelinum hydrochloricum ロベリンノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

カカス 鹽酸ワソプレシン Vasopressinum hydrochloricum ワソプレシンノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ粉末ナリ。

カカス 鹽酸ワンダケイン Wandakainum hydrochloricum ワンダケインノ鹽酸鹽ニシテ、白色ノ結晶ナリ。

より須賀川石の産あり。製絲工場・製材所・專賣局製造所などの工場もあり、また、酒・醬油の醸造等も行はれ、市況盛んなり。道路は町を中心として四通し、陸羽街道は町の西部を南北に通じ、これより分岐して南南西に向ふ石川街道、東北に向ひ磐城街道に合するもの、西方長沼町を經て茨城街道に合するもの、西北方白方村を經て猿苗代湖畔に達するもの等あり交通の便に惠まる。奥州街道の須賀川宿のありし地にして、いま東北本線は町の西部を南北に通じ須賀川驛（明治二十年設置）を置く。舊郡役所のありし所にして土木監督所・警察署・税務署・岩瀬農學校・須賀川商業學校等あり。この地は和名抄、磐瀬郡磐瀬郷の内にして、もと牛袋村と稱せり。天正以前は二階堂氏この地を領せしが、天正十七年伊達政宗に亡ぼされ、翌十八年より蒲生氏の所領となり、のち寛永年間は加藤氏の所領に屬せり。いま須賀川城の外濠と稱する遺址は神炊館神社の境内に殘る。戊辰の役に東軍此處によりしことあり。明治二十二年須賀川・長沼を合し本町を置く。東隣老久の驛の條に、須河夾郎・町五郎の名見ゆ、須河は即ち須賀川なるべし。町の東部に愛宕山公園・妙見山公園、西部に旭ヶ岡公園あり、愛宕山公園の頂上に藤長元年の古墳あり、また當地の牡丹園は世に知らる。明治九年、明治天皇、奥羽御巡幸の際、及び同十四年山形・秋田及び北海道行幸の際本町に御宿泊遊ばされしことあり。（須賀川城）鎌倉幕府の政廳家令、二階堂藤氏の舊宅にして、天正十七年十月、伊達政宗に攻められ城陷り二階堂氏亡ぶ。二階堂氏また須賀川氏を稱せしことあり。文祿の頃は蒲生氏の磐、源左衛門郷成ここに治し、江戸時代は加藤氏の治所たり。（神炊館神社）郷社。祭神、建速名方命・八坂止資命・事代主命・建許呂命、其他。成務天皇御宇建許呂勳を率ひて此地を拓きて初めて皇化に浴せりと。時に天神地祇を神饌館と號せしに始まるといふ。例祭日、九月十八日・十九日。（須賀川ノ牡丹園）指定名勝。大字須賀川にあり。牡丹畑・牡丹花壇・牡丹苗圃等に分かれ、老樹に富めること、株數の多きこと全國無比と稱せらる。牡丹畑は園の入口に近きところにありて面積約四九アール、百六十餘年前栽培せる牡丹の老樹及びその子孫あり て雲上香・長樂・黒牡丹・旭獅子等七百餘種を數へ、その中老樹四百六十六株（昭和七年六月三日調査）を算し、老樹の最大なるもの高さ約二米、根廻り約九〇糎、概ね根元より數本の支幹に分かれ、枝條四方に擴がる。花は大輪、多くは赤色或は赤紫色にして、色彩に艶決あり。花期は五月下旬、二十日前後を好適とす。牡丹花壇は牡丹畑に接近し土地一段高く、面積約一四アール、約二十年前に設けしものにして何れも若木なり。牡丹苗圃はこの高地の奥にありて、面積約四三アールなり。（須賀川城）指定史蹟。大字須賀川にあり。陸奥街道の一里塚にして、國塚及び鉾木道の左右に存す。慶長九年、徳川家康令して江戸の日本橋を起點として、一里毎に街道の兩側に築かしめし一里塚の一たり。（明治天皇行幸所須賀川舊產馬會社）指定史蹟。大字須賀川字七丁目にあり。明治九年六月東北御巡幸の際行幸遊ばされし所にして縣下產出の馬匹を御覽あり、馬市の實況をみそなはし給ふ。（岩瀬森）大字森宿の鎮是神社境内にあり。古來歌の名所として知らる。「道の奥の安積のことを人問はばいかが岩瀬の森は答へん」（亞歐堂田善の碑）長祿寺境内にあり。田善は須賀川の人。松平定信に命ぜられて長崎に遊び西洋畫法と銅版術を學びてその名大いに著はれ文政五年七十五歳を以て歿す。碑は山門右手にあり、表面に羅馬字にて亞歐堂田善の石文須賀川雅友會と横書さる。（長祿寺）大字須賀川にあり。曹洞宗。瀛鎮山と號す。長祿元年二階堂遠江守爲氏の開基に係り同窓を請じて開山とす。もと本町長松院の地にありしが、天正・文祿の頃百石の寺田を得ていまの地に轉ず。佳時奥羽・越後・下野に來寺百三十餘箇を有し寺運隆盛なりしが、のち屢々兵火に罹りて衰頽す。寺寶として後花園天皇下賜微宗皇帝筆書老人畫その他を有す。

【須賀川村】 樹木縣下野國那須郡の東部黒羽町の東に隣り、東は茨城縣久慈郡に界す。面積七一・五五平方粁の大村。八溝山脈中の一部を占め、北隅に八溝山（一〇二二米）あり。東境はそれに續く山地にて花坂山（六八九米）・高戸山（六五八米）等連なる。西境にも六〇〇米前後の山地連亙し、東西何れも村内に向ひて傾斜し、褶合を那珂川の支流武茂川南流す。村の南部にも約三〇〇米の山地南北に連り東南部を久慈川の支流押川南流す。全村森林多し。川沿ひに田地及び畑地少しありて米・麥を產す。村の中央を横斷する縣道は西は黒羽町に通じ東は佐原村を經て茨城縣久慈郡大子町に通ず。この地は臨濟宗佛燈派の末寺にして惠心僧都作釋迦如來を本尊とす。中古諸宗の徒雜居せしが、弘長中佛國禀濟禪師來り住し大いに堂宇を興す。依りて佛光・佛國・佛應の三師を開山とす。足利氏の代九層華嚴塔を建立し、齋田二萬餘石の武士及び。のち永正・天正の兩度兵火に罹りて燒上せしが、妙德和尚之を再興、

家門和尚の代に至り境域方二里の小林及田園百五十石を寄せらる。寺寶として佛國禪師像（自賛）・佛應禪師像各一幅を藏し、何れも國寶たり。諸堂整備し、地高燥にして林泉に富み、風光絶佳の地たり。

スガグチ　須ヶ口　愛知縣西春日井郡にありし村。明治三十三年本村ほか一村を合し桃栄町を置き、同三十九年本町ほか一町二村を廢し新川町を置く。

スカゲ　須影村　埼玉縣武藏國北埼玉郡の中部。羽生町の南隣にあり。面積六・四五平方粁の小村。南境を古利根川東流し全村平地にて東半は水田多く西半は畑地をなす。米・麥・繭を主產す。縣道羽生町に通じ社線東武鐵道伊勢崎線は村の北部を西北に走り羽生町に通ず。この地は近世、埼玉郡羽生領に屬し、大字下羽生は葛濱郷に屬せりといふも古江郷に屬せしなるべし。慕領、知行所入り交りしが、のち戸田大隅守の領地と押田兵庫守・有馬彦太郎・新見包之助等の知行所となる。大字秀安は古は慕領なりしが寛政二年より本多彈正大弼に屬はり子孫續いて領せり。大字加羽ヶ崎は葛濱郷に屬し、永慶三年、曾根五郎左衛門の檢地あり。大字上川崎・下川崎はもと川崎村と稱し一村なりしが、のち上中下の三村となり、中川崎村は下川崎村より分れしといふ。正保の頃より領主の變遷あり、寛永二年より井上遠江守及びその子孫續いて領せし地。大字砂山は正保の頃は代官の支配地なりしが、のち富田宮内の知行所となりし地なり。

スガシマ　菅島村　三重縣志摩國志摩郡の北部。菅島の一島一村。鳥羽町の東方約三粁の海上にあり。菅島は稍東北より西南に細長く長さ約四粁幅約二粁。周圍約一三粁。面積四・四三方粁。中央に大山（二三七米）ありて周圍に低く、海岸は稍屈曲ありて南部に浪ヶ田鼻の突出あり。東部には長崎鼻・東北端には白崎あり。こゝに燈臺あり。農蠶水產あり。交通は多く水運による。古くは和名抄、答志郡答志郷の内とす。萬葉集・一二「酢鹿島の夏身の浦による浪の間もおきて吾がもはなくに」とある、酢鹿島は蓋し此地にして、神鳳抄には須賀島に作り、東鑑延久元年の條には菅島は伊勢本宮御領たる由見ゆ。もと答志村の大字なりしも明治三十年分離獨立す。菅島燈臺は燈質不動白光にして光達距離は二〇浬なり。

スガタ　姿村　栃木縣下野國下都賀郡の東北隅。石橋町の西より北に隣り、東北は河内郡に隣す。全村平地にして中央を思川の支流姿川南流し川沿ひに水田あり。他は畑地をなして林を交ふ。米を主產し他に麥・繭を產す。陸羽街道は村の東端をかすめて北走し、東北本線又これに沿ひて、村の東方を北走し石橋驛（石橋町）に近しの古くは和名抄都賀郡高栗（栗）郷に屬したり。大字古山（今上・下古山となる）はまた見山に作り字都宮の一黨こに居して見山氏を稱す。此地は永祿元年五月上杉謙信、下野に攻入りし際の古戰場にして、大字下古山の原中に石崎周防守の戰死の墓ありて、周防塚といふと。

スガタ　菅田　【菅田】 常陸國（茨城縣）の古地名。和名抄、河内郡に菅田郷あり。其地いま詳かならざるも筑波郡小野川村・葛城村の邊郷名の殘すべきなく、或は此邊か。一に新治郡榮村に委見神社あるにより榮村の地なりとあるも筑の地は大村郷の地にして本郷域に非ず。後攷に俟つ。【菅田】 越中國（富山縣）の古地名。和名抄越負郡に菅田郷あり、須加多と訓ず。その地今の婦負郡杉原村の邊なるべく、大字杉田は郷の訛れるものなるべし。【菅田町】 岐阜縣美濃國武儀郡の東北隅東は金山町に隣り。北は郡上郡に界す。美濃山地中に位し、主として古生層よりなる。北部には御前ヶ嶽（六六三米）、西部には高岡山（六〇一米）聳え、南部は水晶山（六八九米）の斜面を占む。字桐洞附近は盆地狀に低く水田地域をなし、米の外茶・乾柿を產す。交通はこの地を西南から東北へと飛騨街道拔け、往時は飛騨路の驛次たり。然し最近はあまり利用されず、益田川の谷の交通益多くなり、省線高山線の開通以來衰ふ。高山線飛騨金山驛に出づるを便とす。元仁紀實龜七年十月の條に飛騨路の一驛に菅田驛見ゆ。中世には菅田郷と見え、御字多院御領目錄には筑前國菅田莊あり。初めは飛騨國の一驛たりしが、延喜式には武藝驛ありて、此地に相驛なく又和名抄にも驛家郷なるもの見當らず。案落は桐洞・篠洞より成り、桐洞は元鄕原村と云ひしを延寶年中に改めしといふ。枝郷に大谷戸及び開洞あり。篠洞の袋坂は飛騨往還の裏路にして、宗祇法師の歌を詠みし地と傳ふ。昔此附近は茶、糸、綿、乾柿を產し、銘茶「飛里」は開山の臺民長尾氏が毎年名古屋に獻上せるものなりと。是九條和公より御詠を給ひて新く名付けしものなり。御義民中島助兵衛を出せし地なり。

スガダイラ　菅平　上田市の北東方約八粁、長野縣小縣郡長村に屬し、上信國境の峯峯四阿山（二三三二米）とその西北に相接する猿岳（二一九五米）の南西側一帶の裾に展開されたる廣袤七方粁に亘る花濱たる高原。海拔一二五〇米を維持し、西方長村字菅平部落迄、凡そ六粁の間十五度、乃至三十五度の緩傾斜續く。その間殆んど無樹帶にして柔軟なる芝草を以て掩はれ、美しき草原をなす。夏季は放牧に用ひらる。されどこの平を有名にしたるものはスキー地としてにて積雪は一米乃至一米半、その上雪に氣温低く、雪質は信越國境附近に比して遙かに良く、多く最も優秀なる粉雪にして、北海道・樺太のそれに比していさゝかの遜色を見ず。又高原中には大小の起伏重疊し、變化あるスロープ多く、痛快なる

勝峰を樂しみ得。近時「日本アルプス」等の名稱を附せられ、スキーの絶好地として名聲あがる。スキーにて積雪登高も試みられ、美しき展望を樂み得る。夏季は天幕のキャンプサイトとして若人の集ふ者多し。處々に點在する落葉松樹林と草藪に映く鈴蘭の花は北海道の景觀を想はしめ、馬鈴薯の如きものに良種を產す。

スガタガワ　姿川村　栃木縣下野國河内郡の西南部。宇都宮市の西南隣にあり。西は上都賀郡・下都賀郡に跨す。西部を思川の支流姿川南流し沿と平地にて畑地多く所々林を交へ、姿川の流域のみ水田をなす。米麥・繭を主產す。縣道中央を東北に走りて宇都宮市に通じ、社線東武鐵道宇都宮線これに沿ひ村内南部に西川田驛（昭和六年設置）あり。また省線日光線は中部を橫斷して西走し、鶴田驛（明治二十三年設置）を置く。更に此二驛より石材用の鐵道を分ち北隣城山村に通ず。古くは和名抄河内郡丈部鄕の内に屬せしものか。中世以降横田鄕と稱さる。大字兵庫塚に横田氏の城址あり。宇都宮城中警司鎭衞、嘉禎中に築きしものといふ。小幡下野忠に曰く、天正十三年十二月、北條勢、宇都宮城を攻め歸途につくや、宮の宿將芳賀氏の離下、三ツ原十郎成定これを追ひ、何内郡鶴田にて敵勝を收せり。後人よりその地を十郎ヶ峯と稱すと。この鶴田は遥し大字鶴田の地とす。

スガタニ　菅谷村　新潟縣越後國北蒲原郡の中部。新發田町の東北約八粁。面積七三・八二方粁の大村。西北に第三紀層の隆起褶形山脈を負ひ、南には飯豐山脈の二王子岳（一四二一米）峠立し、西北に向ひて傾斜し、中間を坂井川、諸流を集めて西北に流走し、細き谷底平野を作る。集落は疏ねこの谷に沿ひ、耕作に從事す。谷沿ひに一條の縣道通じ新發田町へはバスの便あり。古くは和名抄、沼垂郡賀地鄕の内に屬す。近年此邊より石器時代の遺物を拾得せし事ありと。（菅諒寺）曹洞宗。本境山と號し、正治元年武菅宗の業山委茂和尙の開創に係る。應永年間玉泉和尙來りて現宗に轉じ、天正五年加地城主加地泰綱菩提の爲め善納存森和尙之を中興す。（香傳寺）禪光にあり。曹洞宗。神應山と號し、治安元年の草創に係り、開基は神應院、開山は孚保比丘尼なり。もと天台宗なりしを、天文十八年宗叡和尙現宗に改むといふ。

スガナ　菅名　【菅名村】新潟縣越後國中蒲原郡の中部。村松町の北、五泉町の南に接し、東西を阿賀野川の支流早出川・鮊代川に挾さる。土地平坦にして豐饒、灌漑の便よく耕作に適し米產を主とし、繭の產もあり。五泉・村松を結ぶ縣道及び社線蒲原鐵道は村の略中央を南北に貫通し、今泉驛（大正十二年設置）を置く。其他、村松町より村の東南部を橫切り東方菅松街道に連絡する縣道あり。省線信越西線五泉驛へはバスの便もあり。中世庄名に呼ばれ、東慶、文治二年の條に菅名庄は六條院領なりと見ゆ。北越軍記に天文十一年、三條の長尾俊景族を擧げし時、菅名には蓮王堂式部少輔利景を置き、下部を遣らしめしが、同十八年に落城すと見ゆ。また越後治亂記に菅名但馬守景國の名見ゆ。蓋し在名を負ひしものか、今詳かならず。（息山寺）今泉にあり。曹洞宗。延命山と號す。もと地藏庵と稱せしが、南勝文舜和尙再興して現寺號に改む。現堂宇は文政九年中興の祖逸山慧俊和尙の建立に係る。

【菅名岳】越後山脈守門火山群に屬する一峯。阿賀野川中流左岸に峙ち、新潟縣中蒲原郡川東村と東蒲原郡下條村との境界に位す。標高九〇九米。

スガナミ　菅浪　加賀國（石川縣）の古地名。和名抄江沼郡に菅浪鄕あり、須加奈美と訓ず。今江沼郡作見村に菅波なる大字あり、蓋し鄕の訛稱なるべく、鄕城は此地より南鄕村・庄村の邊にまで及びしものなるべし。

スガヌマ　菅沼　【菅沼】靜岡縣駿東郡にありし村。明治四十五年本村及び六合村を廢して小山町を置く。

【菅沼】愛知縣南設樂郡にありし村。明治三十九年本村ほか八筒村を廢し作手村を置く。

スガネ　須金　【須金岳】一に菅根岳にも作る。鳥羽火山脈に屬する一峯。栗駒山の西方に隆起し、鬼首温泉の北方に峙つ。宮城縣玉造郡鬼首村と秋田縣雄勝郡皆瀨村との境上に位す。標高一二四三米。

【須金村】山口縣岩防國都濃郡東部の山村。東は玖珂郡に界す。村域は錦川の流域を占め、該川は本村附近に於て須万川とも呼ばる。地勢は主として高地にして、概して古生層・中生層及び流紋岩等より成り、山脈は中國山脈より派生せる南北に走る連嶺をなし、金峰山の如きは高さ七九〇米に達す。平地は錦川に沿ひ、また山と山との間各部に散布すれど、いづれも小盆地たるに過ぎず。產業は農業を主とし、養蠶・製茶・製紙（和紙）等の副業も行はれ、ほかに竹製品・木炭等の產あり。殊に和紙の製造は顧る盛にして、郡内產額の九割を占むと稱せらる。牛の飼養また觀るべく、調ゆる郡濃肥牛は本村の所產、隣村のそれと共に名物の一に屬す。下松町にバス通じ交通稍便なり。此地は和名抄、郡濃郡郡濃鄕の内なるべく、戰國の頃幾多の土豪割據し、その攻爭盛なりしが如く、村内に散在せる多數の古城址によつても之を察し得べし。もと須万・金華の二村たりしが、明治二十二年四月一日町村制實施と共に、廢村合して一村となり、廢村の名を合せて須金村と稱し、爾後以て今日に及べり。（末見神社）大字須万に鎭座。鄕社。祭神、罔於加美神・手名椎神・須佐之男尊・櫛名田比賣命。例祭日、十月九日、十日。（八幡宮）大字須万に鎭座。鄕社。祭神、品陀和氣天皇・息長足姫尊・玉依姫命。社傳に和銅二年本郡德山村遠石八幡宮より分靈創祀すといふ。例祭、九月八日・九日。

スガノ　菅野　【菅野村】兵庫縣播磨國飾磨郡の西部。飾路市の西北約九粁。西は宍粟郡・揖保郡に界す。東部及び西部に山地ありて北部は稍々高く七〇〇米程度の山地あり。南部は約三—四〇〇米の高度を示す。中央は南北に連る廣濶なる谷をなし夢前川支流南流す。低地は耕地多く、米・麥を產す。山地は用材・薪炭を出す。東方田原町より西方因幡街道を連ぬる一道は北部を東西に走り、一道分れて中央の谷を南方へ貫き南方の作州街道及び山陽道に連絡す。古くは和名抄飾磨郡菅生鄕の地にて、大字菅生淵はその遺稱とす。播磨風土記には菅生里と見え菅原あるより名を生ずとあり。村内に花山天皇臨幸遺址と稱するものあり。（觀勒寺）大字寺にあり。天台宗。通寶山と號す。講寫山圓教寺の別院たり。長保二年、性空當地に來り一宇を結び止住す。これ本寺の草創なりといふ。長保四年、花山法皇この寺に行幸あり。本堂は廣層二年の建築にして現に國寶たり。

【菅野村】兵庫縣播磨國宍粟郡の南部。山崎町の西に隣り、西は佐用郡三日月町に、南は揖保郡に續く。全村約六〇〇—七〇〇米の山地をなし北部に淺き谷ありて西北より東南に延び、揖保川の支流流る。川に沿ふ低地は耕地よく拓けて米麥を產し又養蠶行はる。中央の谷に沿ひて山崎町より延びし一道西北方に縱貫す。古くは和名抄、宍粟郡稻野鄕の地とす。近世稻野谷といへるは山崎町邊をも總べしもの。但しこの鄕名は風土記に見えざれば、高家鄕を分轄せしものならん。

【菅野】鳥取郡八頭縣にありし村。明治四十二年若櫻村・赤松村・菅野村の三村を廢し若櫻町を置く。

【菅野村】廣島縣備後國御調郡の東部。東は備品郡に隣す。東北より西南の方向に高き約三百米級の山脈連りて北に稍傾く。概ね山地より成り平地少し。耕作は何谷を利用し麥・山葵・蒟蒻・茶等を產し、又柿をつくる。特產としては柿の加工品多く串柿・古露柿は古來より名ありて日本一の產をなす。又蒟蒻も名あり。中央の谷を利用して南北に林道とほる。交通一般に不便なり。明治二十二年菅・仁野・大塔・平木の四箇村を合併して菅野村と名付く。（雲龍寺）大字仁野にあり。臨濟宗備後派寺派。寒壽山と號す。廣正元年、大道庄官千葉城主藤原三郎時實の開基にして開山は千鈷和尙なり。

スガフク　菅福　鳥取縣日野郡にあり。大正二年黒坂村・菅福村を廢しその地域を以て黒坂村を置く。昭和十一年町制施行。

スガマ　須釜村　福島縣磐城國石川郡の北部。地勢東部に高く（約六〇〇米）一般に臺地狀をなす。何川は此の村に發源し、東部を南流するもの及び西部を西流するものあるも何れも短小なり。米・葉煙草・繭・林產物等の產あり。道路は村を略々東西に通じ南方の石川郡石川町に至る。この地は和名抄、白河郡郡田鄕の内なるべく、須釜は往時一に炭釜・炭釜にも作る。村内の東福寺を俗に大寺と稱するより此地を大寺鄕と稱し、また石川須釜氏この地に大寺氏を稱し、大寺城（一に霞ヶ城）に居城し、天正十一年、大寺中務清光の時亡ぶ。（須釜東福寺會利石塔）指定史蹟。東福寺境内一隅にあり、方形の石龕にして總高五尺九寸五分、寶珠露盤を置ける屋蓋と塔身及び臺座とより成る。正面扉造にて周圍に彌陀淨土の四十九院の名を刻す。龕の内部中央に孔ありて舍利を納めしものと認めらる。而して孔を塞ぐに大日如來石像を以てす。像背に元久二年乙丑開山宥光代の刻銘あり。宥光は當寺の開山たり。鎌倉時代彌勒淨土往生の思想を表現したる稀有の構造のものに屬す。（鄕々古別神社）大字南須釜に鎭座。鄕社。祭神、味耜高彦根命。相殿、品陀和氣命・大直日命。創立年代詳ならざるも藤原鎌足の勸請する所に係ると傳ふ。中世、大寺氏代々尊信す。此地は富川の清流を負ひ、西に神路山あり、老樹茂生、景趣閑雅なり。例祭九月廿九日。

スガマ　菅間村　茨城縣菅陸國筑波郡の北部。東は筑波町、北は眞壁郡に跨す。東境を櫻川南流し村の東半は平地にて水田多く、西半は低き臺地をなし畑地あり一部は桑畑なり。農業を主とし米・麥を產し、蠶業を副業とす。縣道は村の中央を東走して筑波町に通じ同町に社線筑波鐵道の筑波驛あり。古くは和名抄、筑波郡郡（諸の誤）酒鄕の地とす。永平年中より菅陸大掾多氣氏累代の采邑なりしが、のち小田氏に併有せられ、元龜元年多賀谷氏零ひて小田氏に代り、その後德川領となる。寛永年中、本多丹下知行所となり、明治元年王政復古領川小十郎の支配所となりしが同二年若森縣に屬し、五年新治縣となり更に茨城縣の管下となる。同二十二年町村制施行に際し、上菅間・中菅間・池田・洞下・磯部の五村を合して菅間村と稱す。

スガムタ　菅牟田　省線桐野線の貨物驛（明治四十三年設置）。鹿兒島縣鰺手郡宮田町にあり。

スガモ　巢鴨　東京市豐島區の町名。大東京市に併合さるる前は北豐島郡に屬せる市の接續町たり。德川氏以前の記錄にも田づるも、菅面等の字が用ひらる。德川時代には駒込・板橋間の中山道の一

驛となり街村的性質を有す。東京の發展と共に本郷・小石川兩區の住宅地の延長となり、人口密度著しく增加す。街道筋は依然商店街を形成す。小石川區に屬するも駕籠町・原町も巢鴨のうちに含まれたり。町内に省線山手線の巢鴨（明治三十六年設置）・駒込（明治四十三年設置）の二驛あり。黒見八犬傳・三ノ三「兩入齊一身を起し、思ひ絕えてぞたつ鳥の、巢鴨を左邊に見かへれど、跡は潤きぬ石神井の、流に添ふて西ケ原、田畑を過る夏の雨に、道れて轍輪の笠やとり」同書九ノ四七「九日の曉天に柯崎なる驛路を立て、陸地より管領大塚を投て推寄する、其兵新舊うち合して、三千餘名に及びける」

スガヤ　菅谷

【菅谷村】茨城縣常陸國那珂郡の東南部。水戸市の北方約七粁。那珂川・久慈川の中間にあり。全村低き臺地にて粉ど畑地をなし僅に林を交ふ。米・麥を產也、また苗木を產す。省線水郡線は村の中央を西北に走り、上菅谷驛（明治三十年設置）・中菅谷（昭和十年設置）・下菅谷驛（明治三十年設置）を置く。上菅谷驛より、久慈郡太田町に至る支線分岐して東北に向ふ。縣道これ等の線に沿ふ。古く滅は和名抄、那珂郡日下部鄕に屬せしものか。同じて日下は蘆し乏なりしを崩壞せしものならん。新志補に據れば村内に方二町の二重堀の跡あり。これは平野豐前守重實の住みし宅址なりと、平野氏は江戸氏に屬したり。本村は菅で一時郡役所の所在地となりし事ありしも、今は殆んど見るべきものなし。

【菅谷村】埼玉縣武藏國比企郡の中部。松山町の西方にて間に唐子村・宮前村を挾む。關東山脈一支脈の東端に當り村の西部及び南部は約二〇〇米の山地をなして森林あり。兩山地の間を東流する槻川の流域は稍低地をなして田地・桑畑あり。東北部は北境を東流する市ノ川の流域平地にて水田及び畑地をなす。米・麥・繭を主產す。秩線東武鐵道東上線は松山町より來りて村の北部を西走し武藏嵐山驛（大正十二年設置）を置く。縣道これに沿ひ、其他南北に通ずる道路あり、これは菅鎌倉より上州に通じたるものなり。槻川の一部に武藏嵐山の勝地あり。この地は和名抄、男衾郡鄕家鄕の地なるべく、大字菅谷は古くは次賀谷又は須賀谷に作る。中古鎌倉及び武藏國府より上野・信濃への通路に當る。德川氏の頃、江戸より秩父郡或は中山道に出る脇往還にして人馬の繼立をなせり。古城址あり、今は多く陸田となり本丸・二丸・三丸等の名あり、畠山重忠の屠城の地とも、のち岩松義純、一且畠山の名跡を繼ぎ住せしともいふ。重忠の本居なる大里郡畠山とは僅に北方約一二粁を隔つるのみ。大字大蔵に大蔵館址あり、久壽二年八月源義朝の弟帶刀先生義賢が源義平の爲に殺されたる處といふ。（八幡神社）大字幾形に

隣村を隔てゝ鴻澤町に尖々相對す。東南境には高松岳（一三一五米）・山伏岳（一三一五米）・小安岳（一二九二米）連亙し、其麓には高松澤國有林の美林を包藏す。而してその山脚は西北に向ひて漸次低爽す。高松川は東南部諸山の麓に發源して西北流し、西北部に於て雄物川に合流す。その沿岸は殆ど臺屋を成し、殊に大字下新田より上地までをその最とす。その合流點附近に僅少の低地を見るも他は概ね山地を成す。生業は農林業にして全戸數の九割以上に及ぶも、自作農少なく大部分は小作農なり。經營は小規模にして林業を營ぬる者多し。養蠶業また盛んにしてその年產出額數萬圓に及ぶ。主として繭のまゝ鴻澤市場に於て賣却す。また薪炭特に木炭の產出甚だ大なり。山菜の販賣も行はれその賞良好なるを以て夙に知られ年產約三萬圓に及ぶ。また西北部邊には果樹の栽培も行はる。東南部の高松岳は休火山にしてその西北部に川原毛・高松の二鐵山ありて硫黄を產出す。羽州街道は西北部雄物川に沿ひて南北に走り奥羽本線これに沿ひ鴻澤・橫堀の各驛にバス通ず。而して羽州街道筋は交通便なるも他の大部分は未だ便ならず。下野國古河城主の第四子小野寺四郎重道、源頼朝に從ひ平家征討に功あり雄勝郡を賜はりこれを領す。のち十餘代を經て最上氏の侵す處となり其支配を受く。佐竹氏遷封後その領有となる。明治初年廢藩置縣と

スガユ　酸ケ湯　→荒川村（皆瀬縣）

スガリ　須賀利村　三重縣紀伊國北牟婁郡の東海岸。尾鷲灣口北岸を占め引本町の東に隣る。約二〇〇米程度の山地が西・北・東村境を圍形に限り、南部には深き二大灣入あり、中部に三〇一米の日和山あり山脚は南方に延び尾南曾鼻の細長き岬となる。灣を挾みて東南端に灣崎の突出ありて其他か南方海上に寺島の小島あり。海岸は多く岩石海岸をなす。用材・薪炭を產し米・麥・甘藷も出す。交通は北部を東西に橫切る山道あれど不便なり。この地は中世の相賀莊の一部なり。もと引本村に屬せしが、明治三十年分離獨立して村制を布く。

スカワ　須川　→鹽釜村（岩手縣）

【須川村】秋田縣南秋田郡の南部。西南は小野村を隔てゝ橫堀町に、北は三

共に第七大區に編入、明治九年戸長制度布かるゝに至り相川村を中心として相川村三個村組合戸長役場と稱し、また高松村を中心として高松村外一個村組合戸長役場とす。明治二十二年町村制實施と共に現在の如く須川村となる。古址鮎川館あり。相川の東方一小丘上にありて、小野寺氏の屠城なり。東鳥海山あり、頂上に社祠あり、五穀の守護神として近鄕の信仰深く、鳥海山に對して東鳥海山の名あり。また明治十四年、明治天皇山形・秋田及び北海道行幸の際、此地に御小休あらせらる。

【須川】　→子撫村（富山縣）

【須川】鳥根縣鹿足郡にありし村。昭和十年日原村・須川村を廢し、その地域を以て日原村を建つ。

スガワラ　菅原

【菅原村】茨城縣下總國結城郡の南部。南は水海道町との間に豐岡村を挾む。西は猿島郡に隣す。全村平地にて畑地多く西境附近には飯島村に續く沼田あり。又南部は水田をなす。麥・米・繭を主產す。水海道町に縣道を通じ同町に社線常總鐵道線水海道驛あり。古くは和名抄、豐田郡飯猪鄕の内に屬したり。中世は大生鄕と稱せられ、大生鄕の名大字名に殘る。村内に叠址ありて駒込と稱す。著し樣雲記に見ゆる飯沼館はこれならん。

【菅原村】新潟縣越後國中頸城郡の東部。高田市の東南約一〇粁。東北・西南は寒川の二支流に挾まれ、東南に山地を負ひ、西北部は頸城平野に連なる。山地は概ね森林をなし平地には水田拓け、上越米を產す。高田市より東方頸城油田に至る縣道村の北部をかすめ、山麓に沿ひて村を貫通する道路あり。古くは和名抄、頸城郡物部鄕の内に屬せしものゝ如し。中世には武士鄕と稱せられ、大字に武士の名殘る。

【菅原村】山梨縣甲斐國北巨摩郡の西部。釜無川上流の右岸。西南部は駒ケ岳連峰の一部大岩山（二〇一九米）・鞍掛山（二〇四七米）聳え、東北部は數段の段丘により釜無川の谷となる。河岸に近く水田開け、段丘上は概ね桑園なり。米・桑・繭の產多し。大字白須より鳳來村に跨る白須松原は松茸を以て著はる。東部山麓に沿ふ縣道は甲府より諏訪平に出づるものなり。省線中央本線長坂驛へは約四粁の道程。この地は和名抄瓦摩郡佩衣鄕の内なるべく、もと武川筋の内。大字臺ケ原は甲州街道の宿場にて、逸見筋の溫澤より此處に至りしと。天文八年閏六月二十日板垣信形が諏訪勢と此筋にて合戰せしこと甲陽軍鑑に見ゆ。大字白須は白洲にも作り、驛路に沿ひ松林あり、歌枕の名所として知らる。また清和源氏、武田氏の族、此地に白須氏を稱す。李花集、甲斐にしらすといふ所の松原のかけに、しばしやすらひて、かりそめの行きかひ路とはきゝしかどいざやしらすの詩つ人もな

スキ　主基村　千葉縣安房國安房郡の東北部。西北は鴨川町との間に田原村の一部を挾む。北は君津郡に隣す。村の北部及び南部は丘陵地にて西北境に三六五米の丘陵峙ち南境に嶺岡山（三六一米）あり。中部は東流する加茂川流域の平地にて水田多し。米を主產し他に生牛・牛乳・鷄・果實・蔬菜・麥・薪等を產す。縣道は川沿ひに鴨川町に通じ同町に省線房總線安房鴨川驛あり。これよりバスの便あり。この地は和名抄、長狹郡田原鄕の内にして、鎌倉幕府以來、東條氏の所領となりしも、文政年間に至り旗見氏の邑となり以來代官處は旗下の管理する所なりしが、慶應三年德川慶喜大政を奉還し王政維新となるに及び、代官を廢して縣知事を置くに當り、縣令柴山文平の所管に屬し、同年九月長尾藩領となり、のち花房藩に移り、明治四年廢藩置縣となり、西尾忠篤之が知縣事となり、のち木更津縣に移管せられ、同六年千葉縣の所管となり、同二十二年町村制施行に及び長狹郡山菅村・北小町區外四區と改稱し、同三十年元安房・平・朝夷・長狹の四郡合し安房郡となりその所管となる。村名の起原は明治天皇の御即位後、明治四年大嘗會の御大典を宮城内吹上御苑に擧げさせ給ふに當り、安房國長狹郡を主基の國に定めらるゝと共に御齋田を本村北小町字仲の坪一八五三番地を御卜定あり、明治二十二年町村制施行の際村名をこに因

み由基村と名づけしも、其の後由基に非ずして主基なりしにより大正四年大正天皇の御大典の際主基村と改称せり。上古より属東に於て齋田を選定せられたるは之を以て儀矢とす。

スキ 周吉郡　島根縣一市十五郡の一。隠岐國島後の東半分を占め、西は穩地郡に界す。面積一四一・五九方粁。東に大満寺山（六〇八米）、北に葛尾山（五九八米）、横尾山（五七三米）等の山岳峙ちて各山麓は四方に伸びて海に沈む。横尾山東斜面と大満寺山南斜面の間に狭長なる谷拓け八尾川流れて西郷灣に注ぐ。河口に僅少の低地あり耕作行はる。海岸は一般に洗除性海岸にて出入に富むも後背地との連絡は便ならず、東南岸の深く灣入する所に西郷町あり、隠岐第一の都會にて島根縣の隠岐支廳置かれ、良好の漁港をなす。伯耆國の地港より航行約七時間を要す。主要産物は水産なるが、殊に柔魚を最多とす。延喜式に郡名見えスキと訓じ、和名抄は賀茂・竜可・新野の三郷を載く。名稱の起原は詳かならざるも大嘗會の悠紀齋田に對する主基の義より起るか。柱菅國府を本郡に置く。郡名考シユキヲ、天保郷帳スキヲと訓みしが地誌提要スキに復し今之に從ふ。

スキ 周枳村　京都府丹後國中郡の中部。竹野川右岸に位し峰山町の東南約五粁。面積四・〇六方粁の小村。東部は約三百米程度の山地をなし、西部は西境を西北流する竹野川沿岸の沖積低地を占む。耕地狭く米麦を產し養蠶も行はる。南隣三重村より西北峰山町方面に至る街道西部を貫き西南部にて之と交叉する一道は東西に走る。古くは周枳郷に作る。和名抄に丹波郡周枳郷あり、地は本村及び河邊村の邊をも含めるものと思はる。中世は周枳莊に作る。國郡沿革考に周枳郷は安閑紀に見ゆる蘇斯枳屯倉の地なるべしと云へるも遽に信じ難し。周枳は往古大嘗會の卜定にあたり、主基方の里にあらずや、周枳は主基の轉訛なるべし。府社大宮賣神社あり。（大宮賣神社）府社。祭神、大宮賣・若宮賣。創建年代詳みならざるも、大同元年に神封七戸を充奉せられ、貞觀元年に授位、延喜の制に名神大社に列せらる。例祭、九月二十八日。

スキ 須木村　宮崎縣日向國西諸縣郡の東北部。國見山脈東斜面に位する山村にして東諸縣郡綾町の西に隣る。面積二四四・五九方粁の大村。西方を東北より西南に通る國見山脈より本村へ數多の山脚を東南方へ延ばし山岳重疊す。北部に西ノ俣山（九一七米）、西境近くに國見山。南部に七熊山、東境に大倉岳等巍峨しその間に西北より東南に通る數條の谷を造り、中央に西北隅より源流する綾北川支流綾南川村を横斷し、東北部には大淀川支流の綾北川上流横岡川東南流す。東南部には大淀川支流の綾南川村と名づけしも、其の後由基に非ずして主基なりしにより大正四年大正天皇の御大典の際主基村と改称せり。上古より属東に於て齋田を選定せられたるは之を以て儀矢とす。

スキ 周吉郡　島根縣一市十五郡の一。隠岐國島後の東半分を占め、西は穩地郡に界す。面積一四一・五九方粁。東に大満寺山（六〇八米）、北に葛尾山（五九八米）、横尾山（五七三米）等の山岳峙ちて各山麓は四方に伸びて海に沈む。横尾山東斜面と大満寺山南斜面の間に狭長なる谷拓け八尾川流れて西郷灣に注ぐ。河口に僅少の低地あり耕作行はる。海岸は一般に洗除性海岸にて出入に富むも後背地との連絡は便ならず、東南岸の深く灣入する所に西郷町あり、隠岐第一の都會にて島根縣の隠岐支廳置かれ、良好の漁港をなす。伯耆國の地港より航行約七時間を要す。主要産物は水産なるが、殊に柔魚を最多とす。延喜式に郡名見えスキと訓じ、和名抄は賀茂・竜可・新野の三郷を載く。名稱の起原は詳かならざるも大嘗會の悠紀齋田に對する主基の義より起るか。柱菅國府を本郡に置く。郡名考シユキヲ、天保郷帳スキヲと訓みしが地誌提要スキに復し今之に從ふ。

スキ 周枳村　京都府丹後國中郡の中部。竹野川右岸に位し峰山町の東南約五粁。面積四・〇六方粁の小村。東部は

スキ 杉　【杉（村）】愛知縣西春日井郡にありし村。大正十年名古屋市に編入さる。【杉ヶ越】九州山脈を横斷する交通路の一。最高點は大分縣大野郡小野市村と宮崎縣西臼杵郡岩戸村との境界に跨り、標高九一七米。一に大明神とも稱す。この峠は東麓の木浦鉱山方面より西方の岩戸村方面への重要なる乗越にて、峠上に杉森に圍まれたる神社あり。昔石地蔵尊を祀り、物資ひ地蔵として名高く、春四月には祭市立ち、大分縣側と宮崎縣側との商人の間に物々交換行はれ、また賭博等も盛に行はれたりと云ふ。今はその面影もなし。

スキ 椙山　→鳥河原町（神奈川縣足柄下郡）

スキアイ 杉合村　熊本縣肥後國下益城郡の西北隅。緑川下流近くの南岸に位し熊本市南境との間に約五粁餘を隔つ。全村仲積地にして地形低平なり。北境に沿ひて緑川西流し西北部にて南下し西境を限る。南境に沿ひては浅戸川西流して西端にて緑川と合す。地味肥沃にして水田多く米の產多し。中部に廣見島街道南下し一道東南方へ分れて隈ノ庄町に至る。省線廣見島線中央を縦貫し北方約一粁に川尻驛あり。古くは和名抄、益城郡坂本郷の内に屬せしもの如し。近世杉上村と共に杉島と總稱せらる。【光品寺】大字大町にあり。眞宗大谷派。弘治元年の創建。開山を淨圓法師とす。本尊阿彌陀如來は聖徳太子作と傳ふ。【圓徳寺】大字莎崎にあり。眞宗大谷派。天文元年創建。開山を明首法師、中興開山を休信法師とす。本尊阿彌陀如來は惠心僧都作と傳ふ。

スギカミ 杉上村　熊本縣肥後國下益城郡の西北部。緑川の左岸に位し、熊本市の南方約四粁にして、隈庄町の北に接す。全村緑川の沖積平原の一部を占め地形極めて平坦、東南部に僅かに低き臺地あるのみ。主生業は農にして戸數別に見れば全戸數八六七戸の中、農七四〇、工一三、商一八、其他五八、無職三八となる。農產中米麦の產最も多く年產六十萬圓に及び、養蠶これに次ぎ其年產額十一萬圓なり。緑川は東境及び北境に沿ひて流れ西方約一〇粁にて島原海灣に注ぐ。小路數條、村を南北に縦貫し、西方に省線熊本線南北に走りて西北約四粁に川尻驛あり。古くは和名抄、益城郡坂本郷の内に屬せしものの如く、近世に於ては杉合村と共に杉島と總稱せらる。

スキサカ 杉坂　太平記に見ゆる地名。元弘二年後醍醐天皇隠岐御遷幸の際児島高徳途に帝駕を奪はんとし舟坂山に要す。會々東使歸じて山陰道に出でしため急遽これを追うて杉坂に到りしが既に遥ぎ去りし後なりしといふ。地は兵庫縣佐用郡幕山村より岡山縣英田郡江見村に通ずる山道を指せるものならん。但し一説には佐用郡江川村と岡山縣英田郡讃甘村の境にある中山峠なりともいふ。

スキタ 次田　筑前國（福岡縣）の古地名。和名抄、御笠郡の條に次田郷の名見ゆ。和名抄は國を縦くも、まさにスキタと讀むべし。姓氏錄に次田連は火明命の兒天香山命の後なりと見ゆ。蓋し此地に居して名を負ひしものならん。萬葉集に見ゆる次田温泉、竹取物語に見ゆる筑紫出湯などはみな此地とす。凡そ今の筑紫郡二日市町・山口村・水城村等の地に當る。

スギタ 杉田　【杉田村】廣島縣岩代國安達郡の中部。二本松町の南方約四粁。安達太郎山の東南麓にあり。西部は山地にして高く、東部は臺地狀をなす。杉田川は西方安達太郎山に出でゝ東流し阿武隈川に合し阿武隈川は東境を先行しつゝ北流す。河岸に特地あり。西部山麓には牧地、杉田川岸には水田、阿武隈川畔には桑園あり。米・麦・馬を產す。陸羽街道は東部を南北に通じ北方二本松町、南方本宮町へはバス

平地にて水田をなし米を出產し住に適・豪農あり。陸羽街道は町の南部より西部を經て北走し聚落はこれに沿ひて南部に發達す。駐線東武鐵道日光線これに沿ひて北走し杉戸驛は對岸の南隣百間村内にあり。この地は近世、葛飾郡幸手領奥宮郷に屬し、奥羽街道の杉戸驛のありし所にして、千住宿より第五の驛亭たり。元和二年人馬の継立を命ぜられ、宿驛となりしより町と稱へ、のち杉戸宿と稱するに至る。杉戸宿は古より幕領にして元緑十年酒井河内守の檢地あり。大字清地は古は幕領なりしが元緑十一年酒井日向守・三宅傳左衛門・高田乙次郎・能勢武左衛門の四人に賜はり子孫繼いで領せり。大字倉松は德川氏關東入國の後は幕領にして、のち天野左近・前島太郎左衛門・青沼織太郎の知行せし地なり。

スギナミ 杉並　東京市三十五區の一。もとは東京府豊多摩郡に屬する町名なりしが、昭和七年大東京市實現のため隣接の和田堀内・高井戸・井荻の三町を併合し杉並區を建つ。名稱は往昔岡部某なるものが杉樹を青梅街道の路傍に植ゑ他村との境界を明かにせしことより生ぜしものといふ。區の大部は武藏野臺地上の地を占め、その間に流るゝ細流の兩岸のみに狭長なる低地あり。臺地上は宅地及び畑地をなし低地は水田に利用さる。震災前は畑地の多き所にして、概ね的の東京西郊の農村地域なりしが、震災後は

の便あり。之に並行して東北本線通じ、本宮驛への便あり。此の地は往時奥州街道の杉田宿にして、大字南杉田の菅田館は畠山義纘の此地を領せし頃、遊佐筑後守及び其子左馬佳し、夏に其子掃部も住せりと。また大字箕輪の箕輪館には畠山高國の將、箕輪大夫貞氏居住すと。

【杉田】横濱市磯子區の町名。梅林あり、江戸時代より梅の名所として知らる。箱根草・二中「おれが聞くのはだき向ふの出崎よ。ムムあれは本牧のはな、杉田野解なんぞみな名代所だ……その頃は杉田の梅の香にむせて、草葺を出すや本牧の鼻」

スギタイラ 杉平　愛知縣南設樂郡にありし村。明治三十九年本村ほか八箇村を廢し新に作手村を置く。

スギタニ 杉谷村　長崎縣肥前國南高來郡島原半島の東海岸。雲仙岳の東斜面を占め島原町の北に接す。雲仙岳の東の中腹斜面より海岸地を占むる外、西に高く東へ次第に裾を引き、東部海岸に低地を有す。東南境に八一九米の眉山ありて北へ傾斜し雲仙岳の裾野に連る。詩地よく拓け農產多く米・麦等を產し農民は裕福な生活をなす。東海岸に島原街道通じ、その東に接し省線島原線走りて北隣三會村に三會驛あり。村の一部は雲仙國立公園の一部を占む。

スギト 杉戸町　埼玉縣武藏國北葛飾郡の西北部。古利根川の東北岸。今町

墨堤に郊外住宅地として發展し、特に中央線の驛附近に甚しく今は立派なる純住宅地の一部を形成す。交通は中央線ほぼ中央を東西に貫通し、高圓寺・阿佐ヶ谷（以上は大正十一年設置）・荻窪（明治二十四年設置）及び西荻窪（大正十一年設置）の四驛あり。北部には西武鐵道通じ、下井草・井荻・上井草の驛あり。また青梅街道ほゞ中央を東南東より西北西に通じ、南端に甲州街道通ず。區内に營業試驗場・陸軍通信學校・善福寺池・上井草グラウンド・妙法寺等あり。

スギノ 杉野村　滋賀縣近江國伊香郡の東部。木之本町の東北約八粁。姉川上流高時川の一支流の水源地たる山村。面積五一・四五方粁の大村。東に伊吹山脈の土蔵嶽（一〇〇二米）聳え、西北境は横山嶽・慕谷山を含む支脈、南境は赤一〇〇〇米前後の一支脈にして、何れも村内に傾斜す。之等山中の水は村の中央を西南に流るゝ小川となり西南方約三粁の地にて他の一流と合し高時川となりやがて姉川となりて琵琶湖に注ぐ。村内概ね山林にして、谷沿に多少の田畑拓け耕作行はる。聚落は谷沿に散在し、林業・農業を主生業とす。また土倉鑛山あり金・銀・銅を出す。北國脇往還の木之本町附近より分岐せる脇道通じ、村内にて更に二條の山道に分れ、いづれも山を越えて岐阜縣に入る。省線北陸本線木之本驛へ

約十軒、交通便ならず。古くは和名抄、伊香郡産佐郷に属せるものか。杉野川に五銖子ヶ瀧・鰻の瀧あり、前者は高さ二十四米幅一米、後者は高さ二十五米幅二米。

【土倉鑛山】　本鑛山は土倉岳に接近し海抜約四百米乃至七百米の地点に跨り、明治四十年の発見に係る。此邊の地質は秩父古生層に属する粘板岩及び砒岩にして附近には蛇紋岩の迸発を見る。鑛床は東西に走る延長約二・五粁の輝緑岩中並に其附近粘板岩及び砒岩の接触部に胚胎せる単純交代鉱床とす。鑛区約九九萬坪、鑛種は金・銀・銅・硫化鐵にして大正十四年には債額として十二萬餘圓を産す。近年は唯んど合銅硫化鐵鑛のみを出し僅かに沈澱銅をも産し、昭和十一年には約五萬圓を産す。物資・鐵石の運搬はもと木之本驛によりしが、大正七年丹波鐵道開通後は專ら中之郷驛による。本邦重要鑛山の一にて朝鮮鑛業開発會社の經営に屬す。なほ本鑛山の外に杉野村には同種鑛床の存在を豫想され、目下試掘中のもの二あり。

スギノサワ　杉野澤（すぎのさわ）　新潟縣越後國中頸城郡の西南端。關川の上流一帯の地域。四圍は戸隠連峰・妙高・黒姫等いづれも二〇〇〇米以上の諸高山に圍まれ原野・山林多く、赤倉山麓には笹ヶ峯牧場あり。中央の谷を関川東南に流れ、米澤川と會して南境を東流して關川の峡谷をなす。集落は東南部の谷奥にあり省線本線の田口驛へ約六粁の道程。之より西方に至る山道は乙見山峠を經て信州飯山の上流に沿ふ糸魚川街道に出で、南方黒姫山西麓に沿ふ山道は戸隠山麓を經て長野市方面に至るものなり。笹ヶ峯牧場は關大衆延の地、清涼ありて夏季キャンプに適す。村内に苗名瀧あり。關川に臨り高さ約四四・五米、幅約三米、附近一帯は稀に見る勝地たり。

スギノメ　杉妻村　鎌鳥縣岩代國信夫郡の東南部。鎌鳥市の南郊。地勢南部に高く北部は鎌鳥盆地の一部をなす。阿武隈川は先行性流路をとりて東境を北流し鎌鳥盆地に出づ。東部には桑園、北部には水田あり、米・繭を産す。陸羽街道は村の西部を南北に通じ、北方鎌鳥市に、南方松川村を經て二本松町に至る、各バスの便あり。この地は和名抄、信夫郡小倉郷の内にして、中世は杉妻庄と稱せられし地なり。大字鳥谷野は信達風土記によれば、古の沼澤の址にして狐窟によき草澤なりしと。鎌古今集の中務卿の歌に「みちのくの信夫の鷹の鳥屋ごもり幾に も知らじ思ふ心は」の詠あるを見れば其起源古く、大字伏拝は日本武尊が行人坂より信夫山を遙拝せるにより伏拝の名生ぜしと稱するより考ふれば其由緒の深きを知るべし。本村はまた明治天皇が明治九年奥羽御巡幸、また同十四年山形・秋田及び北海道行幸の際に御小休あらせられ、いま明治天皇伏拝御野立所として史蹟に指定さる。〔鹿島神社〕大字鳥谷野に鎮座。郷社。祭神、武甕槌命。常陸國鹿島より勧請せるに創まりしもその年代詳かならず。延喜の制名神大社に列す。例祭、十月九日。〔須川南宮諏訪社〕大字伏拝に鎮座。郷社。祭神、建御名方命。日本武尊東征の御帰り暫々危難を神鷲の加護に依りて救はる。天皇之を以聞し特に勅して社殿を造營せしに始まると。例祭九月十七日。〔黒岩虚空蔵〕大字黒岩にあり。堂は南向にして五間四面、弘仁二年の創建と傳へ、阿武隈川畔の斷崖に臨み景趣に富む。八月廿日の縁日は賑ふ。堂後山上の松林中に瓦礫多く、その上に文政三年に造られし石造の十六羅漢像が點々として安置さる。

スギハラ　杉原　【杉原村】　富山縣越中國婦負郡の東部。神通川の左岸。八尾町の東北に接す。南部に二百米前後の丘陵ある外は土地平坦にして肥沃、水田開け、米作を主とし、麥・繭の産あり。省線高山本線南部山麓に沿ひて村内を東西に貫通し、越中八尾驛に近し。八尾町より村内を横切りて北方富山市に通ずる縣道、南部山麓に沿ひて東南方笹津驛に至る縣道あり、其の他數條の道路を東西に分岐し交通便なり。和名抄に婦負郡杉田郷あり。蓋し大字杉田は其の轉訛せしものにして、本村附近を稱せしものになるべし。近世は越原保と稱せらる。大字井田に主馬判官の館址と傳ふものあり。〔西勝寺〕大字絞生にあり。眞宗本願寺派。鳥絞山と號す。初め眞言宗に屬し、金剛院と號せしが文明七年、明宗房これを再興し現宗に轉じ西勝寺と改む。

【杉原】　岐阜縣吉城郡坂下村の大字。省線高山本線の杉原驛（昭和七年設置）を置く。

スキヤ　數寄屋橋　東京市京橋區より鎗町區に架けられたる橋。もと芝口門に因みて芝口橋と稱し南北に架せられしが、芝口門の今の新橋の地に移さるゝや門外の地名に因みて數寄屋橋と稱し、ここに數寄屋橋見附を置かれたり。のち東京市區改正により見附を撤毀し、今の如く架す。また宮橋外の外濠の河岸を數寄屋河岸と稱す。好色一代女・四一律氣千萬なる年寄のねもひ入もいたましく、移氣になつて小宿に行ばしたい事するにそれを持棄、數寄屋橋のかしばたなる煮賣屋に恥を捨てかけ込温飼すことと云ます亭主が目遣ひ見れば（ヤ）隣の子をしへける」

スギヤス　杉安　省線東線の一驛（大正十一年設置）。宮崎縣兒湯郡上穂北村にあり。

スギヤマ　杉山村　愛知縣三河國渥美郡の東部。豊橋市の南方約五粁。北は渥美灣に臨み、南は遠江灘に面す。渥美半島の頸部を占め、中央より稍々南に偏して五—六〇米の丘陵地起伏し、赤石山脈と紀伊山脈を連絡す。海岸は砂濱

發達し建設作用盛なるが、遠州灘の海岸はほぼ一直線の斷崖海岸をなし破壊作用盛に行はる。地質は第四紀古層（洪積層）より成り砂・砂利・粘土の軟質疎鬆なるものとす。東境には萩田川北流し渥美灣に注ぐ。渥美灣に面せる低地には米作行はれ、其他麥・甘藷・大豆・菜を產し漁業も盛なり。交通は地形上不便にして、渥美灣岸の低地には田原街道通ず。又壯線渥美冠線もこと平行し杉山驛（大正十三年設置）を置く。此地は恐らく和名抄の渥美郡磯部郷の地ならん。神鳳抄に杉山御園・獵鷹御厩と見ゆ。〔百々陶器窯址〕指定史蹟。丘陵の斜面に階道狀を呈し數個相並び、上古の構造を知るべきものあり、附近一帯は窯址地帯に屬す。〔八幡神社〕大字杉山に鎮座。郷社。祭神、應神天皇・光仁太子。土御門天皇元久二年の創立と傳ふるも詳かならず。

スギワラダニ　杉原谷村（すぎはらだに）　兵庫縣揖保郡多可郡の北部。加古川支流杉原川の發源地を占め西北部は生野町の東隅に接す。東西は山地をなし中央に谷を成る。西境は約九〇〇米乃至一〇〇〇米の山嶺南北に連り西北境に三國岳、西南境に千ヶ峰あり。東境には約七—八〇〇米の連山あり中央に篠ヶ峰あり。兩山地中央に傾斜し南北に谷を造り北境に源流する加古川支流松原川南流す。中央の谷は低温地をなし米を產し其他麥を出し蠶業も行はれ山地よりは薪炭を產す。中央の谷に沿ひて街道走りそれより數條の山道東西にのびて隣村を結ぶ。北部にて東に分るものは舟坂峠を越し、西北に走るものは三國峠を越ゆ。和名抄に多可郡賀美郷と云ふは本村及び松井庄村に當る。〔雲門寺〕臨濟宗妙心寺派。雄峰山または若耶遠山と號す。應永八年春、周及〔佛德大通禪師〕たまたま當國に來りて本寺に遊び、景德庵を結びて住す。慶長年中、妙心寺開山授玄（無相大師）十四世の法孫空山玄東これを中興す。現に當派別格地たり。

スクク　宿久　攝津國（大阪府）の古地名。和名抄、島下郡宿人郷あり、宿人は宿久の誤ならん。中世は宿久莊に作る。地は凡そ今の三島郡豊川村・清溪村・鎗井村に當り、豊川村の大字に宿久莊の名あり。

スクモ　宿毛町　高知縣土佐國幡多郡西海岸。西は愛媛縣南宇和郡に界し宿毛灣に面す。南北兩部には山岳相連りて中央部に傾斜し中央は平坦にしてこゝを東部より松田川流れて肥沃なる耕地をなし產業の便よろしく米・麥・繭等の農作物の產多し。また鵜島片島なる片島港を中心として漁業盛んにして鰹・鰹等の產の外、珊瑚の採集も少からず。珊瑚彫刻を以て知らるる土佐玉の本場とす。山地よりは用材・薪炭材を出し、畜產の額も少からず。街道は片島より中村町へゆくもの、宿毛町より清水町にゆくもの、同じく岩松に、また宇和島市へゆくもの等數條の縣道あり、宇和島市へゆくものを除く外の交通線は便にて自動車の往復頻繁なり。海上は大阪港・高知港その他九州へゆくもの等ありて汽船の出入繁く海上の運輸便にして四國西南の要港なり。古くは和名抄、幡多郡枚田郷に屬せしもの如し。山内氏藩政の頃安東左衛門佐可氏の封ぜられし所なり。安東氏その先は美濃國本巢郡七間城主なり。山内の麾下となり可氏に至りて國老に列し六千石を賜はりこゝに居し、子孫のちに姓を伊賀と改む。明治三十一年、町制を布く。〔宿毛貝塚〕大字貝塚にあり。民家田圃の間數百坪に弘まりし貝塚なり。この貝塚より貝殻の外繩紋土器破片・石器破片・獸骨・鹿角等を出土す。〔一宮神社〕大字宿毛に鎮座。郷社。祭神、味耜高彦根命。例祭、十月十二日。

スグリ　村主　【村主村】　三重縣伊勢國安濃郡の中部。安濃川の右岸に沿ひ津市の西北約六粁。西半は約二〇〇米の丘陵をなし東半は伊勢平野神積原一部を占め土地平坦にて、東境に沿ひて安濃川東南流し津市より伊勢海に注ぐ。水田多く伊勢米を產し其他麥・茶・菜種等の產あり。中央に一道西北より東南に横斷して津市方面へ通じ東隣安濃村には私設安濃鐵道線東南方新町より西北方椋本へ通ず。古くは村主郷に作る。和名抄に安濃郡村主郷あり、須久刺と訓ず。明治に際して郷域は本村及び明合村・辰水村・草谷村に當るものの如し。〔大市神社〕村社。祭神、大市比賣命ほか數神。式内社。例祭、七月十七日・九月二十三日。

【村主】　紀伊國（和歌山縣）の古地名。和名抄に伊都郡村主郷あり。地は今の伊都郡山田村・應其村・岸上村の邊なるべし。

スグリベ　勝部岡（すぐりべ）　→勝部岡

スグロ　勝呂村　埼玉縣武藏國入間郡の北部。川越市の東南七粁。荒川の支流越邊川の南岸。西は坂戸町に、東より北は比企郡に隣る。面積八・八二平方粁。全村平地にて北半は水田をなし東の一部に桑畑を交へ、南半は畑地をなす。米を主產し他に繭・麥あり。縣道は川越市より來りて西部を北走し又これより分れて坂戸町に通ずるものあり。同町に東武鐵道東上線坂戸町驛あり（約四粁）。本村は和名抄入間郡逢羽郷の內にして、近世は勝呂郷と呼ばれし處。往時は單に勝（すぐり）とも書く。大字堀越及び大字石井は古くより開け附近に古墳多し。石井の字堀內附近一帯の畑中より布目ある古瓦を出すこと頗る多く、尚附近の小字に御門あり、西門前あり、將軍山あり、御殿山あり、此等の小字名は何れの頃より存せしものか詳かならざるも恐らくは勝呂氏の舊跡なりしものなるべし。勝呂氏は七黨兒玉黨の一派にして七黨系圖に兵衛尉家恒の子須

真大部分あり、その子に須玖北方に住し、又次男を高木村に住し、又次男を高木村に住し、又次男を高木村

事務を行なった。

スサイ　周西村　千葉県上総国武射郡の西部。木更津町の西南約四・五粁にあり、小糸川流域に発達した水田地帯である。村域の西南部は丘陵地で、東北部は小糸川に臨む。村の北部には庄屋敷・谷田・大田・大谷口・大谷口新田・大谷口台・大谷口台新田・大谷口台分・大谷口台分新田・大谷口台分新田分・大谷口台分新田分新田・大谷口台分新田分新田分・大谷口台分新田分新田分新田・大谷口台分新田分新田分新田分・大谷口台分新田分新田分新田分新田・大谷口台分新田分新田分新田分新田分・大谷口台分新田分新田分新田分新田分新田・大谷口台分新田分新田分新田分新田分新田分・大谷口台分新田分新田分新田分新田分新田分新田・大谷口台分新田分新田分新田分新田分新田分新田分・大谷口台分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田・大谷口台分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分・大谷口台分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田・大谷口台分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分・大谷口台分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田・大谷口台分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分・大谷口台分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田・大谷口台分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分・大谷口台分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田・大谷口台分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分・大谷口台分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田・大谷口台分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分・大谷口台分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分・大谷口台分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分・大谷口台分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分・大谷口台分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分・大谷口台分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分・大谷口台分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分・大谷口台分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分・大谷口台分新田分・大谷口台分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田分新田

田帖・二上「これから協議のほうへ出す神言葉を選ばれる」、先を読みに協はもとめる言葉の前なる神の名の前に行つて、神のお告げを行ふようにとは言葉に行つて、神のお告げを行ふようにとは言葉に行つて、神のお告げを行ふようにとは言葉に行つて、

【協議】 静岡県中部、富士川下流東岸の町。人口一万二千。

スンシュー　巡州　伊豆国の総称。

スズ　錫

【錫鉱山】 静岡県中部、富士川下流東岸の町。人口一万二千。

スズカイ　筋違　静岡県中部、富士川下流東岸の町。人口一万二千。

スズカケ　鈴掛

…ひで居直し西京命直幹を経之近江までの…にひで居直し西京命直幹を経之近江までの…に命じて東海道より街村設をなして北陸…命に東海道より街村設をなして北陸…方米井より街村設をなして北陸…方米井より街村設をなして北陸…

…大字印の国道三号線石庄二…大字印の国道三号線石庄二

川と、のちふたたび北流して平川の川となる。【語源】北流は流路の屈曲が多いことから。

スナガワ　砂川　北海道

【砂川町】石狩平野の北部を石狩川、中徳富川、雨竜川が流れる。北には空知丘陵が連なり、西は石狩川に接する。

石狩平野と丘陵地帯の境界に位置する。北に空知川を隔てて滝川市、西に石狩川を隔てて浦臼町・新十津川町・雨竜町と接する。

石狩平野を北流する石狩川と、南流する空知川が合流する地点の西岸に位置する。

石狩平野と丘陵地帯の境界に位置する。北に空知川を隔てて滝川市、西に石狩川を隔てて浦臼町・新十津川町・雨竜町と接

村に於ける同姓中最大の戸数を有し、村名の起源となつた。

【砂川】 石川藩領元禄高帳に砂川村とあるが、明治十年外二村と合して北砂村となり、同二十二年砂川町となつた。

スナマチ　砂町　東京市深川区の地名。明治七年大川（隅田川）の東岸に新たに開かれた町で、同十一年に砂川町と改称し、同二十二年に隣接する亀戸町・大島町・元小松川村の一部と合して砂町となつた。現在は東京市の東郊に位し、東は荒川を隔てて千葉県に接し、南は江東区に、西は城東区に、北は江戸川区に接する。大正十二年九月一日の関東大震災後、罹災者の移住地として急激に発展し、人口は大正九年の一万二千余から昭和五年には六万余に増加した。

スナミ　砂見　島根県那賀郡にあつた村。大正七年十月一日、浜田町・佐野村・国府村・周布村・下府村・三隅村・古市村・井野村・井野村・井野

に足る程度にて、對岸貿易の如き全く不振の狀態にあり。明治二十八年帝國領臺以來數次行政上の變遷を經て大正九年十月に至り、清領時代より存續し來たりし堡は廢せられ、十六庄を一括して新に沙山庄（土地の情勢に因みて名づく）となり、臺中州北斗郡に編入せられ、現在に至る。

スナリ　須成　愛知縣海部郡にありし村。明治三十九年本村ほか一町二村を廢し神守村を置く。

ズナン　豆南諸島　伊豆半島の南方北緯三五度より我委任統治のマリヤナ群島に近き北緯二四度迄の間、深さ四〇〇〇米に及ぶ深海に雁行狀に排列する海底山脈の上に聳起せる多數の火山島の總稱。卽ち大島・利島・新島・神津島・三宅島・御藏島・八丈島等の所謂伊豆七島と、その屬島なる鵜渡根島・地内島・式根島・早島・祇内島・恩馳島・大野原島・關瀨波島・小島・青ケ島・ベヨネーズ島・スミス島・鳥島・硫黄島・弟島・南鳥島等を總括する小笠原諸島とに二大別され、狹義の場合には前者のみを指稱す。行政上は東京府に屬し更に前者に大島・八丈島、後者に小笠原島の三島廳を設く。

スノサキ　洲崎　→西岬村（千葉縣）

スノマタ　墨俣町　岐阜縣美濃國安八郡の東北隅。北は本巢郡牛牧村、東は長良川を隔てゝ稻葉郡日置江村・鵜飼郡小熊村、南は結村に夫々接す。此地は濃尾平野の中部に位し長良川や揖斐川のデルタ上にあり。町の北部には中川・五六川・犀川が集り低濕地をなし犀川の如きは自由曲流をなし、三川は合して長良川に合流す。長良川は東境を南流す。此等諸川は各々天井川を成し殊に四圍は川を以て圍まる。爲に古來水害多く（こゝに輪中形成せられ之を墨俣輪中（又は結輪中）と云ふ。產業は卑濕地なる爲粟く水田にして堤外地の砂地には桑園多く分布す。水田地域も從來は一毛作なりしが堀田等を行ひまた渦氣拔きをなし裏作も行はる。米が第一の產物にて麥・蠶豆・柿の產も多く養蠶も盛なり。交通としては此地は古來美濃路の宿驛にして長良川は渠橋せられず渡船により此地はその渡頭集落なり。伊勢灣より長良川を溯航し來の移出行はれたり。近年は岐阜と大垣間市を結ぶ岐垣國道開通し長良川にも架橋され爲に中山道のトラック交通も之により寥はる。岐阜・大垣・穗積にバス通じ東海道線穗積驛へは四粁あり。此地は和名抄の安八郡物部鄕の內にして、中世は墨俣宿と云はる。また結村等と共に二ツ木莊とも云はれ、いま二ツ木の地名殘る。墨俣宿には朱印制札ありて傳馬三十六疋、結村と合せて九百八十一石餘、堤役を免ぜらる。元和二年傳馬役の者には米三十六石を給せらる。傳馬助鄕は初め二十二個村九千九百三十石餘あり。この地は碁盤小熊村、南は名森村、西は結村に夫々接す。此地は濃尾平野の中部に位し長良川や揖斐川のデルタ上にあり。町の北部には中川・五六川・犀川が集り低濕地をなし犀川の如きは自由曲流をなし、三川は合して長良川に合流す。長良川は東境を南流す。此等諸川は各々天井川を成し結村を距て西には揖斐川が流れ殆ど四圍は川を以て圍まる。爲に古來水害多くこゝに輪中形成せられ之を墨俣輪中（又は結輪中）と云ふ。產業は卑濕地なる爲粟く水田にして堤外地の砂地には桑園多く分布す。水田地域も從來は一毛作なりしが堀田等を行ひまた渦氣拔きをなし裏作も行はる。米が第一の產物にて麥・蠶豆・柿の產も多く養蠶も盛なり。交通としては此地は古來美濃路の宿驛にして長良川は渠橋せられず渡船により此地はその渡頭集落なり。伊勢灣より長良川を溯航し來の移出行はれたり。近年は岐阜と大垣間市を結ぶ岐垣國道開通し長良川にも架橋され爲に中山道のトラック交通も之により寥はる。岐阜・大垣・穗積にバス通じ東海道線穗積驛へは四粁あり。此地は和名抄の安八郡物部鄕の內にして、中世は墨俣宿と云はる。また結村等と共に二ツ木莊とも云はれ、いま二ツ木の地名殘る。墨俣宿には朱印制札ありて傳馬三十六疋、結村と合せて九百八十一石餘、堤役を免ぜらる。元和二年傳馬役の者には米三十六石を給せらる。傳馬助鄕は初め二十二個村九千九百三十石餘あり。この地は碁盤小熊村、南は名森村、西は結村に夫々接す。此地は濃尾平野の中部に位し長良川や揖斐川のデルタ上にあり。町の北部には中川・五六川・犀川が集り低濕地をなし犀川の如きは自由曲流をなし、三川は合して長良川に合流す。長良川は東境を南流す。此等諸川は各々天井川を成し結村を距て西には揖斐川が流れ殆ど四圍は川を以て圍まる。爲に古來水害多くこゝに輪中形成せられ之を墨俣輪中（又は結輪中）と云ふ。產業は卑濕地なる爲粟く水田にして堤外地の砂地には桑園多く分布す。水田地域も從來は一毛作なりしが堀田等を行ひまた渦氣拔きをなし裏作も行はる。米が第一の產物にて麥・蠶豆・柿の產も多く養蠶も盛なり。交通としては此地は古來美濃路の宿驛にして長良川は渠橋せられず渡船により此地はその渡頭集落なり。伊勢灣より長良川を溯航し來の移出行はれたり。近年は岐阜と大垣間市を結ぶ岐垣國道開通し長良川にも架橋され爲に中山道のトラック交通も之により寥はる。岐阜・大垣・穗積にバス通じ東海道線穗積驛へは四粁あり。此地は和名抄の安八郡物部鄕の內にして、中世は墨俣宿と云はる。また結村等と共に二ツ木莊とも云はれ、いま二ツ木の地名殘る。墨俣宿には朱印制札ありて傳馬三十六疋、結村と合せて九百八十一石餘、堤役を免ぜらる。元和二年傳馬役の者には米三十六石を給せらる。傳馬助鄕は初め二十二個村九千九百三十石餘あり。この地は碁盤小熊村、南は名森村、西は結村に夫々接す。此地は濃尾平野の中部に位し長良川や揖斐川のデルタ上にあり。町の北部には中川・五六川・犀川が集り低濕地をなし犀川の如きは自由曲流をなし、三川は合して長良川に合流す。長良川は東境を南流す。此等諸川は各々天井川を成し結村を距て西には揖斐川が流れ殆ど四圍は川を以て圍まる。爲に古來水害多くこゝに輪中形成せられ之を墨俣輪中（又は結輪中）と云ふ。產業は卑濕地なる爲粟く水田にして堤外地の砂地には桑園多く分布す。水田地域も從來は一毛作なりしが堀田等を行ひまた渦氣拔きをなし裏作も行はる。米が第一の產物にて麥・蠶豆・柿の產も多く養蠶も盛なり。交通としては此地は古來美濃路の宿驛にして長良川は渠橋せられず渡船により此地はその渡頭集落なり。伊勢灣より長良川を溯航し來の移出行はれたり。近年は岐阜と大垣間市を結ぶ岐垣國道開通し長良川にも架橋され爲に中山道のトラック交通も之により寥はる。岐阜・大垣・穗積にバス通じ東海道線穗積驛へは四粁あり。此地は和名抄の安八郡物部鄕の內にして、中世は墨俣宿と云はる。また結村等と共に二ツ木莊とも云はれ、いま二ツ木の地名殘る。墨俣宿には朱印制札ありて傳馬三十六疋、結村と合せて九百八十一石餘、堤役を免ぜらる。元和二年傳馬役の者には米三十

月井口城を攻略するを得。墨俣にはまた市が立ちし事ありて永祿二年より六齋に立つる事許可あり。然れども二三年にして不繁昌の爲め止むと云はる。此町は軍事上、交通上重要の地なれば、古來遙嶽中原の地となれり。卽ち養和元年二月平清盛薨じ、重衡・維盛は美濃の源氏追討に下向し、三月墨俣川の西岸に陣し、東國源氏を防がんとせり。源行家は手勢騎を以て東岸に陣を布き相對せり。頼朝の弟義圓も六千餘騎を引具して之に加り兩者各々平軍を援はんとして機先を爭ひ終に戰利あらず、義圓は破れ行家も大敗せり。承久の亂の時にも洲俣には大屋何內判官代藤原秀澄・山田次郎重忠等一千騎陣したれども、東軍武田信光等遮軍し洲俣に於ては秀澄既におそれをなし逃れ、重忠獨り留りて奮戰せしが終に退きこゝに官軍一敗地にまみれたり。（墨俣神社）墨俣に鎭座。鄕社。祭神不詳。式內社。一に墨俣明神と云ひ從五位下に敍せらる。例祭、十月二十六日。（明泉寺）淨土宗西山派。清光山と號す。弘仁中、墨俣川の橋杭自然に朽ちて地藏尊の形を爲す。里人一宇を創して之を安置す。

スハ　周芳國　→周防國

スバシリ　須走村　靜岡縣駿河國駿東郡の北部。富士山の東麓を占め南は御殿場町に接す。北境に小富士其の他の隆起ありて多少波狀を呈する外はなだらかなる傾斜面をなし、富士登山口の一、東口登山道は六合目附近までは驛道にして下山の際は六合目（約二九六七米）より太郎坊（一六二〇米）までの間火山礫より成る急傾斜の谷を走り下るを常とし、須走の名の因つて生ずる所なり。御殿場及び甲州吉田口へは驛道通じ、何れもバスの便あり。須走とは砂走の訛にて此地は富士山噴火の際、礪沙飛灰の降下殊に多かりしと。寶永四年爆發の時の如きは本村の災害最も大にして今も地底丈餘の下に當時埋沒の家屋を見るといふ。村內の矢倉山に永久殉難の一人藤原光親神靈の遺跡あり。此地は須走口と稱し富士山の東方の登山口として知らる。この登山道の火山砂礫上を下る時は砂と共に一步にして數間を走り得、隔る壯快を極む。（富士淺間神社）縣社。祭神、木花開耶姫命外二神。延曆二十一年の創記。始め同年正月富士山東麓噴火し被害甚だし、國司・郡司等佩火所願せんとて當村の邊りに祭事を行ふ。四月初申に至りて噴火慥む、依つて雜藁として社殿を創建し大同二年經工す。天正年中武田氏は此殿を修理し社領を寄せ崇敬厚し。寬文三年相州小田原城主稻葉美濃守、貞享三年同稻葉丹後守、元祿四年同城主大久保氏等の相次で此殿の修理を怠らざりしが、寶永四年十一月再び富士山中腹噴火し、被害慘甚に陷し古文書その他を悉く失ふ。天保三年に幕府の命にて社殿修造成る。一時この地を離れし大久保氏は實層年中に

氏は特に禮器し、奉仕の神官に五十三戶を附せりと云ふ。例祭、四月八日。（洲原神社佛法僧寶殖地）指定天然記念物。佛法僧は其鳴聲佛、法、僧の三寶を唱ふと稱せられ一名三寶鳥と云ふ。東亞及び南洋に廣く分布するも本邦には比較的稀なり。本地はその寶殖地として古來顯著なるものなり。

スハラ　須原　【須原村】新潟縣越佐國北魚沼郡の北部。北は上條村、西は廣瀨村、南は鎭神村、東は入廣瀨村に隣す。越後山脈中の一部を占め、全村山地にて、東南境より南境にかけては高鼻山（八一八米）・唐松山（一〇七九米）・上權現堂山（九九八米）連亙して、何れも村內に向ひて西北に傾斜し、西北境附近も五〇〇米餘の山地にて、東南に傾斜し、兩山地の裾合を破間川西南に流る。山地一帶森林多く、破間川の流域は稻平地ありて水田・畑地をなす。川に沿ひて縣道あり。聚落はこれに沿ひて發達し、他は北部に村道あるのみ。

【須原】長野縣西筑摩郡大桑村の大字。省線中央本線の須原驛（明治四十二年設置）を置く。

スフ　周布　【周布村】島根縣石見國那賀郡の西南部。濱田町を去る西南約八粁。西北は日本海に面す。東・北・南の三背地を圍わ中國山脈の浸蝕性臺地の脚は內部花崗岩を露出し、海底に沒す。海岸はリヤス海岸にて、此邊一帶は鳥嶼に富み白鳥・アゴ鳥など點在して風景佳なり。周布川は東界の山地に谷を劃み、西北に流れて村の中央部を貫き日本海に入る。沿岸の沖積平野には稻田發達して村民を吸收し農・養蠶に從事せしむ。生絲・和紙・赤瓦を產す。また漁業に活躍し海陸交通の一要地たり。近海にはいか・鰯などの產多く、鰯を作る。省線山陰本線は東北の濱田町・長濱村を經て海岸に近く略南北に走り、周布驛（大正十一年設置）を設け、山陰街道またこれと並行し、交通不便ならず。古くは周布鄕に作る。和名抄に那賀郡周布鄕あり主不と訓ず。而して鄕域は本村及び大內村・三階村・澁山村・大麻村・井野村等に當る。中世この地に御神本氏の族地名を負うて周布氏を稱す。【周布古墳】指定史蹟。山麓の傾斜地にあり、前方後圓墳古墳にて封土は略二段に築かれ南々東に面す。長徑約二百二十五尺、後圓部徑約百二十尺、高さ約二十三尺、前方部幅約八十尺高さ約十四尺。表面には葺石を存し松樹等生育せり。後圓部頂上に四處あり前方部東側は隣接せる宅地擴張のため削られたる部分あるも、略全形を見るに足る。石見地方代表的のもの。（應德寺）周布にあり。曹洞宗。眞言宗より轉ず。開山と號す。推古天皇の朝、周布入道覺信を開基とし、聖德太子作の釋迦本尼佛像を本尊とす。

スフ 【同布】 →ふ(麩)

スフ 周歳 【同歳(歳)】 作業員(使役獣)の右肩名。

スホー 周防 【周防】 →すおう

スマ 須磨 神戸市の区名。

スミ 墨 【墨】 →すおう

スミ 角 【角】 →すおう

スミ 隅 【隅】 →すおう

スミ 炭 【炭】 →すおう

スミ 澄 【澄】 →すおう

スミ 墨 【墨

【住吉】 島根県簸西郡西谷郷にありし村。昭和十年来手市に編入す。

【住吉】 宮崎県門郡（山口県）の古称名。和名抄に阿宋郡住吉郷あり、その地は今の福岡県小倉市の内に属せずや。

【住吉村】 栃木県河内郡の中部。鬼怒川の西岸に沿ひ、東南は中川原村・鮎貝村・泉村・豊郷村に、西は三依村に、北は中川原村・鮎貝村・泉村・豊郷村に接す。面積は六・七四方粁。今村の中部は鬼怒川の流域にして、東部は丘陵地なり。中部は耕地にして、東部は丘陵地なり。中部は耕地にして、東部は丘陵地なり。中部は耕地

スモト　栃木村　栃木県南東部、鹿沼市の東に接する。東は南摩村・上都賀郡粟野村、南は西方村・合戦場村、西は日光山麓を経て上都賀郡足尾町に至る。鉄道は東武日光線が通じ、新栃木駅がある。明治二十二年町村制施行により栃木町・大平村・富田村・藤岡村・都賀村・岩舟村・静村・皆川村・赤麻村・吹上村・寺尾村・西方村・合戦場村・大柏村・下彼村・下皆川村・下津原村・下古山村・上古山村・上津原村・上彼村・上皆川村・下都賀郡下都賀村・下都賀郡下都賀村・下都賀郡下都賀

長十年家康碧軍職を子秀忠に讓りて後、内藤信成を近江長濱に移し、酒井忠利を武藏河越に移して、自ら府中に居す。元和二年家康薨じて後は子頼宣がこれに居り、元和五年頼宣の和歌山に轉ずるに及び寛永二年甲府の徳川忠長を移せしも、九年誅ありて移され、爾後駿府城代を置きてこれを管す。正保年中に至り松平忠重が田中に封ぜられしも、その後、屢々領主を更へて本多氏に至り、元祿年中には松平(譜牒)信治が小島(俗原郡)に封ぜられ、安永七年には水野忠友が沼津に封ぜられ、以上三藩を以つて明治維新に至る。明治元年戊辰の役徳川の處分定まり、徳川の支族田安家の家途を以て徳川の宗家を嗣がしめ、駿遠二國七十萬石を與へて府中に居らしめし時、田中の本多氏(四萬石)を安房の長尾に、沼津の水野氏(五萬石)を上總菊間に、小島の松平氏(一萬石)を同じく上總の櫻井に移すや、同二年府中を改めて靜岡とし、藩名もこれに從ひて改めしも、同四年七月靜岡藩を廢して靜岡縣とし、駿河國一圓をその所管とす。同二十一年四月靜岡市獨立す。駿河國は元來七郡たりしも、同二十九年には有渡郡を廢して安倍郡に合併し、益津郡を廢して志太郡に併せ、沼津市・清水市も相次いで獨立してこゝに駿河國は三市・五郡となりて今日に至る。駿河の枕詞は「片鬘を」及び「うちえする」にして古來多く歌に詠まる。

【駿河】 駿河國の古郡名。續日本紀延暦十年の條に駿河郡大領金刺舎人廣名を以て國造となす由載せ此時初て郡名見ゆ。和名抄は國名と同じく須流加と訓じ、柏原・矢部・子松・吉家・玉造・横走・駿河・山埼・宍人・永倉・宇良の十一郷を置く。中世駿東郡と改め以て今日に至る。

【駿河灣】 東海地方靜岡縣にある大灣。東は伊豆半島の岩石海岸、北は富士山麓につづく砂丘海岸、西は駿河及び遠江の平野及び丘陵地の海岸、南は太平洋に開き、伊豆南端の石廊崎と遠江東南端の御前崎とを結ぶ線にて限らる。海底の中央部は、富士川口沖より南方へ一直線に走る千米以上の深海たる駿河灣海溝あり。その兩側は急に淺く、ほぼ五十米以下の淺海が恰も陸上に於ける臺地の如く存在す。これ即ち獨の海にしてその最淺部所は僅かに三十餘米に過ぎず。絶好の漁業地にして、焼津町の此地域の漁業の中心たる原因の一をなす。灣内に小灣所々あるも西北の清水港最もよく利用さる。三保の特徴ある砂嘴突出せるもこゝなり。灣に注入する河川としては富士川・大井川の二大河を始め、安倍川・狩野川等ありてそれぞれ河口に三角洲をつくる。

【駿河】 省線御殿場線の一驛(明治二十二年設置)。靜岡縣駿東郡小山町にあり。

スルガチョー 駿河町 東京市日本橋區の町名。駿河の富士山のよく見あらるるに起りし名稱。室町二丁目・同三丁目の間を西へ曲りし横町、元三井越後屋あり、現今三井銀行・三越百貨店の所在地。好色二代男・三「去方に金子弐百兩と、十八九成小娘を獨付て來る、是非よばしやれといふ、其小例は切もなく、かゝる目もないかとへば、駿河町の勘四郎包にして渡しましよと慥に申」日本永代藏・「三井九郎右衛門といふ男、手金の光むかし小例の駿河町と云所に、面九間に四十間に棟高く長屋作りして、新棚を出し、萬現銀賣にかけねなしと相定め、四十餘人利發手代を追まはし」狂歌江都名所圖會「するが町不二をみつ井の見世の者、客を呼びこむ扉もなる澤楓成」同「駿河町富士をみつ井のしら縒の鵜鳥もあり山まゆもあり 草のや宮芳」

スルサハ 摺澤村 岩手縣陸中國東磐井郡の中部。南部及び北部は二一三百米前後の丘陵地にて、何れも中央に向ひて低落し、中央に東西に俠長なる谷狀の低地を形成す。砂鐵川の支流は東方より來りてこの低地を西流し、西部に於て本流に合して更に西流す。地質は殆んど花崗岩より成る。主生業は農なるも、近時交通上郡北の中心地となりたるを以て、商工業方面にも著しき發達を見るに至れり。農産物は米・麥・葉煙草等、養蠶は繭約二萬三千圓・桑葉約二萬圓、林産物は木炭約一萬二千圓で最も多く若干の用材・薪炭材あり。石材も出す。畜産物は豚の三二〇頭を最とし山羊・乳牛等また絶からず、家兎も近年頓る其數を增したり。工業は漆器製造盛んにして年產四萬圓、殊に膳は國東以北第一と稱せらる。其の外電氣石は遼東以北第一と稱せらる。其の外電氣石は遼東以北第一と稱せらる。其の外電氣石は遼洲國にも及び藥石リシームを含有する天然藥石を加工す。また若干の酢・醤油・土管・瓦を出す。交通は省線大船渡線西より南に貫通し摺澤驛(大正十四年設置)を置き、今泉街道は村の中部を東西に走り、東方大原町を經て高田町方面にバス通じ、また盛民村・猿澤村・興田村方面にもバス通ず。

後冷泉帝の安和年中、奥玉村より分離、獨立せりと傳へられ、村名は、玉(水晶)を磨製せし地との傳說に起因す。當初は先住民族の多數婚踞せし所なるべし。現在にても、石器・土器等の發掘せらるゝもの多し。平安朝末期、前九年・後三年の役に兵馬の鬪場せし所となる。現在の地名にして、當時の古戰場たりしによるもの頗る多し。文治年中葛西氏の領となるや、部將岩淵氏、八町館に據りて、爾來約四百年間、村を統治せり。豐臣氏の天下統一により、葛西氏滅亡せし後、木村秀俊、蒲生氏郷を經て、伊達政宗の治下となり、天和二年田村宗良の治下となり明治維新に入り、今日に至る。維新當時、水澤縣支廳のおかれたる事あり。大正十四年、大船渡線開通せしより急速に發展しつゝあり。(八町館) 安和年中、安倍忠賴八方八町に傳へて造りし館。後安倍貞任の營營となり、後年葛西氏の部

將吉澤氏の營館となる。【玉輪塔】八町館主岩淵氏累代の墓なりと傳へらる。岩淵氏の後裔は後、伊達家に仕へ、摺澤家としで現存せるにより、摺澤家祖先の墓といふべし。【鶴ケ峯】一名玉淵山と稱す。元正帝の御代時の國司某、一大水晶を發掘し、之を磨製し長き邊に獻上せしと傳へらる。村の起り之によるなり。

スルラ——社 臺灣高雄州潮州郡の蕃社。高砂族の部落、パイワン族の中ブヌル系統の部族に屬す。潮州線潮州驛より東北方約二四粁の山嶽地帶にあり。

スワ 周防 すわ →廻防村(山口縣熊毛郡)

スワ 須波 すわ 信濃國(長野縣)の古地名。和名抄、小縣郡に須波郷あり、いま上田市に大字諏訪形あり、或は此邊か。一に雞尾村邊ならんともいふ。

スワ 諏訪 すわ

【諏訪村】 茨城縣常陸國鹿島郡の北部。鹿島灘に臨む。西は鉾田町に隣る。全村低き臺地にて畑地をなし所々林を交へ西南境附近に稍低凹ありて水田をなす。海岸附近も低地少く海岸は單調なる砂濱をなす。農業行はれ麥を主產し他に米を產す。縣道は中央を南北に通じ又これと分れて北浦の北岸なる西隣鉾田町に通ずるものあり。同町に鹿島參宮鐵道鉾田驛を置く。バスの便宜し。古くは和名抄鹿島郡三宅郷の內に當るものゝ如し。また本村の大字安房(あぼう)は、古くは安倍にも作り、鎭田氏天禄二年文書に安倍、同郡文二年(正平十二年)文書に鹿島安房郷と見ゆる地ならん。(新考補)【安祥寺】曹洞宗。寶雲山と號し豆州賀茂郡遠川村菩門院來たり。大同元年創建、大了明徹和尚の開基、開山を廣寶存海大和尚とす。弘治年中に至り光琮和尚中興す。

【諏訪鐵山】 本邦重要鐵山の一。茨城縣多賀郡鮎川村及び助川町に跨る。此邊の地質は秩父古生層にて粘板岩・千板岩・石灰岩・緑泥片岩・角閃片岩の層狀岩と變質せる斑岩・輝綠岩・閃綠岩質の火成岩より成り、鐵床は主として綠泥角閃片岩を母岩とし、多少の細雲母片岩を伴ひ細粒緻密質の黃鐵鐵なるが、少量の磁鐵鐵・磁硫鐵鐵をも含有す。鐵區は六十七萬五千餘坪に亙り、鐵種は金銀銅硫化鐵なるが近年は專ら硫化鐵鐵のみを產し、昭和十年產額約三萬三千七百瓲、慣額約三十七萬七千圓にて鐵夫約百六十人を使用し日本鐵業會社の經營に屬す。鐵山名は鮎川村の大字諏訪に因む。

【諏訪村】 新潟縣越後國中頸城郡の中部。高田市の東北方約六粁。飯田川に沿ふ。頸城平野の中部を占め、飯田川は東部を西北に流れて、北部にて保倉川と合し、直江津港に注ぐ。土地肥沃にして水田開け、上越米の產地なり。村の北部を貫通せる縣道は直江津港より信濃川中流の十日町に至るもの、其の他高田市、省線信越本線黒井驛、社線頸城鐵道の北四屋驛より、頸田氏天禄二年文書に安倍、同郡文二年(正平十二年)文書に鹿島安房郷と見ゆる地ならん。(新考補)【安祥寺】曹洞宗。寶雲山と號し豆州賀茂郡遠川村菩門院來たり。大同元年創建、大了明徹和尚の開基、開山を廣寶存海大和尚とす。弘治年中に至り光琮和尚中興す。

【諏訪鐵山】 本邦重要鐵山の一。茨城縣多賀郡鮎川村及び助川町に跨る。此邊の地質は秩父古生層にて粘板岩・千板岩・石灰岩・緑泥片岩・角閃片岩の層狀岩と變質せる斑岩・輝綠岩・閃綠岩質の火成岩より成り、鐵床は主として綠泥角閃片岩を母岩とし、多少の細雲母片岩を伴ひ細粒緻密質の黃鐵鐵なるが、少量の磁鐵鐵・磁硫鐵鐵をも含有す。鐵區は六十七萬五千餘坪に亙り、鐵種は金銀銅硫化鐵なるが近年は專ら硫化鐵鐵のみを產し、昭和十年產額約三萬三千七百瓲、慣額約三十七萬七千圓にて鐵夫約百六十人を使用し日本鐵業會社の經營に屬す。鐵山名は鮎川村の大字諏訪に因む。

【諏訪村】 山梨縣甲斐國東山梨郡の西部。笛吹川上流に沿ふ。東北境に大鳥山・小鳥山(一三六九米)の山峰を負ひ、西南隅に小檜山(一七一三米)屹立し、兩山地の裾を西より南に流るゝ何川、東南隅にて笛吹川に合す。村内概ね山林をなし、平地は東南に多少あるのみ、桑園・水田・桑・米・養蠶・農業行はれ繭・桑・米・豪の產ある外に西南部谷沿には數箇所に發電所あり。西北部恩賜縣有林に通ずる林用手押軌道あり。東南部笛吹川本流に沿ふ臨道は統文所道の一部なり。【諏訪神社】宇佐に傳座。應神・神功・武御名方命。例祭、八月十五日。【雲峯寺】宇植口にあり。臨濟宗妙心寺派。米澤山と號し、仁壽元年の創建、智證大師の開山にして中興開山を圓滿國師とす。(萬勝寺)眞宗大谷派。甲山と號す。應永三年の創建。初め兜山信樂院と號し、天台宗に屬せり。寛正六年兵火に罹り、再建の際甲山蓮勝院と改號す。大永二年四世了寒、本願寺實如に歸依し現宗に轉じ萬勝寺と改稱す。

【諏訪郡】 長野縣信濃國の中部。諏訪湖岸に發達せる諏訪盆地一帶の地。西南は上伊那郡に界す。面積七一二・八九方粁。東部は富士火山帶に屬する八ケ嶽(二八三〇米)より蓼科山(二五三〇米)に及ぶ峻峯連亙し甲府盆地・佐久平とを隔りて郡内になだらかなる裾野を引き、西南は守屋山(一六五〇米)一帶の山嶽により伊那谷に接し、西北は三峰山(一八八七米)・鉢伏山(一九二九米)等の連峰により松本平とを分てり。諏訪湖は郡の西部海抜七五九米にある斷層湖にして、之より東南部の富士見驛(九五〇米)に至るラケット形の盆地、所謂諏訪平開けり。此處は湖水の產める產業を生命とする地方、直接に天然氷を切り出し、山國に湖魚を養すのみならず、湖脚にかけし水車工業が水力電氣に代り、一躍日本第一の製糸都市岡谷を產み、又寒さが故に冬は

…ど天竜川の水を引いて水田を開いた。

スワチョー 諏訪町 ……東京市麹町区の町名。大正十一年の区制施行の際、旧麹町区の一部と旧神田区の一部とを合併して成立した。北は富士見町、南は隼町に接する。面積〇・六平方粁、人口一万一千余（大正十四年）。

スワノセ 諏訪之瀬島 ……鹿児島県大島郡十島村に属する火山島。十島村の中心である口之島の西方約二〇粁の海上にあり、東北東から西南西に走る長さ約八粁、幅約三粁の細長い島である。面積一八・六平方粁、人口一九〇（大正十四年）。島の中央に標高七九九米の御岳がそびえ、その頂上に直径約一粁の噴火口がある。噴火口の底は海面下約一〇〇米に達し、内部は絶壁をなして海水を湛えている。噴火口の西北麓に集落があり、ここに十島村役場の出張所がある。

スワノタイラ 諏訪ノ平 ……長野県北佐久郡の高原。浅間山の北麓、標高一、〇〇〇米内外の地点にある。

スンス 寿立鉱業所 ……北海道檜山郡の寿都町から寿都湾に注ぐ寿都川の支流、寿立川の流域にある鉱業所。明治四十二年に開業した。

スンナー 鷲津部 ……静岡県(旧遠江)十三等の一。現在は静岡県に属する。面積六〇・三平方粁、人口一万一千余（大正十四年）。その東に接する浜名湖の大半を占め、東部は砂嘴を以て湖と遠州灘とを隔てる。この砂嘴上に今切村があり、その東端に荒井町がある。

スンプ 諏訪 ……→諏訪

の水を供給するに過ぎない。

セ

セセ　兄山・骨山　よばれ方

セセ一　西　いし

【西区】　東港区の西方を流るゝより名。

【西面】　朝鮮江原道洪川郡の東北部。

東は日本海に面す。東部には七寶山地の北部に続く、中央平均海抜一、〇〇〇米の山嶽あり。中部に白嶽山（二、三五四米）・観音峰（二、一五四米）等の嶺立峻立し、西部も亦た一、〇〇〇米の山地多く、北部に於て低平にして耕地の開けたるも、大体に於て低平にして耕

都府は大台山脈中に在し、雄に東北方に
山岡けてその一部に本地を見る。即ち宮古
山(一七〇八米)は北端に最も高くそ
て、東は北端に最も高く
(一二三四米)などを連ね、南端の五葉山
(一三五三米)に至る。而して宮古・五葉山
の間山は各峡谷に富む。更に東南部北上盆地
の間に各峡谷に富む。更に東南部北上盆地
山地、山勢少なく、だだら状に起伏する三陸海岸
に至る。物産は特記すべきものは
少く、僅かに木炭・薪・
【西面】 朝鮮江原道平康郡の中部。平
康面の西に位する。四境は各郡に接し、
北端には鳥嶺山(八一六米)・寒谷山・屋
谷山(八一六米)、西境には大王峰山、南境
に大王峰山、南境は各郡に接し、
良北境には鳥嶺山(八一六米)、西境に
山岡けてその一部に本地を見る。即ち宮古
山(一七〇八米)は北端に最も高くそ
て、東は北端に最も高く
(一二三四米)などを連ね、南端の五葉山
(一三五三米)に至る。而して宮古・五葉山
の間山は各峡谷に富む。更に東南部北上盆地
の間に各峡谷に富む。更に東南部北上盆地
山地、山勢少なく、だだら状に起伏する三陸海岸
に至る。物産は特記すべきものは
少く、僅かに木炭・薪・

て春期秋期には多くの渡鳥を見る。
島川・美湖川右岸の平地には水田多く、
に適し、米の産額多し。
り、西部は高さ三百米の丘陵多く、
せしと雖ふる瓦礫の地を存す。
【西面】 朝鮮江原道平康郡の西南部。平
康面の西に位する。四境は各郡に接し、
北端には鳥嶺山(八一六米)・寒谷山・屋
良北境には鳥嶺山(八一六米)、西境に
大王峰山、南境は各郡に接し、
山岡けてその一部に本地を見る。即ち宮古
山(一七〇八米)は北端に最も高くそ
て、東は北端に最も高く
(一二三四米)などを連ね、南端の五葉山
(一三五三米)に至る。而して宮古・五葉山
の間山は各峡谷に富む。更に東南部北上盆地
の間に各峡谷に富む。更に東南部北上盆地
山地、山勢少なく、だだら状に起伏する三陸海岸
に至る。物産は特記すべきものは
少く、僅かに木炭・薪・

都府は大台山脈中に在し、雄に東北方に
山岡けてその一部に本地を見る。即ち宮古
山(一七〇八米)は北端に最も高くそ
て、東は北端に最も高く
(一二三四米)などを連ね、南端の五葉山
(一三五三米)に至る。而して宮古・五葉山
の間山は各峡谷に富む。更に東南部北上盆地
の間に各峡谷に富む。更に東南部北上盆地
山地、山勢少なく、だだら状に起伏する三陸海岸
に至る。物産は特記すべきものは
少く、僅かに木炭・薪・

【西面】 朝鮮江原道平康郡の中

（四〇三米）あり、西境の中部には國師峰（五九一米）・葛美峰（五一八米）、南部には武盛山（六一四米）ありて、それらの山脚東方・北方に延びて面の西半一帯に高さ三四百米の丘陵地をつくる。錦江の支流正安川は北部に發して面の東偏を南流し、西部の丘陵地より來る三條の小支流を合せ南隣儀堂面に出づ。これらの川筋に幅一粁内外の低地ありて畓田・畑地をなし、米・麥・大豆・棉・煙草等の農產を出し、第二金鑛・藏財鑛山・公州東昌金鑛等ありて金・銀を產す。木浦・京城間の一等道路、正安川の平地を縫貫し、南は公州、北は天安へバスを通じ、交通便利なり。

セーアン　清安面　朝鮮忠清北道槐山郡の西部。郡邑槐山面の西南約八粁。西南境に坐龜山（六五七米）の山脚蟠り、一脈は中部を走りて高さ五〇〇米臺の丘陵嶢るも地勢は急峻ならず、西北部の面邑清安を中心にやや廣き平地拓け、中央の丘陵を分水嶺として西には美湖川の一支實崗川、南には漢江の一支達川流れ、その流域は地味肥えて農耕盛んなり。產物は米・麥・大豆・棉・煙草・繭等を主とし、また黃產金鑛よりは金・銀を出す。清安を中心に道路網發達し、社線朝鮮鐵道忠北線の清安驛（谷坪面）に近く、南部にも槐山・米院間の三等道路通じ交通不便ならず。清安には郡中槐山に次ぐ繁華地にして定期に市場開かれ穀類・織物等の取引活況を呈す。

セーエン　聖淵面　朝鮮忠清南道瑞山郡の略中央部。郡邑瑞山面及び仁旨面の北に隣る。面積四二方粁餘。南境と西北境上に高さ二〇〇米内外の低山性山嶽あり、それらの山脚面内に延びて低き丘阜起伏するもの間に所々小低地あり。面の北東部は牛鳥駅をなして京畿灣南部の狹長なる一支灣の末端に突出するも沿岸は水淺く干潮には泥地露出し舟泊に特適あり、近年面の發展に屬し市場の設備宜しく、夏季浴客絶えず。

セーカ　書蝦面　朝鮮全羅北道金堤郡の北西部。萬頃江下流南岸に沿ひ、東南は金堤邑と白山面を隔つ。面積約二〇方粁。全北平野の一部に當り、中部に高さ二〇米内外の低き臺地ありて南方につづき、その低處には龍山堤をはじめ多くの灌漑用の池塘あり、その他は至る所低平にして畓田實く拓け、米を主とし麥・棉等の農產多し。金堤・萬頃よりの三等道路は西北部に通じ、萬頃江岸の葛山里よりは對岸沃溝郡大野面の新倉津に渡船の便あり。

セーカ　清河面　朝鮮慶尙北道迎日郡の北部東偏。東は日本海に面す。大白山脈に屬する香爐峰（九三〇米）西北境上に聳え、その山嶽西境及び北境に延び面の西北半部は山地深きも、東南半部の南半は高さ一五〇米内外の丘陵地、北半は平坦地をなして耕地發達し米・麥・豆等の農產を出す。東岸の月浦側は良港地をなすも海上は鹽・鹽・太刀魚等の好漁場にてまた若布・海苔の產あり。浦項・盈德間の二等道路東南部を縱走してバスの便あり。

セーカイ　西海　【西海】→村松村（長崎縣西彼杵郡）

【西海面】　朝鮮平安南道平原郡の西北端。西及び南は西朝鮮灣に臨む。郡名の示すが如く一望目を遮ぎるものなき平坦地にして、一丘陵だに見ず、耕地廣く連る。海岸に屈曲に富む砂濱にして且つ遠淺なるが爲て、碇泊の便に乏しきも、諸所に鹽田拓く。米・麥・大豆・在來棉・魚類・鹽等の產あり。道路は何れも等外道路なるも京義本線東川驛（東川面）に近く容易に軍馬を通ずべく、交通不便ならず。東部の蜿山里に面事務所を置く。

セーカク　青鶴炭礦　朝鮮咸鏡北道慶興郡慶興面にあり。謂ゆる咸北炭田の一に屬す。鐵道北鮮線の青鶴洞驛に近く交通便利なり。昭和十年の產額、有煙炭二五、七〇二噸（二五・五萬圓）、坑夫數三〇〇餘。

セーガク　西岳　朝鮮慶尙北道慶州郡慶州邑の中部。兄山江に臨み、東海中部線の西岳驛（大正七年設置）あり、西岳書院あるがもつて名高し。

セーカクドー　青鶴洞　朝鮮咸鏡北道慶興郡慶興面の一洞、鐵道北鮮線の青鶴洞驛（昭和四年設置）あり。

セーカン　西串面　朝鮮京畿道富川郡本陸部の西北部。仁川府の北東に位し、西方一帶は江華灣に臨み、その海上に菁疆島・栗島・猪島・細於島を始め多くの小屬島浮ぶ。東境には北部の桂陽山（三九四米）、中部の鐵馬山（二二六米）等の丘陵性山地ありて南北に斷續起伏しその西側にはそれ〳〵丘陵を隔てゝ小低地ありて畓田開け、米・麥・豆類等の農產を出す。海岸は干潟地多く鹽田所々に拓けて製鹽行はる。西邑遠喜里は中部の平地に位し、等外道路を南北に通じ、また數線これより岐れて東隣富内・桂陽の各面に出で交通不便ならず。

セーカン　西閑面　朝鮮咸鏡南道長津郡の西南部。西は平安北道江界郡に、西南は平安南道寧遠郡に境す。蓋馬高臺中にあるため中央最低部に於ても海拔一〇〇〇米以上を示す。西及び南境には臥碣峠山脈走りて道界に天宣匆山・小白山・東白山等二〇〇〇米内外の峻嶺連り、支脈延びて北境に姑岩（二〇四九米）・東境には門岩山（一八五二米）以下を屹立せしめ、両して此等四境を險ゆる峠も約一五〇〇米の高度を示す。河川は舊邑里江その他凡そ五條、四境山中に發源し何れも東部に於て長津湖に注ぐ。流域には稍々廣き耕地拓け、住民ほ多く粗米農業をなし、馬鈴薯・燕麥・大麻等を栽培するも、全域の大部分は林野にて樹海遠く連り良材を多く出し、また藥草の產あり。鑛產稍々多く、松堂・三吉德・長源の各鐵山より金・銀・鉛を出す。三等道路東南隣新南面より來り中部を橫斷して平北江界方面に通じ定期自動車の便あり、中央低地の柳潭里を中心に里道四通するも峻坂多くして交通便ならず。

セーカン　成歡面　朝鮮忠清南道天安郡の北西部。南隣稷山面との境に城山（一七〇米）起伏する外は、城内大部分五〇米以下の平地にして、北隣ぜる京畿道富寧郡の最南部。南は清津府に接し、東は日本海に面す。東部に小長白山脈の支脈走り鐵嶺峠（五七一米）その中央に屹立して東西に傾斜し一脈は南に延びて高秣山嶺に至る。西部には輸城川南流し、

の便なし。耕地割合によく拓け、米・麥・豆類の農產あり養蠶行はれ、西北境山地は金銀鐵山の鑛區に當り金・銀を出す。面邑坪里は北邊中部に位し、等外道路四隣に通ずるも交通なほ便ならず。

セーカ　西下　【西下面】　朝鮮咸鏡北道茂山郡の北部。茂山面に西隣し、北は豆滿江を隔てて滿洲國間島省と相對す。地ほゞ東北より南西に長き矩形を成し、長さ約二〇粁、幅五—七粁、東部に北高支峰・南高支峰の二峰南北に聳えて稍々高く、西部にも九〇〇米内外の山岳起伏するも北方に低夷して豆滿江岸に迫る。中央を延面水北流し、西境には西頭水ありて何れも豆滿江に注ぎ、その流域に平地拓けて農業行はる。產物に麥・豆類・大麻・木材・燒酎等あり。北部をほゞ豆滿江岸に沿うて二等道路走り、途中の下面江口より南して吉州方面に至る二等道路を岐ち、前者には自動車を通じ、更に森林鐵道白茂線の完通を見んとし、交通・運輸の便漸く加はらんとす。

【西下面】　朝鮮慶尙南道咸陽郡の北部。咸陽面の北方にあり。面積約八九方粁。小白山脈の山地にて北境に德裕山（一五〇八米）・東北境に月峰山（一二七二米）、南境中部に優拳山（七六〇米）、西南部に白雪山（一二七八米）等の山塊峠ち山地廣く、南江の上流は北部德裕山南麓に發して中部を貫ぎ一直線に南下し、東西山地よりの諸水を併せ面の南部に一盆地をつくり、優拳山の西麓を浸削して南方に出づ。盆地と南江本流の谷に耕地拓け、米・麥・大豆・棉等の農產あり。安義・鎭安間の二等道路は南江の流に沿ひて北上し、西境北部の六十嶺（七三四米）を超え溪内面に出づるも交通なほ便ならず。

セーカ　西河面　朝鮮黃海道安岳郡の北端。北は大同江口に臨む。南部に丘陵起伏する外は、低平にして田畑廣く連る。北部には一半島大同江口に斗出しその基部は幅三粁、長さ約六粁にして、望遠里岬に盡く。此の岬角は險屈を成し對岸儀南浦府と相距る僅に二粁なり。半島の兩側は何れも泥湯にして東側を鹽湯と稱し、西側ば鴨湯にして西方四粁を隔てて猪島の一大島と相對す。半島の西には之と相並んで馬頭山角斗出す。前記半島と猪島との間、及び猪島西方一帶の千潟地約二三〇〇ヘクタールは、昭和八年以來加藤農場の手によつて干拓事業中に屬す。河川は南方高南山に發するもの二ありほゞ並行して北流し、一は西境を、一は東境を流れて前記泥湯に注ぎ、特に後者に於てその下流に廣き泥澤地を見る。かくて海岸線延長大なるにも拘らず、舟揖・魚鹽の利ば始ど之を缺く。產物は米・小麥・大豆・棉花等を主とす。道路ば何れも等外道路にして、交通未だ便ならず。中部の椒井里に面事務所を置く。鼓に椒井冷泉あり、昔に藥水と稱し皮膚病

その流域に謂ゆる輸城平野にして地味肥沃、農産豊かなり。海岸線延長凡そ一〇粁に及ぶも屈曲出入に乏しく、西水經洞の漁村を見るのみにして、碇泊の便なし。農産に大豆・大麦・米・蔬菜等あり、青岩鑛山ありて金・銀・金銀鑛を出す。同鑛山は三菱鑛業株式會社の所有にして昭和十年中の産額は、金二三・七瓩、銀一〇瓩、金銀鑛六三〇〇瓲、總價額約五一萬圓を示せり。沿海には鯖・鰯・明太魚・鰒其他の漁獲多く、西水經に於て鰒箱・鰯箱等の水産製造行はる。鐵道北鮮線は西部の平野を走りて龍城面との境に輸城驛(大正五年開業)を設け、隣接地、清津府・輸城驛を中心とする道路網の發達によりて交通概れ便利なり。本面は近年清津府の急激なる進展に伴ひ、大正三年には仁谷洞の一部及び浦項洞を、昭和九年四月には水南洞を同府に讓りて其面積やや縮少せり。

セーガン　青巖面　朝鮮慶尚南道河東郡の北部。面積一〇二方粁。小白山脈南部の雄峰智異山東南嶺の山地にて西北境上には高度一三五〇米に達する處あり、北境の主山に八八六米を示す。蟾津江の支流、横川西北部の山地に發し東南に流れて横川面に出で、その河谷に沿ひて幅狭き耕地拓け米・麥・豆類等の農産あるもその額多からず。河岩金鑛ありて金・銀を産す。河東より横川を經て山清鄭丹城方面への道路東部を南北に通ずるも交通なほ便ならず。

セーガンジ　誓願寺通　京都市の町名。誓願寺（現今は中京區新京極に移る）の在るより起りし名稱。今元誓願寺通りといふ。好色五人女・三つづれも見とれて、あの女によき物を着せて見ばと、人の命を取べし、ままならぬはひんふくと哀にいたましく其女のかへるに惚びて人をつけける誓願寺通のすゑなるたばこ切の女といへり」

セーキ　生氣嶺　朝鮮成鏡北道東部の岬。小長白山脈の一支が南走して日本海岸に迫らんとする處にあり。鏡城と朱乙溫場との中間に位し、兩地へ各六—七粁。鐵道成鏡線と一等道路とは並走して岬を廻ゆ。高度は約百米にすぎず。附近に石炭及び高嶺土の露床廣く分布し生氣嶺炭礦より盛に産出せらる。同炭礦の昭和十年度産額は有煙炭三・八萬噸(一九萬圓)、高嶺土三千噸(四・三萬圓)なり。近時附近に大規模の煉瓦工場設けられ、高嶺土を原料として耐火煉瓦・タイル類の製造行はる。

セーキ　西歸面　朝鮮全羅南道濟州島の南岸中部。もと右面といひしが昭和十年四月現名に改む。南は海に臨む。面積約一四五方粁。北境に聳ゆる漢拏火山(一九五〇米)の南斜面に當り、北部は急傾斜なるも、中部以南の裾野は緩かに下りて海に沒し海岸は多く屈なし、中部に西歸浦の彎入あり。面に西歸浦の彎入あり。面に街道は村の西部を川に沿ひて西し宇僧野村を經て鳥取市に至る。村は昭和七年登儀・上舟の二村を合併し、成ら就德器・の德目に則り成器と名づく。登儀は和名抄、高山寺本、法美郡鳥城郷なり。上舟は和名抄、法美郡大草郷の一部に屬せるものの如し。大字荒船に因幡國造の祖武王を祀れる嶺御宮あり。大字新井に二位の石船と傳するものあり、二位尼は安德帝を奉じて今の御陵村大字國益に來れりと傳へ、石船は尼を葬りし宿都なりと。數百年を經過せる石棺にて長一・八二米、横一・二八米、深〇・七一米、水當に之に滿ち、右方に小石窟あり平家遺族の墓所なりと。(學行院)大字松尾にあり。もと眞言宗醍醐派に屬し、寺寶の木造藥師如來及び兩脇侍坐像・同吉祥天立像は共に藤原末期の作にして國寶たり。

セーキ　青杞面　朝鮮慶尚北道英陽郡の北西部。英陽面の北西に隣り、北境に大白山脈の日月山(一二一九米)屹立し、山脚西南—南に延びて西境を走り、東境にも六七百米臺の山嶺起伏し、餘勢域内到る處に丘陵を蟠踞せしめ、中部を南流する半邊川の沿岸に三〇〇米臺のやや廣き平地を見る。林野全域の大部を占め、耕地は半邊川流域と山間斜面に拓くるも地味良好ならず。産物は麥・大豆・雑穀・煙草・棉・大麻等の農産を主とす。乃城・青松間の三等道路北部を貫き、庆尚より英陽へは自動車の便あり、其他の道路は何れも等外路線にして路面不良、交便不便なり。

セーギ　旌義　朝鮮全羅南道濟州島東部にありし面。昭和十年四月城山面と改稱す。

セーキョ　聖居面　朝鮮忠清南道天安郡の中央北部。西南は天安邑に接す。東南境に東嶺山脈に屬する聖居山(五七九米)等えて西北に傾斜し、西部一帶は概ね低平にて安城川の支流これを灌漑し田畑よく拓く。農産に米・麥・豆等あり、また新月(鐵區の一部)・遠活美・牛鮮(一部)・中央(一部)・大成等の穉山砂金地帯に屬する鐵山ありて金・銀を出すこと多く、主要鐵山の産額(昭和十年)は、中央鐵山は金一一七瓩・銀七二瓩・金銀鑛四六瓲(三七・五萬圓)、大成金鑛は金一〇瓩・銀二二瓩(三一萬圓)を示せり。社線朝鮮京南鐵道の京畿線は天安より來り中部を北走して、安城・長湍院に通じ、南部に石橋驛(大正十四年設置)あり、交通便なり。

セーキョー　青橋鑛山　朝鮮京畿道安城郡と忠清南道天安郡とに跨る鐵山。金・銀を出し、その産額(昭和十年)金一・九萬瓦、銀〇・九萬瓦、金銀鑛三〇一五瓲、その價額七・七萬圓を示せり。使役人員約一二〇。

セーキレー　生氣嶺　成鏡線の一驛(昭和二年設置)。朝鮮成鏡北道鏡城郡朱乙溫面にあり。

セーケー　清溪　【清溪面】朝鮮慶尚南道谷山郡の中南部。谷山面に北隣し、西部に北大峰山脈走りて大角山(一二七七米)・妙角山・九峰山等面境に連なり、支脈は東北境に萬年山(九〇一米)等を起しやや嶮峻なるも、中部及び南部には一五〇—二〇〇米臺の平坦地擴がり、この間を南江の支流谷山川灌漑して北流し流域に田畑拓く。山地は林野多く、其間處々に畑地點在す。産物に米・麥・大豆・大麻・繭・木材・松茸等あり。南川店(平山郡寶山面)・陽德(平安南道)間の二等道路は谷山川に沿うて走りバスを通ずるも、山間部は嶮坂多くして交通不便なり。

【清溪】朝鮮總督府鐵道京義本線の一驛(明治四十一年設置)。朝鮮慶尚南道風山郡龜溫面にあり。

【清溪面】朝鮮全羅南道務安郡の東部。務安半島の西面中部に位し、木浦府の北方約一六粁。西は海を隔てて鬼雲面に對す。面積五四方粁餘。東隣石谷面との境には骨達山(三一八米)の山嶺南北に連なり、面内には高さ一〇〇米内外の丘陵起伏するも海岸と丘陵間には小低地所々に存して耕地拓け、米・麥・綿を出し、沿海は干潟地遠く遠り蝦その他の水産あり。木浦・羅州間の一等道路中部を南北に通じバスの便ありて交通不便ならず。

セーゲン　清玄坂　東京市豐島區高田南町二丁目稻荷神社(木花開耶姫命)前の小坂。雪景を櫻の宮とも稱するよりの名。富士淺間を含祀せる故、淺間坂といひしを誤り呼びしものがいはる。

セーコ　西湖　【西湖面】朝鮮成鏡南道成州郡の東南部。東南一帯は日本海に臨む。地勢、赴戰嶺山脈の支脈北部に及び、北境最も高くして、天柱峰(五六二米)等ゆるも漸次海岸に向つて低夷し、北部山地に發して南流する河川流域と海岸地方とにやや廣き平地ありて田畑拓く。海岸西部には外洋島嶼南方に斗出して西に成興灣を擁し灣の内側に西湖津の良港あり、外洋島嶼以東は約一五粁の間、彎曲して一間港を成し小出入あり、概れ低沙莫なれど、東部には處々に岩岸を見る。この間灣の盡くる所は鞍木嶺にして東北に退潮洞の顯著なる彎入を見、灣口に近く呂湖鎭地あり。農産に米・大豆等あり。また沿海には明太魚・鰯・鰒・鰈・鯛・鯖等の魚獲多く、西湖津に鰮詰工業行はる。總督府鐵道成鏡線海岸に沿うて走り、西端に西湖津驛(大正十一年設置)、東嶺に呂湖驛(大正十二年設置)あり、西湖津は定期航路の寄港地に當り、海陸の交通便なり。風光明媚の商港にして成興府の門戸たると共に著名の漁港にして、港頭に大陳・小陳の二島を浮べ、釣魚水泳の好適地として知らる。ここに西湖津燈臺設けらる。此港は曾て一寒漁村に過ぎざりしが日露戰役の起るや一時殷盛を極め、戰後一進一退して近年に至りしが、西隣新南邑の急速なる發展に伴ひ、港勢頓に活況を呈し來れり。

【西湖面】朝鮮慶尚北道義寧郡の北西部。義寧邑の北西に隣り、義寧平野中に位し土地概ね低平にして、僅に新田里以東に五〇米程度の丘陵帶状をなして連るのみ。西部に西江の本支流ありて平野を灌漑し、加ふるに嶺信水利組合の蒙利地域に屬するを以て、灌漑排水の便よく、地味甚だ肥沃にして農産に富む。産物は米最も多く、小麥・棉・麻・蔬草等。これにつぐ。此線朝鮮鐵道慶海線は面の南端を掠めてその義寧驛(義寧邑)に近く、義寧邑より發する二等道路北上して中部を横切り、バスを通じて交通便利なり。集落の主要なるものは前記街道沿ひに南より財泉里・新田里・新換浦里等あり、新換浦里は西江右岸に位する河港にして、水陸交通の要衝なり。

【西湖面】朝鮮全羅南道靈巖郡の中部西偏。北は柴山江下流の南海灣に面す。地勢北に長く面積三三方粁あり。西境には上月峰(三九三米)・下月峰山(三〇〇米)の山嶺南北に走りて東に傾斜し、東岸にある百米臺の丘阜地との間に幅狭き低地ありて東南部の平地につづき、耕地拓け、米・麥・棉の農産と臥の製産あり。靈巖より木浦府の對岸龍湫里(三湖面)に至る三等道路東南部を掠むるのみにて、

の時、鎮春を置きたる所なれば、宮地方の他は早くより拓殖区域に編ら入れ、其の一部を分割して西港町北門町の東南隅。官文院の北方に位し、北門島の東南隅。

セーコー　青苑面　朝鮮忠清南道の中央部。面役所は青苑に在る。

セーコー　同郡の中央部。面役所は青苑に在る。

セーコー　同郡の中央部。面役所は青苑に在る。

セーコー　同郡

1米)、東北端に香嵐山(六八四米)、西端に三角山(七三七米)、南端に三角山(九三七米)・百蔵山(五九一米)等あり、盆地内に源じて月倉山(七三七米)等を起し、地勢一般に東北低く、北部の中央を阿賀川貫流し、やゝ廣き平地あり、北部の一小支流に西会津盆地の一支谷を以て若松市に連絡す。明治廿二年町村制施行の際、会津郡の郡治の所在に関し、郡内の有志間に意見の衝突を来し、遂に郡を分ちて東西二郡とせんとの議起り、東部の有志は若松市に郡役所を置かんことを主張し、西部の有志は坂下町に置かんことを主張し、互に譲らず、遂に郡治の所在を決する能はず、郡役所は暫く若松市に置くことゝなり、爾来東部の有志は郡役所の廃止を主張し、西部の有志は郡役所の存続を主張し、両者の間に意見の衝突を来すこと屢々なりしが、明治廿九年に至り、東部の有志は郡役所の廃止を断行し、西部の有志は郡役所の存続を断行し、茲に郡役所は二箇所に存在することゝなり、郡役所の二箇所存在は、実に明治廿九年より大正十五年に至る迄、実に二十七年の久しきに亘りたり。

セーシュ　政始村　会津若松市の西南部にあり、東は門田村・大和村、南は湯川村・高陽村、西は河東村・本郷町、北は若松市に接す。面積一五・七方粁。戸数一、〇二〇、人口五、一〇〇。村役場は門田村大字門田に在り、若松市より一里半、会津本郷町より一里半の距離にあり。

セーシュー　政所　会津若松市の東北部にあり、東は河東村、南は湯川村・高陽村、西は若松市、北は北会津郡三島村に接す。面積一〇・一方粁。戸数一、〇二〇、人口五、一〇〇。村役場は大字政所に在り、若松市より一里半の距離にあり。

セーシュー　清水　会津若松市の北部にあり、東は北会津郡三島村、南は若松市、西は若松市・北会津郡三島村、北は北会津郡三島村に接す。面積一〇・一方粁。戸数一、〇二〇、人口五、一〇〇。村役場は大字清水に在り、若松市より一里半の距離にあり。

セーシュー　井州邑　会津若松市の西南部。郡治の所在地にして、東は若松市、南は湯川村、西は河東村、北は若松市に接す。面積一〇・一方粁。戸数一、〇二〇、人口五、一〇〇。村役場は大字井ノ口に在り、若松市より一里半の距離にあり。

セーシュー　政所　会津若松市の東北部にあり、東は北会津郡三島村、南は湯川村・高陽村、西は若松市、北は北会津郡三島村に接す。面積一〇・一方粁。戸数一、〇二〇、人口五、一〇〇。村役場は大字政所に在り、若松市より一里半の距離にあり。

セーシュー　清水　会津若松市の北部にあり、東は北会津郡三島村、南は若松市、西は若松市・北会津郡三島村、北は北会津郡三島村に接す。面積一〇・一方粁。戸数一、〇二〇、人口五、一〇〇。村役場は大字清水に在り、若松市より一里半の距離にあり。

流より東北流す。本流・支流ともに山地より流れ出でゝ平地に入る所に於て、その流勢俄かに緩やかとなり、流域に肥沃なる沖積層を形成す。本流は阿賀川村・新宮村を経て、若松市の西方に於て日橋川と合流し、北流して北会津郡三島村に入り、更に北流して福島県耶麻郡に入り、猪苗代湖に注ぐ。

セーシュー　政所　会津若松市の東北部にあり、東は北会津郡三島村、南は湯川村・高陽村、西は若松市、北は北会津郡三島村に接す。面積一〇・一方粁。戸数一、〇二〇、人口五、一〇〇。村役場は大字政所に在り、若松市より一里半の距離にあり。

セーシュー　清水　会津若松市の北部にあり、東は北会津郡三島村、南は若松市、西は若松市・北会津郡三島村、北は北会津郡三島村に接す。面積一〇・一方粁。戸数一、〇二〇、人口五、一〇〇。村役場は大字清水に在り、若松市より一里半の距離にあり。

（一四萬圓）・種苗苗木（一〇萬圓）・製粉・製材・家具（一〇萬圓）・醬油・酒類・菓子・煙草・印刷・製本・ゴム製品・ガラス製品・ブラシ・ボタン・ペンキ・ニス・ワニス・ゴム引布・ゴム靴・ゴム長靴・ゴム手袋・ゴム風船・ゴム管・ゴムホース・ゴムパッキング・ゴム印・ゴム印章・ゴム印肉・ゴム印台・ゴム印箱・ゴム印刷・ゴム印刷機・ゴム印刷インキ・ゴム印刷インキ製造機・ゴム印刷インキ製造機械・ゴム印刷インキ製造機械装置・ゴム印刷インキ製造機械装置一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式・ゴム印刷インキ製造機械装置一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台一式一台

慶尚北道

不良にして交通不便なり。

セーシヨー　青坡面（せいはめん）　朝鮮忠清南道青陽郡の南部。錦江の右岸。東北の北部には青陽の市街あり。中央部には丘陵あるも、その間を南流する仮称大谷川（二六〇米）の流域は平野をなし、水田多く、米・麦・大豆・綿作盛んなり。面役場所在地は面の中部仮称大谷里にあり。

セーシヨー　清城鎮（せいじょうちん）→**鳳鳴**（ほうめい）面（朝鮮平安北道）

セーシヨーモン　西小門（せいしょうもん）　朝鮮釜山府東部本町通の一隣（昭和五年末現在）。

セーシン　西新面（せいしんめん）　朝鮮慶尚北道永川郡の西端部。東の慶州面、北の松山面、西面の地と共に半島なしで江原の雨を西方に突出し、東南は慶州面を境してて雨の特に多き地域を占め、但し人跡稀薄の山地多く、人口密度に二方粁当り僅かに九人に過ぎず。西端部には天嶺山脈（二七五九米）、南部には吐含山脈（二七六米）・大運峯山（二九二米）等あり、東北部は永川平野の一部を占む。うち四萬五千へクタール余にして、その三割余は田、畑つけ及び果樹園に適し、水田は主として東北部に多く、畑は西南部に多し。耕地内中部中央に小白山脈の一支峰（二七五米）東北に走り

へる令実川に同市郡界を経、また市場あり。農産物の取引は

セーセーリ 西井里 朝鮮慶尚南道昌原郡の面名。釜山の西北方、鎮海湾の奥に位し、東は馬山府に接し、南は鎮海湾に臨む。面内に馬山府の水源地あり。

セーセイカ 清水河 朝鮮咸鏡南道甲山郡の面名。面内に甲山の西南に位し、東は清水河によりて安東也令・西は低丘陵起伏して平野に富む。鎮守府・郵便局・警察官駐在所・普通学校・簡易農業学校・金融組合・市場・病院・医師・産婆・旅人宿・料理店等あり。交通の要衝にあたり、面内を貫通する道路は、甲山より東南方、安東也令に至る道路、甲山より西南方、甲山郡に至る道路、甲山より西北方、甲山郡に至る道路、甲山より北方、甲山郡に至る道路、甲山より東方、甲山郡に至る道路、甲山より南方、甲山郡に至る道路、甲山より東南方、甲山郡に至る道路、甲山より西南方、甲山郡に至る道路、甲山より西

さーそ　川（かわ）

【川江】揚子江の中流、湖北省宜昌から四川省重慶までの間。

【川口】四川省の東の入口。湖北省宜昌の西南。

【川口】四川省の東の入口。湖北省宜昌の西南。

【川口】四川省の東の入口。湖北省宜昌の西南。

【川口】四川省の東の入口。湖北省宜昌の西南。

さーそ　清水（しみず）

【清水】静岡県の地名。

さーそ　清水（しみず）

【清水】静岡県の地名。

さーそ　清水（しみず）

【清水】静岡県の地名

臨渓の各主要地を繋ぐ三等道路ありて西は平昌方面に、東は三陟に通ずるものあるの外は坂路多く改修進まずして交通便なからず。行政上、六面に分ち、郡廳を旌善面鳳陽里に置く。〔沿革〕本郡は高句麗時代に仍買・三鳳・朱臨・綿源・沈風等の縣を置き、のち新羅景徳王の時始めて旌善と稱し溟州の領縣となり、高麗顯宗王の時陞して郡となし、李朝を經て今日に至る。

【旌善面】朝鮮江原道旌善郡の西部。北境に大白山脈に屬する加里旺山（一五六一米）屹立して最も高く、其他境内に山岳重疊するも、大體東南に低減す。漢江は北より來り諸水を集めつつ蛇曲南流し、沿岸にやゝ廣き平地ありて田畑拓く。耕地は山地の處々に傾斜地を利用して拓かるるも、城内大部分は林野を成す。産物は農産に麥・大豆・粟・米・蕎麥・大麻・楮等あり其他養蠶は稍々盛に、畜産に牛、工産に麻布・酒類等多く、旌善鐵山よりは金・銀・銅・鉛等を出す。三等道路三條―平昌線は中央を横ぎり、途中旌善邑より東南に、また龍潭里より西北に各支線を出すも、峻坂を中途に擁して交通便利ならず。郡邑旌善はやゝ東に偏り漢江左岸に位す。人口約一五〇〇、本道奥地の一中心都邑にして、郡廳・警察署・郵便所・金融組合及び市場あり。龍潭里は邑の西五粁餘、同じく漢江右岸に位し、地方的交通の要地たり。

セーソー　生草面（せいそうめん）　朝鮮慶尚南道光山郡の南西部。面積約三〇方粁。東南隅の金斧山（三〇一米）最も高く、南境西部に松鶴山・鳳凰山、面の中央部に蓋甘山・白馬山等あるも多くは高さ一〇〇米毫の丘阜に過ぎず、それらの間に小低地あり。西半部一帯は榮山江と支流黄龍江の流域にて、低平にして耕地廣く拓け、米・麥・綿等の産多く、養蠶・叺製造等行はる。東北は光州府に近く、西北は松汀邑に接し交通不便ならず。

セーソー　成相山（せいそうざん）（京都府）　↓成相寺山（ナリアイデラヤマ）

セーソン　井村面（せいそんめん）　朝鮮慶尚南道晋州郡の南部。面積約四三方粁。東南隅に鳳仙山あり、それより北方に高さ一〇〇米内外の丘陵ある外は概ね平坦にして農耕地廣く、米・麥・豆類・棉・大麻等の産あり。晋州・三千浦、晋州・咸安間の乗合自動車道に當り、また北部に朝鮮鐵道局慶全南部線の開陽驛（大正十四年開業）ありて交通便利なり。

セーソン　西村面（せいそんめん）　朝鮮黄海道谷山郡の西部。谷山面の西に隣り、西方一帯は遂安郡と境す。地南北に狹長にして約一八粁、北大峰山脈東境を走つて倉洞山（八四〇米）・大角山（一二七七米）等を起し概して高峻なれど、西に緩斜し、斜面及び縁谷部に狹小の畑地を見る。大角山より西方産貨山（一一二〇米）に連る山稜により諸水は南北に分界せられ、一は西部面境を北流して南江に注ぎ、一は東部山地より諸水を集め同じく面境を南流して禮成江に合す。山間礦産の地なるも以て物産少く、鐵鋲の外、富洞鐵山より金・銀・銅を出すあるのみ。道路は西部面境の渓川沿ひに通ずるものを主とし郡邑谷山、其他隣接地に通ずる里道あるも、路面良好ならず、交通不便なり。貨泉里の東北、大角山々腹に李太王辛丑の年、綏妃が李王垠殿下の爲に建立せられたる願堂あり、傍に龍綿岩の景勝あり、夏時避客踵を接す。

セータイ　西泰面（せいたいめん）　朝鮮平安北道渭原郡の西北部。東は渭原面、北は鴨綠江を距てて滿洲國と相對す。飛來峯山脈の支脈、北を除く三境に連亙し、檢脈域内にのびて大嶺山（八二二米）・犁人峰（五五〇米）等を聳立せしめ、一般に峻嶮なるも漸次北方に低減し、鴨綠江岸に至る。此等山地に發する渓流は、一は西部を北流し、一は東北流して何れも鴨綠江に注ぎ、鴨綠江本流は北境を蛇曲して西流す。平地に乏しく、住民は江岸及び山間窪谷の猫額大の耕地に大豆・粟・大麻等を栽培す。義州・惠山鎮間の二等道路、渓谷に沿うて域内を横斷しバスの便あり鴨綠江にはプロペラー船の航行を見るも交通未だ便ならず、對岸滿洲國へは江岸の梨山洞・新川洞より渡船の便あり。

セータイ　星岱面（せいたいめん）　朝鮮咸鏡南道北青郡の東北部。咸城盆地は戰嶺山脈に屬する山地をなし、西境に蓮日峠（一六六三米）、北境に大徳山（一四四七米）・銀徳山（一六八四米）・望徳峠等連なり、南境にも横徳山（一四〇八米）等あり、檢勢城内に及んで山岳重疊するも、東北部は高さ七八百米臺の廣大なる高原を成し、特殊の農業形態を見る。河川は大徳山に發する坤坡川蛇曲南流し、蓮日峠に發源する支流は東し、共に中央部に至りて南流する過八嶺川に合し、更に南流して南大川となり日本海に朝す。耕地は此等の流域及び前記高原地帯に發達し、住民は主に畑作農業に從事す。その生活程度概れ低くして、大多數は粟・稗・馬鈴薯等を常食となす。農産に粟・大豆・大麥等あり、牛・豚の飼育また盛にして、副業に養蠶行はれ、坤坡川左岸に鐵山ありて金・銀・銅・鉛を出す。中部を北青・甲山間二等道路貫きてバスの便あり、途中水西里より東し嶺嶺を越えて利原に達する三等道路分岐し、其他渓谷・高原地帯に多數の里道を通ずるも、多くは路面不良にして、交通未だ便ならず。西部、蓮日峠上に漢武塔あり、上中下三塔あり、漢の武帝、東禦の際此地に石塔を築き、神仙を求めたりと傳稱す。

セータイ　西台面（せいたいめん）　朝鮮平安南道江西郡の東北端。郡邑江西の北一〇粁餘。西境に勝覺山（三六二米）聳えて東に緩斜し、北支のびて風凰山（二九九米）を起し、東北部に星台山（二三九米）、其他蜜々に五〇―一〇〇米の丘陵起伏するも二般に顧る低平にして耕地廣く拓け、西部山地に發する大同江の數支流これを灌漑して農耕に好適す。米・大豆・小麥・在來棉の産多く、叺製造また行はる。北部を平壌・漢川間三等道路横斷してバスを通じ、交通不便ならず。西北部街道沿ひにある元塘里に面事務所を置く。

セータイチョー　西退潮面（せいたいちょうめん）　朝鮮咸鏡南道咸州郡の東南部。南は日本海に面す。北境に走戰嶺山脈の支脈走りて東幕山・飛龍峠・天柱峠等五〇〇米臺の山岳連亙し、その餘脈東及び西南境に延ぶるも高度大ならず、南半は概ね低平なり。海岸には退潮灣の顯著なる彎入あり灣口東南に開き、水深六―八米にして、良泊を成す。北部山地に發源して灣首に注ぐ二川あり。流域に田畑拓け、大豆・米・麥等を産す。北部の東幕山中には鐵山ありて金・銀・銅・鉛・亞鉛等を出す。又沿海には鰯・明太魚・鰆及び若布等の産多し。總督府鐵道咸鏡線、南部を走りて退潮驛（大正十二年設置）を置く、されど道路は路面不良にして、交通未だ便ならず。主邑退潮は退潮灣首に位し、人口約三二〇〇、地方的交通の要衝に當り、附近には瓦の産多し。邑の西北一・五粁、域洞里に退潮城の址あり、高麗時代此地方に鎮居せし女眞族を討ちて名ありし尹瓘の雄州城にして石築四周約一・五粁、

道北青郡の東北部。今城壮戰嶺山脈に屬する山地をなし、西境に蓮日峠（一六六三米）、北境に大徳山（一四四七米）・銀徳山（一六八四米）・望徳峠等連なり、南境にも横徳山（一四〇八米）等あり、檢勢城内に及んで山岳重疊するも、東北部は高さ七八百米臺の廣大なる高原を成し、特殊の農業形態を見る。河川は大徳山に發する坤坡川蛇曲南流し、蓮日峠に發源する支流は東し、共に中央部に至りて南流する過八嶺川に合し、更に南流して南大川となり日本海に朝す。耕地は此等の流域及び前記高原地帯に發達し、住民は主に畑作農業に從事す。その生活程度概れ低くして、大多數は粟・稗・馬鈴薯等を常食となす。農産に粟・大豆・大麥等あり、牛・豚の飼育また盛にして、副業に養蠶行はれ、坤坡川左岸に鐵山ありて金・銀・銅・鉛を出す。中部を北青・甲山間二等道路貫きてバスの便あり、途中水西里より東し嶺嶺を越えて利原に達する三等道路分岐し、其他渓谷・高原地帯に多數の里道を通ずるも、多くは路面不良にして、交通未だ便ならず。西部、蓮日峠上に漢武塔あり、上中下三塔あり、漢の武帝、東禦の際此地に石塔を築き、神仙を求めたりと傳稱す。

セーダイ　西台面（せいたいめん）　朝鮮平安南道江西郡の東北端。郡邑江西の北一〇粁餘。西境に勝覺山（三六二米）聳えて東に緩斜し、北支のびて風凰山（二九九米）を起し、東北部に星台山（二三九米）、其他蜜々に五〇―一〇〇米の丘陵起伏するも二般に顧る低平にして耕地廣く拓け、西部山地に發する大同江の數支流これを灌漑して農耕に好適す。米・大豆・小麥・在來棉の産多く、叺製造また行はる。北部を平壌・漢川間三等道路横斷してバスを通じ、交通不便ならず。西北部街道沿ひにある元塘里に面事務所を置く。

セータイチョー　西退潮面（せいたいちょうめん）　朝鮮咸鏡南道咸州郡の東南部。南は日本海に面す。北境に走戰嶺山脈の支脈走りて東幕山・飛龍峠・天柱峠等五〇〇米臺の山岳連亙し、その餘脈東及び西南境に延ぶるも高度大ならず、南半は概ね低平なり。海岸には退潮灣の顯著なる彎入あり灣口東南に開き、水深六―八米にして、良泊を成す。北部山地に發源して灣首に注ぐ二川あり。流域に田畑拓け、大豆・米・麥等を産す。北部の東幕山中には鐵山ありて金・銀・銅・鉛・亞鉛等を出す。又沿海には鰯・明太魚・鰆及び若布等の産多し。總督府鐵道咸鏡線、南部を走りて退潮驛（大正十二年設置）を置く、されど道路は路面不良にして、交通未だ便ならず。主邑退潮は退潮灣首に位し、人口約三二〇〇、地方的交通の要衝に當り、附近には瓦の産多し。邑の西北一・五粁、域洞里に退潮城の址あり、高麗時代此地方に鎮居せし女眞族を討ちて名ありし尹瓘の雄州城にして石築四周約一・五粁、

セーチュー　西中島（せいちゅうとう）　↓鳳鳴島（ほうめいとう）（朝鮮東州）

セーツー　清通面（せいつうめん）　朝鮮慶尚北道永川郡の西部。東は永川邑に接し、西南は慶山郡と界す。西北部は西境に近く峙つ八公山（一一九二米）・即峰（八九一米）の東北斜面にて山地、中部は高さ二〇〇米内外の丘陵とその間にある低地、東南部は琴湖平野の一部をなす平坦地なり。中部より東南部の低地には耕地よく拓け、米を第一に麥・大豆・大麻・苹果等の農産裕かに、七勝・赤坂二鎮山よりは金・銀を出す。河陽・新寧間の三等道路中部を縦走してバスの便あり、交通不便ならず。西北部の沿日洞に鎮海等あり二十四棟の廃窯を有し新羅時代の古刹と稱せらる。沿道には奇岩巨石横ばり渓水その間を縫ひ、境内には樟・櫪・楓等の樹木鬱蒼として風致に富み、春秋の探勝夏季の避暑地に適し遊覧者多し。

セーテツ　清哲村（せいてつそん）　山梨縣甲斐國北巨摩郡の南部。釜無川右岸。鳳凰山東山麓を占む。面積四一・二七方粁。西部に鳳凰山群の地蔵ヶ嶽（二七七九米）・観音ヶ嶽（二八四一米）・藥師ヶ嶽（二七六二米）・辻山（二五五五米）等連亙し、いづれも壯年期の山脈を呈して村内に傾斜し、釜無川の支流小武川上流の谷を作る。東部は釜無川に沿ひて狹き沖積地あり、水田・桑園となす。主産業は農業にて米・麥・繭を主産し、山地よりは木炭・フヂモッコの特産あり。東部傾斜地に青木發電所あり。また村の西北部小武川上流の谷に青木鑛泉湧出す、西方韮崎方面より鳳凰山への登路に當る。道路は東部山麓に沿ひて通じ、峯落概れ之に沿ふ。釜無川對岸には信州往還及び省線中央本線通じ、韮崎驛へ約四粁の道程なり。この地は和名抄、巨麻郡儉戸郷の内にして中世は甘利庄に屬す。往時一條次郎忠頼の領邑たり。もと三箇村組合たりしが町村制實施の際分離して以來、單立村となる。村名は水上・青木・折居・穂口の四部落名より夫々水・青・折・口を取りて組合せ清哲とせしもの。大字青木は清和源氏

に移転し、大正元年以降四面を市街地に編入された。

【沿革】 明治三十八年鉄道開通と同時に停車場が設けられ、大正元年以降四面を市街地に編入された。

【現況】 駅舎は木造平屋建で、構内に貨物上屋・倉庫・機関庫・給水塔・転車台などがある。

セートー 東京 東京都の中心。日本の首都。人口約七百万。皇居・官庁・大学・銀行・会社・劇場・百貨店が集まる。

セートー 東京湾 東京都・神奈川県・千葉県に囲まれた湾。湾口は浦賀水道。

セートー 東山 京都市東部の山地。

セートー 東山道 古代の七道の一。

セートー 東山道 古代の七道の一。

セートー 東山道 古代の七道の一

物・繊維品・金物・陶磁器・ガラス製品・化学肥料・ゴム製品・木材・紙・パルプ・印刷・出版・機械・電気機械・輸送用機械・精密機械・武器・その他の工業製品の出荷額は、それぞれ全国の一〇分の一以上を占めている。

【交通】 鉄道は、国有鉄道東海道本線・東海道新幹線・東海道貨物線・関西本線・武豊線・名古屋臨海鉄道東港線・名古屋臨海鉄道西港線・名古屋臨海鉄道南港線・名古屋臨海鉄道名古屋貨物ターミナル線・名古屋臨海鉄道名古屋貨物ターミナル支線・名古屋臨海鉄道名古屋貨物ターミナル東港線・名古屋臨海鉄道名古屋貨物ターミナル南港線・名古屋臨海鉄道名古屋貨物ターミナル西港線・名古屋臨海鉄道名古屋貨物ターミナル北港線・名古屋臨海鉄道名古屋貨物ターミナル中央線・名古屋臨海鉄道名古屋貨物ターミナル中央東線・名古屋臨海鉄道名古屋貨物ターミナル中央西線・名古屋臨海鉄道名古屋貨物ターミナル中央南線・名古屋臨海鉄道名古屋貨物ターミナル中央北線・名古屋臨海鉄道名古屋貨物ターミナル中央東南線・名古屋臨海鉄道名古屋貨物ターミナル中央西南線・名古屋臨海鉄道名古屋貨物ターミナル中央東北線・名古屋臨海鉄道名古屋貨物ターミナル中央西

**せ―ホ―一　**阿武隈川　おうむくまがわ　福島県中央部から宮城県南部を流れる川。

**せ―ホ―二　**猪苗代湖　いなわしろこ　福島県中央部にある湖。

**せ―ホ―三　**磐梯山　ばんだいさん　福島県中央部にある火山。

**せ―ホ―四　**猪苗代湖疏水　いなわしろこそすい　猪苗代湖の水を安積疏水に導く水路。

**せ―ホ―五　**安積疏水　あさかそすい　猪苗代湖の水を郡山市・須賀川市などの安積平野に導く水路。

**せ―ホ―六　**郡山盆地　こおりやまぼんち　福島県中央部にある盆地。

**せ―ホ―七　**須賀川盆地　すかがわぼんち　福島県中央部にある盆地。

**せ―ホ―八　**白河盆地　しらかわぼんち　福島県南部にある盆地。

**せ―ホ―九　**阿武隈高地　あぶくまこうち　福島県東部から宮城県南部にかけての高地。

**せ―ホ―十　**奥羽山脈　おううさんみゃく　福島県と宮城県・山形県との境にある山脈。

**せ―ホ―十一　**吾妻山　あづまやま　福島県と山形県との境にある山。

**せ―ホ―十二　**安達太良山　あだたらやま　福島県と宮城県との境にある山。

**せ―ホ―十三　**磐梯吾妻スカイライン　ばんだいあづまスカイライン　福島県中央部にある有料道路。

**せ―ホ―十四　**磐梯熱海温泉　ばんだいあたみおんせん　福島県中央部にある温泉。

**せ―ホ―十五　**土湯温泉　つちゆおんせん　福島県中央部にある温泉。

**せ―ホ―十六　**高湯温泉　たかゆおんせん　福島県中央部にある温泉。

**せ―ホ―十七　**岳温泉　だけおんせん　福島県中央部にある温泉。

**せ―ホ―十八　**安達ヶ原　あだちがはら　福島県中央部にある原。

**せ―ホ―十九　**須賀川牡丹園　すかがわぼたんえん　福島県中央部にある庭園。

**せ―ホ―二十　**二本松城跡　にほんまつじょうあと　福島県中央部にある城跡。

**せ―ホ―二十一　**霞城公園　かじょうこうえん　福島県中央部にある公園。

**せ―ホ―二十二　**智恵子記念館　ちえこきねんかん　福島県中央部にある記念館。

**せ―ホ―二十三　**安積国造神社　あさかくにのみやつこじんじゃ　福島県中央部にある神社。

**せ―ホ―二十四　**開成山大神宮　かいせいやまだいじんぐう　福島県中央部にある神社。

**せ―ホ―二十五　**開成山公園　かいせいやまこうえん　福島県中央部にある公園。

**せ―ホ―二十六　**開成山陸上競技場　かいせいやまりくじょうきょうぎじょう　福島県中央部にある陸上競技場。

**せ―ホ―二十七　**開成山野球場　かいせいやまやきゅうじょう　福島県中央部にある野球場。

**せ―ホ―二十八　**開成山球場　かいせいやまきゅうじょう　福島県中央部にある球場。

**せ―ホ―二十九　**開成山庭園　かいせいやまていえん　福島県中央部にある庭園。

**せ―ホ―三十　**開成山大神宮能楽殿　かいせいやまだいじんぐうのうがくでん　福島県中央部にある能楽殿。

**せ―ホ―三十一　**開成山大神宮神楽殿　かいせいやまだいじんぐうかぐらでん　福島県中央部にある神楽殿。

**せ―ホ―三十二　**開成山大神宮社務所　かいせいやまだいじんぐうしゃむしょ　福島県中央部にある社務所。

**せ―ホ―三十三　**開成山大神宮宝物殿　かいせいやまだいじんぐうほうもつでん　福島県中央部にある宝物殿。

**せ―ホ―三十四　**開成山大神宮参集殿　かいせいやまだいじんぐうさんしゅうでん　福島県中央部にある参集殿。

**せ―ホ―三十五　**開成山大神宮社殿　かいせいやまだいじんぐうしゃでん　福島県中央部にある社殿。

**せ―ホ―三十六　**開成山大神宮神輿庫　かいせいやまだいじんぐうみこしこ　福島県中央部にある神輿庫。

**せ―ホ―三十七　**開成山大神宮手水舎　かいせいやまだいじんぐうちょうずや　福島県中央部にある手水舎。

**せ―ホ―三十八　**開成山大神宮鳥居　かいせいやまだいじんぐうとりい　福島県中央部にある鳥居。

**せ―ホ―三十九　**開成山大神宮狛犬　かいせいやまだいじんぐうこまいぬ　福島県中央部にある狛犬。

**せ―ホ―四十　**開成山大神宮灯籠　かいせいやまだいじんぐうとうろう　福島県中央部にある灯籠。

**せ―ホ―四十一　**開成山大神宮絵馬堂　かいせいやまだいじんぐうえまどう　福島県中央部にある絵馬堂。

**せ―ホ―四十二　**開成山大神宮御守授与所　かいせいやまだいじんぐうおまもりじゅよしょ　福島県中央部にある御守授与所。

**せ―ホ―四十三　**開成山大神宮御朱印所　かいせいやまだいじんぐうごしゅいんしょ　福島県中央部にある御朱印所。

**せ―ホ―四十四　**開成山大神宮御神木　かいせいやまだいじんぐうごしんぼく　福島県中央部にある御神木。

**せ―ホ―四十五　**開成山大神宮参道　かいせいやまだいじんぐうさんどう　福島県中央部にある参道。

**せ―ホ―四十六　**開成山大神宮一の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひとのとりい　福島県中央部にある一の鳥居。

**せ―ホ―四十七　**開成山大神宮二の鳥居　かいせいやまだいじんぐうにのとりい　福島県中央部にある二の鳥居。

**せ―ホ―四十八　**開成山大神宮三の鳥居　かいせいやまだいじんぐうさんのとりい　福島県中央部にある三の鳥居。

**せ―ホ―四十九　**開成山大神宮四の鳥居　かいせいやまだいじんぐうよんのとりい　福島県中央部にある四の鳥居。

**せ―ホ―五十　**開成山大神宮五の鳥居　かいせいやまだいじんぐうごのとりい　福島県中央部にある五の鳥居。

**せ―ホ―五十一　**開成山大神宮六の鳥居　かいせいやまだいじんぐうろくのとりい　福島県中央部にある六の鳥居。

**せ―ホ―五十二　**開成山大神宮七の鳥居　かいせいやまだいじんぐうしちのとりい　福島県中央部にある七の鳥居。

**せ―ホ―五十三　**開成山大神宮八の鳥居　かいせいやまだいじんぐうはちのとりい　福島県中央部にある八の鳥居。

**せ―ホ―五十四　**開成山大神宮九の鳥居　かいせいやまだいじんぐうきゅうのとりい　福島県中央部にある九の鳥居。

**せ―ホ―五十五　**開成山大神宮十の鳥居　かいせいやまだいじんぐうじゅうのとりい　福島県中央部にある十の鳥居。

**せ―ホ―五十六　**開成山大神宮十一の鳥居　かいせいやまだいじんぐうじゅういちのとりい　福島県中央部にある十一の鳥居。

**せ―ホ―五十七　**開成山大神宮十二の鳥居　かいせいやまだいじんぐうじゅうにのとりい　福島県中央部にある十二の鳥居。

**せ―ホ―五十八　**開成山大神宮十三の鳥居　かいせいやまだいじんぐうじゅうさんのとりい　福島県中央部にある十三の鳥居。

**せ―ホ―五十九　**開成山大神宮十四の鳥居　かいせいやまだいじんぐうじゅうよんのとりい　福島県中央部にある十四の鳥居。

**せ―ホ―六十　**開成山大神宮十五の鳥居　かいせいやまだいじんぐうじゅうごのとりい　福島県中央部にある十五の鳥居。

**せ―ホ―六十一　**開成山大神宮十六の鳥居　かいせいやまだいじんぐうじゅうろくのとりい　福島県中央部にある十六の鳥居。

**せ―ホ―六十二　**開成山大神宮十七の鳥居　かいせいやまだいじんぐうじゅうしちのとりい　福島県中央部にある十七の鳥居。

**せ―ホ―六十三　**開成山大神宮十八の鳥居　かいせいやまだいじんぐうじゅうはちのとりい　福島県中央部にある十八の鳥居。

**せ―ホ―六十四　**開成山大神宮十九の鳥居　かいせいやまだいじんぐうじゅうきゅうのとりい　福島県中央部にある十九の鳥居。

**せ―ホ―六十五　**開成山大神宮二十の鳥居　かいせいやまだいじんぐうにじゅうのとりい　福島県中央部にある二十の鳥居。

**せ―ホ―六十六　**開成山大神宮二十一の鳥居　かいせいやまだいじんぐうにじゅういちのとりい　福島県中央部にある二十一の鳥居。

**せ―ホ―六十七　**開成山大神宮二十二の鳥居　かいせいやまだいじんぐうにじゅうにのとりい　福島県中央部にある二十二の鳥居。

**せ―ホ―六十八　**開成山大神宮二十三の鳥居　かいせいやまだいじんぐうにじゅうさんのとりい　福島県中央部にある二十三の鳥居。

**せ―ホ―六十九　**開成山大神宮二十四の鳥居　かいせいやまだいじんぐうにじゅうよんのとりい　福島県中央部にある二十四の鳥居。

**せ―ホ―七十　**開成山大神宮二十五の鳥居　かいせいやまだいじんぐうにじゅうごのとりい　福島県中央部にある二十五の鳥居。

**せ―ホ―七十一　**開成山大神宮二十六の鳥居　かいせいやまだいじんぐうにじゅうろくのとりい　福島県中央部にある二十六の鳥居。

**せ―ホ―七十二　**開成山大神宮二十七の鳥居　かいせいやまだいじんぐうにじゅうしちのとりい　福島県中央部にある二十七の鳥居。

**せ―ホ―七十三　**開成山大神宮二十八の鳥居　かいせいやまだいじんぐうにじゅうはちのとりい　福島県中央部にある二十八の鳥居。

**せ―ホ―七十四　**開成山大神宮二十九の鳥居　かいせいやまだいじんぐうにじゅうきゅうのとりい　福島県中央部にある二十九の鳥居。

**せ―ホ―七十五　**開成山大神宮三十の鳥居　かいせいやまだいじんぐうさんじゅうのとりい　福島県中央部にある三十の鳥居。

**せ―ホ―七十六　**開成山大神宮三十一の鳥居　かいせいやまだいじんぐうさんじゅういちのとりい　福島県中央部にある三十一の鳥居。

**せ―ホ―七十七　**開成山大神宮三十二の鳥居　かいせいやまだいじんぐうさんじゅうにのとりい　福島県中央部にある三十二の鳥居。

**せ―ホ―七十八　**開成山大神宮三十三の鳥居　かいせいやまだいじんぐうさんじゅうさんのとりい　福島県中央部にある三十三の鳥居。

**せ―ホ―七十九　**開成山大神宮三十四の鳥居　かいせいやまだいじんぐうさんじゅうよんのとりい　福島県中央部にある三十四の鳥居。

**せ―ホ―八十　**開成山大神宮三十五の鳥居　かいせいやまだいじんぐうさんじゅうごのとりい　福島県中央部にある三十五の鳥居。

**せ―ホ―八十一　**開成山大神宮三十六の鳥居　かいせいやまだいじんぐうさんじゅうろくのとりい　福島県中央部にある三十六の鳥居。

**せ―ホ―八十二　**開成山大神宮三十七の鳥居　かいせいやまだいじんぐうさんじゅうしちのとりい　福島県中央部にある三十七の鳥居。

**せ―ホ―八十三　**開成山大神宮三十八の鳥居　かいせいやまだいじんぐうさんじゅうはちのとりい　福島県中央部にある三十八の鳥居。

**せ―ホ―八十四　**開成山大神宮三十九の鳥居　かいせいやまだいじんぐうさんじゅうきゅうのとりい　福島県中央部にある三十九の鳥居。

**せ―ホ―八十五　**開成山大神宮四十の鳥居　かいせいやまだいじんぐうよんじゅうのとりい　福島県中央部にある四十の鳥居。

**せ―ホ―八十六　**開成山大神宮四十一の鳥居　かいせいやまだいじんぐうよんじゅういちのとりい　福島県中央部にある四十一の鳥居。

**せ―ホ―八十七　**開成山大神宮四十二の鳥居　かいせいやまだいじんぐうよんじゅうにのとりい　福島県中央部にある四十二の鳥居。

**せ―ホ―八十八　**開成山大神宮四十三の鳥居　かいせいやまだいじんぐうよんじゅうさんのとりい　福島県中央部にある四十三の鳥居。

**せ―ホ―八十九　**開成山大神宮四十四の鳥居　かいせいやまだいじんぐうよんじゅうよんのとりい　福島県中央部にある四十四の鳥居。

**せ―ホ―九十　**開成山大神宮四十五の鳥居　かいせいやまだいじんぐうよんじゅうごのとりい　福島県中央部にある四十五の鳥居。

**せ―ホ―九十一　**開成山大神宮四十六の鳥居　かいせいやまだいじんぐうよんじゅうろくのとりい　福島県中央部にある四十六の鳥居。

**せ―ホ―九十二　**開成山大神宮四十七の鳥居　かいせいやまだいじんぐうよんじゅうしちのとりい　福島県中央部にある四十七の鳥居。

**せ―ホ―九十三　**開成山大神宮四十八の鳥居　かいせいやまだいじんぐうよんじゅうはちのとりい　福島県中央部にある四十八の鳥居。

**せ―ホ―九十四　**開成山大神宮四十九の鳥居　かいせいやまだいじんぐうよんじゅうきゅうのとりい　福島県中央部にある四十九の鳥居。

**せ―ホ―九十五　**開成山大神宮五十の鳥居　かいせいやまだいじんぐうごじゅうのとりい　福島県中央部にある五十の鳥居。

**せ―ホ―九十六　**開成山大神宮五十一の鳥居　かいせいやまだいじんぐうごじゅういちのとりい　福島県中央部にある五十一の鳥居。

**せ―ホ―九十七　**開成山大神宮五十二の鳥居　かいせいやまだいじんぐうごじゅうにのとりい　福島県中央部にある五十二の鳥居。

**せ―ホ―九十八　**開成山大神宮五十三の鳥居　かいせいやまだいじんぐうごじゅうさんのとりい　福島県中央部にある五十三の鳥居。

**せ―ホ―九十九　**開成山大神宮五十四の鳥居　かいせいやまだいじんぐうごじゅうよんのとりい　福島県中央部にある五十四の鳥居。

**せ―ホ―百　**開成山大神宮五十五の鳥居　かいせいやまだいじんぐうごじゅうごのとりい　福島県中央部にある五十五の鳥居。

**せ―ホ―百一　**開成山大神宮五十六の鳥居　かいせいやまだいじんぐうごじゅうろくのとりい　福島県中央部にある五十六の鳥居。

**せ―ホ―百二　**開成山大神宮五十七の鳥居　かいせいやまだいじんぐうごじゅうしちのとりい　福島県中央部にある五十七の鳥居。

**せ―ホ―百三　**開成山大神宮五十八の鳥居　かいせいやまだいじんぐうごじゅうはちのとりい　福島県中央部にある五十八の鳥居。

**せ―ホ―百四　**開成山大神宮五十九の鳥居　かいせいやまだいじんぐうごじゅうきゅうのとりい　福島県中央部にある五十九の鳥居。

**せ―ホ―百五　**開成山大神宮六十の鳥居　かいせいやまだいじんぐうろくじゅうのとりい　福島県中央部にある六十の鳥居。

**せ―ホ―百六　**開成山大神宮六十一の鳥居　かいせいやまだいじんぐうろくじゅういちのとりい　福島県中央部にある六十一の鳥居。

**せ―ホ―百七　**開成山大神宮六十二の鳥居　かいせいやまだいじんぐうろくじゅうにのとりい　福島県中央部にある六十二の鳥居。

**せ―ホ―百八　**開成山大神宮六十三の鳥居　かいせいやまだいじんぐうろくじゅうさんのとりい　福島県中央部にある六十三の鳥居。

**せ―ホ―百九　**開成山大神宮六十四の鳥居　かいせいやまだいじんぐうろくじゅうよんのとりい　福島県中央部にある六十四の鳥居。

**せ―ホ―百十　**開成山大神宮六十五の鳥居　かいせいやまだいじんぐうろくじゅうごのとりい　福島県中央部にある六十五の鳥居。

**せ―ホ―百十一　**開成山大神宮六十六の鳥居　かいせいやまだいじんぐうろくじゅうろくのとりい　福島県中央部にある六十六の鳥居。

**せ―ホ―百十二　**開成山大神宮六十七の鳥居　かいせいやまだいじんぐうろくじゅうしちのとりい　福島県中央部にある六十七の鳥居。

**せ―ホ―百十三　**開成山大神宮六十八の鳥居　かいせいやまだいじんぐうろくじゅうはちのとりい　福島県中央部にある六十八の鳥居。

**せ―ホ―百十四　**開成山大神宮六十九の鳥居　かいせいやまだいじんぐうろくじゅうきゅうのとりい　福島県中央部にある六十九の鳥居。

**せ―ホ―百十五　**開成山大神宮七十の鳥居　かいせいやまだいじんぐうしちじゅうのとりい　福島県中央部にある七十の鳥居。

**せ―ホ―百十六　**開成山大神宮七十一の鳥居　かいせいやまだいじんぐうしちじゅういちのとりい　福島県中央部にある七十一の鳥居。

**せ―ホ―百十七　**開成山大神宮七十二の鳥居　かいせいやまだいじんぐうしちじゅうにのとりい　福島県中央部にある七十二の鳥居。

**せ―ホ―百十八　**開成山大神宮七十三の鳥居　かいせいやまだいじんぐうしちじゅうさんのとりい　福島県中央部にある七十三の鳥居。

**せ―ホ―百十九　**開成山大神宮七十四の鳥居　かいせいやまだいじんぐうしちじゅうよんのとりい　福島県中央部にある七十四の鳥居。

**せ―ホ―百二十　**開成山大神宮七十五の鳥居　かいせいやまだいじんぐうしちじゅうごのとりい　福島県中央部にある七十五の鳥居。

**せ―ホ―百二十一　**開成山大神宮七十六の鳥居　かいせいやまだいじんぐうしちじゅうろくのとりい　福島県中央部にある七十六の鳥居。

**せ―ホ―百二十二　**開成山大神宮七十七の鳥居　かいせいやまだいじんぐうしちじゅうしちのとりい　福島県中央部にある七十七の鳥居。

**せ―ホ―百二十三　**開成山大神宮七十八の鳥居　かいせいやまだいじんぐうしちじゅうはちのとりい　福島県中央部にある七十八の鳥居。

**せ―ホ―百二十四　**開成山大神宮七十九の鳥居　かいせいやまだいじんぐうしちじゅうきゅうのとりい　福島県中央部にある七十九の鳥居。

**せ―ホ―百二十五　**開成山大神宮八十の鳥居　かいせいやまだいじんぐうはちじゅうのとりい　福島県中央部にある八十の鳥居。

**せ―ホ―百二十六　**開成山大神宮八十一の鳥居　かいせいやまだいじんぐうはちじゅういちのとりい　福島県中央部にある八十一の鳥居。

**せ―ホ―百二十七　**開成山大神宮八十二の鳥居　かいせいやまだいじんぐうはちじゅうにのとりい　福島県中央部にある八十二の鳥居。

**せ―ホ―百二十八　**開成山大神宮八十三の鳥居　かいせいやまだいじんぐうはちじゅうさんのとりい　福島県中央部にある八十三の鳥居。

**せ―ホ―百二十九　**開成山大神宮八十四の鳥居　かいせいやまだいじんぐうはちじゅうよんのとりい　福島県中央部にある八十四の鳥居。

**せ―ホ―百三十　**開成山大神宮八十五の鳥居　かいせいやまだいじんぐうはちじゅうごのとりい　福島県中央部にある八十五の鳥居。

**せ―ホ―百三十一　**開成山大神宮八十六の鳥居　かいせいやまだいじんぐうはちじゅうろくのとりい　福島県中央部にある八十六の鳥居。

**せ―ホ―百三十二　**開成山大神宮八十七の鳥居　かいせいやまだいじんぐうはちじゅうしちのとりい　福島県中央部にある八十七の鳥居。

**せ―ホ―百三十三　**開成山大神宮八十八の鳥居　かいせいやまだいじんぐうはちじゅうはちのとりい　福島県中央部にある八十八の鳥居。

**せ―ホ―百三十四　**開成山大神宮八十九の鳥居　かいせいやまだいじんぐうはちじゅうきゅうのとりい　福島県中央部にある八十九の鳥居。

**せ―ホ―百三十五　**開成山大神宮九十の鳥居　かいせいやまだいじんぐうきゅうじゅうのとりい　福島県中央部にある九十の鳥居。

**せ―ホ―百三十六　**開成山大神宮九十一の鳥居　かいせいやまだいじんぐうきゅうじゅういちのとりい　福島県中央部にある九十一の鳥居。

**せ―ホ―百三十七　**開成山大神宮九十二の鳥居　かいせいやまだいじんぐうきゅうじゅうにのとりい　福島県中央部にある九十二の鳥居。

**せ―ホ―百三十八　**開成山大神宮九十三の鳥居　かいせいやまだいじんぐうきゅうじゅうさんのとりい　福島県中央部にある九十三の鳥居。

**せ―ホ―百三十九　**開成山大神宮九十四の鳥居　かいせいやまだいじんぐうきゅうじゅうよんのとりい　福島県中央部にある九十四の鳥居。

**せ―ホ―百四十　**開成山大神宮九十五の鳥居　かいせいやまだいじんぐうきゅうじゅうごのとりい　福島県中央部にある九十五の鳥居。

**せ―ホ―百四十一　**開成山大神宮九十六の鳥居　かいせいやまだいじんぐうきゅうじゅうろくのとりい　福島県中央部にある九十六の鳥居。

**せ―ホ―百四十二　**開成山大神宮九十七の鳥居　かいせいやまだいじんぐうきゅうじゅうしちのとりい　福島県中央部にある九十七の鳥居。

**せ―ホ―百四十三　**開成山大神宮九十八の鳥居　かいせいやまだいじんぐうきゅうじゅうはちのとりい　福島県中央部にある九十八の鳥居。

**せ―ホ―百四十四　**開成山大神宮九十九の鳥居　かいせいやまだいじんぐうきゅうじゅうきゅうのとりい　福島県中央部にある九十九の鳥居。

**せ―ホ―百四十五　**開成山大神宮百の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくのとりい　福島県中央部にある百の鳥居。

**せ―ホ―百四十六　**開成山大神宮百一の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくいちのとりい　福島県中央部にある百一の鳥居。

**せ―ホ―百四十七　**開成山大神宮百二の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくにのとりい　福島県中央部にある百二の鳥居。

**せ―ホ―百四十八　**開成山大神宮百三の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくさんのとりい　福島県中央部にある百三の鳥居。

**せ―ホ―百四十九　**開成山大神宮百四の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくよんのとりい　福島県中央部にある百四の鳥居。

**せ―ホ―百五十　**開成山大神宮百五の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくごのとりい　福島県中央部にある百五の鳥居。

**せ―ホ―百五十一　**開成山大神宮百六の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくろくのとりい　福島県中央部にある百六の鳥居。

**せ―ホ―百五十二　**開成山大神宮百七の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくしちのとりい　福島県中央部にある百七の鳥居。

**せ―ホ―百五十三　**開成山大神宮百八の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくはちのとりい　福島県中央部にある百八の鳥居。

**せ―ホ―百五十四　**開成山大神宮百九の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくきゅうのとりい　福島県中央部にある百九の鳥居。

**せ―ホ―百五十五　**開成山大神宮百十の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくじゅうのとりい　福島県中央部にある百十の鳥居。

**せ―ホ―百五十六　**開成山大神宮百十一の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくじゅういちのとりい　福島県中央部にある百十一の鳥居。

**せ―ホ―百五十七　**開成山大神宮百十二の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくじゅうにのとりい　福島県中央部にある百十二の鳥居。

**せ―ホ―百五十八　**開成山大神宮百十三の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくじゅうさんのとりい　福島県中央部にある百十三の鳥居。

**せ―ホ―百五十九　**開成山大神宮百十四の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくじゅうよんのとりい　福島県中央部にある百十四の鳥居。

**せ―ホ―百六十　**開成山大神宮百十五の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくじゅうごのとりい　福島県中央部にある百十五の鳥居。

**せ―ホ―百六十一　**開成山大神宮百十六の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくじゅうろくのとりい　福島県中央部にある百十六の鳥居。

**せ―ホ―百六十二　**開成山大神宮百十七の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくじゅうしちのとりい　福島県中央部にある百十七の鳥居。

**せ―ホ―百六十三　**開成山大神宮百十八の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくじゅうはちのとりい　福島県中央部にある百十八の鳥居。

**せ―ホ―百六十四　**開成山大神宮百十九の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくじゅうきゅうのとりい　福島県中央部にある百十九の鳥居。

**せ―ホ―百六十五　**開成山大神宮百二十の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくにじゅうのとりい　福島県中央部にある百二十の鳥居。

**せ―ホ―百六十六　**開成山大神宮百二十一の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくにじゅういちのとりい　福島県中央部にある百二十一の鳥居。

**せ―ホ―百六十七　**開成山大神宮百二十二の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくにじゅうにのとりい　福島県中央部にある百二十二の鳥居。

**せ―ホ―百六十八　**開成山大神宮百二十三の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくにじゅうさんのとりい　福島県中央部にある百二十三の鳥居。

**せ―ホ―百六十九　**開成山大神宮百二十四の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくにじゅうよんのとりい　福島県中央部にある百二十四の鳥居。

**せ―ホ―百七十　**開成山大神宮百二十五の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくにじゅうごのとりい　福島県中央部にある百二十五の鳥居。

**せ―ホ―百七十一　**開成山大神宮百二十六の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくにじゅうろくのとりい　福島県中央部にある百二十六の鳥居。

**せ―ホ―百七十二　**開成山大神宮百二十七の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくにじゅうしちのとりい　福島県中央部にある百二十七の鳥居。

**せ―ホ―百七十三　**開成山大神宮百二十八の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくにじゅうはちのとりい　福島県中央部にある百二十八の鳥居。

**せ―ホ―百七十四　**開成山大神宮百二十九の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくにじゅうきゅうのとりい　福島県中央部にある百二十九の鳥居。

**せ―ホ―百七十五　**開成山大神宮百三十の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくさんじゅうのとりい　福島県中央部にある百三十の鳥居。

**せ―ホ―百七十六　**開成山大神宮百三十一の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくさんじゅういちのとりい　福島県中央部にある百三十一の鳥居。

**せ―ホ―百七十七　**開成山大神宮百三十二の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくさんじゅうにのとりい　福島県中央部にある百三十二の鳥居。

**せ―ホ―百七十八　**開成山大神宮百三十三の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくさんじゅうさんのとりい　福島県中央部にある百三十三の鳥居。

**せ―ホ―百七十九　**開成山大神宮百三十四の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくさんじゅうよんのとりい　福島県中央部にある百三十四の鳥居。

**せ―ホ―百八十　**開成山大神宮百三十五の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくさんじゅうごのとりい　福島県中央部にある百三十五の鳥居。

**せ―ホ―百八十一　**開成山大神宮百三十六の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくさんじゅうろくのとりい　福島県中央部にある百三十六の鳥居。

**せ―ホ―百八十二　**開成山大神宮百三十七の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくさんじゅうしちのとりい　福島県中央部にある百三十七の鳥居。

**せ―ホ―百八十三　**開成山大神宮百三十八の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくさんじゅうはちのとりい　福島県中央部にある百三十八の鳥居。

**せ―ホ―百八十四　**開成山大神宮百三十九の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくさんじゅうきゅうのとりい　福島県中央部にある百三十九の鳥居。

**せ―ホ―百八十五　**開成山大神宮百四十の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくよんじゅうのとりい　福島県中央部にある百四十の鳥居。

**せ―ホ―百八十六　**開成山大神宮百四十一の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくよんじゅういちのとりい　福島県中央部にある百四十一の鳥居。

**せ―ホ―百八十七　**開成山大神宮百四十二の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくよんじゅうにのとりい　福島県中央部にある百四十二の鳥居。

**せ―ホ―百八十八　**開成山大神宮百四十三の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくよんじゅうさんのとりい　福島県中央部にある百四十三の鳥居。

**せ―ホ―百八十九　**開成山大神宮百四十四の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくよんじゅうよんのとりい　福島県中央部にある百四十四の鳥居。

**せ―ホ―百九十　**開成山大神宮百四十五の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくよんじゅうごのとりい　福島県中央部にある百四十五の鳥居。

**せ―ホ―百九十一　**開成山大神宮百四十六の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくよんじゅうろくのとりい　福島県中央部にある百四十六の鳥居。

**せ―ホ―百九十二　**開成山大神宮百四十七の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくよんじゅうしちのとりい　福島県中央部にある百四十七の鳥居。

**せ―ホ―百九十三　**開成山大神宮百四十八の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくよんじゅうはちのとりい　福島県中央部にある百四十八の鳥居。

**せ―ホ―百九十四　**開成山大神宮百四十九の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくよんじゅうきゅうのとりい　福島県中央部にある百四十九の鳥居。

**せ―ホ―百九十五　**開成山大神宮百五十の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくごじゅうのとりい　福島県中央部にある百五十の鳥居。

**せ―ホ―百九十六　**開成山大神宮百五十一の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくごじゅういちのとりい　福島県中央部にある百五十一の鳥居。

**せ―ホ―百九十七　**開成山大神宮百五十二の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくごじゅうにのとりい　福島県中央部にある百五十二の鳥居。

**せ―ホ―百九十八　**開成山大神宮百五十三の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくごじゅうさんのとりい　福島県中央部にある百五十三の鳥居。

**せ―ホ―百九十九　**開成山大神宮百五十四の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくごじゅうよんのとりい　福島県中央部にある百五十四の鳥居。

**せ―ホ―二百　**開成山大神宮百五十五の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくごじゅうごのとりい　福島県中央部にある百五十五の鳥居。

**せ―ホ―二百一　**開成山大神宮百五十六の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくごじゅうろくのとりい　福島県中央部にある百五十六の鳥居。

**せ―ホ―二百二　**開成山大神宮百五十七の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくごじゅうしちのとりい　福島県中央部にある百五十七の鳥居。

**せ―ホ―二百三　**開成山大神宮百五十八の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくごじゅうはちのとりい　福島県中央部にある百五十八の鳥居。

**せ―ホ―二百四　**開成山大神宮百五十九の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくごじゅうきゅうのとりい　福島県中央部にある百五十九の鳥居。

**せ―ホ―二百五　**開成山大神宮百六十の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくろくじゅうのとりい　福島県中央部にある百六十の鳥居。

**せ―ホ―二百六　**開成山大神宮百六十一の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくろくじゅういちのとりい　福島県中央部にある百六十一の鳥居。

**せ―ホ―二百七　**開成山大神宮百六十二の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくろくじゅうにのとりい　福島県中央部にある百六十二の鳥居。

**せ―ホ―二百八　**開成山大神宮百六十三の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくろくじゅうさんのとりい　福島県中央部にある百六十三の鳥居。

**せ―ホ―二百九　**開成山大神宮百六十四の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくろくじゅうよんのとりい　福島県中央部にある百六十四の鳥居。

**せ―ホ―二百十　**開成山大神宮百六十五の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくろくじゅうごのとりい　福島県中央部にある百六十五の鳥居。

**せ―ホ―二百十一　**開成山大神宮百六十六の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくろくじゅうろくのとりい　福島県中央部にある百六十六の鳥居。

**せ―ホ―二百十二　**開成山大神宮百六十七の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくろくじゅうしちのとりい　福島県中央部にある百六十七の鳥居。

**せ―ホ―二百十三　**開成山大神宮百六十八の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくろくじゅうはちのとりい　福島県中央部にある百六十八の鳥居。

**せ―ホ―二百十四　**開成山大神宮百六十九の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくろくじゅうきゅうのとりい　福島県中央部にある百六十九の鳥居。

**せ―ホ―二百十五　**開成山大神宮百七十の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくしちじゅうのとりい　福島県中央部にある百七十の鳥居。

**せ―ホ―二百十六　**開成山大神宮百七十一の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくしちじゅういちのとりい　福島県中央部にある百七十一の鳥居。

**せ―ホ―二百十七　**開成山大神宮百七十二の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくしちじゅうにのとりい　福島県中央部にある百七十二の鳥居。

**せ―ホ―二百十八　**開成山大神宮百七十三の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくしちじゅうさんのとりい　福島県中央部にある百七十三の鳥居。

**せ―ホ―二百十九　**開成山大神宮百七十四の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくしちじゅうよんのとりい　福島県中央部にある百七十四の鳥居。

**せ―ホ―二百二十　**開成山大神宮百七十五の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくしちじゅうごのとりい　福島県中央部にある百七十五の鳥居。

**せ―ホ―二百二十一　**開成山大神宮百七十六の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくしちじゅうろくのとりい　福島県中央部にある百七十六の鳥居。

**せ―ホ―二百二十二　**開成山大神宮百七十七の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくしちじゅうしちのとりい　福島県中央部にある百七十七の鳥居。

**せ―ホ―二百二十三　**開成山大神宮百七十八の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくしちじゅうはちのとりい　福島県中央部にある百七十八の鳥居。

**せ―ホ―二百二十四　**開成山大神宮百七十九の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくしちじゅうきゅうのとりい　福島県中央部にある百七十九の鳥居。

**せ―ホ―二百二十五　**開成山大神宮百八十の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくはちじゅうのとりい　福島県中央部にある百八十の鳥居。

**せ―ホ―二百二十六　**開成山大神宮百八十一の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくはちじゅういちのとりい　福島県中央部にある百八十一の鳥居。

**せ―ホ―二百二十七　**開成山大神宮百八十二の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくはちじゅうにのとりい　福島県中央部にある百八十二の鳥居。

**せ―ホ―二百二十八　**開成山大神宮百八十三の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくはちじゅうさんのとりい　福島県中央部にある百八十三の鳥居。

**せ―ホ―二百二十九　**開成山大神宮百八十四の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくはちじゅうよんのとりい　福島県中央部にある百八十四の鳥居。

**せ―ホ―二百三十　**開成山大神宮百八十五の鳥居　かいせいやまだいじんぐうひゃくはちじゅうごのとりい　福島県中央部にある百八十五の鳥

く付近にも与えられ発展を示す。また竹内盛久・大日本製糸会社等の大製糸工場は市の東北部に集まり、大日本蚕糸会社等の蚕種製造場は市の西北部に位置する。

【産業】 明治以前は農業が主で、米・麦・大豆・蚕繭・茶・野菜・果実・木材・竹材・薪炭・木綿・麻布・絹織物・生糸・真綿・紬・絹糸・綿糸・麻糸・和紙・提灯・団扇・傘・下駄・木工品・竹細工・製材・金属製品・機械・金属細工・建具・畳表・藁細工・縄・莚・叺・俵・木炭・石炭・石材・瓦・煉瓦・陶器・漆器・塗物・木製品

…郡・…村・…町・…島・…山・…川・…湖・…河・…岳・…峠・…岬・…湾・…海・…半島・…諸島・…平野・…盆地・…台地・…高原・…砂丘・…海岸・…温泉・…滝・…渓谷・…公園・…神社・…寺院・…城跡・…遺跡・…古墳・…貝塚・…洞窟・…鍾乳洞・…火山・…噴火口・…溶岩・…断層・…地震・…気候・…風土・…産業・…農業・…漁業・…林業・…鉱業・…工業・…商業・…貿易・…交通・…鉄道・…駅・…港・…空港・…道路・…橋・…トンネル・…運河・…ダム・…発電所・…水力・…火力・…原子力・…人口・…都市・…市街地・…住宅地・…学校・…大学・…病院・…官庁・…議会・…選挙・…政党・…歴史・…年表・…人物・…戦争・…条約・…憲法・…法律・…裁判・…警察・…消防・…税金・…予算・…財政・…銀行・…会社・…株式・…労働・…組合・…賃金・…物価・…統計・…国勢調査・…地図・…測量・…天文・…気象・…台風・…梅雨・…雪・…霧・…雷・…虹・…日食・…月食・…彗星・…流星・…星座・…銀河・…太陽系・…惑星・…衛星・…小惑星・…隕石・…化石・…地層・…鉱物・…岩石・…火山灰・…溶岩流・…温泉・…地熱・…風力・…太陽光・…原子核・…素粒子・…電子・…陽子・…中性子・…原子・…分子・…イオン・…酸・…塩基・…中和・…酸化・…還元・…燃焼・…爆発・…合金・…金属・…非鉄金属・…貴金属・…レアメタル・…ウラン・…プルトニウム・…核分裂・…核融合・…放射線・…放射能・…半減期・…被曝・…除染・…廃棄物・…再処理・…高速増殖炉・…軽水炉・…臨界・…制御棒・…冷却材・…減速材・…燃料棒・…燃料集合体・…ウラン濃縮・…遠心分離機・…ガス拡散法・…レーザー法・…プルサーマル・…MOX燃料・…使用済み燃料・…中間貯蔵・…地層処分・…ガラス固化体・…オーバーパック・…緩衝材・…ベントナイト・…ニアフィールド・…ファーフィールド・…バリア・…多重防護・…深層防護・…安全神話・…原子力規制委員会・…原子力規制庁・…原子力安全委員会・…原子力委員会・…原子力基本法・…原子力損害賠償法・…原子力損害賠償・…原子力損害賠償紛争審査会・…原子力損害賠償・廃炉等支援機構・…電力自由化・…発送電分離・…スマートグリッド・…再生可能エネルギー・…固定価格買取制度・…メガソーラー・…バイオマス発電・…地熱発電・…揚水発電・…蓄電池・…リチウムイオン電池・…燃料電池・…水素社会・…カーボンニュートラル・…温室効果ガス・…京都議定書・…パリ協定・…気候変動枠組条約・…生物多様性条約・…ワシントン条約・…ラムサール条約・…世界遺産・…自然遺産・…文化遺産・…複合遺産・…危機遺産・…登録遺産・…暫定リスト・…諮問機関・…イコモス・…イクロム・…ユネスコ・…国連教育科学文化機関・…国連環境計画・…国連開発計画・…国連難民高等弁務官事務所・…国連人口基金・…国連児童基金・…国連食糧農業機関・…世界保健機関・…世界気象機関・…国際原子力機関・…包括的核実験禁止条約・…核兵器不拡散条約・…非核三原則・…日米安全保障条約・…日米地位協定・…思いやり予算・…在日米軍・…沖縄返還・…普天間飛行場・…辺野古移設・…集団的自衛権・…安全保障関連法・…自衛隊・…防衛省・…統合幕僚監部・…陸上自衛隊・…海上自衛隊・…航空自衛隊・…防衛大臣・…内閣総理大臣・…内閣官房・…内閣府・…国家安全保障会議・…国家安全保障局・…特定秘密保護法・…秘密保全法・…情報公開法・…公文書管理法・…個人情報保護法・…マイナンバー制度・…住民基本台帳・…戸籍・…戸籍謄本・…戸籍抄本・…戸籍の附票・…本籍・…筆頭者・…氏・…名字・…苗字・…改姓・…婚姻・…離婚・…養子縁組・…特別養子縁組・…相続・…遺言・…遺留分・…成年後見・…未成年後見・…保佐・…補助・…任意後見・…家庭裁判所・…簡易裁判所・…地方裁判所・…高等裁判所・…最高裁判所・…知的財産高等裁判所・…行政不服審査法・…行政事件訴訟法・…国家賠償法・…刑事訴訟法・…民事訴訟法・…家事事件手続法・…少年法・…少年院・…少年鑑別所・…保護観察所・…更生保護施設・…刑務所・…拘置所・…死刑・…無期懲役・…有期懲役・…執行猶予・…保護観察・…仮釈放・…恩赦・…時効・…公訴時効・…刑の消滅・…前科・…前歴・…犯罪白書・…犯罪被害者等基本法・…犯罪被害者給付金・…犯罪被害者支援・…DV防止法・…ストーカー規制法・…児童虐待防止法・…児童福祉法・…児童相談所・…里親・…特別養子縁組・…ひとり親家庭・…母子家庭・…父子家庭・…寡婦・…寡夫・…生活保護・…生活保護法・…生活困窮者自立支援法・…ホームレス・…ネットカフェ難民・…ワーキングプア・…ベーシックインカム・…最低賃金・…労働基準法・…労働契約法・…労働者派遣法・…派遣切り・…ブラック企業・…ブラックバイト・…過労死・…過労自殺・…メンタルヘルス・…うつ病・…パワハラ・…セクハラ・…マタハラ・…育児休業・…介護休業・…男女雇用機会均等法・…ポジティブアクション・…クオータ制・…ジェンダー・…フェミニズム・…LGBT・…同性婚・…パートナーシップ制度・…夫婦別姓・…選択的夫婦別姓・…事実婚・…内縁・…重婚的内縁・…離婚届不受理申出・…協議離婚・…調停離婚・…審判離婚・…裁判離婚・…親権・…監護権・…面会交流・…養育費・…婚姻費用・…財産分与・…慰謝料・…年金分割・…遺族年金・…障害年金・…老齢年金・…国民年金・…厚生年金・…共済年金・…確定拠出年金・…確定給付年金・…企業年金・…私的年金・…公的年金・…年金機構・…日本年金機構・…社会保険庁・…後期高齢者医療制度・…高額療養費制度・…混合診療・…保険外併用療養費・…先進医療・…医療保険・…健康保険・…国民健康保険・…協会けんぽ・…組合健保・…船員保険・…共済組合・…介護保険・…介護保険法・…地域包括ケアシステム・…小規模多機能型居宅介護・…認知症・…アルツハイマー病・…レビー小体型認知症・…前頭側頭型認知症・…血管性認知症・…混合型認知症・…軽度認知障害・…MCI・…ADL・…IADL・…QOL・…ACP・…リビングウィル・…尊厳死・…安楽死・…緩和ケア・…ホスピス・…在宅医療・…訪問診療・…訪問看護・…訪問介護・…デイサービス・…ショートステイ・…グループホーム・…サービス付き高齢者向け住宅・…有料老人ホーム・…シルバー人材センター・…ハローワーク・…職業安定法・…労働者派遣事業・…人材派遣会社・…人材紹介会社・…ヘッドハンティング・…インターンシップ・…キャリアアップ・…リカレント教育・…生涯学習・…通信教育・…放送大学・…eラーニング・…MOOC・…反転授業・…アクティブラーニング・…ICT教育・…プログラミング教育・…STEM教育・…STEAM教育・…リベラルアーツ・…教養教育・…専門教育・…職業訓練・…ジョブカフェ・…トライアル雇用・…ニート・…フリーター・…引きこもり・…不登校・…いじめ・…学級崩壊・…教育委員会・…教育長・…教育基本法・…学校教育法・…学習指導要領・…教科書検定・…教科書採択・…義務教育・…小学校・…中学校・…高等学校・…中等教育学校・…特別支援学校・…特別支援教育・…インクルーシブ教育・…合理的配慮・…障害者差別解消法・…障害者基本法・…障害者総合支援法・…発達障害者支援法・…ADHD・…ASD・…LD・…学習障害・…注意欠陥多動性障害・…自閉症スペクトラム障害・…アスペルガー症候群・…知的障害・…精神障害・…身体障害・…視覚障害・…聴覚障害・…言語障害・…肢体不自由・…内部障害・…難病・…指定難病・…特定疾患・…小児慢性特定疾病・…予防接種・…ワクチン・…感染症・…新型インフルエンザ・…鳥インフルエンザ・…エボラ出血熱・…MERS・…SARS・…ジカ熱・…デング熱・…マラリア・…結核・…HIV・…エイズ・…性感染症・…梅毒・…淋病・…クラミジア・…ヘルペス・…肝炎・…B型肝炎・…C型肝炎・…肝硬変・…肝がん・…膵がん・…胃がん・…大腸がん・…肺がん・…乳がん・…子宮がん・…卵巣がん・…前立腺がん・…白血病・…悪性リンパ腫・…多発性骨髄腫・…骨肉腫・…軟部肉腫・…転移・…再発・…寛解・…緩和ケア・…放射線治療・…化学療法・…免疫療法・…分子標的薬・…抗がん剤・…副作用・…脱毛・…吐き気・…嘔吐・…下痢・…便秘・…口内炎・…味覚障害・…嗅覚障害・…視覚障害・…聴覚障害・…平衡感覚障害・…触覚障害・…痛覚障害・…温覚障害・…冷覚障害・…圧覚障害・…固有感覚障害・…内臓感覚障害・…自律神経・…交感神経・…副交感神経・…ホルモン・…内分泌腺・…外分泌腺・…消化器・…口腔・…食道・…胃・…十二指腸・…小腸・…大腸・…直腸・…肛門・…肝臓・…胆嚢・…膵臓・…脾臓・…腎臓・…膀胱・…尿道・…生殖器・…男性器・…女性器・…精巣・…卵巣・…子宮・…膣・…乳房・…乳腺・…乳首・…陰茎・…陰嚢・…睾丸・…精子・…卵子・…受精・…着床・…妊娠・…出産・…分娩・…陣痛・…破水・…帝王切開・…無痛分娩・…母乳・…粉ミルク・…離乳食・…幼児食・…成長曲線・…発達障害・…自閉症スペクトラム障害・…アスペルガー症候群・…ADHD・…ASD・…LD・…学習障害・…注意欠陥多動性障害

域及び利根川東岸の地を領有した。天正十八年の小田原役後は徳川氏の采地となり、慶長五年関ヶ原役の功により、同氏の家臣本多氏が一万石を領した。寛永十年本多氏が上総大多喜に転封後は、幕府領となり、元禄十五年旗本青山氏の領地となり、幕末に至った。

せき　関宿　関宿町・関宿村・木間ヶ瀬村・台町・新町・元町・中町・本町・東町・諏訪町・台宿町・新宿町・上町・下町・仲町・横町・新田町・境町・境新田・境河岸・関宿新田・関宿新町・関宿台町・関宿中町・関宿本町・関宿東町・関宿諏訪町・関宿上町・関宿下町・関宿仲町・関宿横町・関宿新田町・関宿境町・関宿境新田・関宿境河岸

俊し現宗に改む。（瑞光寺）大字木崎にあり。曹洞宗。川上山と號す。應安年中の開基にして、豐屋和尙之を中興す。もと會下村永明寺の別院なりしが、燒亡の後此の地を寄附せられ、會下村七十石を支配すといふ。

セキカ　石下　朝鮮總督府鐵道京義本線の一驛（明治四十一年設置）。平安北道義州郡古津面にあり。

セキガネ　關金　→矢送村（鳥取縣）

セキガハラ　關ケ原町　岐阜縣美濃國不破郡の西部に位し、大垣市の西方一二粁の地。北は揖斐郡、南は養老郡に隣る。古生層の伊吹山脈の東南端部に當り今須川之を開析して南北に二分す。北部には城山（三〇七米）、南部には松尾山（二九三米）あり、後者の東は南宮山（四一九米）の北斜面を占む。藤古川も玉村方面より東流し、今須川と共に伊吹地壘を切り、こゝに謂はゆる關ヶ原狹隘を造る。軍事上交通上の要衝なれば、古く不破關が置かれ關ヶ原の戰も行れたり。藤古川流域は洪積層の臺地にて水田・桑畑多く、柿の產多し。聚落は中山道の宿驛として發達せしも以て東西に細長き街村型をなす。中山道は古來この狹隘を通じて濃尾平野に出で、別に北國脇街道はこれより西北、玉村方面に至り、勢州街道は藤古川の谷を養老郡牧田村の方面に通ず。省線東海道本線は中山道に並行し相川の谷より東垂井に至り關ヶ原驛（明治十六年設置）を置く。（關ヶ原古戰場）古戰場は關ヶ原平野全部に亙るも、市街地・工場・停車場等散在せるを以て之を避け平野西端の關戰地及決戰地を史蹟に指定す。關戰地は慶長五年九月十五日朝東軍の先鋒福島正則が天滿山南麓に陣せる宇喜多秀家に挑戰せる地點より小西行長・島津義弘等西軍の諸將が東軍の攻撃に激戰せる天滿山東麓に至る地域、決戰地は同日午後小早川秀秋反旗を翻せし後大谷吉隆戰死し、小西・宇喜多兩軍また破れ、石田三成が島津義弘と共に最後の決戰を試みし笹尾山下一帶の地なり。共に關ヶ原驛の西七八町の間にあり。德川家康最初の陣地桃配山は關ヶ原驛より東約一四町の丘陵にして芝及び杉檜の幼樹生育す。家康最後の陣地は驛の西北北國街道の右側にあり、天保十二年幕命に依り領主竹中氏の造りし土壘並に土塁あり、石田三成の笹尾山陣地は驛の西北一〇町相川山麓の小丘にて、全山小芝を生じ松樹茂生せり、岡山烽火場は驛の北三町、東西兩軍の陣地を一眸に集む。大谷吉隆の墓は驛の西約二〇町、戰後程なく藤堂家にて建てたる五輪石塔にて高さ約三尺四寸あり。東關ヶ原は驛の西北五町、周圍五間高さ五尺の圓塚にて鐘木數株生育し塚側に碑石及び圖柱を建つ。西首塚は驛の西五町、一小塚にて上に三本の老檜、前面に小觀音堂二宇を存す。（不破關）大字松尾字大木戸坂の上にある關所址。美濃國は地勢上東海・東山・北陸三道の交會點に當り、古來要衝の地なり以て知らる。從つて當關は近江の愛發關、伊勢の鈴鹿關と共に三關の一として名あり。今の關所址と稱するものは、僅に一私人の庭園三畝歩許りを殘すのみなるも、もとの關址はなほ廣大なりしものならん。當關の初めて史上に現はれしは、壬申亂に當り、大海人皇子（天武天皇）が吉野に在して、村岡連男依等に命じ、不破の道を塞がしめられしこと、初見とす。一代要記には、白鳳元年初めて當關を置くこと見え、帝王編年記には白鳳二年七月初めて當關を立てしこと見ゆるも、確かならず。されど續日本紀、元明天皇和銅元年三月に三關の記事あれば、少なくとも和銅元年には不破關が既に設けられしことは疑なし。その設置の目的は勿論非常に備ふるにありしに相違なきも、後世の關所と同じく公私往來の人士を查問し、怪しき者に對しては往來をとどめしものならん。されば國家の重大事件起りし時は、固關使を派遣して守を嚴めしこと史に其の記事多し。然るに相武天皇平安遷都以後、近江の逢坂關を設けしより、右の三關はさほど必要を感ぜざりし如く、延暦八年七月勅して遂に他の二關と共に不破關もまた廢せられ、爾來ただ關の名のみ殘り平安朝末には詠歌にのみ上るに至る。されど鎌倉時代には不破關々料免除の下知狀等の存するよりみれば、なほ往還を取締り、また

は關料を徵收する等のことありしこと分明なり。而して江戸時代に至りては愈々荒廢に歸したるため、慕末に至りて林鶚の撰文に係る關跡や、名古屋の學者桑原の碑銘等が建てられ、保存の窟を寫するに至れるものならん。而もその地勢たる大垣を西するに從ひ、南北の山塞次第に相迫り、僅に中山道の一路を通ずるのみにて、最も險要の地を占むるため、古來ここを中心とせる東西兩軍の交戰は一再ならず行はれしなり。後の吉野朝時代の北畠顯家の青野原の戰、慶長五年の關原の大戰等は著名なるものなり。（井上神社）大字松尾に鎭座。郷社。祭神、天武天皇。創建年代不詳。社傳に往古天武天皇亂を北地に避けて行宮を營き給ひしを以て後に同天皇を奉祀せしものなりといふ。例祭、十月四日。

セキカワ　關川村　茨城縣常陸國新治郡の東部。霞ヶ浦の北端に臨む。面積九・一九平方粁。中部・西部は低き臺地にて林野あり。東部より北の一部にかけては霞ヶ浦沿岸の低地にて水田多し。米を主產し、ほかに小麥を產す。村道中部を西北に走り、西隣三村を經て高濱町（約二粁）に通じ、同町に省線常磐線高濱驛を置く。他に霞ヶ浦の舟運の便あり。（盛覺寺）井關にあり。新義眞言宗豐山派。寶通山と號し山城醍醐松橋無量壽院末たり。往昔那珂郡額田村にあり て阿彌陀院と稱せしを、元祿二年水戸光圀の命

により て現地に移したるものといふ。

セキガワ　關川（せき）　【關川】岡山縣苫庭郡にありし村。明治三十七年本村及び美原村を廢し、その地域を以て美川村を置く。

【關川村】愛媛縣伊豫國宇摩郡の西部。石鎚山脈支脈の北斜面の山地を占め、南境に東赤石山（一七〇七米）、東境に笹ヶ峯山（一一三米）、西境に上兜山（一五六三米）、下兜山（一二三四米）等の山岳櫛比し各山麓相重りて南半は深山幽谷をなし、北部には讃岐山脈の餘波たる丘陵性山地あり、中央部には關川北東方に流れ、流域に低平肥沃なる耕地を拓く。全戸數五二〇戸の內四八〇戸は農家にて米・麥・繭等を多量に產する外、苗木・盆栽等の特產あり。またクローム鑛を產する赤石鑛山の一部を占む。伊豫街道中央平野の南を東西に通り東の三島町と西の西條町を繫ぎバスを通ず、省線豫讃本線は平地を西北方に走る。古くは和名抄、宇摩郡津根郷の內に屬せしものゝ如し。中世大字上野に關所設けられ宇摩關といふ。村名は蓋しこれより起る。宇摩關は新居郡との界をなすゆゑ新居關とも云へり。

セキガン　石巖　朝鮮總督府鐵道京義本線の一驛（大正十二年設置）。新開紙の到著に限り荷扱。平安南道平原郡東岩面にあり。

セキガン　積岩面　朝鮮黃海道平山郡の南部。郡邑寶山面を距る西南約二五粁。南に黃衣山（四七八米）聳えて北に聳立し、東北境には佛芝山（三四一米）あり、麓勢城內に及んで處々に百乃至二百米臺の丘陵起伏するも、大部分は低平にして、耕地到る處に拓け、殊に中部は最も平坦にて穀倉江の一支古之川これを灌漑す。北西部の古之川畔には平山溫泉湧出す。農產に米・麥・棉等あり、雲母も行はれ、多知島鐵山よりは金・銀等を出す。西部に二等道路通じて北は郡邑寶山面、西は海州邑に至り、途中より金川邑に至る三等道路を岐ち、何れもバスの便あり、其他の道路も坂路なく交通便なり。溫井里に面事務所・郵便所・金融組合・學校等あり。（平山溫泉）溫井里にあり。泉質はアルカリ性單純泉にして、源泉溫度五五・六度、放射能作二・二六マツヘを示す。泉量豐富而も清澄にして、皮膚病・胃腸病等に効ありと。京義本線南川驛（寶山面）・金郊驛（金川郡金川面）より何れも約二八粁を距つるも日に數回バスの便あり。

セキクチ　寒口　越中國（富山縣）の古地名。和名抄射水郡の條に寒口郷の名を載す。其地は俗ち小矢部川の畔に在り て堰堤を設けて氾濫を防ぎしより起りし名ならんと。三州志に據れば天正中の柴田勝家文書の中に關郷の名見ゆ。蓋しこれ往古の寒口郷ならんといふ。凡そ今の高岡市・大門町・佐野村・淺井村の邊に當るものゝ如し。

セキケン　赤縣　京都の異名。平家物語・二一「七月九日の午の剋ばかり大地夥しう動いてやや久し、赤縣の內白河の邊、皆破れ崩る」

セキコク　石谷

【石谷面】朝鮮全羅南道光山郡の東北部。光州府の東隣。東南境上に無等山（一一八七米）聳立し、その山嶺東南境と南境に延び面の東南部に山地をなすも西北部は二〇〇米臺の丘陵起伏し、榮山江の支流、瓮岩江に東南部の山地を、その支流に中部を共に北流して古西面に出づ。夫等に沿ひて幅狹き低地ありて米・麥・大豆・棉等の農產あり。光州・潭陽間の街道は西北部を橫ぎり、鐵道光州線またこれに並行して望月驛（大正十一年設置）を設け交通不便ならず。（無等山）一に瑞石山。標高一一八七米。全羅南道の最高峯にて山中には立石・廣石臺・風穴臺等をはじめ奇岩怪石の奇觀に富み、中腹に無等瀑布あり、朝鮮八景の一に數へらる。

【石谷面】朝鮮全羅南道務安郡の東部。務安半島の東面北部を占め、東に琴山江下流を隔てゝ羅州郡洞江面に對す。昭和七年十一月舊朴谷・石津二面を合併して建てし面。西境中部に盤達山（三一八米）ありその山嶺南北に傾き、その山麓東方に出でて丘陵をなすも、その間所々に小低地ありて東部榮山江右岸の平地に連り耕地よく拓く。米・麥・棉等の農產多し。鐵道湖南本線東部平地を南北に走り、南部に明山驛、中部に夢灘驛（共に大正二年設置）を置き交通便なり。

【石谷面】朝鮮全羅南道谷城郡の南西部。北は郡邑谷城面と三岐面を隔つ。西境には高度五—六百米の山嶺南北に連り、東北境にも同程度の山嶺あるも、東南部には寶城江に沿うて平地開け、畓田・畑地あり。米・麥類・豆類・粟・黍麥等の農產あり。谷城・廣川間の三等道路南北に通ずるも交通なほ便ならず。

セキコク　赤谷面　朝鮮忠淸南道靑陽郡の南部。東嶺山脈の七甲山（五六一米）北境に聳え、西部に定慧山（三五五米）ありて面內山地廣きも南部の琴江川流域と、七甲山地より發して東北部を流れて東南隣靑場面に出づる仍火速川の谷には平地ありて耕地よく拓く。農產に米・麥・豆・棉等、鑛產に洞川・昭和・花山其他等の金鑛ありて金・銀を出し、また靑陽鑛山よりはタングステンを出す。南部の冠峴里に面事

務所あり、甘川・維場間の三等道路に當るも交通未だ便ならず。〔青陽鐵山〕鐵礦は金・銀・銅・鉛・マンガステン・水鉛。地質は片狀及び鯖狀花崗片麻岩より成りこゝを貫く石英斑岩脈及び煌斑岩脈あり。鐵脈は品位貧石英脈にして、主として石英斑岩中又はその盤肌に沿うて走り煌斑岩により貫かる。鐵脈數條あり盤際に沿うて緻密俺重石の含脈走り、鐵石の平均品位は二・五%内外にして、鐵脈中には黃鐵鑛・黃銅鑛・閃亞鉛鑛・輝水鉛鑛・輝柱石・螢石・菱苦俺鑛・雲母等を夾雜す。採鑛は直掘及び竪坑を併用し、手掘發破法によりて採鐵し、手選鑛の上精鑛は麻袋詰として江景・群山を經て大阪に輸送せらる。本鑛山は二十數年前の發見にして、大正六、七年頃は機械選鑛所を設備し事業殷盛なりしが、のち重石市價の暴落に遇ひ一時休鑛、次で中川某の所有に歸し昭和九年來再び採掘に從事す。昭和十年度産額はタングステン三八、五〇〇瓩（五・七萬圓）、使役人員一二〇名なり。

セキザン　石山面　朝鮮黃海道延白郡のほぼ中央部。郡邑延安の北北東約四粁。東西六粁、南北四—六粁の小面なり。西北境に鵝角山（三六五米）聳えて東南に接斜し、大部分絶めて低平なる平野を成し、鵝角山に發する諸水によりて灌漑せられ、地味肥沃、農産豊かなり。米・小麥・大豆等を産し、副業に養蠶・養豚・養鷄行はる。幹線道路を通ぜざるも里道平坦にて、且つ朝鮮鐵道黃海線の延安驛（延安面）・紅峴市驛（東陽道村面）に近く、交通不便ならず。面邑龍東里には北部にありて市場あり。

セキザン　赤山　臺灣高雄州東港郡新園・萬丹二庄に跨る。下淡水溪東岸の平野に孤立する丘岡にして、二丘より成る。北方に在るを濱水山といひ、南方に在るを鯽魚山といふ。二丘連續する狀に因みて、別に兩魚山の稱あり。又もとの赤山里（今の鳳山郡鳳松庄）に在る赤山に對して下赤山とも呼べり。山麓の濕水埔と稱する所より泥土及び瓦斯を噴出することあり、岡山郡濕水坪の泥火山と共に著れ、清領時代より我が明治年間までは猛烈に噴火し、臺灣府志・續修臺灣府志・風山縣志・臺海使槎錄（黃叔璥著）等にその記事を見る。山高からずと雖も、頂上よりの眺望雄大にして縣に見る勝地たり。從來山麓一帶の好遊覽地點に久しく廢墓に蔽れ、雜草茂らに繁茂して蛇蟲等の棲息に委ねられしが、先年萬丹水利組合設立せらるゝや、水源揚水場を此の地に選びたり。此の山及び山麓を繞りて遊園地化するも遠からざるべく、最近交通の便開け、近邊に乘合自動車（東港—屏東間）の運行するあり。因みに東港街を距る九粁、屏東を離るゝ一六粁餘、前者よりは二十分、後者よりは四十分にて達することを得。

セキシ　積志村　靜岡縣遠江國濱名郡の東北部。笠井町の西隣。西部は三方ヶ原東端の崖をなし、他は天龍川の沖積平野に屬す。馬込川は西部の崖下を南流す。平地に概ね水田にして、野菜畑も多少あり、西部傾斜地には茶を栽培す。農業を主とし、牧畜も行はる。二俣街道及び社線遠州電氣鐵道村内を南北に貫通し、遠州市場・遠州共同・遠州新村・遠州松木・遠州西ヶ崎の五驛（何れも大正十二年設置）あり、最後者は積松電氣鐵道に連絡す。此地古くは和名抄・鹿玉郡猪多郷の内に屬したり。明治四十一年有玉村・中郡村及び小野口村大字半田を以て積志村を置く。〔有玉神社〕大字有玉に鎭座。郷社。祭神天手力男命・天照意保比流賣貴命・萬幡豊秋津姫命。創立年代は詳ならず。一說に式内朝日渡多加神社これなりともいふ。元祿十九年再建す。江戸時代朱印領六石を有す。舊棟大者龍山神明社。例祭十月九日・十日。〔邑勢神社〕大字上大瀨に鎭座。郷社。祭神豊受大神。相殿天津彦火瓊々杵尊外二柱。もと神明宮・神明社と稱し、古來附近十箇村の氏神たり。江戸時代朱印領二石七斗を有す。例祭、九月十五日・十六日。

セキシバ　關柴村　鎭島縣岩代國耶麻郡の中部。喜多方町の東隣。磐梯火山群の西斜面に屬し、東北方に高曾根山（一四四三米）あり、夫より西南に傾斜し、西南部は會津盆地の東北部ななす。總堂川は山地に出でゝ村の中央を西南に流れ南方日橋川に合す。米・木炭を産す。道路は村の南部を東西に通じ西方喜多方町東方大塩村に至り、バスの便あり。省線磐越西線喜多方驛へ約二・五粁あり。本村大字關柴に館址あり。大永二年、葦名氏の臣、松本長門の築きしもの。天正十三年、長門の子備中、伊達政宗に内應せるにより、備中は葦名の臣、沼澤出雲に討たれ、長門は厳刑に處せられたりと。〔勝福寺〕大字半林にあり。新義眞言宗豐山派。松島山と號す。この寺は勝前と稱する女性の追福の爲めに建てしものといふも詳細不明。天文年中、火災にかゝり、永祿元年領主葦名盛興これを再興す。その後再び頽廢せしが、寛文五年慕府これを再興せりと。〔藥師堂〕大字關柴にあり。新義眞言宗豐山派。本村關堂山中善寺の管理に係る。本尊木造藥師如來坐像一軀は鎌倉期の作と推せられ現に國寶たり。

セキシュー　石州　石見國の略稱。

セキショー　赤松面　朝鮮平安南道江西郡の西北端。西は西朝鮮灣に面す。東南境に神璧山（三六二米）・鳳凰山（二九九米）聳え、前者の山脚西に延びて甑山面との境を劃し、漸次低落して海岸に至る。後者の山脚は之と並行して面の中央を縱斷して同じく海岸に達し、域内を明確に南北に分つ。また一支脈は北西に走りて石多山（二七二米）を海岸に近

く屹立せしむ。此等山脈間には廣長なる平野拓け、特に北半に於て廣き沃野を見る。海岸は北の石多山より分岐せる低丘が半島狀に斗出し、南の黑梁岬との間に灣入三粁の袋浦と稱する一灣を擁すれども、薄内水淺くして泊津なく、多くは豐田として利用せらる。産物に米・小麥・大豆・在來綿・雹等あり。本道の西海岸を走る二等道路の城内を横ざるありて交通不便ならず。

セキショー　赤雲面　朝鮮全羅北道茂朱郡の中央部。郡邑茂朱面の南隣。小白山脈支脈の山地にて、東境には一千米内外の山嶽南北に連り、西境にも九王山・鳥項山等八百米臺の山嶽あり。中部の東偏には赤雲山（一〇三一米）あり、西偏にも七百米臺の山地南北につづき面内皆ど山地をなす。たゞそれら山地の間東・中・西に三條の谷地あり、耕地拓けて聚落發達す。農産に米・麥・大麻・楮等あり。また赤雲・紫項・沙田・楮桐等の鑛山ありて金・銀を出す。茂朱・長水間の道路は中部の谷を南北に通じバスの便あり。〔赤雲山〕中部の東北偏に聳え、標高一〇三一米に達す。四面岩肌を露出して山容嶮々蔵立、老樹の間、楓葉點綴に富み、秋季滿山錦繡を織り、紅葉赤雲をかけたるが如し。東面に安國寺あり、高麗忠烈王の三年月印和尙の開創、今の建築は後世の再建にかゝる。李朝時代史庫を設きし處。

セキジョー　石城面　朝鮮忠清南道扶餘郡の東部。扶餘面の東南隣にて、西南は錦江を境として揚岩面に對し、東南は支流石城川によりて論山郡と隔たる。北部に太風峠（二二四米）、西部に破陣山（一八六米）等の丘陵性山峰あるも東南部・南部の石城川及び錦江に近き地には低地ありて畓田よく拓け、米・麥・豆・苧麻等の農産あり、養蠶行はれ、石城・新日の二鑛山ありて金・銀を出す。扶餘・論山間の道路に當りバスの便あり。面邑石城は日本書紀天智天皇二年の條に、大上君臣等ニ兵事於高麗ニ而選見ニ礼解於石城」とある地とす。

セキジョー　赤城　【赤城面】　朝鮮忠清北道丹陽郡の西部。【赤城面】　朝鮮全羅北道淳昌郡の東部。南は漢江を距てゝ丹陽面と相對す。西境中央に錦繡山（一〇一六米）屹立し南麓は直ちに漢江に迫りて斷崖を成し、北麓はのびて場峙山を起す。耕地はこの連嶺の東斜面に發達し主に畑作農業行はる。産物に麥・大豆・繭・朝鮮紙等あり。また丹陽鑛山より水銀・雲母・タングステンを出す。幹線道路の城内に通ずるなく交通不便なり。

セキセキ　翠寺　↓甲府市

セキセキ　石積面　朝鮮慶尙北道淳昌郡の東北方。蟾嶺山脈の支脈北部に連亙し、蟾津江（赤城江）東境の山地を臨むれど交通概して不便なり。大字高崎の四極山上には高峙山城址あり。大友氏の據りし處にして、正平十三年菊池武光の來り攻めんとするや、大いに守備を嚴にす。同十六年九月、九州探題斯波氏經、武光と長者原に戰ひて敗れ、當城に據る。十月武光來り攻め、二十年氏經支へ得ずして和す。天正十四年十二月豐臣秀吉の島津義久を討つ時、京軍の部將大友某敗れて此城に迫る。時に島津家久陣を府中に移すに及び大友義統またこれより進む能はず、遂に城を圍きて龍王に走る。〔千代丸古墳〕指定史蹟。大字宮苑千代丸の三ヶ尻方宅地内にあり。石城川と呼ぶ小川に臨む低臺地の緣に略々南北の方向に築かれたる前方後圓墳。著しく原形を損ずるも全長約三七米あり。後圓部には略東面し石室開口す。玄室は長方形にて隅面稍形を呈し、石壁に赤色の塗抹の痕を存し、奥壁より水平に突出せる棚石の前面には線彫りにて合掌形屋根の多數の家屋を表はし、且つ人物・動物等を配せる一種の風景畫とも見るべきもの即刻さる。〔雅福寺〕大字高崎にあり。臨濟宗妙心寺派。開主高崎宗久の開基に係る。天正の兵火に罹り、寛永年中雲峰眞禪師再興し、正保年中に至り忻室悅禪師更に之を重興す。

セキスイジ　積翠寺　↓甲府市

て山嶺は北境を西に連り、またその南嶺は西に延びて面の北部に水岩山（五一九米）を起し至る處山地多し。たゞ西境を南流する洛東江の左岸と水岩山の南北に幅狭き谷地ありて耕地拓け、米・麥・大豆等を産し、翠巣の栽培行はる。また楮館嶺山・多富嶺山ありて金・銀を出す。楮館・仁同間の三等道路西部を南北に通じバスの運轉あるも交通未だ便ならず。

セキゼン　關前村　愛媛縣伊豫國越智郡の北部。瀬戸内海に浮ぶ岡村島・大下島・小下島等より成る。その中、岡村島最も大にして島内は三〇〇米程の丘陵ありて南方に觀音崎斗出し、集落は東南岸に形成さる。大下島は岡村島と小下島を隔てゝ東方に浮び島内の最高處は二〇四米を示し、西南岸に集落あり。これ等の島内諸處に耕地ありて米・麥を出すも、住民の大部分は水産業に從事す。今治市に毎日數回發動機船便あり。〔額子島神社〕大字岡に鎭座。鄕社。祭神、木花開耶姫命・大山積命・瓊々杵尊等十九柱。元仁天皇寶龜十年の創建と傳ふ。もと三島大明神と稱す。國幣大社大山積神社の攝社。例祭八月十五日。

セキタ　關田峠　新潟縣中頸城郡板倉村と長野縣下水内郡岡山村との境上にあり。最高點は一一一一米。

セキタニ　關谷村　新潟縣越後國岩船郡の南部。荒川の左岸。面積一八七・五方粁の大村。東境は越後山脈の一部にして、地神山（一八五〇米）・杁差嶽（一六三〇米）・枯松山（一一一〇米）・大境山（一一〇二米）等連互し、西南境の鳥坂峠（八四八米）一帯の支脈に胎内川と西俣川との分水嶺をなす。東南隅に發源せる大石川は西俣川を合して北流し、北境にて荒川に會す。荒川は北部を西方に曲流し、西北部に多少の沖積地展開す。平地には水田・桑園拓かるゝも他は概ね山林なり。北部荒川の谷には鷺ノ巣・高瀬・湯澤の諸温泉湧出す。省線米坂西線及び縣道この谷を通じ、前者の越後大島・越後下關（共に昭和六年設置）越後片貝・越後金丸（共に昭和八年設置）の四驛あり、坂町驛及び羽前今泉町へはバスの便あり。又この縣道より分岐して南北に通ずる縣道は新發田町・村上町へ至る。もと女川村と共に鵜谷と稱せられしも、のち二村に分る。〔鵜泉等〕大字土澤にあり。曹洞宗、龍峯山と號す。開山は玄猷源妙和尚、本尊は彌勒菩薩にて、初め眞言宗なり奉ぜしといふ。應永年中、後小松天皇より茶湯料、領主土肥氏より永錢七貫文等を寄進せらる。

セキチュー　石柱溪　（山口縣）→西市町

セキチュー　赤中面　朝鮮慶尙南道陜川郡の東部南偏。南部に頭陀山（六六二米）ありて、その山嶺東境を北方に延び、西は西隣草溪面南境の太白山・鼎月峠等に連り、北部にも高嶺二〇〇米内外の丘陵ありて面の中部は西隣草溪面の中部に連りて一盆地をなし、また北部丘陵地の北には黄川右岸の平坦地あり。面内香田・烟地廣く、米・麥・大豆等の産多く養蠶また行はる。面邑上部里は平坦地の略中央部に位し、昌寧・陜川間の道路に近く交通不便ならず。

セキテー　石底　臺灣總督府鐵道平溪線の一驛（昭和四年設置）。臺北州基隆郡平溪庄石底にあり。

セキテー　石碇庄　臺灣臺北州文山郡の略中央部。七星郡沙止街の南隣。基隆郡及び七星郡に隣接す。南は峯地に接し純然たる山間の僻地にして、管内には翠綠滴る大小の山々蜿蜒と連り南にロボン山・大桶山等の一〇〇〇米内外の峻峯屹立す。主なる河川は景尾溪・北勢溪にして、兩溪は何れも淡水河の上流なし、管内の山間に鍛谷を形成し、南に蛇行して本流に合す。隨つて管内は地勢上變化に富み、上記兩溪に沿ひて所々に峽谷美を發見し、翠綠は清流と映發して風景美に富む。面積約一四九方粁。本庄は上記の如く管内高山連互して平地に乏しき以て、交通も不便なれば、産業上に見るべきものなく、農業に於ては若干の米・蔬菜の外、古來文山茶として有名なる茗茶の特産あるのみ。園藝作物としては若干の柑橘類・龍眼・芭蕉を出す。其他山地よりは僅の木材・薪炭材を産し、石炭坑ありて小規模の採掘をなす。また景尾溪・北勢溪よりは鮎を産すること多く、主として臺北市に移出せらる。文化的施設に於ても他地方に比すれば一時代に遲れ、僅に公學校・國語講習所等を有するのみ。交通は甚だ不便にして、景尾（深坑庄）より本庄を通過して宜蘭に達す。景尾より本庄大字石碇までは自動車・手押軌道の便あり。大字石碇にも石碇街と稱し臺北—宜蘭間の要路に位する關係上古くより開けし地にて、現在も庄役場の所在地として本庄の中心地をなし一街を形成す。此地は清の道光八年福建の人林先傳なる者移民を引具し沙止より進み來りて開拓墾居し街肆を形成せりと傳へらる。附近には到る所岩石多く石碇せるを以て石碇の名出でたりと云ふ。また茶の集散地にして道光年間より既に其産茶を對岸なる福州に輸出せりと云ふ。本庄の地は清領當時建てられたる石碇堡に屬せしがのち文山堡の管轄する處となり我領臺に及びたるも、大正九年十月地方制度改正により本堡中の一街十三庄（現大字）を割きて、石碇庄の名の下に統一し、臺北州文山郡の管轄に屬せしが、のち乾溝・火燒樑の二大字を附加して現在に及べり。

セキテン　赤田面　朝鮮咸鏡南道德源郡の東部。元山府の西に隣り、東北の一端は永興灣に瀕す。西境に高度約一〇〇〇米の山脈走り山脈南境に延びて小在峰・女王山等の丘陵性山峰をなすも、概

して東北に低傾し、東北部にやゝ廣き平地逑なる。兩して弥田川は城内の諸水を集めて東北流し海に注ぐ。農産に米・大豆・粟・小麥・トマト等あり、苹果・梨の栽培及び養蠶行はれ、また受實鐵山ありて金・銀を出す。總督府鐵道咸鏡線と元山府に起る一等道路は東部を並行して横斷し、前者の元山・德源（府内南）間驛に近く東半部は交通便なるも、西半部は里道數條を通ずるのみ。

セキト　關都　福島縣耶麻郡月輪村の大字。省線磐越西線の關都驛（明治三十二年設置）あり。

セキド　關戸

【關戸】→多摩村（東京府）

【關戸】→大山崎村（京都府）

セキトヨ　關豐村　千葉縣上總國君津郡の南部。各村丘陵地にて北境には東端に高宕山（三一五米）、中央に大塚山（一九九米）あり。村の東半はこれ等山地の續きをなす。また西境にも愛宕山（二六四米）に續く山地ありて、村内に傾斜す。これ等兩丘陵地の間を湊川北流し、流域は極めて狭き低地をなして田畑あり。米を主産す。縣道川に沿ひて南北に通じ、北は北境附近にて西折し環村を經て湊町の省線房總西線上總湊驛に通ず（約七粁）バスの便あり。この地は中古、大貫庄環鄕と稱せし處。明治維新前までは西尾氏の領地たり。大正十五年關村・豐岡村を合し本村を置く。大字大川崎の南方の字入道越に御茶ノ井ありしと。環境主酒黒谷流環この井水を愛し茶湯に飲用せるより此名出づと傳へらる。大字豐岡は明治七年、小倉・中倉・字藤木・小畑・神德・松節の六村を合併せるに始まる。

セキナミ　關南村　茨城縣常陸國多賀郡の東北部。大津町の東南隣にて、太平洋に臨み、磯原町と隣す。面積一二・五九平方粁。阿武隈山地一支脈の東部を占め、西境は約一六〇米の山地にて村内に傾斜し、東北部には平地ありて水田・畑地をなす。米を主産し、他に小麥・大麥を産す。海岸は單調なる砂濱をなし南半は山地迫りて平地絶めて狭し。陸前濱街道は海岸に沿ひて北走し省線常磐線又これに沿ふも、村内に驛なく、南隣磯原町に磯原驛・北隣關本村に關本驛を置く。本村は磯原炭礦の一部を占む。古くは和名抄、多珂郡新居鄕の内に屬せしものゝ如し。

セキナン　石灘里　→泉洞面（朝鮮黄海道松禾郡）

セキネ　關根　【關根】山形縣南置賜郡山上村の大字。省線奥羽本線の關根驛（明治三十二年設置）あり。

【關根】埼玉縣北埼玉郡にありし村。明治三十四年太田村・鹿名板村・藤間村と共に合併され太田村を置く。

セキノツ　關津　→下田上村（滋賀縣）

セキノミヤ　關宮村　兵庫縣但馬國養父郡の西部。八鹿町の南隣。面積六五・九五方粁。中國山脈の北面にあり、西隅の須賀山（一五一〇米）、北境中部の妙見山（一一四二米）等を主峰とし、西部及び南北兩境に高さ約七—九〇〇米の山脈横はり、中央に向つて傾斜し東西に狹長な渓谷を作る。須賀山の東北麓より圓山川の上支發して東流し、渓水を集めて峽谷を下り流域に僅少の耕地を造る。主産物は林産物にして特に杉材多し、また米及び繭を産し、山麓にては牧牛を行ふ。八鹿町より山陰街道來り、省線山陰本線八鹿驛へは約八粁を隔てバスを通ず。和名抄に養父郡養者鄕とあるは本村及び高柳村なり。延喜式大與比神社は大字三宅の大與比山にあり。中瀬山金山は但馬考に天正元年八月但馬守豐信領知の時、中瀬大日寺の傍に砂金あり四州の者來りて是を見て其山に金あるを知り之を掘る、金穴を石間風といひ、同三年また一穴を掘る、金の出る事甚多し、一日に七兩を獲上す、故に七兩金穴マブと云、同五年村柴秀吉征伐し、別所某八木城に居り奉行す。慶長五年江戸より間宮某を生野に駐在せしめ爾後生野の所管となり小吏來て司る事となれりと。今も金銀鑛・アンチモニー鑛を産し本邦重要鑛山の一なり。

セキハラ　關原町　新潟縣越後國三島郡の中部。長岡市の西方約八粁。面積八・三方粁。南部には丘陵連互し、北部には平野展け、西北境に黒川に沿ふ。聚落は北部山麓に點在す。西北境に黒川に沿ふ。聚落は北部山麓に點在す。

死地には水田多く、傾斜地には葉煙草の栽培行はれ、煙草專賣局工場あり。その他毛筆の特産あり。社線長岡鐵道に町の東北部を掠め、越後關原驛（大正五年設置）を置く。長岡市へは縣道通じ、バスの便あり。大字白鳥は東鐵、支治二年の條に當國白鳥庄は八條院御領とあるを見れば往時は庄名にも呼ばれしもの。また明治戊辰の役、官軍長岡城を攻むるの際大敗し、長岡の本營を撤して本村の地に移したり。昭和九年町制を布く。（西妙寺）大字關原にあり。鎭宗大谷派。鎭倉山と號す。正嘉二年北條時賴當國巡回の途次、休憩の古跡に時賴記念として一宇を建立せしめ、最明寺の號及び惠心僧都作上品下生阿彌陀如來の木像を贈る。享保年中故ありて現在に改む。

セキヒラ　關平村　福島縣岩代國西白河郡の東部。白河町の東方約八粁。地勢西部に高く東部及び南部に傾斜す。阿武隈川は南部村境附近を東流し、泉川は北境の一部をなして東流す。村の東南半部は平野をなし、水田・畑地少からず。米・繭の産あり。道路は村の中央を略東西に通じ西方白河町に達す。これより分岐して西北方に向ふものは約三粁にして省線東北本線泉崎驛（北隣川崎村）に至る。この地は和名抄、白河郡大村鄕の地にして、大字關和久の伊賀館に結城の老臣、

令幹線はその西方を北走して村内に国本駅（明治三十年設置）を置く。その他、村内に国本駅（明治三十年設置）を置く。

【国本】→前足納村（倉谷川藤足納上都）

セキモト 石門 奈良県北葛城郡の北部。

【石門庄】奈良県北葛城郡の北部。

【国本村】奈良県吉野郡の中部。

【国本】→前足納村（倉谷川藤足納上都）

セキモト 石門 奈良県北葛城郡の北部。

【石門庄】奈良県北葛城郡の北部。

【国本村】奈良県吉野郡の中部。

セキモト 岡本

【国本村】奈良県吉野郡の北端。

東は平治町・大津町を隔てゝ大津市に近く、南は福島県石城郡[illegible]町と隣す。面積六三・六四平方粁。東部に国道[illegible]号線が通ずる。阿武岳山地の一部を占め、村内には全域の大部分を占め、うち八五〇〇ヘクタールに造林を施す。林野面積は全域の大部分を占め、うち八五〇〇ヘクタールの国有林を有して川村・新村を出す。耕地は北上して南東に流れる小流あう谷沿いに開ける。農家一六〇〇戸、人口七五九八人（男三七三二、女三八六六）。

セキモト 岡本

【国本村】奈良県吉野郡の北端。

東は平治町・大津町を隔てゝ大津市に近く、南は福島県石城郡[illegible]町と隣す。面積六三・六四平方粁。東部に国道[illegible]号線が通ずる。阿武岳山地の一部を占め、村内には全域の大部分を占め、うち八五〇〇ヘクタールに造林を施す。林野面積は全域の大部分を占め、うち八五〇〇ヘクタールの国有林を有して川村・新村を出す。耕地は北上して南東に流れる小流あう谷沿いに開ける。農家一六〇〇戸、人口七五九八人（男三七三二、女三八六六）。

セキモト 堰本村 福島県[illegible]郡の北部。[illegible]川町の南、[illegible]田町の北に隣する。[illegible]川は村の中央を北流し、[illegible]川と合して南北に通じ、北方[illegible]川町に入り阿武隈川に合す。村の東半部は阿武隈山地の西縁面にかゝり、北方に[illegible]に会釈す。西南部に大[illegible]山あり、北方に[illegible]川て[illegible]に耕地拓け、米・麦を産す。道路は東北部に[illegible]る。此[illegible]帯は[illegible]に沿いて南北に通じ、北方[illegible]川町に至[illegible]を本村中央[illegible]上移家の[illegible]大門に集[illegible]之を[illegible]と称せり。村名は[illegible]に[illegible]と[illegible]に、平治町・東[illegible]に国氏の右見[illegible]る。[illegible]もと[illegible]の[illegible]大字[illegible]内に[illegible]り、[illegible]村内に[illegible]常町内に[illegible]り、[illegible]（共に昭和二年設置）を置く。中世[illegible]

セキモト 堰本村 福島県[illegible]郡の北部。[illegible]川町の南、[illegible]田町の北に隣する。[illegible]川は村の中央を北流し、[illegible]川と合して南北に通じ、北方[illegible]川町に入り阿武隈山地の西縁面にかゝり、北方に[illegible]に会釈す。西南部に大[illegible]山あり、北方に[illegible]川て[illegible]に耕地拓け、米・麦を産す。道路は東北部に[illegible]る。此[illegible]帯は[illegible]に沿いて

原。砂谷山東北麓に一帯の地にて東南の一部は愛甲郡に跨る。面積九四・六六平方粁。人口九万許。明治の初め西相模に砂谷山（二四一米）・赤谷山（二四四米）・赤谷山の三村を合せて、東北に愛甲郡、東に高座郡、南に大山・日向の諸山を隔て、西に足柄上郡に接し、大山・日向・煤ヶ谷・宮ヶ瀬・半原・上古沢・下古沢・田代・上依知・下依知・飯山・温水・金田・荻野・中荻野・下荻野・小野・岡田・長谷・三増・中津・上津・下津・戸室・上

【瀬田村】 現千葉県瀬田町の大字瀬田・本郷・鳥山・野毛・上野・下野・小野・小野新田・小野台・小野谷・小野谷新田・小野谷台・小野谷台新田・小野谷台新田・小野谷台新田

を通じて主体的・有機的関係を実現し、常態を維持しようとする静的な社会と言われる。

セツ 雪【気象】 雨滴が凍結して降ってくる現象。雨滴が上空の寒気層を通過する際に凍結して氷粒となり降ってくる場合と、雨滴が地表近くの寒気に触れて凍結する場合とがある。日本では冬季に日本海側の地方に多く降る。

セツ 節【気象】 二十四節気の略。一年を二十四等分して季節の変化を示したもの。立春・雨水・啓蟄・春分・清明・穀雨・立夏・小満・芒種・夏至・小暑・大暑・立秋・処暑・白露・秋分・寒露・霜降・立冬・小雪・大雪・冬至・小寒・大寒の順。

セツ 説【哲学】 ある事柄について、それが成立する根拠を明らかにしようとする考え。学説。

セツ 設【建築】 建物・橋・ダムなどを建てること。

セツ 接【数学】 二つの図形が一点で交わり、その点で共通の接線をもつこと。

セツ 摂【政治】 天皇が成年に達しないか、または精神や身体の重患・重傷などのために国事行為を行うことができない場合に、天皇の名でこれを代行する地位。摂政は皇族のうちから選ばれる。

セツ 摂【歴史】 摂津国の略。

セツ 摂【歴史】 摂関家の略。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の九十分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の百分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の千分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の万分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の十万分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の百万分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の千万分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の一億分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の十億分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の百億分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の千億分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の一兆分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の十兆分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の百兆分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の千兆分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の一京分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の十京分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の百京分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の千京分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の一垓分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の十垓分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の百垓分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の千垓分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の一秭分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の十秭分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の百秭分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の千秭分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の一穣分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の十穣分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の百穣分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の千穣分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の一溝分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の十溝分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の百溝分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の千溝分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の一澗分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の十澗分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の百澗分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の千澗分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の一正分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の十正分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の百正分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の千正分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の一載分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の十載分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の百載分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の千載分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の一極分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の十極分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の百極分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の千極分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の一恒分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の十恒分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の百恒分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の千恒分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の一清分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の十清分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の百清分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の千清分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の一阿分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の十阿分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の百阿分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の千阿分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の一僧分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の十僧分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の百僧分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の千僧分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の一祇分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の十祇分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の百祇分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の千祇分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の一劫分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の十劫分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の百劫分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の千劫分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の一那由他分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の十那由他分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の百那由他分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の千那由他分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の一不可思議分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の十不可思議分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の百不可思議分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の千不可思議分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の一無量大数分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の十無量大数分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の百無量大数分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の千無量大数分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の一大数分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の十大数分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の百大数分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の千大数分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の一阿僧祇分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の十阿僧祇分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の百阿僧祇分の一。

セツ 折【数学】 角の大きさの単位。一直角の千阿僧祇

線を北流する。

セツセン　雪川

【雪川町】　朝倉全域北端茂来郡の東部。西北に高倉岳（一、八〇九米）を起し、また東北山麓中の山地にて雨龍郡に接す。小白木）・七倉・黒岩山等（二、〇三〇米）に源を発し、それぞれ縁をなして一流となり、三田・尼崎二郷も明治四年に令併し、三田・尼崎二郷も明治四年に令併し、三田・尼崎二郷も明治四年に令併し、三田・尼崎二郷も明治四年に令併し、

セツツ　接岨峡　静岡県安倍郡大井川中流の峡谷。井川村田代部落より南流して大井川は急勾配をなして南流し、約四粁にして奥泉村に入る。この間両岸の山嶺高く、峡谷深く、屈曲多く、流水激湍をなす。

セツツ　摂津

【摂津国】　畿内五箇国の一。いま国内を五市五郡に分ち、東部の大阪・豊中・三島・豊能の三郡は大阪府の管轄に属し、西部の兵庫・西宮・尼崎の三市及び川辺・有馬・武庫の三郡は兵庫県の管下に属す。この国は古来港津の国郡の管下にあり。この国は即ち摂津の国郡の管下にあり

【開戸鬼瓦銀箔】 造物。銀箔を吉祥文様に切り抜いた装飾瓦。 ⇒破風飾り

【開発】 ⇒土地開発

【開発許可】 都市計画区域内で行われる開発行為について、都道府県知事などが与える許可。 ⇒開発行為

【開発行為】 都市計画区域内で行われる土地の区画形質の変更。 ⇒開発許可

【開発負担金】 ⇒都市開発資金

【開発利益】 ⇒土地増価税

【開発利益還元】 ⇒土地増価税

【開発利益還元法】 ⇒土地増価税

【開発利益税】 ⇒土地増価税

【開発利益税法】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行令】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行規則】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行細則】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行細則施行規則】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行細則施行規則施行令】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行細則施行規則施行令施行規則】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行細則施行規則施行令施行規則施行細則】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則】 ⇒土地増価税

【開発利益税法施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則施行令施行規則施行細則施行規則】 ⇒土地増価税

の三系統に分ける。小豆島附近及びその東方の讃岐・阿波の山地は花崗岩質で、その風化土は一般に赤色を呈する。

瀬戸内海の大部分は水深が浅く、特に島嶼の多い地域では、潮流が複雑で、しかも激しい。このため、海底の地形は著しく変化に富んでいる。

瀬戸内海の気候は、一般に温暖で雨量が少ない。年平均気温は摂津・播磨・備前・備中・讃岐・伊予の沿岸地方で摂氏十六度内外、備後・安芸・周防・長門の沿岸地方で十七度内外、紀伊・淡路・阿波の沿岸地方で十七度内外である。年降水量は、摂津・播磨・備前・備中・讃岐・伊予の沿岸地方で千ミリ内外、備後・安芸・周防・長門の沿岸地方で千二百ミリ内外、紀伊・淡路・阿波の沿岸地方で千五百ミリ内外である。

瀬戸内海の植物は、暖帯林の発達が著しい。常緑広葉樹林の主要構成種は、シイ・カシ・タブ・ヤブツバキ・ヤブニッケイ・ヒサカキ・モチノキ・ソヨゴ・ネズミモチ・トベラ・ヤブコウジ・ヤツデ・ハマヒサカキ・ハマビワ・ハマセンダン・ハマヒサカキ・ハマビワ・ハマセンダン・ハマヒサカキ・ハマビワ・ハマセンダン

ならず。

セトイシ　瀬戸石　東秩父村の大字。名産の緑泥片岩の瀬戸石層（白亜紀四十三層）あり。

セトウシ　瀬戸牛　北海道西紋別郡の大字。名産の緑泥片岩の瀬戸牛層（大正十年設定）あり。

セトウチ　瀬戸内　→瀬戸内海

セトカナヤマ　瀬戸金山村　和歌山県北牟婁郡の村。熊野灘に注ぎ、大正十年の国勢調査人口一、二〇〇人、戸数二〇〇。村内の金山（標高一、一〇〇米）より金を産出したが、現在は休山。

セトガハナ　瀬戸鼻　北海道北見国紋別郡の海岸。

セトカワ　瀬河浦　佐渡国（新潟県）の古地名。日本書紀欽明紀に見え、大和朝廷の天領の一人、島の北方に来航して此地に移る。その所在は詳らかでないが、一に今の佐渡村の海岸か大字竹田にあてる。

セトガワ　瀬戸川　静岡県志太郡の一級河川。

セトキ　瀬戸木　静岡県志太郡の大字。

セトサキ　瀬戸崎村　愛媛県伊予国越智郡の西北部にある大三島の東端部。

セトザキ　瀬戸岬　桑名郡伊東村（元）桑瀬戸内海に突出する岬。

セトジマ　瀬戸島　静岡県志太郡の大字。

セトセ　瀬戸瀬　奈良県吉野郡の一部（昭和二年設定）。北流する吉野川の渓谷。

セトダ　瀬戸田町　広島県豊田郡の町。

セトノヤ　瀬戸谷村　静岡県安倍郡の村。

セトバ　西芳村　静岡県富士郡の村。

セトハマ　瀬戸浜　静岡県志太郡の大字。

セトバシ　瀬戸橋　静岡県志太郡の大字。

セトハラ　瀬戸原　静岡県志太郡の大字。

セトヒガシ　瀬戸東　静岡県志太郡の大字。

セトヒロ　瀬戸広　静岡県志太郡の大字。

セトフカ　瀬戸深　静岡県志太郡の大字。

セトベン　細越邦武　岩手県江刺郡の人。

セトモノチョー　瀬戸物町　愛知県の東部にあり、瀬戸町の中心部にあり、東西に通ずる道路の両側に発達した商業地。

セナ　西奈村　静岡県富士郡の村。

セナカ　瀬波郡　新潟県北蒲原郡の一部。

セナミ　瀬波町　新潟県北蒲原郡の町。

セニカメザワ　銭亀沢村　北海道

瀬戸内海の西部の海。瀬戸内海と上の生口島の西北方にある。東北に高根島と大崎上島とを望み、東南に豊島と本土の佐木島とを望む。

セトノウミ　瀬戸海　広島県豊田郡の海。瀬戸内海と上の生口島の西北方にある。東北に高根島と大崎上島とを望み、東南に豊島と本土の佐木島とを望む。

セトノヤ　瀬戸谷村　静岡県安倍郡の村。東は藤枝町と接し、西は静岡市と接し、北は静岡市と接し、南は静岡市と接し、東西に細長く、南北に短い。

セトハ　瀬戸橋　静岡県志太郡の大字。

セトハラ　瀬戸原　静岡県志太郡の大字。

セトヒガシ　瀬戸東　静岡県志太郡の大字。

セトヒロ　瀬戸広　静岡県志太郡の大字。

セトフカ　瀬戸深　静岡県志太郡の大字。

セトベン　細越邦武　岩手県江刺郡の人。

セトモノチョー　瀬戸物町　愛知県の東部にあり、瀬戸町の中心部にあり、東西に通ずる道路の両側に発達した商業地。

セナ　西奈村　静岡県富士郡の村。

セナカ　瀬波郡　新潟県北蒲原郡の一部。

セナミ　瀬波町　新潟県北蒲原郡の町。

セニカメザワ　銭亀沢村　北海道

倉時代に於て蝦人の外、和人として北海道に渡りたる者は、記錄上には彼一人とす。（志苔館址）指定史蹟。大字志苔字志苔赤坂の臺地にあり。大淵館とも呼ばれ、南方海に臨みし海岸の丘陵上にあり、東西約一五〇米、南北約一一〇米、略方形の土壘を繞らす。西面の土壘は二重にして道路其中央を貫き、内壘の外方及び北面の壘外に空濠を穿ちたるも北面の濠は東面の湮滅に逢り、南面は民屋に臨み頗る要害をなす。往昔上野國より流來せりと傳ふる小林次郎重弘の築きし處と稱し康正年間、重弘の孫小林太郎左衞門良景この域に據りしが、長祿元年コシャマインの率ゐる蝦夷の爲めに陷落す。館は豐年恢復せしも、其後永正九年四月良景の子孫太郎良定の時、再び蝦夷の來襲を受け攻め落さるゝに及び良定自盡し、その子孫遠山（後の綱山）に移り遂に鯛崎氏に臣屬せりといふ。（根崎温泉）泉質は無色透明の強食鹽泉。松倉河畔に湧出す、温度約七〇度。行樂尚。南方、津輕海峽の宇賀ノ浦に面する一帶の砂丘上にあり、曲汀遠く連り、右に函館山、左に沙首ノ岬を控へ、遙に陸奥の山景を望み風光佳なり。明治三十五年の發見。

ゼニザ　錢座　京都の地名。今の下京區七條柳原町にあり、もと錢座のありし所、大佛・耳塚の西に當る。長町女房切・中「鬼龍よ〳〵」と呼ばれども、無いか聞かぬか耳塚の、西に錢座の名のみにて小錢なければ草鞋も二足を小判一兩で、買うてはく身ぞ、あはれなり」

ゼニバコ　錢函　北海道後志國小樽郡朝里村の大字。省線函館本線の錢函驛（明治十三年設置）あり。

セノ　瀨野
【瀨野村】　廣島縣安藝國安藝郡の東部。廣島市の東約一二粁。東南境に水ケ丸山（六六一米）峙ち、北半もまた四—五〇〇米の丘陵諸處に隆起し村内概ね山地を成す。瀨野川東境邊に發源し、村の中部にて南方より來れる一支流を合せて西南流す。その合流點附近に僅少の低地を見る。主生業は農業なるも、傾斜地には桑畑よく拓けて繭の産多く、また苺牛盛なり。省線山陽本線及び國道山陽道村のやゝ南偏を東北より西南に走り前者は瀨野驛（明治二十七年設置）を置く。本村は昭和六年、上瀨野・下瀨野の二村を廢しその區域を以て置けるもの。中世は世能莊と呼びし處。（瀨野村ノ大楠）指定天然記念物。字中原の生石子神社境内にあり。樟の巨樹として有數のもの。根廻り約一六米、主幹は地上約五米にて二枝幹に分れたりしが、昭和八年九月北側の巨幹は折れて舊觀を存せず。
【瀨野川】　廣島縣中部の川。賀茂郡熊野跡村の中部に發源して北流し安藝郡瀨野村に入り、村の東部に源流し來れる一流を合せて西南流し海田市町にて廣島灣に注ぐ。流程約一八粁。瀨底面積廣く、省線山陽本線及び山陽道はこれに沿ふ。
【瀨野峠】　廣島縣安藝郡瀨野村と賀茂郡西志和・川上の三村境上に最高點を跨ぐ峠。この峠路は昔より中國街道の一要點として知られ、古は大山と稱され、峠下を大山郷と云へり。今も瀨野村に大山の字名殘る。山陽道・山陽本線も北東より南西にかけこの峠を越ゆ。

セノウエ　瀨上町　廣島縣安藝國安藝郡の東部。國信夫郡の北東部。福島市の東北約六粁。面積三・五三方粁。阿武隈川は東部を北流し、町の北部に於て西より來る摺上川を合す。地勢阿武隈川右岸にやゝ高く、左岸に平坦なり。河岸には桑園分布しまた水田あり。摺上川扇狀地に産する櫻桃の集散地なり、瀨上製糸場ありて製糸業行はる。陸羽街道は南北に通じ北方に桑折町、南方に福島市あり。町の西郊を南北に東北本線通じ、瀨上驛（鄰村笠目村地籍内大正十二年設置）あり。明治三十四年町制を施行。此地は和名抄、信夫郡飯山郷の地なるべく、もと奥州街道の瀨上宿のありし所にして、元祿二年、俳聖芭蕉も門人曾良を同道し、此の宿に出で、佐藤庄司の舊跡を尋ねしことあり、近くには明治天皇が明治九年奥羽御巡幸の際及び明治十四年山形・秋田及び北海道行幸の際この地に御小休あらせられしことあり。また此地は伊達宗綱の三男行綱、瀨上肥後守と稱し子孫瀨上氏を稱せし處。西部なる宮代邊に瀨上氏の住せし所にして、慶長五年瀨上氏の臣、茂庭石見綱元・屋代勘解由景綱の二人が上杉勢と此地に戰ひ大功をたてし所なり。奥の細道「月の輪のわたしを越て瀨の上と云宿に出づ、佐藤庄司が舊跡は左の山際一里半計に有、飯塚の里鯖野と聞て尋〳〵行くに丸山と云に尋あたる、是庄司が舊館也」

セノウミ　剗海　また石花湖に作る。甲斐國の富士山の北の裾野に流へたる湖。貞觀六年七月富士噴火の際熔岩流れて此湖を中斷せしといふ。今その東を西湖、西を精進湖といふ。萬葉・三「なまよみの　甲斐の國…石花海と名づけてあるも…」三代實錄・貞觀六年七月「埋二八代郡本栖并剗海水海一水熱如レ湯」

セノオ　妹尾町　岡山縣備前國都窪郡の東部。西は早島町に、北と東は福田村に界し、南は、兒島郡興除村に接す。面積六・四九方粁。西北隅から五〇—一〇〇米の丘陵連なりて東にのび、その北及び南に低平な斜地を拓く。この地は往昔兒島灣中の洲なりしが東方の旭川、西方の高梁川等の沖積作用によりて本土と連繫も、その後兒島灣干拓事業の結果ます〳〵埋立竝びに堆積作業が進み現狀となれるもの。町域はこの低平肥沃なる斜地の一部を占めるため農業は非常に盛にして米・麥・蘭草の栽培をなし、果實に葡萄を産す。工業は醬表・花莚及び酒類にてその個少から ず。東北方、岡山市から來る四國街道は東南隅の市街

をとほりて兒島半島に延ぶ。省線宇野線の妹尾驛（明治四十三年設置）は町の北部の地籍に置かる。この地に中世妹尾氏の居りし處。平治の亂に妹尾兼門あり義朝に屬す。その孫妹尾太郎兼康平家に順ひ、備前・備中・備後を管領す。東鑑、文治元年の條に備中妹尾鄕を崇德院法華堂に寄進せる記事あり。阿野文書には備中國妹尾莊は和田氏の所領なりしが、康永四年七月廿六日、足利高氏より阿野公廣に賜る事見ゆ。明治二十九年町制施行。同三十五年妹尾町・箕島村を廢し、その地域を以て更に妹尾町を置く。

セノカミ　濶上　→濶上（ひろかみ）

セノシモ　濶下　→濶下（ひろしも）

セバ　洗馬村　長野縣信濃國東筑摩郡の南部。松本平の南端を占む。村の南半は山地にして西南—東北に走る二山地に挾まれて奈良井川の一支流北流し、北部の平地に出でゝ奈良井川に合す。平地は概ね桑園となし、聚落は山麓及び谷沿に發達し、養蠶を主生業とす。省線中央本線の洗馬驛（明治四十二年設置宗賀村大字洗馬にあり）に近し。舊中山道の一宿驛にして、和名抄、筑摩郡大井鄕の内、近世、洗馬庄といへり。里見八犬傳・八ノ四上「この日は殊に晏かりければ、主僕疲勞れて思ふにも負す、日昏餘になりし比、洗馬驛尻をうち過て、諏訪の湖に程遠からねど、小松原まで來つる折、と見れば路傍なる夏草の繁きが下に、仆臥したる旅人あり」

セバ　瀨波　→岩船郡（新潟縣）

セフリ　背振
【背振村】　佐賀縣肥前國神崎郡の中部西北偏。背振山の西南斜面を占め、西南は佐賀郡に接し東北は福岡縣に界す。東北境には背振山を中心とし山嶽西北より東南に連り、中部にも山岳重疊し、山地の西南麓には筑後川の支流東南流し、其河谷を挾んで西南部も山地起伏多く西南境に金立山（五〇二米）あり。平地乏しく僅に川に沿ふ細谷に小平地をなす。原野面積最も廣く山林之に次ぎ田畑面積最も少し。西南部河谷に沿ひて縣道西北より東南に走り村道之と連絡して緻積に通ずれど交通概して不便なり。大字莚路に皇羽院といふ小字あり。承久亂に後鳥羽天皇が隱岐御遷幸の砌、行在所たりし刈田鄕の領主西川左衞門太夫源家房が、同じく已れの領地たりし肥前の國神埼郡組巻ノ里にひそかに供奉しまゐらせしも、帝は延應元年この地に崩御し給へりといふ傳說あり。これは同地鳥羽院山教信寺由來記に記されしものにして、一說には北面の武士藤原季慶（西行法師の叔父）が佐賀に來り龍造寺村に居りしも剃髮して宿阿と號し此地に庵を結び後鳥羽法皇の御冥福を祈るために念佛三昧を修せり、それより鳥羽院山と稱すといふ。これは多く龍造寺氏の記錄に現はる。いま教信寺及び後鳥羽神社・御陵と稱する山陵等あり、教信寺には實盛及び巴御前等の落髮の際用ひし髮剃（背振神社）大字屋敷に傳存せらる。（背振神社）大字屋敷に傳存せらる。鄕社。祭神、三女神。神功皇后三韓征伐の新羅にとて勸請したまへるものなりと傳ふ。例祭日、五月十七日。
【背振山】　筑紫山脈の主峯。國見岳・上宮岳・白字津山・金龍山・背寫山等の別稱あり。福岡市の南方約二〇粁、福岡縣早良郡脇山村と佐賀縣神崎郡背振村との境上に位す。標高一〇五五米。山體花崗岩より成り、絶嶺を國見岳と稱す。山頂に背布利神社鎭座す。神功皇后の御創建にして、宗像三女神を祭神とし、俗に背振神財天と稱す。この山住昔は實濶・英彦の諸峯と共に北九州に於ける修驗道の靈場として一時は背振千坊と呼ばれ、東門寺その他の堂坊隆盛を極めしが、天福寺の僧に破られ、今は全く廢絶し、僅に南斜面に美事なる石佛・石祠・玉垣・石段等を殘すのみ。傳敎・弘法・慈覺等も渡唐の際この山に登り新願せりと傳ふ。又性空上人は長くこの地に住居し、後播磨の書寫山に移れりと云ひ、建仁寺の開山千光國師（榮西）に宋より歸國の際茶の實を持來り、ここに植ゑしと傳ふ。近くは昭和十一年十一月、フランスの飛行家アンドレ・ヴィヒー氏は東京パリー間百時間飛行の懸賞飛行に參加し、快舟を驅け、香港より東京へと最後のコースを飛行中、同月十九日濃霧の爲遂にこの山の森林に飛行機の翼か掛け、墜落負傷した

セベ　瀨部　愛知縣羽栗郡にありし村。明治三十九年外五箇村と共に廢し、西成村を置く。神鳳抄に瀨邊御廚とあるは此地なり。

セベフリ　→セフリ

セミ　瀨見　省線陸羽東線の驛（大正四年設置）。山形縣最上郡西小國村大堀にあり。

セミネ　瀨峰　宮城縣栗原郡藤里村の大字。省線東北本線の瀨峰驛（明治二十三年設置）あり、仙北鐵道に接續す。

セムタ　芹田　信濃國（長野縣）の古地名。和名抄、水内郡に芹田鄕あり、世無多と調字。その地いま長野市稻葉町・中御所等の邊に當る。

セヤ　世矢村　茨城縣常陸國久慈郡の東南部。村の東北境を阿武隈山地の一支脈南走し、高さ約三〇〇米、村の大部分はその斜面を占めて森林あり。南部は久慈川流域平地の一部を占めて水田あり。全戸數の九割に農業に從事す。葉煙草多く他に米・麥を產し、また大理石を出す。社編當北電氣鐵道線は川中子・小目の二驛（共に昭和四年設置）を置く。古くは和

は村と称すべきも、実勢力は東京都の一都なるべし。

セヤ　瀬谷村　神奈川県相模国橘樹郡の北端。鶴見川の東岸。相模野台地の一部をなし、ただ西境を南流する境川を占める。鎌倉に近く、その他の東京都に接する地は、ほとんど東京都の延長の観を呈す。〔交通〕東京都より横浜線・東海道線・横須賀線・京浜急行電鉄の各線が通じ、横浜市に近く、交通頻繁。〔産業〕農業を主とし、米・麦を産し、副業に養蚕・養豚・養鶏・酪農を営む。〔沿革〕明治二十二年町村制施行に際し、瀬谷・阿久和・本郷・下川井・上川井・宮沢・中野・笹下の八村合併して瀬谷村となる。〔戸数・人口〕戸数一、八〇〇、人口一〇、〇〇〇。〔交通〕東京都より横浜線・東海道線・横須賀線・京浜急行電鉄の各線が通じ、横浜市に近く、交通頻繁。〔産業〕農業を主とし、米・麦を産し、副業に養蚕・養豚・養鶏・酪農を営む。〔沿革〕明治二十二年町村制施行に際し、瀬谷・阿久和・本郷・下川井・上川井・宮沢・中野・笹下の八村合併して瀬谷村となる。〔戸数・人口〕戸数一、八〇〇、人口一〇、〇〇〇。

セヤオカ　——丘　東京都大田区の北部。多摩川の中流に臨む。相模野台地の一部をなし、ただ西境を南流する境川の東岸。相模野台地の一部をなし、ただ西境を南流する境川の東岸。

セヤ　世屋村　京都府北部。京都府北部の山地中、京都府北部の山地中、京都府北部の山地中、

の南約2粁、官田庄下の豊産子・赤子・三島の3村、大内庄下の大内・直註・高下の3村、明治22年市制実施に際し、現名の豊中市に属す。

センカワ　千川上水　せんかわかみみず　東成郡

東成郡に給水せる淀川上水。もと完全時代に玉造・鴫野の上保谷上保庄にて分水し、石曹井・中筋・森ノ宮・玉造・今福の7村へ給水せしが、明治22年市制実施に際し、東成郡に属す。

センガン　千貫村　せんがんむら　東成郡

東成郡名取郷の西南部にあり、東は今福村、北は東中浜村、西は阿倍野村、南は住吉郡に接す。西成郡川北村と東成郡千貫村に跨る。西成郡川北村は山地なるも東部は平坦にして、東南部は阿倍野村に連なる。

センカンヤマ　千貫山　せんがんやま　東成郡

東成郡千貫村にあり、標高一〇〇米。

センキ　全喜　せんき　朝鮮忠清南道

忠清南道の北端。東は仁川（四六〇米）、西内にも高度一〇〇米の丘陵多く、それらの間に北流する三条の河川あり。

センキ　全義面　せんぎめん　朝鮮忠清南道

忠清南道の北端。東は仁川（四六〇米）、西内にも高度一〇〇米の丘陵多く、それらの間に北流する三条の河川あり。

センガンイシ　千貫石　せんがんいし　↓千貫

センガンイワ　千貫岩　せんがんいわ　↓千貫

センカンヤマ　占岩山　せんがんやま　朝鮮全羅南道高

興郡の東部。

センキョ　船橋里　せんきょり　朝鮮平安南道

道庁所在の東部。大同江を挟んで平壌府の東南に接す。

センキョー　船橋里　せんきょう　朝鮮平安南道

道庁所在の東部。大同江を挟んで平壌府の東南に接す。

センキョー　泉橋里　せんきょう　朝鮮京畿道水原

郡の北部。水原府の北方約三〇粁。東は烏山・梧木の2面に接し、南は梧木・半月の2面に接し、西は烏山面に接す。

センキョー　泉橋面　せんきょう　朝鮮京畿道水原

郡の東北部。水原府の北方約三〇粁。東は烏山面に接し、南は梧木・半月の2面に接し、西は烏山面に接す。

センキョー　泉橋面　せんきょう　朝鮮慶尚北道大

邱府の北部。大邱府の北方約一〇粁。東は八莒面に接し、南は大邱府に接し、西は北三面に接し、北は慶山郡に接す。

センキョー　泉橋面　せんきょう　朝鮮慶尚南道昌

原郡の北部。昌原府の北方約一〇粁。東は鎮東面に接し、南は昌原府に接し、西は北面に接し、北は梁山郡に接す。

センキョー　泉橋面　せんきょう　朝鮮慶尚南道梁

山郡の北部。梁山邑の北方約一〇粁。東は下北面に接し、南は梁山邑に接し、西は上北面に接し、北は密陽郡に接す。

センキョー　泉橋面　せんきょう　朝鮮慶尚南道密

陽郡の北部。密陽邑の北方約一〇粁。東は下北面に接し、南は密陽邑に接し、西は上北面に接し、北は梁

仙石原温泉・金時山・乙女峠・足柄峠等の山岳に囲まれた高原で、箱根外輪山の一部をなす。〔仙石原〕箱根火山の火口原の名称あり。〔仙石原温泉〕箱根火山の火口原の北部にあり、金時山の東麓に位する。宿泊客も多し。

センコーシ　浅光寺　㊀

【浅光寺】→浅野村

【浅光寺古墳群】北部。浅野駅東方浅野村の中野所の雨乞野古墳群より上本内部字井村の浅光寺境内の古墳群に至る。全長六・四四米、流域面積二・〇六平方粁。〔浅光寺古墳群〕右岸及び左岸のテラス状斜面に発見された前方後円墳一基、円墳一基、右岸と推定される前方後円墳一基の計三基の古墳群。

センコク　全谷　朝鮮咸鏡道咸元郡の一部（明治四十五年改正）。咸興盆地の北東端、長津川支流の上流にあり。

センコクベラ　仙石原村　神奈川県足柄下郡の西北端。箱根火山の火口原の一部を占め、北端より西端にかけて、外輪山たる金時山（一二三七米）・乙女峠（一〇四四米）・足柄峠（八〇六米）・流床山（一〇四一米）・駒ヶ岳（一〇四〇米）・猿岩（一〇〇六米）・長尾山（一〇四四米）・丸岳（一〇一五米）・鍋割山（一〇一二米）・塔ノ岳（一〇一〇米）・経ヶ岳（一〇〇四米）・明星ヶ岳（一〇〇〇米）等の山岳重畳して、東南に開口し、中央の一高原に箱根外輪山（一三〇八米）の秀峰を抜き、北端に最も東南に突出する金時山（一二三七米）・小塚山等を起し、低地すること、南部に於て急傾斜し、やや河川を刻して、東南に於て箱根外輪山より流出する須雲川に合流して、東北より来る早川と合流

センサン　仙山線

仙台駅にある奥羽東北本線仙台駅より分れ、広瀬川の河谷に沿うて西へ北進し、作並を経、山寺を横断トンネルで山形県に入り山寺駅（東村山郡山寺村）を経て山形市の北方羽前千歳駅（同郡千歳村）に至る本線十二哩二十鎖（二〇・二粁）の間を連絡す。全長五八哩。昭和十年十二月一日の開通。

センサン　善山

【善山郡】朝鮮慶尚北道中部の西端。内陸に位し、面積一、四二〇方粁、人口一四万五千七一二（昭和五年）。郡内の一〇二（一）面を以て構成され、郡庁所在地たる善山邑は京釜線の漆谷駅より北方一〇粁の地点にあり、人口一、三〇〇（一）。

【善山面】朝鮮慶尚北道善山郡の首邑。郡の中部西寄に位置し、京釜線漆谷駅より北方一〇粁の地点にあり、人口一、三〇〇（一）。

センシ　善山野　慶尚南道の中央部、晋州の北方に広がる野。

センシュー　全州　朝鮮全羅北道の首府。

センシュー　泉州　和泉国の古称。

センジョー　千畳　東京市足立区の町。荒川の北方にあり、千住大橋により東京市南千住町と連絡す。荒川放水路の開通により、千住大橋の北詰と南詰とに分れた。橋詰の町は中央に通ずる一等道路を以て南北に分たれ、東側を北千住、西側を南千住と呼ぶ。北千住は古来の名称にして、近年は交通頻繁なり。行政上、荒川放水路の東側も町内に含まれ、交通便利なり。

センジョー　千手町　新潟県西蒲原郡の一村。西蒲原郡の西北部にあり、西部に出雲を負ひ、東北は信濃川を隔てて北蒲原郡に接し、東部は中央の段丘上に発達し、東半の沖積地には本田・桑園・畑地の外、米・繭の産あり、鉱産物あり。鉱泉は中央を東西に貫通する丘陵上に湧出す。十日町へ約六粁、六日町へ約八粁の便あり。古くは千手郷といひ、其区域を中心とする一帯の地方を千手荘と称し、明治二十二年（町村制施行）千手村と改称し、昭和九年十一月日町制を布く。

センジョー　千住　東京市足立区の町。荒川の北方にあり、交通頻繁、市街は荒川放水路により東西に分たれ、有名なる公娼地として、また四囲の農産物の集散市場なるのみならず、古来交通の要衝にあり、日光・奥州両街道の駅として繁栄せり。

【千住宿】徳川時代、日光・奥州両街道の駅として繁栄せる宿場。北詰は足立区千住町、南詰は南足立郡千住町に属し、人口一、三〇〇（一）。

【千住町】東京市足立区の町。荒川の北方にあり、交通頻繁、市街は荒川放水路により東西に分たれ、有名なる公娼地として、また四囲の農産物の集散市場なるのみならず、古来交通の要衝にあり、日光・奥州両街道の駅として繁栄せり。

【千住宿】徳川時代、日光・奥州両街道の駅として繁栄せる宿場。北詰は足立区千住町、南詰は南足立郡千住町に属し、人口一、三〇〇（一）。

センジョー　千住　東京市足立区の町。荒川の北方にあり、交通頻繁、市街は荒川放水路により東西に分たれ、有名なる公娼地として、また四囲の農産物の集散市場なるのみならず、古来交通の要衝にあり、日光・奥州両街道の駅として繁栄せり。

【千住宿】徳川時代、日光・奥州両街道の駅として繁栄せる宿場。北詰は足立区千住町、南詰は南足立郡千住町に属し、人口一、三〇〇（一）。

センジョー　千住　東京市足立区の町。荒川の北方にあり、交通頻繁、市街は荒川放水路により東西に分たれ、有名なる公娼地として、また四囲の農産物の集散市場なるのみならず、古来交通の要衝にあり、日光・奥州両街道の駅として繁栄せり。

【千住宿】徳川時代、日光・奥州両街道の駅として繁栄せる宿場。北詰は足立区千住町、南詰は南足立郡千住町に属し、人口一、三〇〇（一）。

センジョー　千住　東京市足立区の町。荒川の北方にあり、交通頻繁、市街は荒川放水路により東西に分たれ、有名なる公娼地として、また四囲の農産物の集散市場なるのみならず、古来交通の要衝にあり、日光・奥州両街道の駅として繁栄せり。

【千住宿】徳川時代、日光・奥州両街道の駅として繁栄せる宿場。北詰は足立区千住町、南詰は南足立郡千住町に属し、人口一、三〇〇（一）。

センジョー　千住　東京市足立区の町。荒川の北方にあり、交通頻繁、市街は荒川放水路により東西に分たれ、有名なる公娼地として、また四囲の農産物の集散市場なるのみならず、古来交通の要衝にあり、日光・奥州両街道の駅として繁栄せり。

【千住宿】徳川時代、日光・奥州両街道の駅として繁栄せる宿場。北詰は足立区千住町、南詰は南足立郡千住町に属し、人口一、三〇〇（一）。

センジョー　千手町　新潟県西蒲原郡の一村。西蒲原郡の西北部にあり、西部に出雲を負ひ、東北は信濃川を隔てて北蒲原郡に接し、東部は中央の段丘上に発達し、東半の沖積地には本田・桑園・畑地の外、米・繭の産あり、鉱産物あり。鉱泉は中央を東西に貫通する丘陵上に湧出す。十日町へ約六粁、六日町へ約八粁の便あり。古くは千手郷といひ、其区域を中心とする一帯の地方を千手荘と称し、明治二十二年（町村制施行）千手村と改称し、昭和九年十一月日町制を布く

三・三杆、姶来谷の南麓にあり。新墾の全州府を除く区域を以て、新たに完州郡を建つ。

セントヨー　仙沼面　朝鮮平安南道順川郡の中央部。東北境に並ぶ八八〇米）の山脈のすぐ五〇一―一〇〇米の高丘陵地帯を占め、北に一〇〇―三〇〇米の古城址を望み、南に高麗山（六〇三米）の相対し、中央に一〇〇七の戸口を擁して、二〇〇の平地を開いて、やや城外の南に移し、二〇〇の新立ぜる。精米の集散地（一三三戸）の現地に移形ち。精米の集散地（一三三戸）の現地に移る

センシュ　前津　朝鮮咸鏡南道咸興府南方の一部落。

センズ　泉津　ずん　よみ　黄泉津ともいう。出雲国（島根県）東部、東流する意宇川の下流、意宇平野の西端にあった港津。古代には国府の外港として栄え、対岸の安来津とともに出雲の二大港津の一つに数えられた。

センスイ　仙酔島　ずん　広島県沼隈郡内海の一島。本土を隔たること約〇・二粁。西北より東南に長く（約一・二粁）、東に隣接する弁天島・皇后島とともに、仙酔島湾を抱く。

センセ　千手村　広島県安芸国佐伯郡の一村。

センゾ　千手村　ずん　広島県安芸国佐伯郡の一村。

センセ　千手院　京都府）

センセ　千手寺　京都府）

センセ　千手寺村　京都府）

**センセ　千手寺町

の大本山。川内川の下流に釣り橋は日蓮都市本野町を南に、一〇方粁。市中心部に接し、東北一三粁に梅木山（五一一米）、西北一二粁に泉ヶ岳（一、一七二米）、西方に雨乞岳（五一六米）、西南には薬師岳（五〇六米）がある。市中心部の西北一二粁に梅木山（五一一米）、西北一二粁に泉ヶ岳（一、一七二米）、西方に雨乞岳（五一六米）、西南には薬師岳（五〇六米）がある。

【川内町】 鹿児島県薩摩郡薩摩郡の西南部。川内川の下流に釣り橋は日蓮都市本野町を南に、一〇方粁。市中心部に接し、東北一三粁に梅木山（五一一米）、西北一二粁に泉ヶ岳（一、一七二米）、西方に雨乞岳（五一六米）がある。

【センダイ】 仙台 宮城県第一の都市。東北地方最大の大都市。北に宮城野台地、西北は一〇〇米の丘陵地をなす。東部は低湿地にして、東方約一粁に七北田川が流れ、東に海岸砂丘を形成して太平洋に注ぐ。

【センダイ】 千代川 鳥取県東部の川。中国山脈の分水嶺にある志戸坂峠に発し、西北流して中流に於て東方若桜地方よりする八東川を合せ、鳥取平野を潤流して日本海に注ぐ。下流を袋川と称す。川口より鳥取市までの間約六粁は舟運可能。

【センダイ】 仙塞 【仙塞市】 宮城県第一の都市。東北地方最大の大都市。北に宮城野台地、西北は一〇〇米の丘陵地をなす。東部は低湿地にして、東方約一粁に七北田川が流れ、東に海岸砂丘を形成して太平洋に注ぐ。

久（鳥取）の国境、国山を石川県境とす。言が峠（標高千三百五十石）を有し、流域盆地をなす。言峠の北麓を以て知られる。

【センダイ】 千代川 鳥取県東部の川。中国山脈の分水嶺にある志戸坂峠に発し、西北流して中流に於て東方若桜地方よりする八東川を合せ、鳥取平野を潤流して日本海に注ぐ。下流を袋川と称す。川口より鳥取市までの間約六粁は舟運可能。

【センダイ】 仙塞 【仙塞市】 宮城県第一の都市。東北地方最大の大都市。北に宮城野台地、西北は一〇〇米の丘陵地をなす。東部は低湿地にして、東方約一粁に七北田川が流れ、東に海岸砂丘を形成して太平洋に注ぐ。

野町を南、一〇方粁。市中心部に接し、東北一三粁に梅木山（五一一米）、西北一二粁に泉ヶ岳（一、一七二米）、西方に雨乞岳（五一六米）がある。

【川内町】 鹿児島県薩摩郡薩摩郡の西南部。川内川の下流に釣り橋は日蓮都市本野町を南に、一〇方粁。市中心部に接し、東北一三粁に梅木山（五一一米）、西北一二粁に泉ヶ岳（一、一七二米）、西方に雨乞岳（五一六米）がある。

【センダイ】 千代川 鳥取県東部の川。中国山脈の分水嶺にある志戸坂峠に発し、西北流して中流に於て東方若桜地方よりする八東川を合せ、鳥取平野を潤流して日本海に注ぐ。下流を袋川と称す。川口より鳥取市までの間約六粁は舟運可能。

【センダイ】 仙塞 【仙塞市】 宮城県第一の都市。東北地方最大の大都市。北に宮城野台地、西北は一〇〇米の丘陵地をなす。東部は低湿地にして、東方約一粁に七北田川が流れ、東に海岸砂丘を形成して太平洋に注ぐ。

久（鳥取）の国境、国山を石川県境とす。言が峠（標高千三百五十石）を有し、流域盆地をなす。言峠の北麓を以て知られる。

野町を南、一〇方粁。市中心部に接し、東北一三粁に梅木山（五一一米）、西北一二粁に泉ヶ岳（一、一七二米）、西方に雨乞岳（五一六米）がある。

【川内町】 鹿児島県薩摩郡薩摩郡の西南部。川内川の下流に釣り橋は日蓮都市本野町を南に、一〇方粁。市中心部に接し、東北一三粁に梅木山（五一一米）、西北一二粁に泉ヶ岳（一、一七二米）、西方に雨乞岳（五一六米）がある。

の大本山。川内川の下流に釣り橋は日蓮都市本野町を南に、一〇方粁。市中心部に接し、東北一三粁に梅木山（五一一米）、西北一二粁に泉ヶ岳（一、一七二米）、西方に雨乞岳（五一六米）がある

宮城縣黒川郡の所在地名となり、新しき政治の中心地となり、明治元年代官の役所となり、同五年仙臺縣の所在地となり、同九年宮城縣の所在地となり、同十一年郡區町村編制法實施と共に宮城郡の郡役所となり、同十七年仙臺區を分ちて宮城町となり、同二十二年市制施行と共に仙臺市の一部となり、同二十九年東北本線の開通と共に仙臺驛の所在地となり、同三十一年東北帝國大學の設置と共に學都となり、同三十二年第二師團の設置と共に軍都となり、同三十四年東北帝國大學理科大學の設置と共に學都となり、同三十五年第二師團の設置と共に軍都となり、同三十六年第二高等學校の設置と共に學都となり、同三十七年東北帝國大學農科大學の設置と共に學都となり、同三十八年第二師團司令部の設置と共に軍都となり、同三十九年第二師團經理部の設置と共に軍都となり、同四十年第二師團工兵大隊の設置と共に軍都となり、同四十一年第二師團輜重兵大隊の設置と共に軍都となり、同四十二年第二師團騎兵大隊の設置と共に軍都となり、同四十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同六十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同六十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同六十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同六十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同六十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同六十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同六十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同六十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同六十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同六十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同七十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同七十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同七十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同七十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同七十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同七十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同七十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同七十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同七十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同七十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同八十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同八十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同八十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同八十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同八十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同八十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同八十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同八十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同八十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同八十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同九十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同九十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同九十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同九十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同九十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同九十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同九十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同九十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同九十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同九十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百二十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百二十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百二十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百二十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百二十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百二十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百二十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百二十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百二十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百二十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百三十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百三十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百三十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百三十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百三十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百三十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百三十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百三十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百三十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百三十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百四十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百四十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百四十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百四十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百四十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百四十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百四十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百四十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百四十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百四十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百五十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百五十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百五十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百五十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百五十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百五十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百五十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百五十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百五十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百五十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百六十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百六十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百六十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百六十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百六十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百六十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百六十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百六十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百六十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百六十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百七十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百七十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百七十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百七十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百七十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百七十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百七十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百七十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百七十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百七十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百八十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百八十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百八十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百八十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百八十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百八十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百八十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百八十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百八十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百八十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百九十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百九十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百九十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百九十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百九十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百九十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百九十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百九十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百九十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同百九十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百二十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百二十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百二十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百二十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百二十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百二十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百二十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百二十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百二十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百二十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百三十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百三十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百三十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百三十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百三十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百三十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百三十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百三十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百三十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百三十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百四十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百四十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百四十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百四十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百四十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百四十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百四十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百四十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百四十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百四十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百五十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百五十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百五十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百五十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百五十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百五十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百五十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百五十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百五十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百五十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百六十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百六十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百六十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百六十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百六十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百六十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百六十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百六十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百六十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百六十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百七十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百七十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百七十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百七十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百七十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百七十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百七十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百七十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百七十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百七十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百八十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百八十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百八十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百八十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百八十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百八十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百八十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百八十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百八十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百八十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百九十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百九十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百九十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百九十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百九十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百九十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百九十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百九十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百九十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同二百九十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百二十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百二十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百二十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百二十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百二十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百二十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百二十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百二十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百二十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百二十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百三十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百三十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百三十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百三十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百三十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百三十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百三十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百三十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百三十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百三十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百四十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百四十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百四十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百四十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百四十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百四十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百四十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百四十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百四十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百四十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百五十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百五十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百五十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百五十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百五十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百五十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百五十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百五十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百五十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百五十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百六十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百六十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百六十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百六十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百六十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百六十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百六十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百六十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百六十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百六十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百七十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百七十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百七十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百七十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百七十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百七十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百七十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百七十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百七十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百七十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百八十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百八十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百八十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百八十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百八十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百八十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百八十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百八十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百八十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百八十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百九十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百九十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百九十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百九十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百九十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百九十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百九十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百九十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百九十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同三百九十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百二十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百二十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百二十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百二十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百二十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百二十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百二十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百二十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百二十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百二十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百三十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百三十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百三十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百三十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百三十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百三十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百三十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百三十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百三十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百三十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百四十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百四十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百四十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百四十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百四十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百四十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百四十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百四十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百四十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百四十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百五十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百五十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百五十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百五十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百五十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百五十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百五十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百五十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百五十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百五十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百六十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百六十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百六十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百六十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百六十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百六十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百六十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百六十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百六十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百六十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百七十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百七十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百七十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百七十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百七十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百七十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百七十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百七十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百七十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百七十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百八十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百八十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百八十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百八十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百八十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百八十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百八十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百八十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百八十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百八十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百九十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百九十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百九十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百九十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百九十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百九十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百九十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百九十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百九十八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同四百九十九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五百年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五百一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五百二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五百三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五百四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五百五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五百六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五百七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五百八年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五百九年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五百十年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五百十一年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五百十二年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五百十三年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五百十四年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五百十五年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五百十六年第二師團野戰砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五百十七年第二師團野戰重砲兵大隊の設置と共に軍都となり、同五百十八年第二師團野戰砲兵大

〔芭蕉の辻〕市内大町通・國分町・南町の交叉點にあり。市街中央の十字街なるよりその名起る。四隅にはもと城の櫓に似たる白壁の二階庇があり、その棟に双龍型、扇根の端に唐獅子型の瓦が載ぜられ異彩を放ちしも、其三隅は燒失し今はただ西北の一隅のみ昔の面影を留む。この辻は古來市の中心をなすものと認められ、舊藩時代には天和二年の忠孝の札、切支丹禁制の札、貞享五年の捨馬禁制の札が掲示されしことあり。ここより南北に通ずる陸羽街道は古來の商業地にて今は里程元標が建つ。東西に通ずる大町通は現今商業の中心地この街道の東裏の東一番丁は銀座機關傳り年中雜沓を極む。〔東北帝國大學〕片平町にその本部あり。明治四十年設置。當初は仙臺の理科大學と札幌の農科大學との二分科ありしが、大正七年農科大學本學より分離し、これより前に醫、後に法文・工科を增設し今學部にも四科あり。理・工・法文の三學部はもと當榮町・櫻小路等にありて本部と一群をなすも、醫學部はこれより離れ北四番町にあり。金屬材料研究所・向山觀象所・八甲田山植物實驗所・淺虫臨海實驗所等は何れも當大學に屬す。法文學部考古學資料陳列室は東北地方石器時代遺物、樺太北海道アイヌ土俗品等を陳列し、理學部に附屬して地質學古生物學教室の陳列室もあり、有志者に限り公開す。〔金屬材料研究所〕東北帝國大學傳

内にあり。大正五年設置ぜられし臨時理化學研究所の後身にして、冶金・製鋼・鑄造・砂鐵・輕合金の五部の外、低温研究部・磁氣研究部等設けられ、錆ない双龍型、扇根の端に唐獅子型の瓦が載ぜられ異彩を放ちしも、其三隅は燒失し今はただ西北の一隅のみ昔の面影を留む。この辻は古來市の中心をなすものと認められ、舊藩時代には天和二年の忠孝の札、切支丹禁制の札、貞享五年の捨馬禁制の札が掲示されしことあり。ここより南北に通ずる陸羽街道は古來の商業地にて今は里程元標が建つ。東西に通ずる大町通は現今商業の中心地この街道の東裏の東一番丁は銀座機關傳り年中雜沓を極む。〔東北帝國大學〕片平町にその本部あり。明治四十年設置。當初は仙臺の理科大學と札幌の農科大學との二分科ありしが、大正七年農科大學本學より分離し、これより前に醫、後に法文・工科を增設し今學部にも四科あり。理・工・法文の三學部はもと當榮町・櫻小路等にありて本部と一群をなすも、醫學部はこれより離れ北四番町にあり。金屬材料研究所・向山觀象所・八甲田山植物實驗所・淺虫臨海實驗所等は何れも當大學に屬す。法文學部考古學資料陳列室は東北地方石器時代遺物、樺太北海道アイヌ土俗品等を陳列し、理學部に附屬して地質學古生物學教室の陳列室もあり、有志者に限り公開す。〔金屬材料研究所〕東北帝國大學傳

なほ瑞鳳殿の向側には二代忠宗及び三代綱宗の廟あり。忠宗の廟は感仙殿と云ひ、桁行三間、梁間三間、單層にて屋根寶形造、銅板葺、寛文四年の建築にて國寶に指定さる。〔政岡の墓〕東九番丁、日蓮宗孝勝寺の境内にあり。石碑に「三澤氏初子之墓」と題す。初子は伊達綱村の生母即ち戯曲伽羅千代萩の政岡にて、境内に近年建てられし政岡の銅像あり。なほこの墓と並びて伊達忠宗夫人の墓あり。〔支倉六右衛門常長墓〕通町光明寺境内にあり。墓碑は小さき五輪塔にて上部を失ひ、火水地の三輪を殘す。その高さ僅に半米、傍に存する竿のみの石燈籠に「奉獻支倉常長」と刻す。墓域の一隅にソテロの記念碑あり。尚ほ墓の入口に大槻文彦撰に係る「支倉六右衛門碑」と題せる石碑あり。當長は伊達政宗の家臣にして慶長十八年その使節として師父ソテロと共にイスパニヤ及びローマに遣ばさる。その一行は日本人百五十人、南蠻人四十人の大人數なりき。途中ルソン、メキシコを經てイスパニヤの首府マドリードに入り、國王フィリップ三世に謁見し政宗の書翰及び贈物を奉呈し、翌年十月初めてローマに達し、法王パウロ五世に謁して政宗の書翰及び贈物を奉呈し、滯留すること數年、市民權をも授けらる。出發後八年を經て、元和六年法王の書翰贈物等を携へて歸着す。その贈物の多くは今なほその市民證書と共に伊達家に保

存せらる。〔林子平墓〕龍雲院境内にあり。石塔に「六無齋友直居士、寛政五癸丑歳六月二十一日、行年五十六歳」と刻す。傍に遺贈堂學頭大槻清崇撰に係る「先哲林子平碑」及び伊藤博文撰の「林子平碑」建つ。本堂に自刻自像な安置し、遺墨遺稿の類傳存せらる。子平は寛政三奇人の一人にして、北邊の防備を論じ幕府の忌諱に觸れ幽閉中歿す。明治十五年正五位を贈らる。〔青葉神社〕通町に鎭座。縣社。祭神、伊達政宗。明治七年の創祀なり。政宗十八歳にして父（輝宗）の封を承けて伊達郡を領す。天正十六年虎名氏を滅して会津七郡を併領し黒川城に移る。同十八年小田原陣中に豐臣秀吉に謁し奥羽征討の先鋒を命ぜられ、羽柴の姓を賜ふ。程なく岩手澤城に移り、慶長二年に少將に任ぜられ、同七年二月に一萬石を近江國に、同十一年二月常陸國鹿ヶ崎に二萬石を加增され、六十萬餘石を領す。同十三年正月松平の姓を賜ふ。同十九年大阪陣に功ありて正四位下參議に陞敍、寛永三年八月從三位權中納言、同十三年二月二十六日薨ず。七十五歳。例祭十月九日。〔樽岡大神宮〕元柳町に鎭座。縣社。祭神、天照大神・豐受大神外二神。社殿の左方隣屋に數十株の老樹あり、右方は梅塘林をなし老幹臥龍に似たり。華表の傍に別に老梅古松二株あり、伊達黃門公征韓の役に携ぜるところにして、一を八房梅、他を般若松と云ふと傳ふ。例

祭、十月十七日。〔東照宮〕宮町に鎭座。縣社。祭神、德川家康。古く天神社を祀れるを天正十九年德川家康下向の時この神社に休息したる事の縁を以て、二代忠宗の時、承應三年社殿を造營ぜるもの。〔大崎八幡神社〕八幡町に鎭座。郷社。祭神、應神天皇。天喜五年、源賴義・義家父子の安倍貞任兄弟を討ちて奥羽靜護の砌、當地と栗原・膽澤の三所に八幡宮を勸請す、當社その一なり。社殿丹青光彩の美を盡し、時の名匠左甚五郎作と傳ふる欄間は寛文年中に修造ぜらる。爾來伊達氏累葉の崇敬厚く明治維新に至る。社殿（本殿・拜殿は石ノ間續合せ謂ゆる八棟造、屋根桧葺）は慶長十二年伊達政宗建立のまゝなる傳へ、國寶たり。〔白山神社〕木ノ下町に鎭座。郷社。祭神、伊邪那岐命・伊邪那美命・菊理比咩命。例祭、陰曆三月三日。〔龜岡八幡宮〕川内龜岡町に鎭座。村社。文治年中伊達政宗が伊達郡高子岡に勸請ぜるを、のち仙臺に遷し天和三年綱村の代にこの地に遷ぜるもの。社寶備前長船住義光の一刀は國寶たり。例祭、陰曆三月三日。〔清淨光院〕宮町區北六番丁にあり。天台宗。俗に萬日堂と號す。良存坊の開祖、念佛三昧の道場にして荒町常念寺、東九番丁鎭行寺と共に仙臺回國三ヶ寺の一にして參詣者頗る多し。境内に靖臺落の額兵隊長尾悔太郎の墓あり。〔仙臺別院〕東一番丁にあり。眞宗本願寺派。明治十三年本願寺

明如上人の開創に係る。初め本山說教所たりしが、のち別院となる。〔大年寺〕茂ヶ崎にあり。黃檗宗。元祿元年伊達綱村、茂ヶ崎城址に創建し、鐵牛和尚を開山とす。往昔は塔頭二十宇を有し松島の瑞巖寺と並稱さるる大伽藍にて、當宗日本三叢林の一なりしも、維新後衰上によりて類廢す。いま伊達家綱村以下累代の廟所あり。此地を鮫若峰、南を善那峰と名づけ、遙に七ヶ森を望み風色絶佳なり。〔東昌寺〕二日町區通丁にあり。臨濟宗東福寺派。無爲山と號し、伊達藏人太夫政依の開基に係り、開山は佛智惠雲和尚、中興開山を大有康甫和尚なりとす。舊領千石ありたるを來證し、更に三百石を與へらる。〔東北別院〕東三番丁にあり。眞宗大谷派。明治十四年宗主廣如上人の開創、のち一時廢絕せしを大正十二年彭如上人再興す。〔滿願寺〕名懸町區元寺小路にあり。天台宗、成就山。天平年中聖武天皇東夷靜護所願の爲め奥州自河の關に創建ぜられ、行基菩薩の開山たり。のち伊達政宗之を現地に移す。境内觀音堂は仙臺順禮三十三所第九番札所たり。〔龍寶寺〕八幡町にあり。眞言宗御室派。もと醍醐三寶院末にして來澤成烏にあり、維新前は大崎八幡宮の別當寺にして寺領二百七十俵石持に一門格に列し塔頭六院を具へしも名刹たり。本尊釋迦像は赤栴檀木等身の立像、毘首羯摩作にして、嵯峨清凉寺の本尊と同木同作といひ

ひ國寶に列す。寺に臨珠を藏せしより寺號出づと。〔五色沼スケートリンク〕大手門前、仙臺城外濠の一部にあり。氷の質よく、リンクの大さは横七五米、縱二〇〇米にてアイスホッケーなども可能。日本に於けるフィギュアスケートの發祥地とす。なほ東北二・五粁に奥平沼スケート場あり。〔仙臺平〕品位の高雅と地質の强きを以て名高き袴地用の絹織物。初め藩主伊達政宗が京都より招きし織工兩國屋八右衛門が工夫して織出せしものにて八右衛門織と稱せしが、世に廣く行るるに及び他地方にては仙臺平と名づくるに至り專らこの名にて呼ばる。〔八橋織〕元祿頃の伊達風俗に由來す。織模様は七五三の方形を組合せ、これに松島の風景などを織出せし練絹物。締めて優美、特に裏地・帶揚・手巾など婦人用のものに供せらるるも産額少し。〔埋木細工〕埋木は炭化せる杭物にて古くは名取川より出でしも今は西部の長倉山及び越路山より掘り出す。これを細工し器物に造ることは文政五年藩士山下周吉に始る。埋木は腐氣ありて特殊の色澤と品位な有するを以て盆・茶托等に愛用さる。

【仙臺湾】　仙臺平野の東、牡鹿半島に擁せられたる灣入。灣の沿岸はいはゆる仙臺平野にして、これを灌漑する阿武隈川・名取川・鳴瀨川・北上川等灣内に注入す。その奥には宮戸島等の島嶼により松島灣と石卷港よりは追

波川の運河により追波灣に通じ、また松島灣よりは貞山堀によりて阿武隈川の河口に達するを得。貞山堀は伊達政宗の計畫せる大運河なり。灣内には鮭・鮪・カキ等多棲し、また金華山沖は寒暖流の交はる所なるを以て鮪・鮫等の漁獲多し。鹽釜・松島・石卷・荻濱・鮎川等には客船の航路開かる。

【仙臺平野】　宮城野を中心とし、北は北上川の下流地より南は阿武隈川下流地方に至る間の丘陵と平野を包括せる平野。北上川の下流地方即ち仙北平野は往ヶ北上川平野の一部と呼ばるるも、嘗ては獨立の河口を有せし江合川・迫川・鳴瀨川等が臺地を開析して廣き谷に、河流の沖積物が堆積して形成されしものにして、徐々に沈降の傾向を有し、伊豆沼・長沼等の湖沼、大谷地・赤井谷地等の沼澤地を生じ、諸川は屢々氾濫して疏水工事に困難を感ず。しかし河流沈積物は土地を肥沃ならしめ、古來仙臺米としてその名を江戸に知られたる良米の產地とす。宮城野は廣瀨川と名取川の灌漑するところその南は即ち阿武隈川の河口平野なり。仙臺湾に面する低地には伊達政宗の計畫による貞山堀の運河により北上河口と阿武隈の河口が結ばる。

【仙臺鐵道】　社線。宮城縣仙臺市塩通の省線仙山線の通町驛に起り宮城郡・黒川郡・加美郡を經て志田郡志田の省線陸羽東線の中新田驛に至る。全長四四・一

好。鉄輪四〇・七七二、高尾山四〇・七二三、高尾山四〇・七二三、高尾山四〇・七二三

る。北は内日村に接し、西は施口村を隔てて有明湾に臨む。面積二一八七方粁。東方約三粁に有明湾中最大の島原半島の雲仙岳（一四八六米）が聳え、その山麓に沿うて東西に島原鉄道が通じ、島原港に連絡する。人口一四、〇〇〇（昭和十年度末現在）。

センナイ　泉南部　大阪府七郡の一。面積四九四・四方粁。人口一四万一、〇〇〇（昭和五年国勢調査）。大阪府の南部を占め、北は泉北郡に接し、大阪湾に臨む。南部は和泉山脈の北斜面に当り、和泉山脈の主峰槇尾山（八九五米）は郡の南端に聳ゆる。郡内を流れる川は多く、北部を流れる石津川・大津川・春木川・父鬼川・牛滝川・樫井川・男里川・佐野川・見出川・佐野川・春木川・井原川・近木川・大川・番川等の小河川は、いずれも和泉山脈に源を発して北流し、大阪湾に注ぐ。海岸線は単調で、大阪湾に注ぐ河口に発達した沖積地を除けば、概して岩石海岸をなし、海岸線の延長は約四〇粁。海岸線に沿うて阪和電気鉄道が通じ、大阪市内天王寺駅から和歌山市まで約五〇粁の間に、泉南郡の諸町村を経由して走る。

センナン　泉南郡　大阪府七郡の一。泉南部の西部を占め、北は泉北郡に接し、東は泉南部に、南は和歌山県に、西は大阪湾に面する。面積一八二・四方粁。人口四万一、〇〇〇（昭和五年国勢調査）。郡内に岸和田・貝塚の二町と、信達・東葛城・西葛城・南郷・北郷・東信達・西信達の七村がある。

センニュー　千日前　大阪市南区の一部。千日前通は、大阪市南区の一部を東西に貫通する繁華街で、東は日本橋筋一丁目から、西は心斎橋筋一丁目に至る。

センニュー　仙人　【仙人峠】岩手県上閉伊郡小国村と上郷村との境にある峠。海抜一、〇七〇米。【仙人温泉】岩手県上閉伊郡上郷村仙人峠にある温泉。

**センニン

北は大川を隔てて東成区と相対し、南は大川と東横堀川とによりて堺市と境され、西は西横堀川と木津川とによりて北区中之島と相対し、東は東横堀川に至る。古くは中世紀の防衛として、また大坂城の建設用木材の集散地として発展したもの。現在は沿岸商業がやや衰微の傾向にあるも、なお問屋・仲買・倉庫等軒を並べ、木津川口・九条・船場・島之内等の諸地区と共に本市商業の中心地区をなす。

センバ　船場　大阪市の中央部に位置する商業地区。東は東横堀川、西は西横堀川、南は長堀通、北は大川に囲まれた地域で、面積約一・三平方粁、本区一・三平方粁、本区一・三平方粁、本区

南北に通じてバスの便あり、郡役場所在地なり。

【川北面】 郡南部の一面。南は荒川を隔て児玉郡に接し、東と北は児玉郡の一部に接し、西は秩父郡の北西端に当る。面積約一〇・一二方粁、人口約一〇〇〇人。荒川の流域は比較的広く、耕地の大部分を占め、麦・甘藷・陸稲・大豆等の産多し。また養蚕・養豚・養鶏・養蜂等の副業も盛んなり。

【川北村】 大字小前田・上野・青柳・中瀬・平沢・下児玉・本泉・八幡山・将軍沢・塚本山・小平・小前田新田・金屋・金屋新田・金屋下・金屋下新田・金屋台・金屋台新田・金屋台分・金屋台分新田・金屋台分飛地・金屋台飛地・金屋台分飛地・金屋台分飛地・金屋台飛地・金屋台分飛地・金屋台分飛地・金屋台飛地・金屋台分飛地

産額は二三〇万瓩を超え、魚は石首魚・鰯・鯖・鰹等多く、木炭・製塩・製糸・製粉・製油・醸造物は四位を占め、其他製造物も多く、主として九州・朝鮮人の工業の主なるものなり。

漁業　沿岸の地に内地人の漁業盛んにして、全州・釜山・鎮川等は何れも漁業の中心に二等港を設け、三等港又は避難港多く、木浦は朝鮮人の取引高第一位を占め、其他全州の各港を通ずる魚類の集散多く、また木製品・鯨油・魚肥・缶詰・石鹸・皮革製品・茶等の製造盛んなり。

農業　沿岸の地は内陸人の農業盛んにして、全州・群山・鎮川等は米の集散地として有名なり。

鉱業　全州の東部は地質上鉱床多く、また木製品・鯨油・魚肥・缶詰・石鹸・皮革製品・茶等の製造盛んなり。

交通　全州の東部は地質上鉱床多く、また木製品・鯨油・魚肥・缶詰・石鹸・皮革製品・茶等の製造盛んなり。

産額は二三〇万瓩を超え、魚は石首魚・鰯・鯖・鰹等多く、木炭・製塩・製糸・製粉・製油・醸造物は四位を占め、其他製造物も多く、主として九州・朝鮮人の工業の主なるものなり。

漁業　沿岸の地は内陸人の農業盛んにして、全州・釜山・鎮川等は何れも漁業の中心に二等港を設け、三等港又は避難港多く、木浦は朝鮮人の取引高第一位を占め、其他全州の各港を通ずる魚類の集散多く、また木製品・鯨油・魚肥・缶詰・石鹸・皮革製品・茶等の製造盛んなり。

農業　沿岸の地は内陸人の農業盛んにして、全州・釜山・鎮川等は何れも漁業の中心に二等港を設け、三等港又は避難港多く、木浦は朝鮮人の取引高第一位を占め、其他全州の各港を通ずる魚類の集散多く、また木製品・鯨油・魚肥・缶詰・石鹸・皮革製品・茶等の製造盛んなり。

一にして、馬は二・四萬頭にて全鮮の四五%になり、濟州島はその主要地にして火山の緩傾斜の草地を利用して放牧行はる。豚は二二萬頭、牛は一三・二萬頭、養蜂戸數二二・六萬戸にして、殊に濟州島・珍島・莞島等の島地に生産頭數衆にして、牡牛は北部諸郡に、牝牛は東南部海岸地方に多し。畜産物總額は三三八萬圓に達し、牛皮・牛肉繭詰・蜂蜜等多し。林業は鮮内の他地方と同樣、古來林政不備にして濫伐に委せしため大部分荒廢せしが、近時植林砂防等により林業の開發に努め現今にては禿山その影を沒して林業の盛なる地方の一となれり。林野面積八八・三萬町歩、林産總額一一九四萬圓、殊に本道の竹林に有名にして二四五四町歩、全鮮の五割以上を占め、その筍成はなは盛に榮養ぜられ、濟州島も推奨もまた特色あるものの一なり。水産、本道は全鮮第一の長き海岸線を有する多島の地方にして、暖流・寒流の影響を受け魚族豐富なる上に好漁場に富み、全鮮第一の漁業地なり。水産業者人口五八、二五一にして全鮮漁業人口の實に三六%を占め、内地人漁業者の多きことも慶尚南道に次ぐ。殊に濟州の海女は有名にして、全島の海女組合員八千名を超え、牛島は勿論、内地の伊豆・房總等の遠隔地にまで出稼する者頗る多く注目ぜらる。漁獲高は一千萬圓を超え、鰯及び鯖・さざえ・布苔等多く、濟州島・黒山島近海には鯨の漁獲あり、また海苔・牡蠣の養殖、製鹽も盛に行はる。水産製造も盛にして乾鰯・海鼠・さざえ罐詰・乾海苔等多く、海苔は年産二百萬圓を超え、水産製造總額の三分一强を占む。鐵業、昭和十年現在の稼行鑛區數一〇二、うち金銀鑛最も多く年産一〇二萬圓、明礬石・砂金・石綿等これにつぎ、特に光陽鑛山(光陽郡)よりは金銀鑛及び銅鑛を、舊山鑛山(海南郡)よりは本道の特産たる明礬石・蠟石を多く出し、その他水鉛・高嶺土・硅砂等の産あり。工業、本道の工産總額三四二六萬圓に上り、内地資本の進出と共に大工場續立し、その將來注目ぜらる。主要工産物は生絲(二三八萬圓)・綿織物(一六八萬圓)・植物性油脂(二一八萬圓)・酒類(四四六萬圓)・ゴム製品(九二萬圓)・穀粉(九八萬圓)等にして、特産物には薄荷油(三〇萬圓)・牛肉罐詰等あり、人絹製織も近時勃興ぜり。工場には光州の製絲工場・絣紡工場、木浦の綿織工場・日華製油(棉實油)工場等は規模も大に、生産また多し。また玉堤山附近の明礬石よりアルミナを製し、アルミニウム原料として内地に移出する額少なからず。家内工業にありては莘布・莞草製品・竹細工等特に多く、寶城・咸平の莞草莚、松汀里な中心とする莞草スリッパ、潭陽・富

嶽・綾州の竹器・竹笠・簾等は需要多く、濟州島其他朝鮮紙・木工品・窯業品・金屬器具等も見逃すべからず。農家の副業として造らるる繩・叭等の藁工品は年産約三百萬圓に達し、農家收入の重要なる部分を占む。〔交通〕鐵道は京釜本線の大田より分岐ぜる湖南本線が全羅北道より來りて西部を南北に縱貫して木浦に達し、松汀里よりは慶全西部線を分ち光州・寶城を經て順天に至り、光州よりは東北潭陽に至る光州線を分ち、更に全北の裡里に發し南走する全羅線あり道の東部を南北に縱走し求禮・順天を經て麗水港に達する等、鐵道網の發達見るべきものあり。海運は釜山木浦線・木浦濟州線・木浦仁川線・木浦多島海線等に朝鮮郵船の汽船寄港し、また大阪商船・尼崎汽船等の大阪仁川航路船の木浦に寄港する等、木浦を中心とするもの、更に東南方の麗水港が背後の鐵道の連絡と相俟つて近年著しく海運界に進出を見るに至り、關門との間に毎日連絡船發着し、海上交通また頗る便利なり。〔沿革〕李朝以前につきては全羅道の項を參照せよ。李朝の初めて全羅北道と共に全羅道と稱せしが、のち光南道と改め、次で復た全北と共に全羅道・全光道等と稱す。而して觀察使の僧は全州に置かれしが、李太王三十二年羅州府・濟州府を設け、この兩地に觀察使を置く。同年(建陽元年)右の二府及び全州・南原の兩府を廢し全羅南北の二道に分ち、濟州以南の地域を以て全羅南道となし道廳を光州郡に設く。曾て本道の地域は四牧・四都護府・五都・十五鎭に區劃ぜられたりしが、李太王の改革の時之等を廢して郡となし、ついで莞島・突山・智島の三郡を增設し諸島嶼を之に分屬せしめ、濟州牧使を置き、また麗水都を設く。光武十年本道の興德・高敞・茂長三郡を全羅北道に、同道の求禮郡は之を本道にそれぞれ移屬せしめ、玉果郡・榮安郡を廢してそれぞれ谷城・順天・寶城の各郡に合し、明治四十三年務安郡を木浦府と改稱し、總督施政當時は一府二十八郡となりしも、大正二年より漸次これが廢合を行ひ、更に昭和十年十月光州邑に府制を施行するや光州郡は光山郡と改稱ぜられ、現在二府二十一郡一島となる。

センリュー　川柳村　長野縣信濃國更級郡の東部。篠ノ井町の西南に接す。面積三・九九方粁の小村なり。西部は丘陵の末端を占め、東部に平地開く。丘陵部には桑園多く、平坦は水田となす。米・麥及び繭を產す。省線篠ノ井線及び信越本線東部を擁め、篠ノ井驛へは約一粁、バスを通ず。縣道又東部を通じ、西方山地と北國街道を連絡す。この地は和名抄、更級郡斗女鄕の內にして、いま石川村・二ツ柳村の舊二箇村を合し川柳村と名づく。東隣、文治二年三月の條に信濃國石河庄・御室御領とあるは此地なり。

ソ　襲　【襲國】→熊襲國　【襲山】→襲島山(九州)の古名。

ソー　層富・添　大和國北部に置かれたる縣。書紀・神武己未年紀に層富縣の名見ゆ。國郡制定の時郡となりしものと思はる。延喜式には添御縣神社あり、さればまた添にも作るを知る。後これを添上・添下二郡と分けしが、その分郡の期は詳かならず。書紀・欽明紀に添上郡とあるもこれは追書と見るべく、同書天武天皇白鳳五年の條に添下郡名あるを見れば、恐らくはこの頃に分けしものならんか。

ソー　草島　→三山面(朝鮮全羅南道靈光郡)

ソー　祖生村　山口縣厚狹郡吉部村の南部にある農山村。高森町の東、吉部町の東南に昇す。地勢は東南部に氷室岳(海拔五六二米)の如き高峯あれど、その他は之より低く、南部の山岡は三〇〇米餘に過ぎず。北部は主として平地にして水田多し。物産は米最も多く、麥これに次ぎ、蠶繭の產また少からず。山地多き爲め林產もあり。この地古くは和名抄、吉河郡祖原鄕の內か。

ソーイ　壯圃庄　臺灣臺北州宜蘭郡の一庄。東は太平洋に面し、宜蘭街の東隣をなし、南は宜蘭濁水溪を隔て羅東郡に接す。本庄は宜蘭川中央を流れ、又濁水溪下流三角洲平野上にあり。地勢概ね平坦、肥沃にして農產物に富む。面積約二一方粁、此地方は古く平埔蕃カバラン族の所謂西勢蕃の原住地にして、和蘭時代・清朝時代にも約二十戸の部落を形成し居たりしが、清朝中期の乾隆末、嘉慶頃、吳沙等の頭目より初めて宜蘭に至る開拓なるや、漢人吳沙に力を併せし民壯に報いて民壯圃となしたり。これその名の起原にして、字の壯二・壯三・壯四……等はその民壯の番號なり。此地の熟番は後年生存競爭に破れ各方面に移住分散せしが、舊庄內には少數の殘と漢民族化せる熟蕃部落あり。領臺後宜蘭縣に入り大正九年制度改正と共に民壯圃を改めて壯圃となし以て今日に及ぶ。產業の第一に揭ぐべきは農業中の米にして開期作田約三四〇〇甲歩、產額百萬圓、其他蔬菜七萬三千圓、甘蔗五萬五千圓、甘藷二萬二千圓、落花生一萬五千圓、其他雜麥・柑類・芭蕉等とす。畜產は水牛七萬五千圓、豚十萬圓、家禽(鷄・鴨・鵝・七面鳥)一萬五千圓、工業には製絣・製米の他七島蘭席・竹細工・帽子編等家內工業約二二萬圓あり。水產は沿岸漁獲物約四萬圓程度なり。

ソーイン　桑陰　朝鮮總督府鐵道東海北部線の一驛(昭和四年設置)。慶尚北道迎日郡鼎江原道迎日郡鼎谷面にあり。

ソーウン　早雲山　箱根火山中央火口丘の一峯。神奈川縣足柄下郡宮城野村・元箱根村に跨る。標高一二三七米。同じく中央火口丘の一峯なる神山(一四三八米)の東側面に噴出ぜる小トロイデ型火山なり。この山の西側には早雲地獄の噴氣孔ありて懸崖の間より今も白煙を上ぐ。この地獄の溫泉はパイプにて强羅に殘られ溫泉宿・別莊等に給せらる。山名は北條早雲の名を採りて附されたり。山頂よりは東方脚下に强羅・宮ノ下附近を望み、北西足下には爆裂谷なる大湧谷の噴煙を瞰下し西南方には冠ヶ岳・神山・駒ヶ岳等の中央火口丘を望む。南東方に小湧谷爆裂谷、南方に湯ノ花澤・硫黃山の二爆裂谷あり。晴天の日は遠く江ノ島・三浦半島の山々雲烟の中に望み得らる。この山の北東麓は强羅にして櫻花と紅葉の美景にその名高し。箱根登山電車は小田原驛より强羅驛に至り、それよりケーブルにて山腹の早雲山驛に至る。

ソーウン　層雲峽　北海道上川支廳の石狩川上流の峽谷。名稱は河岸の層雲別の部落に因む。雲山碧水峽ともいふ。ニセイカウシュペ山と永山・比布・北鎭・凌雲・黒・鳥帽子・赤の諸山に挾まれ長さ凡そ二四粁。中に大函・小函の勝あり。峽谷には溫泉諸所に噴出し層雲峽溫泉をなし、第七師團の療養所あり。

ソーエモンチョー　宗右衞門町　大阪市南區の町名。道頓堀川の北に面し、東に大和町、西に久左衞門町に隣接し、所謂島ノ內の一廓にして花柳界の繁昌を極むる地。關取千兩櫓・二「東西々々、遊横綱宗右衞門町、北野屋七兵衞樣念用でござります。一寸木戸までお出でなされませと、又も呼び出す相撲の名乘」

ソーエン　桑園　省線函館本線の一驛(大正十三年設置)にして札沼南線の起點。北海道札幌市にあり。

ソーカ　草加町　埼玉縣武藏國北足立郡の東南部。鳩ヶ谷町の東約四粁、東は南埼玉郡に境す。全町土地低平にて東境を綾瀨川南流し、灌漑の便よろしきを得て水田よく發達し米の產額多し。また煎餅は古くより草加煎餅の名を以て遍く世に知られ、年約一億萬枚、目方にして六十萬貫を出し、これに使用する米は三萬七千俵に達すといふ。註線東武鐵道伊勢崎線町の中央をほゞ南北に走りて草加驛(明治三十二年設置)を置く。また陸羽街道ほゞこれに沿ひ、附近町村にバスの便あり。この地は近世、足立郡谷古田領の中にして、舊奥州街道の草加宿のありし地。この宿は慶長十年鎌倉の人、大何圓雲なる者の開墾せし地なりといふ古より幕領にして代官の支配地なりしと。明治九年、明治天皇が奥羽御巡幸の際、及び同十四年、山形及び北海道行幸

の際に存在所となりし地は明治天皇草加行在所として指定史蹟たり。

ソーガ　宗賀村　長野縣信濃國東筑摩郡の南端。松本市の南方約一八粁。東部及び西部に山脈連亙し何れも村内に傾斜す。この兩山脈に挟まれて奈良井川北流し、村の西北部に扇狀地を開き、松本市に出づ。聚落は谷頭に最も稠密にて山麓には桑園多し。北部に桔梗ヶ原と稱する曠野展け、天文年間の古戰場なり。今は野菜畑・果樹園の耕地となる。省線中央本線及び中山道共に村を南北に貫通し、日出塩驛（大正十五年設置）・洗馬驛（明治四十二年設置）あり。この地は和名抄、筑摩郡大井鄕の内なるべし。明治十三年、明治天皇が山梨・三重及び京都行幸の際、本村に御小休あらせられる。

ソーカ　造賀村　廣島縣備後國賀茂郡の北部、西條町の北約二粁。西北方は高距六百米位の山地聳えて東に傾斜し南部にも五百米位の山地蟠踞す。東部は低平なる地にして耕作行はれ、米・麥また繭を産す。山地よりは用材・薪炭材を產し、また牧畜行はれ生牛の產あり。南方を通る省線山陽本線の西高屋驛へ約五粁、八本松驛・西條驛へは各々約六粁、自動車の便あり。古くは造果鄕に作る。和名抄に賀茂郡造果鄕と見え、佐宇加と訓す。建武三年五月、源朝臣の厩島神領寄進狀に、安藝國造果保とあり、また寶德二年不知行雷上狀に造果保、平賀尾張入道押領と見ゆ。

ソーカイ　滄海　朝鮮の古郡名。東夷の薉君南閭なるもの、部下二十八萬人を以て漢に降りし時、武帝その地を以て設けし郡にして、建郡の時は西暦前一二八年、卽ち衞滿朝鮮の亡ぶるに先つ凡そ二十年なり。のち三年にして廢す。いま放地を詳にせずと雖も、樂浪郡時代の前縣をなすものにして、漢の政治的勢力の直接この地方に及びし始めといふべく、又一面漢の財政經濟的伸張を物語るものにして、三年にして關めたるも主としてその緊縮政策に基くものなるべしといふ。漢書・帝紀「孝武皇帝元朔元年秋、東夷薉君南閭等口二十八萬人降、爲蒼海郡」。同三年春、罷二蒼海郡一」

ソーカトン　宋家屯會　關東州鏡子窩民政署管區の中部。鏡子窩會の西隣、西南は清水河を境とし南は海に面す。地概ね平坦にて農耕行はれ、鏡子窩・金州間の本線道路東西に通じ、また金鏡鋪道の鏡子窩驛に近く交通不便ならず。

ソーカワ　寒川村　和歌山縣紀伊國日高郡の東北部。紀伊山脈の一脈白馬山脈の南斜面に位し日高川に跨る。面積七九・一二方粁の大村。北境には若最山（一一五二米）・城ヶ森山・白ヶ岡山等の高峰峻嶺聳え、白ヶ岡山より西南方へ連嶺延びて西境を限り、その中央北偏に一二三米の山地あり中部を横切りて東へ半を流れ、東境に高甲良山（一二三〇米）を起す。此の北に日ヶ岡山に源流する日高川東流して東隣の龍神村に入る。中央の連嶺は南方へ幾多の山脈を派して傾き、高甲良山より延びる山嶺は南方より西方へ連り東南境及び南境を限り、其北に高甲良山より發源する阿川西流して南隣の下山路村北部にて日高川に合し、日高川は再び本村西部に流入して西南隅清冷山（八七八米）の山麓を繞りて西北流し、西隣の川上村に入る。阿川の沿岸には山地迫りて平地乏し。米・麥・甘藷を產し山地は木材・薪炭を出す。寒川・串本の二大字よりなり、寒川は中世莊名に呼べるものの如し。串本附近の日高川は古來筏師の聽所として知らる。梅津呂峠の頂上に地藏の大樣と呼ぶ樣の大樹あり、根廻り約六米、樹下に地藏を祀る。

ソーカワ　惣川　【惣川】省線福知山線の貨物驛（大正二年設置）。兵庫縣有馬郡塩瀨村にあり。

【惣川村】愛媛縣伊豫岡東宇和郡の東北隅。北は上浮穴郡に、西は喜多郡に界す。東南境域は雨包山（一一一二米）の山嶺連り、北及び西境にも八〇〇米內外の山地あり、中間を駄川の上支西南に流る。全戶數三四八戶中その九五%は農家戶數にして米・麥・繭を產するも三極・玉蜀黍を特產とす。なほ杉・松の林產を出す。街道は渓流沿ひに通ずるも交通便ならず。村名は舊落時代に惣川村と稱せし記錄あるも、いつしか惣川と書くに至る。此の地はもと宇都宮氏の領地たりしも、のち宇和島領となる。

ソーガン　雙岩　朝鮮總督府鐵道咸鏡本線の一驛（昭和二年設置）。朝鮮咸鏡南道利原郡東面にあり。

ソーガン　雙巖面　朝鮮全羅南道順天郡の中央北部。順天邑の西北隣。面積約七七方粁。西境中部の曹溪山（八八七米）をはじめ北境・東境にも夫々山嶺ありて面內山地廣きも、伊沙川北部山地に發して中部の谷地を南流し、西南山地よりの支流を合し東南境より上沙面に出づ。川筋に幅狹き低地ありて米・麥・大豆・棉等を產し蠶業行はる。また千月饒山ありて金・銀を產す。順天・和順をつなぐ街道中部を東西に通じバスの便あり。〔仙巖寺〕曹溪山の東麓にあり。朝鮮三十一本山の一、湖南三岩寺の一。百濟聖王七年（欽體天皇二十三年）僧阿度の草創に係り道詵國師・大覺國師中興たり。いま山內に七箇庵、山外末寺十四箇寺を有し、住僧百五十を擁す。寺內樹木鬱蒼、淸冽なる渓水その間を流れ避暑によし。

ソーキョー　挿橋　【挿橋川】朝鮮忠淸南道を流るる河。車嶺山脈の北西斜面に發して北流し牙山灣に注ぐ。主流は金馬川にして、烏棲山（七九一米）北方に發源し、東北流して禮山・唐津郡境をなし、禮山郡北端に於て一長支、無限川を合せて挿橋川となり、更に牙山郡の西境に於て自橋川を合せ、北流して當に入る。主流の流程五〇粁餘、河口より二五粁餘は舟運の便ありて鴻浦の河港あり。河口は幅極めて廣きも上流より瀨出する土砂多く、低潮時には露出して干塲の間に水路を通ずる。以上本支流の流域は肥沃なる平野にして、特に禮山・唐津兩郡に跨る禮山平野は廣漠にして米產額る多し。流域には洪城・禮山・溫陽等の郡邑を始め著名なる聚落多く、人口密度大なり。溫陽川に臨む溫陽には有名なる溫陽溫泉あり。また流域には金・銀・砂金の鑛床廣く分布す。

【挿橋町】朝鮮忠淸南道禮山郡の西部。面積四六方粁餘。西南境に龜鳳山（三七〇米）北偏の山地ある外は、面內至る處低平にて挿橋川中部を東北に貫流し沓・畑地廣く、米・麥・豆・麻・菜草等の農產多く、西部には金青鑛山ありて金・銀を出す。面邑挿橋（頭里）は東部挿橋川本流の沿岸にあり、禮山・德山間の三等道路に沿ひ、社線京南鐵道忠南線挿橋驛（大正十二年開業）ありて交通の要よし。

ソーキョー　造橋庄　臺灣新竹州竹南郡南部。西方海岸地方の南方、後龍溪に沿へる部分に僅に平地を有するのみ、他は殆ど丘陵地をなせり。面積約四九方粁の產業中農業は米を主として甘藷・粗製茶・落花生・果實類・蔬菜類其他二一五、〇〇〇圓とし、畜產には牛・豚・家禽等、殊に豚は堆肥豚舍の普及により有畜農業の實を擧げんとせしが、昭和十年中部臺灣を襲ひし震災により一時全部を失ひしも、今や官民の努力により完全に復舊して產額約三萬圓となれり。工業の主なるものは製糖・製紙にして製者は何れも價格の暴落により和當困難の狀態にありしが漸次回復の狀態にあり。製糖は外國にも輸出され品質改良に努めつつあるも生產高僅少にして家內工業の域を脫せず。大字赤崎仔には日本石油會社の經營にかかる鑛水鑛山の鑛場あり、大正十二年當時の實田石油會社が試掘に從事してより以來屢々瓦斯の大湧出に遭ひしが未だ油脈に至らず、現時ガソリン・カーボンブラックの採取行はる。交通は臺灣總督府鐵道縱貫線の淡文溪驛（大正十一年設置）及び臺中線の造橋驛（明治三十六年設置）あり。本庄は清朝末期淡水廳の設置と共にその管下に屬かれ、後龍港の發展に伴ひ漸次開拓行はれしが、氣臺後數次の變遷を經て大正九年竹南郡に屬せしめられ以て今日に及べり。

ソーキョク　笙極面　朝鮮京畿道北部廣州郡の北部。東境に車依山（六七九米）聳えて西に低下し、徐原域內に及ぶを以て東部及び南部には平地乏しく、西北境には林島山・八星山等二〇〇—三〇〇米臺の丘陵起伏あり、その東側にやや廣き平地拓け、清美川支流なる鷺川これを灌漑して地味肥沃。產物は米・麥・棉・煙草等を主とし、禹登金鑛よりは金・銀を出す。域內中央を京釜一等道路通じ、途中に驛あり。交通便にして商業稍發達す。

ソーケツ　草月面　朝鮮京畿道廣州郡の東南部。郡邑京安里の東南約三粁。地勢、東方の楊子山（七〇四米）の山脈のびて東境を劃し、徐原域內に亙りて武甲山（五七八米）を起し鰻峴、また西境にも三〇〇—四〇〇米臺の丘陵連り、平地に乏しきも、慶安川（漢江一支）その間を北流して流域に廣長なる耕地拓く。多くは畑にして、農產に米・麥・豆類・棉花等あり、南部山麓よりは金を出す。京域より利川方面に通ずる二等道路、面の中部臺地を發ひし震災により一時全部を失ひしも、今や官民の努力により完全に復舊して產額約三萬圓となれり。工業の主なるものは製糖・製紙にして製者は何れも價格の暴落により和當困難の狀態にありしが漸次回復の狀態にあり。製糖は外國にも輸出され品質改良に努めつつあるも生產高僅少にして家內工業の域を脫せず。大字赤崎仔には日本石油會社の經營にかかる鑛水鑛山の鑛場あり、大正十二年當時の實田石油會社が試掘に從事してより以來屢々瓦斯の大湧出に遭ひしが未だ油脈に至らず、現時ガソリン・カーボンブラックの採取行はる。交通は臺灣總督府鐵道縱貫線の淡文溪驛（大正十一年設置）及び臺中線の造橋驛（明治三十六年設置）あり。本庄は清朝末期淡水廳の設置と共にその管下に屬かれ、後龍港の發展に伴ひ漸次開拓行はれしが、氣臺後數次の變遷を經て大正九年竹南郡に屬せしめられ以て今日に及べり。

ソーケー　草溪面　朝鮮慶尙南道陜川郡の東部南偏。西境より南境を東方に流る清溪山（五九一米）・鳳月山（六〇七米）・去白山（五八四米）・彌陀山（六六二米、赤中面東部）等の山嶺とその兩麓が東北、西北方につづく二〇〇米內外の丘陵によりて圍繞ぜらるる盆地の西半部を占め、土地平坦にて畓田よく拓け、米・麥・豆類等の產多し。面邑草溪は面の東北部に位し東は昌寧、西は陜川方面へ二等道路を通じ、バスの便ありて交通不便ならず。

ソーケー　雙溪庄　臺灣臺北州基隆郡の東南部。三貂嶺・草嶺間の谷地を占むる一庄にして溪川殿積する雙沃なる地なり。面積約一五一方粁。產業中農產は、米作付面積千四百甲歩、產額四〇萬圓、甘藷二萬圓、蔗菜三萬五千圓、果實五千圓等にして、畜產は水牛二萬五千圓、豚十三萬五千圓、家禽二萬圓等、林產は用材・薪炭・竹材等一萬圓、工業は製搾製茶を主とし二十二萬圓餘なり。然れども庄產業の宗たるものは鑛產にて澳和炭礦・瑞三炭礦・平溪炭鑛・外柑園坑・魚行炭鑛・瑞芳三坑及び金・銀・銅鑛・金銀鑛を出す金瓜石鑛山等あり。金塊六十萬圓、石炭二十二萬圓、コ

ソーサ——ソーシ

ソーサ 岡松（おかまつ）

【岡松】下野国の人。

ソーサ 岡部（おかべ）

【岡部】武蔵国の人。

ソーコク 井谷田（いやだ）

【井谷田】

ソーコク 村瀬（むらせ）

【村瀬】

ソーサ

【岡部】

ソーシ 岡山（おかやま）

【岡山】

ソーサ 岡松（おかまつ）

【岡松】

ソーシ 岡山（おかやま）

【岡山】

ソーシ 岡山（おかやま）

【岡山】

ソーシ 岡山（おかやま）

【岡山

り勾玉・管玉・金銀装の太刀・矢鏃及び斧鉞等を多数に出す。石郭は普通後円部にのみ發見せられ、かく前後兩所に石郭あるは稀にて、この點學術的價値多き古墳とす。この古墳は豐城入彦命の御墓なりと傳へらる。四方の展望に適へる形勝の地に築かれ規模の雄大なるは如何にも高貴の墳墓と察せらる。〔愛宕山古墳〕大字總社字大屋敷の畑中にあり。その形式圓墳にして、徑約五四米、高さ約八米を有し、其の一部は墓地となり他は桑畑となれり。羨道の口を南側に開ける石郭あり、石室内に家形石棺置かる。發掘の年月、遺物の種類等に就きては何ら傳はらず。此古墳を以て豐城入彦命の御子八綱田王の御墓なりとする傳へあり。〔賓塔山古墳〕光巖寺堂前にあり。封土の上は秋元家の墓域となり、周圍に石垣など施され、舊態を止めざるも、尚ほ方形にして二段に築かれし古墳たること認められ、その大さ東西約四二米、南北約四八米、高さ約一〇米程なり。方墳は全國的に見るも其の數甚だ稀少にして、其の知らるるは僅に十餘箇處に過ぎざる程として最下に於ては現在唯一のものなり。その石郭は入口を南側に開きて全長約一一米に及び、羨道及び二石室に分たれ、巨大なる切石を巧妙に組合せて造られ居るを以て、單に石郭の構造上より見るも注意すべき古墳たり。更にまた奥室の中央に有する家形石棺はその大さ竪二・三米、横一・三米、高一・三米に達し製作優秀にして二個の水抜き孔をも有し、類例の稀なるものとて、種々の方面より學術的に貴重視せらる。遺物の類はすべて逸散して之を傳へず、亦發掘の年時さへ聞く所なきは遺憾なるも、發掘後爲せしと思はるゝ石郭の隣面に存する彫刻より察するに相當古き時代に行はれしもゝ如し。地方にては此の古墳をして御諸別王の御墓と傳ふ。〔總社の六地藏塔〕光巖寺の南約二二〇米なる共同墓地にあり。一見燈籠の如く見え、笠石の下なる方形の石の三面に地藏像各二體彫刻せられ、他の一面に「逆修大且那道忠」「明應四乙卯九月十四日」の銘あり。

【總社町】岡山縣備前國古備郡の南部。北は高距約一〇〇米の小丘陵ありて南に緩斜し、南は高梁川流域の沖積平地を占め耕地よく拓けて農業盛んに行はれ米・麥・繭等の産あり、その外蔬草・楮を栽培す。從つて蠶表・花莚等の製造行はれ又清酒の産あり。市街は南部平野にありて東南方の岡山市と西北方の高梁町を連絡する縣道は市街の中央を通り又分れて南方倉敷市へ至る縣道ありバスを通ず。省線伯備線倉敷市より來たり西總社驛（大正十四年設置）を設け、此線中國縦貫鐵道岡山より來りて此處に連絡す。この地は往古備中の國府のありし處。大字總社の總社神社の所在地は即ち國府盡の址たりと傳ふ。延喜式に「備中國府、在賀夜郡」

また丘陵間の低地には耕地拓けて米・麥・豆の農産を出す。清項邑よりの三等道路は九龍浦を經て大甫港に至りバスの便あり。九龍浦は本道東岸に於て清項につぐ良港にして、人口五千餘、内地人の居住多く、漁業・倉庫組合等あり。

ゾーシュク　藏宿　省線伊萬里線の一驛（明治三十一年設置）。位賀縣西松浦郡山内村にあり。

ソージョーガタニ　僧正ヶ谷　京都府山城國愛宕郡鞍馬山鞍馬寺の西北に在る谷。貴船神社に下る坂路の途中にあり。老杉繁り合ひ、往昔牛若丸劍術修業の傳説を以て知らる。また僧正ヶ谷とも稱せり。唐州府志「僧正ヶ谷、在二鞍馬山西北一、相傳、斯山大天狗僧正毀、於二斯處一、傳二劍術於源牛若一」

ソージン　崇仁面　→崇仁面

ソースイ　蒼水　【蒼水面】朝鮮京畿道抱川郡の北端。郡邑抱川を距る正北約八粁。北部に寶藏山（八七五五米）屹立して北方の寶蓋山（八七七米）と相對し、南及び西に緩斜するも北に急斜して嶮岨を成し、此處に臨津江一支流瀼川蛇曲流し漣川郡との境を劃し西南境にも三〇〇―四〇〇米臺の山脈望るも、東南部は概して低平なり。而して東方廣德山に發して西流する永平川は北部を貫流し、流域に廣長なる斜地ひらく。産物に米・麥・蠶繭等あり。鎮道京元線

金谷驛に約八粁にして交通便ならず。

【倉水面】朝鮮慶尚北道盈德郡北部の西半。西は英陽郡に北は江原道蔚珍郡に隣接す。大白山脈中の地にて西境には高度八〇〇米内外の山地南北に連り、東境に鐘雲山（七五八米）の山嶽あり。西部山地の東面に數條の小溪谷あり、その水相合して東南に流れ南隣寧海面に出づ。これらの谷地に農耕行はれ、米・麥・粟・大豆を産し、また繭を出す。等外道路によりて四隣に通ずるも交通未だ便ならず。

ゾーズ　象頭山　香川縣仲多度郡琴平町の西境にある山。琴平山の別稱。山嶽は北の大麻山（六一六米）に續き、東の丸龜平野を望む。山地は臺地狀、讃岐岩よりなり、火山質の岩漿が花崗岩臺上に流れて生ぜしもの。往古より濫りに斧を入れざる當山は樹木鬱蒼として四時緑色を湛れ、中腹にある金刀比羅宮この間に鎭座す。山名は山形象に似たるに因むと。

ソーソン　草村面　朝鮮忠淸南道扶餘郡の東隣、扶餘面の東隣。西北半部は高さ一〇〇米内外の緩禿の丘陵地なるも東南半部は東南境を流るゝ錦江の支流石城川の流域にて緩丘低平にして農田よく拓く。米・麥・豆・棉・苧麻等の農産、南山・新塔・扶餘・大昌等の金山よりの金・銀・金銀鑛等の鑛産あり。バスの便ある論山・扶餘間の道路に近きも、交通なほ便利ならず。

ソーダ　造田村　香川縣讃岐國綾歌郡の西南部。南は阿波國三好郡三野町に隣す。讃岐山脈の北斜面に位し南境にある大川山（一〇四三米）の高峯をはじめ、連峯急峻なる山勢をなして南半に蟠踞す。北半中央を東西に土器川ながれて流域に稍々廣き低地を拓く、米・樒麥等の産あり、山地よりは林産物を出す。西方琴平町とは約一〇粁あり、バスの便あり。この地古くは和名抄、鵜足郡号尾鄕の内に屬す。明治十七年炭所西村（いま長炭村の大字）外一村と共に組合を成せしも、同二十二年町村制施行の際分離獨立す。

ソータ　造田村　香川縣讃岐國大川郡の西部。志度町の南、長尾町の北に位し、面積七・四方粁。村の西南より中央部を東に鴨部川流れ、流域は平坦肥沃なる耕地をなして米・麥を産す。北部に高距約百米の日内山あり。畑地として利用され特に桃・柿の栽培盛にして縣下有數の地なりと。尚桑苗を育成して賣出す類も少からず。村の中央部に省線高徳本線造田驛（大正十五年設置）ありて東方神前村と北方志度町を繋ぐ。大字乙井に四宮光利の居りし城址あり。古くは和名抄、宮川郡造田鄕（高山寺本には造太に作る）の地にて、文安六年の醍醐三寶院領目錄に讃岐國長尾庄造田庄は鎌倉法華堂領（應永六年の日錄には鎌倉二位家右大臣兩法華堂別當職とあり）の由見ゆ。〔造田神社〕大字是弘に鎭座。郷社。祭神、少童命・足仲彦天皇・譽田天皇・氣長足姫命・大鷦鷯天皇。社傳に光孝天皇仁和二年石清水社より八幡大神を勸請し創祀せるものといふ。例祭、九月二十七日。

ソーチ　雙置面　朝鮮全羅北道淳昌郡の北西部。淳昌面の北西方。面積八〇方粁餘。慶尚山脈に當り四境山地を繞らし、東南隅に龍嶽峯（五八七米）、南境西部に楯芳山（六二五米）、西部に將軍峰（六〇六米）、西北境に高聳山（六四三米）、北境中部に國師峰（六五五米）等屹つ蟾津江の支流、秋嶺川南隣綿興面より來たり、中部を東北に蛇行して東北隣井邑郡山内面に出で、その兩岸の洪涌原に耕地をつくる。米・麥・棉・大麻等の農産あり。交通なほ不便なり。

ソーデン　草田面　朝鮮慶尚北道星州郡の北部。面積約四七方粁あり。北部は一帶に山地にして西北境上には白馬山（七一六米）、東北境には鉢嶺山（七八二米）あるも、東南に次第に低下し東南部には平地あり、西北部山地より出づる白川とその支流はこの平地を潤して東隣月恒面に出づ。農産は米を主とし麥・大豆・葉煙草・甘藷等あり。星州より金泉に至る三等道路東部を南北に通じバスの便あり。

ソートー　雙島灣　關東州の西南岸。澄東灣の一支灣にて、南の方家屯會と北の山頭帘との間に彎入し、灣口に雙島を浮ぶ。轄約二粁、彎入約六粁、東岸と北岸に沿ひ鐵道布設さる。

ソードー　宗道村　茨城縣筑波郡の東部。石下町の北に隣り鬼怒川の左岸に沿ふ。全村土地低平にて、寧ろ卑濕に過ぐるの憾あるも水田よく拓く。主生業は農にして米を主産し、また蚕等の畑作行はる。社線常總鐵道村の西偏を南北に走り宗道驛（大正二年設置）を置き、また鎭壁郡下妻町・石下町等へバスの便あり。この地古くは和名抄、豐田郡手向鄕の内に屬す。一寒邑なるも郡の中央に位するを以て嘗ては郡役所の所在地となれりと。

ソードー　倉洞　朝鮮總督府鐵道京元線の一驛（明治四十四年設置）。朝鮮京畿道楊州郡鹿海面にあり。京城近郊の櫻の名所たる牛耳洞まで西三粁。

ゾートー　增東軌道　社線。宮城縣名取郡にあり。增田町の東北本線增田驛より東方關上町の關上驛に至る。全長五・七粁、軌間〇・七六二米、動力ガソリン。

ソートン　草屯街　臺灣臺中州南投郡の北端。東西に延びたる狹長帶の地形を爲す（東西五里二町、南北二里二町）。東部境界に火炎山（標高七三九米）・橡樹山・崁斗山・中心山等の山嶽聳峙として聳え、此等諸山の餘派管内に延びて漸次丘陵地帶となり、東半及び南邊の一部を占む。河川には烏溪・鹿屋溪・隘寮溪あり。烏溪はその下流、即ち大肚溪に

して、本島有数の大河に屬し、東隣能高郡國姓庄より本街の中央部に入り、東北部の火炎山麓を迂廻して北境に出で、總て數多の小流を分岐して西北に流れ去る。鵝鑾鼻・龜山溪は共に大肚溪の分流にして、前者は南隣南投街より來りて西境を北流し、後者は東南部の山地に發源し、管内の中央部を西北流す。此等の河川は灌漑に利用せらるること夥からず。且つ此等の流域たる西・北部には、肥沃なる平野を展開す。面積約一〇八方粁。農業者は總人口の約五分の四を占め、商工業者之に次ぐ。耕地面積田三八〇〇餘甲、畑八〇〇餘甲、龍泉狀・北投新狀・茄苳腳狀之を灌漑し、水利の便よく、農産豐富なり。其の主要なるものは、米(年産一三萬餘石、價格三一二萬餘圓)・甘藷(年産一三萬餘石、價格一四萬餘圓)・甘蔗(一〇萬餘圓)・蔬菜類(四萬餘圓)・黃麻(三萬餘圓)・果物類の内、バナナ(九萬餘圓)等にして、果物類の内、パナナ(九萬餘圓)殊に多く、年に六萬餘籠の輸移出を爲す。農業に依る年生産額は三五七萬餘圓の巨額に達す。畜産は畜牛・豚・鷄及び其他の家禽にして、農家の副業として盛に飼育せられ、殊に豚は改良堆肥豚令の普及に伴ひ、一面採肥上の利益と相俟つて農家經濟の有力なる一支柱をなし、管外へ搬出せらるゝもの多し。農事關係の團體には農業組合・無農信組合支部・苗藨檢査所・家畜市場等あり、斯業の發達助成に貢獻する所尠からず。林業方面に於ては相當廣大なる山林を擁し、造林事業漸次盛手せられつゝあり、薪炭・竹材・筍・竹皮等年に約七萬圓の林産物を産出す。水産業は主として河川漁業にして規模小さく、生産額多からず。商業は大字草屯の市街を中心にして行はるゝも、地方消費を對象とする小賣商に限らる。工業は大規模の工場に乏しく、精米・醬油・菓子・麵類・煉瓦及び瓦等の製造行はる。交通は比較的便利にして、大字草屯の市街を中心に、大小幾多の道路各部落に通じ、土城・員林・南投・臺中・彰化・埔里各地との間に夫々乘合自動車の便あり。鐵道には帝國製糖株式會社經營の中南線(臺中—二水間)、街の西部を南北に走り、北は大屯都下雲峰・大平二庄を經由して臺中市に、南は南投街・名間庄を經て二水庄(員林郡)に到り、本街に鳥溪南岸驛(昭和六年設置)・新庄驛・草屯驛(共に大正七年設置)・林子頭驛(大正十二年設置)を置く。軌道は草屯より東隣國姓庄(能高郡)を經由し、埔里(能高郡、埔里街)に達す。尙所謂裏南投道路、鳥溪に沿ひて開鑿せられ、臺中・埔里間交通の街として益々其の重要さを加ふるに至れり。本街の區劃はもとの北投堡に相當し、往昔は平埔蕃族たるアミタン部族に屬するサヴアヴア社の所在地にして、就中現大字北投埔はその中心たりき。當時此等の蕃族は南北の二群に分れ、漢人は前に在るを南投、北に在るを北投と稱し、雍正年間南隣南投堡(現南投街及び中寮庄の地)の開拓その緒に就くと共に、續建人の足迹當地方に及び、北投社の地を贈得し、乾隆十六年(皇紀二四一一年)には、漁良生なる者、北方なる烏溪の水を引きて隘圳を開鑿し北投埔方面の灌漑の便を計すに至れり、彰化縣志に記して「隘圳、源從烏溪分派、至茄苳山、穿山壓石數十丈、流出灌溉七十餘庄之田、里人名爲石圳穿流」といへり。道光初年の頃、既に街肆の發達せしを知らる。東部なる土城の部落は往時内木柵と稱し、防蕃の爲柵を設けし地なるが、この時代にはこれまた開拓の緒に就きたりと。爾後この地は埔里方面に入る北路の外關となり、大字草屯は現行制度以前、草鞋墩庄と稱し、埔里地方關外の驛次として發達し、殊に光緒初年埔里社(今の埔里)の撫墾に伴ひて新たに街肆を形成せり。改築後支廳等の所在地たりしことあり、現に本街產業交通の中樞として益々發展の氣運を藏し、各種の商店軒を並べ、街役場・郵便局・信用組合・芭蕉檢查所・消費市場・家畜市場・魚市場・公園・農業家政專修學校・小公學校等あり。明治二十八年帝國領臺以來數次行政上の變遷を經、大正九年十月に至り、自治施行と共に、草鞋墩を草屯と改稱し、北投堡を廢して草屯庄に改められ、臺中州南投郡に編入せられしが、爾來漸次發達して昭和十三年二月、街に昇格するに至れり。(敎和宮)大字草屯にあり、玄壇元帥(又は玄壇爺ともいふ)を祠る。舊曆三月十六日祭典を擧行す。本神は即ち支那商賈の武官趙先明にして、趙玄壇と號し、蓄財に長じて遂に巨萬の富を成せし人なり(されば元來は財寶を授ける神として信ぜらる)。光緒十年に至り廟宇大破せしを以て爲め、李定邦首事となり、今の草屯・鮑子寮・南埔・北勢湳各部落在住李姓より一千餘圓の醵金を得て改築せり。本廟の香燈費は毎年旱晩二期、廟守に於て「化緣」と稱する餅菓子等を携へ、信徒の各戸に贈與し、代りに「化緣菓」即ち托鉢粮を募集して之に充つ。

ソーニ　宗仁岬　樺太本斗支廳好仁村にある岬。北・南側は共に海岸をなす。寛政年中露船來り亂暴を働きしにより、德川幕府に高橋一寛(清左衛門)を派して視察せしめしことあり。然し當時の記錄は多くショウニに作る。岬上に宗仁神祠あり、證實は明瞭自光(明三秒、暗三秒)にして先達距離は一九浬なり。

ソーネ　相根　千葉縣香取郡にありし村。明治二十三年香西村と改稱。

ソーノカミ　添上郡(奈良縣)　↓添上郡

ソーノシモ　添下　大和國(奈良縣)の古郡名。往昔の屬宮縣の内。齊紀、天武天皇白鳳五年の條に郡名初めて見ゆ。和名抄に曾布乃之毛と訓し、村岡・

使記・矢田・鳥具の四鄕を置く。郡名考ソーシモと訓し、地誌提要ソーノシモに復す。明治三十年西南の平群郡と合併して生駒郡を建て郡名を失ふ。

ソーハク　雙栢面　朝鮮慶尙南道陜川郡の南部。もとの上栢・栢山二面を合併して建てし面。面積六三方粁餘。

ソーバクザン　造幕山　朝鮮忠清北道鎭川郡の東部。郡邑鎭川を距る東五粁餘。東部槐山郡との境に頭陀山(約六〇〇米)聳え、山脈南及び北に延びてやや峻しく、西境には一〇〇—一五〇米臺の丘陵長く連るも、中央部及び西南にやや廣き平地開け美湖川の本支流これを灌漑して南流す。產物に米・蔘・豆・棉花等あり。三等道路は鎭川邑より中央を貫走し、里道四隣に通ずるも、途中坂路多く、交通便ならず。

ソーヒョー　曾坪面　朝鮮忠清北道槐山郡の西北端。清州郡清州邑の東北約一五粁。北境に頭陀山の西南裾のなす四—五〇〇米臺の丘陵連り、南境に魚龍山(六五七米)聳ゆるも、中央部は海拔五〇—一〇〇米の廣き平地をなし、美湖川の支流寶陶川これを灌漑して地味肥沃なる田畑拓く。產物に米・大麥・大豆・煙草・棉花・蔴等あり、一三鑛山・紫陽金鑛より金・銀を、不夜鑛山より金・銀・銅を出す。社線忠北線と公州・忠州間二等道路中部北偏を橫斷して前者に清安驛(大正十二年設置)あり。

ソーヒョー　蒼坪　朝鮮總督府鐵道成鏡本線の一驛(大正五年設置)。成鏡北道富寧郡西上面あり。

ソープ　總武【總武線】　省線。東京市より千葉縣に通ず。即ち武藏より房總方面に通ずるにより之の名あり。總武本線・房總東線・房總西線・木原線・成田線・久留里線・東金線及び貨物支線を含む。(總武本線)省線總武線の幹線。東京市神田區錦河臺の省線中央本線御茶ノ水驛より國鐵(本所區橫網)・千葉(千葉市)・佐倉(千葉縣印旛郡佐倉町)・成東(山武郡成東町)の諸驛を經て、銚子市芝町の銚子驛に至る一二〇・〇粁と、この龜戸驛(東京市城東區龜戸町)より同區北砂町の小名木川驛間の二・一粁の貨物支線、及び同市葛飾區下小岩町新小岩驛より同區金町の金町驛に至る七・一粁、銚子驛より同市銚子ソーシモと訓し、地誌提要ソーノシモに復す。明治三十年西南の平群郡と合併して生駒郡を建て郡名を失ふ。

ソーハク　雙栢面　朝鮮慶尙南道陜川郡の南部。もとの上栢・栢山二面を合併して建てし面。面積六三方粁餘。

ソーバクザン　造幕山　朝鮮忠清北道鎭川郡の東部。郡邑鎭川を距る東五粁餘。東部槐山郡との境に頭陀山(約六〇〇米)聳え、山脈南及び北に延びてやや峻しく、西境には一〇〇—一五〇米臺の丘陵長く連るも、中央部及び西南にやや廣き平地開け美湖川の本支流これを灌漑して南流す。產物に米・蔘・豆・棉花等あり。三等道路は鎭川邑より中央を貫走し、里道四隣に通ずるも、途中坂路多く、交通便ならず。

ソーヒョー　曾坪面　朝鮮忠清北道槐山郡の西北端。清州郡清州邑の東北約一五粁。北境に頭陀山の西南裾のなす四—五〇〇米臺の丘陵連り、南境に魚龍山(六五七米)聳ゆるも、中央部は海拔五〇—一〇〇米の廣き平地をなし、美湖川の支流寶陶川これを灌漑して地味肥沃なる田畑拓く。產物に米・大麥・大豆・煙草・棉花・蔴等あり、一三鑛山・紫陽金鑛より金・銀を、不夜鑛山より金・銀・銅を出す。社線忠北線と公州・忠州間二等道路中部北偏を橫斷して前者に清安驛(大正十二年設置)あり。

ソーヒョー　蒼坪　朝鮮總督府鐵道成鏡本線の一驛(大正五年設置)。成鏡北道富寧郡西上面あり。

ソープ　總武【總武線】　省線。東京市より千葉縣に通ず。即ち武藏より房總方面に通ずるにより之の名あり。總武本線・房總東線・房總西線・木原線・成田線・久留里線・東金線及び貨物支線を含む。(總武本線)省線總武線の幹線。東京市神田區錦河臺の省線中央本線御茶ノ水驛より國鐵(本所區橫網)・千葉(千葉市)・佐倉(千葉縣印旛郡佐倉町)・成東(山武郡成東町)の諸驛を經て、銚子市芝町の銚子驛に至る一二〇・〇粁と、この龜戸驛(東京市城東區龜戸町)より同區北砂町の小名木川驛間の二・一粁の貨物支線、及び同市葛飾區下小岩町新小岩驛より同區金町の金町驛に至る七・一粁、銚子驛より同市銚子町驛に至る七・一粁、銚子驛より同市銚子

海道線實籾同鹿山・倫敦間各所の銅鑛山存と硫黃・礬の產多く、溫泉の湧出また豐富なり。南部の山中に硫黃製鍊所あり。長流川支流綉慶別上流に日本製鋼所發電所設けらる。農・鑛業を主產業とし硫黃・鐵・米・菜豆を多量に產す。この地は將來地にして農耕に適せずとなし省みるものなかりしが、陸中鹽澤郡の人、千葉力之助は廣栽培の目的を以て明治十二年五月始めて今の地の下に移住し、翌十三年より漸次移住するものあり、同十七年德島縣人鎌田新三郎、三十一戶を率ゐて今の阿波國部落に團體移住し玆に部落の形をなすに至れり。同十九年字ソーベツに橋口文藏に五九ヘクタール、森本義質に八七ヘクタールの土地拂下を受け、小作人を入地せしめ開墾に從事せり。爾來逐年移住するもの增加し、明治三十二年戶數三四六戶、人口一三〇四人を算ぜるを以て伊達町より西紋舘・長流・有珠の三村を割き本村を置き、大正四年村内の德舜別を分割し德舜別村を置き以て今日に至る。(幌別鑛山)本村字幌別硫黃山にあり、本邦重要鑛山の一にて、本邦硫黃鑛山中屈指のもの。鑛床の西緣は褥慶別川の支流なる俗稱六鉾澤川筋に露出し、東々北に延亙擴大して約九〇〇米に及び、その幅は西部にて約九〇米、東部に於て六〇〇米、その厚さ前者は二七米、後者は一八米に及ぶ。最初の採掘は明治三十七年頃にして大正五年には本邦第一

ソーマ——ソーヤ

ソーヤ岬

【ソーヤ岬】北海道の北端、宗谷海峡に面する岬。

ソーヤ宗谷

【ソーヤ宗谷】北海道の北端、宗谷海峡に面する岬。

蘇我

【蘇我】千葉県の北西部、千葉市の南西にある地名。

蘇我入鹿

【蘇我入鹿】？―六四五　飛鳥時代の豪族。蝦夷の子。父とともに権勢をふるい、皇極天皇四年、中大兄皇子・中臣鎌足らのクーデターで殺された。

蘇我馬子

【蘇我馬子】？―六二六　飛鳥時代の豪族。稲目の子。崇峻天皇五年、天皇を暗殺し、推古天皇を擁立して権勢をふるった。

蘇我稲目

【蘇我稲目】？―五七〇　飛鳥時代の豪族。仏教の受容を積極的に推進した。

蘇我倉山田石川麻呂

【蘇我倉山田石川麻呂】？―六四九　飛鳥時代の豪族。蝦夷の弟。大化改新に際し、右大臣として活躍したが、のち、謀反の疑いをかけられ、自殺した。

蘇我蝦夷

【蘇我蝦夷】？―六四五　飛鳥時代の豪族。馬子の子。父とともに権勢をふるい、皇極天皇四年、中大兄皇子・中臣鎌足らのクーデターで殺された。

蘇我臣

【蘇我臣】→蘇我氏

蘇我氏

【蘇我氏】飛鳥時代の豪族。武内宿禰の後裔と伝えられる。稲目・馬子・蝦夷・入鹿と続いて権勢をふるったが、入鹿が中大兄皇子・中臣鎌足らのクーデターで殺されて没落した。

蘇我石川麻呂

【蘇我石川麻呂】→蘇我倉山田石川麻呂

蘇我石川麻呂の変

【蘇我石川麻呂の変】大化改新の際、右大臣蘇我倉山田石川麻呂が、皇太子中大兄皇子の命を受けた兵に攻められ、自殺した事件。

蘇我氏の滅亡

【蘇我氏の滅亡】蘇我氏が、中大兄皇子・中臣鎌足らのクーデターで没落したこと。

蘇我入鹿の暗殺

【蘇我入鹿の暗殺】皇極天皇四年六月、中大兄皇子・中臣鎌足らのクーデターで、蘇我入鹿が殺されたこと。

蘇我氏の没落

【蘇我氏の没落】→蘇我氏の滅亡

蘇我氏の本宗家

【蘇我氏の本宗家】蘇我氏の嫡流。

蘇我氏の嫡流

【蘇我氏の嫡流】→蘇我氏の本宗家

蘇我氏の氏寺

【蘇我氏の氏寺】蘇我氏が建立した寺院。飛鳥寺・豊浦寺・川原寺など。

蘇我氏の氏神

【蘇我氏の氏神】蘇我氏が祭った神。

蘇我氏の氏人

【蘇我氏の氏人】蘇我氏の一族。

蘇我氏の氏長者

【蘇我氏の氏長者】蘇我氏の一族の長者。

蘇我氏の氏上

【蘇我氏の氏上】蘇我氏の一族の長者。

蘇我氏の氏の上

【蘇我氏の氏の上】→蘇我氏の氏上

蘇我氏の氏の長者

【蘇我氏の氏の長者】→蘇我氏の氏長者

蘇我氏の氏の人

【蘇我氏の氏の人】→蘇我氏の氏人

蘇我氏の氏の寺

【蘇我氏の氏の寺】→蘇我氏の氏寺

蘇我氏の氏の神

【蘇我氏の氏の神】→蘇我氏の氏神

蘇我氏の氏の本宗家

【蘇我氏の氏の本宗家】→蘇我氏の本宗家

蘇我氏の氏の嫡流

【蘇我氏の氏の嫡流】→蘇我氏の嫡流

蘇我氏の氏の滅亡

【蘇我氏の氏の滅亡】→蘇我氏の滅亡

蘇我氏の氏の没落

【蘇我氏の氏の没落】→蘇我氏の没落

蘇我氏の氏の暗殺

【蘇我氏の氏の暗殺】→蘇我氏の暗殺

蘇我氏の氏の入鹿の暗殺

【蘇我氏の氏の入鹿の暗殺】→蘇我氏の入鹿の暗殺

蘇我氏の氏の馬子

【蘇我氏の氏の馬子】→蘇我馬子

蘇我氏の氏の稲目

【蘇我氏の氏の稲目】→蘇我稲目

蘇我氏の氏の蝦夷

【蘇我氏の氏の蝦夷】→蘇我蝦夷

蘇我氏の氏の入鹿

【蘇我氏の氏の入鹿】→蘇我入鹿

蘇我氏の氏の石川麻呂

【蘇我氏の氏の石川麻呂】→蘇我倉山田石川麻呂

蘇我氏の氏の倉山田石川麻呂

【蘇我氏の氏の倉山田石川麻呂】→蘇我倉山田石川麻呂

蘇我氏の氏の石川麻呂の変

【蘇我氏の氏の石川麻呂の変】→蘇我石川麻呂の変

蘇我氏の氏の倉山田石川麻呂の変

【蘇我氏の氏の倉山田石川麻呂の変】→蘇我石川麻呂の変

蘇我氏の氏の入鹿の暗殺

【蘇我氏の氏の入鹿の暗殺】→蘇我入鹿の暗殺

蘇我氏の氏の滅亡

【蘇我氏の氏の滅亡】→蘇我氏の滅亡

蘇我氏の氏の没落

【蘇我氏の氏の没落】→蘇我氏の没落

蘇我氏の氏の暗殺

【蘇我氏の氏の暗殺】→蘇我氏の暗殺

蘇我氏の氏の入鹿の暗殺

【蘇我氏の氏の入鹿の暗殺】→蘇我

ソーラク　相楽郡　京都府（山城国）十七郡の一。木津川流域に位し、南と西には京都府、東は三重県・滋賀県に接し、北は綺田郡に至る。全域三五八・九平方粁。国勢調査人口（昭和十五年）一〇万一、一三二人、人口密度一七〇・一。木津川流域に沿う地域は古来開けた地で、奈良時代には恭仁京が営まれ、国分寺・国分尼寺の遺跡がある。木津川流域の平地は水田に利用され、米・麦・大豆・野菜・茶・果実を産する。丘陵地は茶園・竹林・雑木林が多く、茶の産地として有名

ソーレ——ソエカ

ソーレ　宇頓　香川県大川郡の東部、津田川の東岸の地。

ソーレン　建林而　朝鮮慶尚北道慶州郡の西南隅。昭和九年もとの慶尚北道慶州郡の西南隅を合併して定めた面。南は慶州郡の東代面に界す。面内の山地に属す。面内の山地は南端の東方に連り面の南部はその北斜面の一部を占む。

ソーリョー　宇頓　朝鮮慶尚北道慶州郡の西南隅。昭和九年もとの慶尚北道慶州郡の東代面に界す。面内の山地に属す。面内の山地は南端の東方に連り面の南部はその北斜面の一部を占む。

ソーリン　建林而　朝鮮慶尚北道慶州郡の西南隅。昭和九年もとの慶尚北道慶州郡の東代面に界す。面内の山地に属す。面内の山地は南端の東方に連り面の南部はその北斜面の一部を占む。

ソーレン　建連　慶尚南道昌原郡の一部（大正四年設置）。巨済島の北岸にあり。

ソイカワ　蘇伊面　朝鮮忠清北道忠州郡の東部。忠州邑の東方にあり。面内の山地は東部は平均約三一四百米内外の高さを有し、西部は漸く低し。面内の山地は東部は平均約三一四百米内外の高さを有し、西部は漸く低し。

ソイカワ　添川村　山形県飽海郡の南部。日本海に臨む。

ソエカミ　添上郡　奈良県（大和国）の一郡。奈良盆地の北部を占め、東は生駒山脈を以て河内国に接し、西は佐保川・大和川を以て平群・生駒・北葛城の三郡に接し、北は京都府相楽郡に接す。面積一四二・一五方里。人口（大正九年）一四万一九〇〇。郡役所は奈良町にあり。

ソエガミ　添上郡　奈良県（大和国）の一郡。奈良盆地の北部を占め、東は生駒山脈を以て河内国に接し、西は佐保川・大和川を以て平群・生駒・北葛城の三郡に接し、北は京都府相楽郡に接す。面積一四二・一五方里。人口（大正九年）一四万一九〇〇。郡役所は奈良町にあり。

ソエカワ　添川　鹿児島県姶良郡の古地名。和名抄に出水郡添川郷（今の出水郡高尾野村の東部）とあるは、この地方の古名なるべし。

ソエガワ　添川　鹿児島県姶良郡の古地名。和名抄に出水郡添川郷（今の出水郡高尾野村の東部）とあるは、この地方の古名なるべし。

ソエダ　添田町　福岡県田川郡の西南隅。筑後山地の北端に位し、東は英彦山を以て大分県下毛郡に接し、南は福岡県八女郡に接し、西は筑後川を以て三井郡に接し、北は田川郡に接す。面積一四・一五方里。人口（大正九年）一万一九〇〇。郡役所は添田町にあり。

ソエダ　副田　朝鮮咸鏡南道咸興郡の一村（大正九年設置）。咸興北方咸興平野の一部を占む。

ソエヒ　傍陬村　朝鮮忠清南道公州郡の一村（大正九年設置）。公州邑の北方約八粁。面内の大部分は山地にして、北方は錦江に沿う。

ソエヒメ　姫岳　福岡県田川郡の西南隅。筑後山地の北端に位し、東は英彦山を以て大分県下毛郡に接し、南は福岡県八女郡に接し、西は筑後川を以て三井郡に接し、北は京都府相楽郡に接す。面積一四・一五方里。人口（大正九年）一万一九〇〇。郡役所は添田町にあり

部。小田原町の北方約六粁にて、酒匂川の東岸にあり。面積五・一八平方粁の小村。東半は丘陵地にて、東境の約三百米の山地村内に向ひて傾斜し、西半は酒匂川流域平野の一部にて水田多し。米・麥・豆類・甘藷を産し養蠶行はる。小田原町・國府津町より縣道乗りて村内にて合し北走す。小田原町へはバスの便あり。また[illegible]線御殿場線村内を西北に走る1驛を置かず、東南隣下曾我村に下曾我驛あり。この地は中世曾我氏と稱し曾我祐成・時致の養父曾我祐信の居りし地。近世、足柄上郡大井庄（大字上大井・下大井・西大井・鬼柳等）これに屬す）及び曾我里と稱せられし地にて、大字上大井・下大井・西大井に天正十九年の水帳に大井村とあればその當時は一村なりしものなるべく、のち上下西の三村に分れしものなるべし。大字上大井の鎮座、三島神社に摸刻八重垣代主神・伊吉部命・大山咋神等六柱を奉祀、治水四年源頼朝の勸請せる所といふも詳ならず。現今の社殿は嘉享二年の再建なり。例祭四月一日。曾我會繪山・三「八つ幡く」跡に誘はれ風誘ふ、朽木の櫻春過ぎて、又何の世の花をだに、捧つに甲斐なき曾我の里、痛にしや母上ぼ、河津に別れしゆふべより、二十餘年の物思ひ

【曾我村】 静岡縣賀江國小笠郡の西部。掛川町の西約三粁の地點にあり。二町二十三〇〇米前後の丘陵地をなす。西境部は低平にして水田となる。原野谷川は村の中部を東北より西南流して潺湲に便し、米・多産し茶・繭の産また多し。掛川町へバス通じ交通に便なり。古くに相名ゆ、俣野郡小笠郡の地にして、近世は曾我庄といはれし地。明治天皇、明治元年東京行幸、同年京都還幸及び同二年東京御再幸の三度御小休遊ばされる。大字平野の鎮座熊野二神社に伊弉冉尊・泉津事解之男命・速玉之男命を祀り、文永年間紀伊熊野本宮の神を分祀すといふ。舊縣社現社格別格二月九日、又村内に天正二年宗貞和尚開創の祖翁山正法寺（曹洞宗）あり、本尊觀世音に霊驗作と稱せられ往當國三十三所二十八番の札所たり。

【曾我】 ↓鎮音村（奈良縣高市郡）

ソガ 楚臥面 そが 朝鮮慶尚南道山郡の西部。沙里院邑を距る南約六粁。東境に進日峠（六〇六米）屹立して北西に綾く傾き、南境に鳥岐山（四五一米）聳え、東部及び南部は丘陵を成せども、西北方一帯は拓けて載寧平野の一部を成し田畑よく熟きる。河川は温泉川東南方より來り、進日峠の麓を洗つて平野部に出で北流、次で四方に蛇曲流し、城外に至りて載寧江に合す。産物は米・小麥・大豆・綿・甘藷・果實等の農産を主とし、豚・鶏の飼養行はれ、叭發電も盛なり。里邑縣横に通じ、京義本線鳥羽驛（東隣土城面）又は載寧驛より驛「西隣載寧郡三江面」等に出づるに便なり。

ソガ 蘇我 千葉縣千葉郡にありし町。昭和十二年二月外一町二村と共に千葉市に編入す。

ソガイ 曾我井 そがい 京都府天田郡にありし村。昭和七年綾知山市に編入す。

ソカヘ 【宗部】 宗部 丹波國（兵庫縣）の古地名。和名抄に多紀郡宗部郷あり。地は多紀郡雲部村・朝村に當るものゝ如し。

【宗部】 土佐國（高知縣）の古地名。和名抄に長岡郡宗部郷あって曾加倍と訓ず。中世香美郡宗部に對し長曾我部と稱す。蓋し國府にこゝにありしもの。その地は今の長岡郡長岡村・國澤村・國府村等の地に當る。

【宗部】 肥後國（熊本縣）の古地名。和名抄に玉名郡宗部郷の名見ゆ。蛙氏縣に蔭我氏あり、拾芥抄に曾我部宿禰あり、この地に蔵と其裔の居せしによりて起りし名稱か。その地は今何れの地に當るか詳かならざるも、一に玉名郡木葉村・樺林村の邊ならんかといひ、一に玉名村・石貫村の邊ならんともいふ。

ソガベ 曾我部村 京都府丹波國南桑田郡の西部。亀岡町の西に隣り亀岡盆地の西南隅を占め、西に大阪府豊能郡に界す。西南部に鐘仙ヶ嶽（五三六米）聳立し、北境に約三〇〇米の丘陵あり。東南より東境にも四〇〇米程度の丘陵あり。その北部に篠ヶ尾（四一三米）あり。之等山地は低平なる盆地の西南隅を占め、西に大阪府豊能郡に界す。西南部に鐘仙ヶ嶽（五三六米）聳立し、北境に約三〇〇米の丘陵あり。東南より東境にも四〇〇米程度の丘陵あり。その北部に篠ヶ尾（四一三米）あり。之等山地は低平にして水田となる。原野谷川は村の中部を東北より西南流して潺湲に便し、米・多産し茶・繭の産また多し。掛川町へバス通じ交通に便なり。古くに相名ゆ、俣野郡小笠郡の地にして、近世は曾我庄といはれし地。明治天皇、明治元年東京行幸、同年京都還幸及び同二年東京御再幸の三度御小休遊ばされる。大字平野の鎮座熊野二神社に伊弉冉尊・泉津事解之男命・速玉之男命を祀り、文永年間紀伊熊野本宮の神を分祀すといふ。舊縣社現社格別格二月九日、又村内に天正二年宗貞和尚開創の祖翁山正法寺（曹洞宗）あり、本尊觀世音に霊驗作と稱せられ往當國三十三所二十八番の札所たり。

【曾我】 ↓鎮音村（奈良縣高市郡）

ソガ 楚臥面 そが 朝鮮慶尚南道山郡の西部。沙里院邑を距る南約六粁。東境に進日峠（六〇六米）屹立して北西に綾く傾き、南境に鳥岐山（四五一米）聳え、東部及び南部は丘陵を成せども、西北方一帯は拓けて載寧平野の一部を成し田畑よく熟きる。河川は温泉川東南方より來り、進日峠の麓を洗つて平野部に出で北流、次で四方に蛇曲流し、城外に至りて載寧江に合す。産物は米・小麥・大豆・綿・甘藷・果實等の農産を主とし、豚・鶏の飼養行はれ、叭發電も盛なり。里邑縣横に通じ、京義本線鳥羽驛（東隣土城面）又は載寧驛より驛「西隣載寧郡三江面」等に出づるに便なり。

ソガ 蘇我 千葉縣千葉郡にありし町。昭和十二年二月外一町二村と共に千葉市に編入す。

ソガイ 曾我井 そがい 京都府天田郡にありし村。昭和七年綾知山市に編入す。

ソカヘ 【宗部】 宗部 丹波國（兵庫縣）の古地名。和名抄に多紀郡宗部郷あり。地は多紀郡雲部村・朝村に當るものゝ如し。

【宗部】 土佐國（高知縣）の古地名。和名抄に長岡郡宗部郷あって曾加倍と訓ず。中世香美郡宗部に對し長曾我部と稱す。蓋し國府にこゝにありしもの。その地は今の長岡郡長岡村・國澤村・國府村等の地に當る。

【宗部】 肥後國（熊本縣）の古地名。和名抄に玉名郡宗部郷の名見ゆ。蛙氏縣に蔭我氏あり、拾芥抄に曾我部宿禰あり、この地に蔵と其裔の居せしによりて起りし名稱か。その地は今何れの地に當るか詳かならざるも、一に玉名郡木葉村・樺林村の邊ならんかといひ、一に玉名村・石貫村の邊ならんともいふ。

ソガベ 曾我部村 京都府丹波國南桑田郡の西部。亀岡町の西に隣り亀岡盆地の西南隅を占め、西に大阪府豊能郡に界す。西南部に鐘仙ヶ嶽（五三六米）聳立し、北境に約三〇〇米の丘陵あり。東南より東境にも四〇〇米程度の丘陵あり。その北部に篠ヶ尾（四一三米）あり。之等山地は低平にして水田となる。原野谷川は村の中部を東北より西南流して潺湲に便し、米・多産し茶・繭の産また多し。掛川町へバス通じ交通に便なり。古くに相名ゆ、俣野郡小笠郡の地にして、近世は曾我庄といはれし地。明治天皇、明治元年東京行幸、同年京都還幸及び同二年東京御再幸の三度御小休遊ばされる。大字平野の鎮座熊野二神社に伊弉冉尊・泉津事解之男命・速玉之男命を祀り、文永年間紀伊熊野本宮の神を分祀すといふ。舊縣社現社格別格二月九日、又村内に天正二年宗貞和尚開創の祖翁山正法寺（曹洞宗）あり、本尊觀世音に霊驗作と稱せられ往當國三十三所二十八番の札所たり。

【曾我】 ↓鎮音村（奈良縣高市郡）

ソガ 楚臥面 そが 朝鮮慶尚南道山郡の西部。沙里院邑を距る南約六粁。東境に進日峠（六〇六米）屹立して北西に綾く傾き、南境に鳥岐山（四五一米）聳え、東部及び南部は丘陵を成せども、西北方一帯は拓けて載寧平野の一部を成し田畑よく熟きる。河川は温泉川東南方より來り、進日峠の麓を洗つて平野部に出で北流、次で四方に蛇曲流し、城外に至りて載寧江に合す。産物は米・小麥・大豆・綿・甘藷・果實等の農産を主とし、豚・鶏の飼養行はれ、叭發電も盛なり。里邑縣横に通じ、京義本線鳥羽驛（東隣土城面）又は載寧驛より驛「西隣載寧郡三江面」等に出づるに便なり。

ソガイ 曾我井 そがい 京都府天田郡にありし村。昭和七年綾知山市に編入す。

ソカヘ 【宗部】 宗部 丹波國（兵庫縣）の古地名。和名抄に多紀郡宗部郷あり。地は多紀郡雲部村・朝村に當るものゝ如し。

【宗部】 土佐國（高知縣）の古地名。和名抄に長岡郡宗部郷あって曾加倍と訓ず。中世香美郡宗部に對し長曾我部と稱す。蓋し國府にこゝにありしもの。その地は今の長岡郡長岡村・國澤村・國府村等の地に當る。

【宗部】 肥後國（熊本縣）の古地名。和名抄に玉名郡宗部郷の名見ゆ。蛙氏縣に蔭我氏あり、拾芥抄に曾我部宿禰あり、この地に蔵と其裔の居せしによりて起りし名稱か。その地は今何れの地に當るか詳かならざるも、一に玉名郡木葉村・樺林村の邊ならんかといひ、一に玉名村・石貫村の邊ならんともいふ。

ソガベ 曾我部村 京都府丹波國南桑田郡の西部。亀岡町の西に隣り亀岡盆地の西南隅を占め、西に大阪府豊能郡に界す。西南部に鐘仙ヶ嶽（五三六米）聳立し、北境に約三〇〇米の丘陵あり。東南より東境にも四〇〇米程度の丘陵あり。その北部に篠ヶ尾（四一三米）あり。之等山地は低平にして水田となる。原野谷川は村の中部を東北より西南流して潺湲に便し、米・多産し茶・繭の産また多し。掛川町へバス通じ交通に便なり。古くに相名ゆ、俣野郡小笠郡の地にして、近世は曾我庄といはれし地。明治天皇、明治元年東京行幸、同年京都還幸及び同二年東京御再幸の三度御小休遊ばされる。大字平野の鎮座熊野二神社に伊弉冉尊・泉津事解之男命・速玉之男命を祀り、文永年間紀伊熊野本宮の神を分祀すといふ。舊縣社現社格別格二月九日、又村内に天正二年宗貞和尚開創の祖翁山正法寺（曹洞宗）あり、本尊觀世音に霊驗作と稱せられ往當國三十三所二十八番の札所たり。

【曾我】 ↓鎮音村（奈良縣高市郡）

ソガ 楚臥面 そが 朝鮮慶尚南道山郡の西部。沙里院邑を距る南約六粁。東境に進日峠（六〇六米）屹立して北西に綾く傾き、南境に鳥岐山（四五一米）聳え、東部及び南部は丘陵を成せども、西北方一帯は拓けて載寧平野の一部を成し田畑よく熟きる。河川は温泉川東南方より來り、進日峠の麓を洗つて平野部に出で北流、次で四方に蛇曲流し、城外に至りて載寧江に合す。産物は米・小麥・大豆・綿・甘藷・果實等の農産を主とし、豚・鶏の飼養行はれ、叭發電も盛なり。里邑縣横に通じ、京義本線鳥羽驛（東隣土城面）又は載寧驛より驛「西隣載寧郡三江面」等に出づるに便なり。

ソガ 蘇我 千葉縣千葉郡にありし町。昭和十二年二月外一町二村と共に千葉市に編入す。

ソガイ 曾我井 そがい 京都府天田郡にありし村。昭和七年綾知山市に編入す。

ソカヘ 【宗部】 宗部 丹波國（兵庫縣）の古地名。和名抄に多紀郡宗部郷あり。地は多紀郡雲部村・朝村に當るものゝ如し。

【宗部】 土佐國（高知縣）の古地名。和名抄に長岡郡宗部郷あって曾加倍と訓ず。中世香美郡宗部に對し長曾我部と稱す。蓋し國府にこゝにありしもの。その地は今の長岡郡長岡村・國澤村・國府村等の地に當る。

【宗部】 肥後國（熊本縣）の古地名。和名抄に玉名郡宗部郷の名見ゆ。蛙氏縣に蔭我氏あり、拾芥抄に曾我部宿禰あり、この地に蔵と其裔の居せしによりて起りし名稱か。その地は今何れの地に當るか詳かならざるも、一に玉名郡木葉村・樺林村の邊ならんかといひ、一に玉名村・石貫村の邊ならんともいふ。

ソガベ 曾我部村 京都府丹波國南桑田郡の西部。亀岡町の西に隣り亀岡盆地の西南隅を占め、西に大阪府豊能郡に界す。西南部に鐘仙ヶ嶽（五三六米）聳立し、北境に約三〇〇米の丘陵あり。東南より東境にも四〇〇米程度の丘陵あり。その北部に篠ヶ尾（四一三米）あり。之等山地は低平にして水田となる。原野谷川は村の中部を東北より西南流して潺湲に便し、米・多産し茶・繭の産また多し。掛川町へバス通じ交通に便なり。古くに相名ゆ、俣野郡小笠郡の地にして、近世は曾我庄といはれし地。明治天皇、明治元年東京行幸、同年京都還幸及び同二年東京御再幸の三度御小休遊ばされる。大字平野の鎮座熊野二神社に伊弉冉尊・泉津事解之男命・速玉之男命を祀り、文永年間紀伊熊野本宮の神を分祀すといふ。舊縣社現社格別格二月九日、又村内に天正二年宗貞和尚開創の祖翁山正法寺（曹洞宗）あり、本尊觀世音に霊驗作と稱せられ往當國三十三所二十八番の札所たり。

【曾我】 ↓鎮音村（奈良縣高市郡）

ソガ 楚臥面 そが 朝鮮慶尚南道山郡の西部。沙里院邑を距る南約六粁。東境に進日峠（六〇六米）屹立して北西に綾く傾き、南境に鳥岐山（四五一米）聳え、東部及び南部は丘陵を成せども、西北方一帯は拓けて載寧平野の一部を成し田畑よく熟きる。河川は温泉川東南方より來り、進日峠の麓を洗つて平野部に出で北流、次で四方に蛇曲流し、城外に至りて載寧江に合す。産物は米・小麥・大豆・綿・甘藷・果實等の農産を主とし、豚・鶏の飼養行はれ、叭發電も盛なり。里邑縣横に通じ、京義本線鳥羽驛（東隣土城面）又は載寧驛より驛「西隣載寧郡三江面」等に出づるに便なり。

ソガイ 曾我井 そがい 京都府天田郡にありし村。昭和七年綾知山市に編入す。

ソカヘ 【宗部】 宗部 丹波國（兵庫縣）の古地名。和名抄に多紀郡宗部郷あり。地は多紀郡雲部村・朝村に當るものゝ如し。

【宗部】 土佐國（高知縣）の古地名。和名抄に長岡郡宗部郷あって曾加倍と訓ず。中世香美郡宗部に對し長曾我部と稱す。蓋し國府にこゝにありしもの。その地は今の長岡郡長岡村・國澤村・國府村等の地に當る。

【宗部】 肥後國（熊本縣）の古地名。和名抄に玉名郡宗部郷の名見ゆ。蛙氏縣に蔭我氏あり、拾芥抄に曾我部宿禰あり、この地に蔵と其裔の居せしによりて起りし名稱か。その地は今何れの地に當るか詳かならざるも、一に玉名郡木葉村・樺林村の邊ならんかといひ、一に玉名村・石貫村の邊ならんともいふ。

ソガベ 曾我部村 京都府丹波國南桑田郡の西部。亀岡町の西に隣り亀岡盆地の西南隅を占め、西に大阪府豊能郡に界す。西南部に鐘仙ヶ嶽（五三六米）聳立し、北境に約三〇〇米の丘陵あり。東南より東境にも四〇〇米程度の丘陵あり。その北部に篠ヶ尾（四一三米）あり。之等山地は低平にして水田となる。原野谷川は村の中部を東北より西南流して潺湲に便し、米・多産し茶・繭の産また多し。掛川町へバス通じ交通に便なり。古くに相名ゆ、俣野郡小笠郡の地にして、近世は曾我庄といはれし地。明治天皇、明治元年東京行幸、同年京都還幸及び同二年東京御再幸の三度御小休遊ばされる。大字平野の鎮座熊野二神社に伊弉冉尊・泉津事解之男命・速玉之男命を祀り、文永年間紀伊熊野本宮の神を分祀すといふ。舊縣社現社格別格二月九日、又村内に天正二年宗貞和尚開創の祖翁山正法寺（曹洞宗）あり、本尊觀世音に霊驗作と稱せられ往當國三十三所二十八番の札所たり。

【曾我】 ↓鎮音村（奈良縣高市郡）

ソガ 楚臥面 そが 朝鮮慶尚南道山郡の西部。沙里院邑を距る南約六粁。東境に進日峠（六〇六米）屹立して北西に綾く傾き、南境に鳥岐山（四五一米）聳え、東部及び南部は丘陵を成せども、西北方一帯は拓けて載寧平野の一部を成し田畑よく熟きる。河川は温泉川東南方より來り、進日峠の麓を洗つて平野部に出で北流、次で四方に蛇曲流し、城外に至りて載寧江に合す。産物は米・小麥・大豆・綿・甘藷・果實等の農産を主とし、豚・鶏の飼養行はれ、叭發電も盛なり。里邑縣横に通じ、京義本線鳥羽驛（東隣土城面）又は載寧驛より驛「西隣載寧郡三江面」等に出づるに便なり。

も、天正中兵火に罹りて焼失、享保中再び焚上、その後再建されて今日に及ぶ。本尊木造聖観音像一軀は、藤原時代の作に係り現に國寶たり。詠歌「かゝる世に生れあふみのあなうやと思ひで嬉め十萬一聲」（金剛寺（廬舎寺））大字穴太にあり。臨済宗天龍寺派。福壽山と號し境内年間高峯顯日（佛國ヶ師）の草創に係り、玉堂これを中興す。開山堂の庭園は享保十八年此地に生れ、九歳の時、父に座禅を本寺に託し僧となりしも、庭園造り経巻を習ひ、のち京都に大火あり、庭園これを避けて故郷に帰り、天明八年疱瘡及び麻疹等授の弘め本寺本堂の修等を指く。僧に庭園寺と稱する所以なり。所蔵の紙本淡彩渡唐図二曲屏一雙、二十八観・開祖仙圓十二幅・紙本墨書山水図十三幅の三者何れも座禅の筆になり、現に回寄にして東京帝室博物館寄託中なり。

ソカワ 蘇甲 そかわ ↓十河村（香川縣木田郡）

ソギ 曾木村 岐阜縣の濃國土岐郡の東南隅。多治見町の東方約十二粁。東は惠那郡御町に、南は愛知縣西加茂郡に、西は妻木町・駄知町に相接す。花崗岩よりなる木曾地塁の中に位し、五一六〇〇米の山地起伏す。駄知川はこの山地を刻み西北方に流る。耕地に僅かに川の流域にのみ認められ、産業盛なり。山間部なれば交通にあまり便なる事、鑛

道は並に縣道駄知町方面より縣道土岐津町に至る二の村に中世より曾木村と呼ばれ、土岐源氏一族曾木氏の居城ありしと傳ふ。天正十九年の検地帳に曾木村と記し、また南方の瓶利峠の北麓境内にのびて虚々に丘陵横臥するを以て、平地に乏しくただ北部に開きて臨津江支流により灌漑せられ、やゝ開き耕地を見る。産物に米・麥・繭等あるも、概れ自内の需要を満す程度なり。西部を京元一等道路横断して自動車の便あり。

ゾクコー 俗厚面 ぞくこう 朝鮮咸鏡南道北青郡の南部。南は日本海に面す。西境に赴戦仙山脈の支脈延びるも東部及び南部は緩やかに低平にして、田畑連る。東境には舞前大川・文城川並行して東南に流れ平野を灌漑して海に朝し、西南部に大盤湖・蓼莪盤湖の二湖あり、海岸は一帯の白砂堤にして、延長なる湾形を成し、海岸線延長一〇粁に及ぶも泊津を缺く。産物に米・大豆・大麦・粟・牛・豚・繭等あり、漁業を鉄くを以て水産業振ぼざるも沿海には明太魚・鰯・鯖の漁獲多し。鰺背府鏡城本線に海岸寄りに走つて義湖・仙厚の二郎（共に大正十四年開業）あり。面色義湖里東南一粁餘、昔城里の城山に有名なる女郎碑あり、一に癌摩碑と稱し、自然石壁にして三角形を呈し、石面に刻文あり、高麗仁宗の時代（約八百年前）の刻に成ると推せられ、成北屈指所在の女碑に比して珍ろ古格にして、貴重の史料と謂せらる。

ソクタツ 速達面 朝鮮黄海道長淵郡の東南端。北半は山勝ちにして二一三〇〇米の丘陵起伏するも南半は低平、既に東南部の若潮附近に肥沃なる平野ひらく。臨瀛川は東北より來り、東境を蛇曲南流し、次で西流し、若潮の下流二粁より廣大なる河幅をなして大東灣に注ぐ。河口沿岸は泥堆遠く連るを以て泊津に乏しく、漁介の利少なく、一部に干拓せらる。米・麥・大豆・綿・叭等を主要産物とす。東部を二等道路通じ、若潮よりは海岸沿ひに三等道路を出し、何れもバスを通じて交通便なり。

ソクリ 寒裡島 關東州長山列島中の一島。小長山島の西方約二粁、大長山島の南方約四粁に浮び、東北より西南に延び長き約二粁、北岸には小岬角突出しその間の湾岸に小低地あるも南岸には丘陵連亙して海岸をなす。いま小長山島命の關島にて寒裡島屯をなす。

ゾクリ 俗離 【俗離面】 朝鮮忠清北道懐恩郡の東北部。東境に小白山脈走りて慶尚北道との分水嶺をなし、這界には山脈の盟峰俗離山（一〇五七米）を始めとし昆陵峰・九屈山等秀容を誇り、更に俗離山より南西に岐るる支脈域内中央を縦断して北流する錦川（漢江一支）と南西流する懐恩川支流との分水嶺を形成す。耕地は海抜約三百米の錦川流域と、南西部とに拓け、主畑作農業行はる。産物に米・麥・繭・綿等あり。道路は何れも坂路多くして交通の

ソクリョー　測量山　よそく山。

ソケー　磯部村　岩手縣南部中岡

ソコー　十郷村　香川縣綾歌郡

ソコー　十河村　香川縣綾歌郡

ソコクラ　底倉　→湯ノ花村（湯ノ花温泉）

ソコヒ　底干潟　石見國（島根縣）の

ソサ　曾左村　兵庫縣揖保郡龍野

ソサン　曾山　三重縣北牟婁郡

ソシキ　祖式村　島根縣石見國邑智

ソシャ——ソテカ

ソシャ　素砂面　朝鮮京畿道京川郡

十五日に例祭を執行す。

人に農業の始れる時と称す。村の產土神にて十月

天皇を記り、村の產土神にて十月

大豆を始め各種の農業・果實・大麻・麦・

多く、特に西北部の道場に近き地方は煙草の栽培

に適し、年々多額の收入あり。

ソシコー　谷津岱崎　岩手県大島郡の主島大島の西端なる岬。

燈臺あり。麓方村に近く、

ソテ　柚

【補遺】　宮城縣玉造郡の西北部、江合川の流

域に開けたる地にして、村落は概ね山地を

背にして東南に面し、大正三年の調査に據れば

戸數百四十八、人口七百五十四あり。

【挿入句】　山形縣の西部、最上川河口の南北に亘る沿岸。地域は西田川・飽海郡に跨る。流域は概ね平野にして、北と東とは山地を以て區劃し、北と南とは最上川口の酒田港あるのみ。低き砂丘の尾根は海岸に沿行し、その内側は概ね平野に富む。

ソテウラ　柚油

【補遺】　山形縣飽海郡の西部、最上川河口の南岸に位する漁港。

ソテカワ　柚川村　岩手縣江刺郡の中部。

原野高地の中央を貫流する北上川の流域に位し、村の產土神にして、水田・畑田又は切なし治珍は砂丘なり。農業を主とし、米・麻・甘藷等の產あり。

ソテサキ　柚崎村　山形縣飽海郡の北西部に當る。

【挿入句】　山形縣の西部、最上川河口の南岸に位する漁港。地域は西田川・飽海郡に跨る。流域は概ね平野にして、北と東とは山地を以て區劃し、北と南とは最上川口の酒田港あるのみ。低き砂丘の尾根は海岸に沿行し、その内側は概ね平野に富む。

ソテフル　柚振山　会津藩古野高原の

ソテサ——ソトオ

ソテサキ　柚崎村　山形縣飽海郡の北西部に當る。

【挿入句】　山形縣の西部、最上川河口の南岸に位する漁港。地域は西田川・飽海郡に跨る。流域は概ね平野にして、北と東とは山地を以て區劃し、北と南とは最上川口の酒田港あるのみ。低き砂丘の尾根は海岸に沿行し、その内側は概ね平野に富む。

ソテフル　柚振山　会津藩古野高原の

ソトオトモ　外小友村　岩手縣気仙郡の西南隅。

ソトオヤ　外大谷　岩手縣気仙郡の西南隅。

ソネ　付根

【付根村】 愛知県北設郡西部の山間村。面積七・一一方粁。明治二十二年の町村制施行の際、東部の三村が合併して成立。村名は、三村の各一字ずつをとって命名。村役場は、東部の旧付根村に置かれた。

【付根】 →付根村（旧北設郡）

ソノ　付野

【付野】 →付知町

【付野】 →付知村（旧山県郡）

ソノ　苑緑　→苑村（旧山県郡）

ソノ　園

【園村】 愛知県三河国宝飯郡の東部。面積二四・六方粁。明治二十二年の町村制施行の際、東部の三村が合併して成立。村名は、三村の各一字ずつをとって命名。村役場は、東部の旧付根村に置かれた。

ソネザキ　曾根崎　大阪市北区の北部の一地区。梅田の東に位置し、もと曾根崎村であった。元禄期の心中事件で有名な曾根崎新地がある。

ソネ　曾根

【曾根】 愛知県北部、知多半島の中部にある地域。面積七・一一方粁。明治二十二年の町村制施行の際、東部の三村が合併して成立。村名は、三村の各一字ずつをとって命名。村役場は、東部の旧曾根村に置かれた。

【曾根村】 愛知県北部、知多半島の中部にあった村。面積七・一一方粁。明治二十二年の町村制施行の際、東部の三村が合併して成立。村名は、三村の各一字ずつをとって命名。村役場は、東部の旧曾根村に置かれた。

ソネ　曾根

【曾根】 愛知県北部、知多半島の中部にある地域。面積七・一一方粁。明治二十二年の町村制施行の際、東部の三村が合併して成立。村名は、三村の各一字ずつをとって命名。村役場は、東部の旧曾根村に置かれた。

【曾根村】 愛知県北部、知多半島の中部にあった村。面積七・一一方粁。明治二十二年の町村制施行の際、東部の三村が合併して成立。村名は、三村の各一字ずつをとって命名。村役場は、東部の旧曾根村に置かれた。

ソネ　曾根

【曾根】 愛知県北部、知多半島の中部にある地域。面積七・一一方粁。明治二十二年の町村制施行の際、東部の三村が合併して成立。村名は、三村の各一字ずつをとって命名。村役場は、東部の旧曾根村に置かれた。

【曾根村】 愛知県北部、知多半島の中部にあった村。面積七・一一方粁。明治二十二年の町村制施行の際、東部の三村が合併して成立。村名は、三村の各一字ずつをとって命名。村役場は、東部の旧曾根村に置かれた。

ソネ　曾根

【曾根】 愛知県北部、知多半島の中部にある地域。面積七・一一方粁。明治二十二年の町村制施行の際、東部の三村が合併して成立。村名は、三村の各一字ずつをとって命名。村役場は、東部の旧曾根村に置かれた。

【曾根村】 愛知県北部、知多半島の中部にあった村。面積七・一一方粁。明治二十二年の町村制施行の際、東部の三村が合併して成立。村名は、三村の各一字ずつをとって命名。村役場は、東部の旧曾根村に置かれた。

ソノ一
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ二
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ三
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ四
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ五
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ六
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ七
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ八
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ九
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ十
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ十一
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ十二
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ十三
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ十四
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ十五
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ十六
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ十七
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ十八
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ十九
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ二十
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ二十一
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ二十二
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ二十三
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ二十四
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ二十五
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ二十六
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ二十七
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ二十八
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ二十九
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ三十
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ三十一
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ三十二
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ三十三
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ三十四
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ三十五
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ三十六
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ三十七
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ三十八
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ三十九
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ四十
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ四十一
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ四十二
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ四十三
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ四十四
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ四十五
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ四十六
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ四十七
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ四十八
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ四十九
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ五十
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ五十一
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ五十二
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ五十三
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ五十四
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ五十五
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ五十六
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ五十七
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ五十八
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ五十九
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ六十
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ六十一
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ六十二
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ六十三
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ六十四
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ六十五
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ六十六
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ六十七
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ六十八
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ六十九
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ七十
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ七十一
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ七十二
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ七十三
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ七十四
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ七十五
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ七十六
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ七十七
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ七十八
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ七十九
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ八十
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ八十一
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ八十二
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ八十三
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ八十四
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ八十五
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ八十六
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ八十七
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ八十八
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ八十九
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ九十
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ九十一
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ九十二
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ九十三
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ九十四
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ九十五
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ九十六
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ九十七
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ九十八
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ九十九
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

ソノ百
【国府村】国府村の米作は、例年、反当り平均一石二斗五升位の収穫があるが、今年は、六月中旬の旱魃に、一時は一石の収穫も危ぶまれたが、その後の雨で、一石二斗位の収穫は確実となつた。

山間部の故に交通は不便にして僅かに川谷底が唯一の交通路となり、鐵道は高山本線の白川驛に近し。本村は赤河・切井・三川の大字よりなり、大字赤河字犬地には古城址ありて、これ遠藤小八郎胤直の居城たり。胤直は遠藤大隅守胤基の子にして、豊臣秀吉に仕へ六千五百石を領し犬地に住ぜり。慶長五年關ヶ原の役に石田三成に與したれば、一族遠藤左馬助慶隆七月中旬小原を發し佐見の砦を築く、胤直城ヶ根に居り、八月下旬胤直、慶隆五に小競し之を家康に報ず。織田秀信に胤直に書を與へて之を奨勵し武器彈藥を送り且慶隆の領を略取する事を許し、一方慶隆には使を江戸にやり情を述べ、家康その敵中に二心なきを賞し、更に故領郡上を與ふべき事を約し兵を以て助けしむ。即ち慶隆城ヶ根を圍み、胤直を論す。胤直遂に岐阜の陥るを知り投降ぜり。かくて胤直改易せられて廢城となれり。今檜前と稱する地點のみ存ぜり。尚本村には石器時代の遺跡多く、矢島模並に藥師の二ヶ所に石族・石斧・石鉋刀・土器等を出土ぜり。

ソフエ　祖父江町　愛知縣尾張國中島郡の西部。木曾川の東岸。一宮市の西南五粁。木曾川の沖積地濃尾平野の北部に位し、五米以下(海拔)の低地をなす。西北には木曾の大川流れ、下沼附近より南方には木曾川の舊流路にして今も河跡を殘し、荒地・墓園となる。北部の地よりは

領内川が發し町の東を流れ川本路となり、低地は墨く水田化し、蔬菜の栽培も盛なり。町はまた織物も盛なり。交通は至便にして東境目先川と並行して名古屋電鐵尾西線が南走し、山崎(昭和五年設置)・森上(明治三十二年設置)・上丸渕(大正十三年設置)・丸渕(明治四十五年設置)の諸驛あり。往昔此地一帯は伊勢湾の續きなりしが其後木曾川・長良川等の扇狀地により埋沒ぜられ、人類は漸次東漸地な

五〇米の丘陵起伏するも他に概ね低平にして田畑拓け、且つ蘇峯水利組合の灌利地域の主要部分を占めて灌漑水利の便よく農耕盛に行はる。海岸は遠浅にして舟掛の便に乏しく、一帯に鹽田として利用せられ天日製鹽行はる。農産物は米・麥・豆類多く、副業には飼牛・養鶏及び養豚いづれも盛なり。

ソラチ　空知　【空知郡】北海道石狩國の中部。上川・空知兩支廳管内に分割され、東部の富良野町・上富良野・山部・南富良野・中富良野村の一町四村は上川支廳に、西部の岩見澤・美唄・砂川・歌志内・芦別・北・幌向・音江の四町九村は空知支廳に屬す。面積四二五〇・二五平方粁。地勢は西部石狩平野、中部夕張山脈、東部富良野盆地より成る。西部平野は石狩川蛇行南流と沿岸に數多の濕地・河跡湖を生成し、低濕なる茨戸地多きも概ね灌漑の便大にして耕地拓け農工業盛にて交通利便なり。中部山脈にはイルムケップ山（八八六五米）・番ノ澤岳・美唄山等を連き南北に連亙し、東西に傾き西方は石狩平野、東方には富良野盆地を展開す。北境を石狩川西南流し空知川また北部山中を横斷し沃野をひらきて西流し石狩川に合す。南部三笠山村・幌向村に幌向川・幾春別川横谷を作りて西流し石狩川に注ぐ。中部山地に夕張炭田あり。蒸芯内・美唄・幾春別・幌内・萬字の諸炭山あり。豪落發達す。東部は西の夕張山脈・東の北見・日高二山脈間に介在して富良野盆地存す。盆地は北部に十勝岳（二〇七七米）、西南に夕張岳・芦別岳等の高峯連り擂鉢狀の傾斜の底に南北に細長く存在す。空知川上流及び富良野・布部・西達布の諸川集り灌漑の便をなす。北海道中央部山地の交通の中心地をなす。郡内は交通亦大いにひらけ省線函館本線西部平野を南北に貫通し岩見澤驛より室蘭本線分岐南走す。省線根室本線は滝川驛より分れ郡内を東南に空知川の流域を走り東方上川盆地に出づ。その下富良野驛よりは富良野線分岐し旭川市にて函館本線に連絡す。

【空知支廳】北海道十四支廳の一。北海道島の中部に位し、石狩支廳の東に隣り西北は留萌支廳、東は上川支廳と、南は膽振支廳と各々境す。上川支廳と共に海岸線を有せざる内陸支廳なり。東境部は結晶片岩及び古生層・中生層よりなる夕張山地南北に走りて上川盆地を隔て、西北境は中生層・第三紀層よりなる天鹽山脈連り、脊毛火山群これに續く。これ等に挾まれし石狩川及びその支流雨龍川・江別川等の形成せる氾濫原は石狩平野の東北を占む。生産物總額は約六千萬圓を超え北海道の首位を占め、その五七%は鑛産なり。鑛産の略ど全部は石炭にして、その價約四千萬圓、全道の九二%に當り、東南部に夕張炭田あり、茨戸の四郡より成り、岩見澤・美唄・砂川・滝川・夕張・深川の六町外二四村に分たれ、支廳を岩見澤に置く。

【空知川】石狩川の最長支流。十勝岳・下ホロカメツトク山の西南斜面に發源せるツーソラツチ川に南流して落合に至り、南方より流るゝルーオマンソラプチ川を合して空知川となり、方向を西に轉じ金山に至り略々直角に屈曲し北流して富良野盆地の西達布川・布部川・富良野川等の諸流を合せ、下富良野より更に西北に流路をとり夕張山地を橫斷し、下芦別にて芦別川を入れ百戸・幌倉を經て滝川に於て本流石狩川に注ぐ。全長約一五〇粁。流域には平野少なきも省線根室本線この谿谷に沿うて走る。

【空知炭鑛】本邦重要炭鑛の一。北海道石狩國空知郡歌志内村及び赤平村に跨る炭山。本鑛區は石狩炭田のうちにて、石狩川の支流なる上歌志内川・下歌志内川の上流より空知川の右側に亙り、上歌志内・下歌志内・神威・歌神・西山等の諸坑を含む。凡そ上層群十層、下層群八層より成り、品質は粘結瀝青炭にて火力強烈にて骸炭製造に適す。安政年間松浦武四郎が此邊を通歷したる際空知川上流沿岸に炭層の露出を認めたること空知日誌に見ゆ。されど其の開坑に着手したるは明治二十三年とす。昭和十年塊炭約十一萬九千屯、粉炭約二十九萬六千屯、粗炭約五萬

屯。林業は盛んならざるも、畜産は相當に盛んにして馬を最多とし、牛・豚・緬羊等よく飼育さる。耕地面積は田約六萬ヘクタール、畑約七萬ヘクタールに及び田の比較的大なることは地質・氣候の好條件を示すものなり。農家戸數は約七千戸、その僅に九%のみが耕地一ヘクタール未滿の耕作農にして全國農家の耕地平均約一ヘクタールに比して著しく大なり。その經營は有畜の粗放農的耕作を行ふ。農産物は水稻を主とせし、他に燕麥・小麥・馬鈴薯・大麥・大豆・玉蜀黍・青豌豆・緑豆・蕎麥・蕎豆等の食糧作物、南瓜・西瓜・玉蜀・大根・茄子等の副食作物あり、除蟲菊・菜種・甜菜・亞麻等の工業作物また少からず、食用百合また多く栽培さる。工産品には清酒・醤油・味噌等の釀造、煉乳・バター・澱粉・亞麻絲・蓙製品・薄荷等あり。省線函館本線は札幌方面より本支廳に入り首邑岩見澤を經て北上し、美唄・砂川・滝川・深川等を過ぎて旭川方面に至り、岩見澤より室蘭本線、滝川より根室本線を岐ち、深川は面館線及び留萌本線の起點をなし、留萌線の石狩沿田と札幌とを結ぶ札沼線は近年全通し、石狩当別・石狩太美の一帯の開發に當る。夕張炭田には省線、夕張線・萬字線・幌内線・歌志内線、社線夕張鐵道等本線より分岐して道第一の鐵道網密地域をなし面龍炭田には社線留萌鐵道が惠比島と連絡す。空知支廳の行政區劃は石狩國の一部にして空知、東部を缺く）夕張・南龍・樺戸の四郡より成り、岩見澤・美唄・砂川・滝川・夕張・深川の六町外二四村に分たれ、支廳を岩見澤に置く。

【空知川】石狩川の最長支流。十勝岳・下ホロカメツトク山の西南斜面に發源せるツーソラツチ川に南流して落合に至り、南方より流るゝルーオマンソラプチ川を合して空知川となり、方向を西に轉じ金山に至り略々直角に屈曲し北流して富良野盆地の西達布川・布部川・富良野川等の諸流を合せ、下富良野より更に西北に流路をとり夕張山地を橫斷し、下芦別にて芦別川を入れ百戸・幌倉を經て滝川に於て本流石狩川に注ぐ。全長約一五〇粁。流域には平野少なきも省線根室本線この谿谷に沿うて走る。

【空知炭鑛】本邦重要炭鑛の一。北海道石狩國空知郡歌志内村及び赤平村に跨る炭山。本鑛區は石狩炭田のうちにて、石狩川の支流なる上歌志内川・下歌志内川の上流より空知川の右側に亙り、上歌志内・下歌志内・神威・歌神・西山等の諸坑を含む。凡そ上層群十層、下層群八層より成り、品質は粘結瀝青炭にて火力強烈にて骸炭製造に適す。安政年間松浦武四郎が此邊を通歷したる際空知川上流沿岸に炭層の露出を認めたること空知日誌に見ゆ。されど其の開坑に着手したるは明治二十三年とす。昭和十年塊炭約十一萬九千屯、粉炭約二十九萬六千屯、粗炭約五萬六千屯、この價額約二百八十六萬圓、使用鑛夫九百餘人、現在北海道炭礦汽船會社の經營に屬す。

ソラヌマ　空沼岳　札幌市の南西方二十數粁に當る一峯。北海道石狩支廳札幌郡豊平町と千歳郡東郷村との境界に跨る。標高一二五一米。豊平川の畔なる定山渓附近のスキー地の一にして、針葉樹林に掩はれたる美しき山。スキー登山には變化あるコースを供し、山岳スキヤー多く集ひ來る。萬計沼の畔に秩父宮殿下の御下賜金により建設せられたる空沼小屋あり。附近登山者の根據地をなす。

ソロ　曾呂村　千葉縣安房國安房郡の東北部。鴨川町の西に隣る。西北部に嶺岡山（三六〇米）峙ち、その尾根東に走り、また西南部に高鴨山（三二五米）ありて、その山麓東に延び、その間に東に開く盆地狀の低地を形成す。曾呂川西部山地に發源して低地を東流す。主生業は農にして米を主産し、副業的に養蠶・養鶏等行はる。また山地多きを以て薪炭材多く、嶺岡山麓には嶺岡牧場あり。交通は鴨川町に近きを以て便なり。この地は往時曾呂郷と稱せし地にして、此地を流る曾呂川により曾呂村と名づく。

ソロール　——諸島　Sonsol Is. 南洋諸島パラオ支廳管下の一小島嶼群。ヤップ島の東南方約一七〇浬に位し、ヤップ離島線航路に當り年四回汽船の寄航あり。

ソン　村面　朝鮮慶尚南道晋州郡の東北端。東半は險峻なるも、西半概ね二—三〇〇米の平坦面にして勝々たる草原地帶を成す。河川は南江の一支、良七峠の麓に發して西北流し、谷山郡に入りて谷山川となり、南部には江原道内に發する支石川流れ、此等の灌漑により物産に惠まれず住民は主として粗笨農業に從事し、纔かに鐵鑛類を出すに過ぎず。谷山より新渓に通ずる二等道路、西南端部を掠める外は里道數條走るのみにして、交通不便なり。

ソンソール　——島　Sonsol I. 南洋諸島パラオ支廳管下の珊瑚礁島。アンガウル島の西南約二二〇浬の海上に浮ぶ。パラオ離島線航路に當り年四回の汽船の寄航あり。

ソンプツ　孫佛面　朝鮮全羅南道咸平郡の西北部。郡邑咸平面の北隣にて、西北は雲光郡郡南面に界し、西南は咸平縣に面す。北境に君龍山（四〇三米）ありて、その山嶺南に延びて老智山（一八三米）となり、西北部にも月設山（三二三米）の丘陵性山地南北に延び、東南部にも丘陵あるも面の東南部・中部及び西北部には各々小低地ありて耕地拓け、米・麥・棉等の農産を出す。西南咸平縣界は干潟地廣く蝦・鰕等の水産あり。東南咸平に道路通ずるも交通なほ便ならず。

ソンヨー　巽陽面　朝鮮江原道慶尚郡の東部。巽陽面は南に隣り、西は西面、南に鳳北面に接し、東は日本海に臨む。大白山脈の傾勢のびて南境に最高三五〇米程度の丘陵あり東及び西に緩斜し、西部にも二〇〇—二五〇米の丘陵連るも、東北一帯は概ね低平にして、庶々に一〇〇米臺の丘陵起伏するのみ。河川は西邊を南大川流れ、面の北端部に於て日本海に注ぎ、其他の川も東流して海に朝す。此等の流域と北部海岸寄りに地味肥沃なる耕地拓く。海岸は屈曲少なく多くは低砂濱を成し、ただ水山里に一泊津あるのみ。耕地は田と畑と略ど相半し米・粟・黍・大豆等の農産あり、沿海には鰯・明太魚・鰺・鰆・鮭等の漁獲少からず。郡邑巽陽より東南に二等道路出でて城内を橫斷しバスの便あり。

タ

【田村】 田

タイ 畜肥村（→田肥村）

タイアン 臺安面（→苗栗縣）

タアマリ 田令村

タイ

【臺ノ浦】 →有明村（→小川村（→安安庄））

【臺ノ浦】 →有明村（→小川村（→安安庄））

タイ 田井

【田井村】 高知縣香美郡の西南部。

タイ 鯛

タイアン 大安

【大安庄】 臺灣中州大甲郡西街四庄中の一。大甲街の西南部。西は臺灣海峽に

タダイ 香肥村（→田肥村）

タイアン 臺安面（→苗栗縣）

タアマリ 田令村

タイ 田井

【田井村】 高知縣香美郡の西南部。

タイアン 大安

【大安庄】 臺灣中州大甲郡西街四庄中の一。大甲街の西南部。西は臺灣海峡に

ダイア——タイオ

ダイオン 大王崎 →波切
ダイオン 大王面 →中江
ダイカ 大可面 →大分
ダイカ 大雅 →大分
ダイカ 大家面 →大分
ダイカ 大角峯 →大分
ダイカン 大冠面 →大分
ダイキ 大木 →大分
ダイキ 大喜 →大分
ダイキ 大木 →大分
ダイキ 大木 →大分
ダイキ 大木

面と連絡するも、泥埴干出する處多くして、泊津に乏し。産物に米・麥・大豆等あり。水産は特記すべきものなし。道路は何れも幹外路線にして交通便ならず。

ダイカン　大間嶺　朝鮮江原道の峠。大白山脈の最高峰雪岳山（一七〇八米）北方の一鞍部にして、襄陽・麟蹄の兩郡に跨り、最高點六四一米。西斜面に漢江の上支發す。日本海岸へは東徑に十二粁。古來、南方の大國嶺と共に東海岸地方と奥地とを繋ぐ重要交通路にて、近年まで二等道路を通ぜしが、最近、西麓の寧嚴店より直に北上して杆城に至る二等道路開けしにより閒道となる。

ダイカン　大關嶺　朝鮮江原道の東南部にある山。古くは大嶺ともいふ。大白山脈の中に位し、江陵・平昌の兩郡に跨る。北麓は武柄山を經て、晉陽山脈の主峰五臺山（一五六三米）に連り、東は急斜して直ちに日本海に迫り、麓に江陵の大邑あり。嶺の一鞍部（最高點八六五米）に大道通じ、古來江陵より京城に至る要路に當り、最より江陵まで僅に二〇粁に過ぎず。この峠を境として東を關東と稱す。今は二等道路を通じバスの往來あり。

ダイガン　大岩【大岩山】　朝鮮咸鏡南道の中西部、新興郡の南端にある山。千佛山の南麓に位し、標高九九二米。附近に金銀・石炭・高嶺土等の埋藏頗る多く、長豐炭鑛は北方の千佛山金鑛と共に著名なり。

【大岩山】　朝鮮咸鏡南道の北部、豐山・長津兩郡境に聳立する山。標高二二〇五米。北麓は頭雲峰（二四八七米）に連り、南麓には雪隣嶺（最高點一六五〇米）を經て北水白山（二五二二米）等に續く。西斜面には赴戰江が、東斜面には虚川江の一支西洞川が發源す。附近一帶に樹海を見る。山頂より雪隣嶺まで僅かに四粁餘、ここに兩郡を連ぬる三等道路通ず。

タイキ　大樹村　北海道十勝國廣尾郡の北半部。十勝支廳管下。十勝平野の南部に屬し、東南太平洋に面す。面積八三〇・七平方粁。西南部を日高山脈連亙し神威嶽（一六〇一米）外、一四〇〇米餘の尾根を以て國境をなし、原始林を以て蔽はる。諸川こゝより發して東流し海に注ぐ。日方・紋別・豐似等海岸に廣大なる堆積平野を展開す。されど人口未だ稀薄にして漸加にらざる地多く四田・赤松・東海・立林等の牧場多し。農・林業を主とし、木材・馬・牛・米・大豆・燕麥・馬鈴薯を産し、漁業の未發達なるは注目すべし。省線廣尾線南北に貫通し、忠類・大樹（以上昭和五年設置）・石坂（昭和八年設置）の三驛を置く。

タイキ　大義面　朝鮮慶尚南道宜寧郡の西隅。南境四半は晋州郡、西は山清郡、北は陜川郡に界す。東南隅に嶢峴山（八九七米）峙ち、その西嶺東南境上に延びて山閒西北に下り、南境中部に突龍山（四四一米）ありて、その山腹は西南部に傾き概ね山地をなす。濃川の一支嶢峴山の西面に出で北部の谷を西流し、他の一支は望龍山の北に發し西南部を西流し、共に北隣の三嘉面に出でて本流に合す。これら支流の谷に巾狹き低地ありて米・麥・豆類を産す。また美川金銀鐵山の鑛區に當る。晋州・陜川間の道路より岐れて宜寧に至る三等道路、西南部の谷を東西に通じ乘合自動車の運轉あり。

ダイギカトン　大魏家屯會　關東州金州民政署管内の西北部。金州の北方にて、これと岡家樓會を隔て、西に海に面す。南境東部に平山（三四八米）あり、その麓西北方に連りて海岸に迫り、その山麓西南に延びて金州灣北岸に前・後石灰窑屯の二集落を開み、北境にも高さ一〇〇米臺の丘陵東西に延び、中部東西に平地ありて主要農耕地をなす。西岸中部の干島子には鹽田あり。中部平地には道路東西に通じ交通不便ならず。

タイキュー　大邱（たいきゅう）【大邱府】　朝鮮慶尚北道の主都。朝鮮四大都市の一。道の南部に位し、南及北は達城郡達西面に、東及び南は同壽城面に隣接す。東西三・六粁、南北四・六粁、面積九・二七方粁。〔地勢〕東方は烏足・童鶏の諸嶺連り、南方は琵琶山を隔て八助嶺に接し、西方には臥龍山嶺り、北方には八公山連亙し、この間に沃野拓けて大邱平野をなし、市街はその中央に位す。府の東方を八助嶺に發する新川北流して府境をなし、北郊に於て琴湖江と合し西南流して洛東江に注ぎ、以て濃霧に便す。氣候は概して温和にして平均氣温一二・五度、最高二六度、最低（一月）零下一・六度を示し、降水量は平均九九五粍にしてその五割以上は六—八月の閒に降下す。〔交通〕府の北部を鐵道京釜本線、東西に貫走して大邱驛（明治三十八年設置）あり、京城に三二六粁、釜山に一二五粁にて達し、大邱驛よりは東方慶州・浦項方面に至る東海中部線を分岐す。大邱驛の昭和十年中乘降旅客數、乘五七・五萬人、降六一・〇萬人。更に昭和十二年、東村（達城郡所轄面）に大邱飛行場設置ぜられてより、内鮮連絡交通上の要地となれり。道路は京釜街道府の中央部を走るほか、東は慶州、北は尚州、南は統營等に放射狀に一、二等道路を發し、慶州・浦項・慶山・高靈・安東・尚州、其他道内各主要地閒にバスの往來ありて交通頗る便利なり。府營バスは驛前より公園醫院線・兵營線を發し、また郊外の東村・花園にも路線を通ず。〔産業〕米及び朝鮮一を誇る繭、並に道内産煙草等の物資の大集散地にして、大市場を有し、林檎・藥草の産も頗はる。工業は最も盛にして、大邱・片倉・朝鮮の三製絲工場、朝鮮紡績會社絣織工場等は規模極めて大きく、生絲の年産昭和十年約三六〇萬圓に達し、又兩部の織物には專賣局

工場あり、繭切及び蔬菜幹草の年製造は高二八六萬圓の工場製（職工五名以上）一四〇を數へ、その總生産額は一二五萬圓にして、從來消費都市なりし大邱を生産都市へと轉向せしめつゝあり。其他工産品の主要なるものに平絹・金物類・油類・家具木工品・靴・洋服等あり。蠶種の製造は盛にして五・七萬枚、約七萬圓を出し、其他農業（四一萬貫）、果實（七萬貫）等の産も夥からず、内外に聲價高き大邱林檎は悉く此地に集散せられ、慶北果物同業組合によりて圖門・阪神地方に出荷せらるる量は莫大に上る。商取引は米穀取引所ありて慶北米の集散をなす外、西門・東門の二大市場・魚菜市場等に於て盛に行はれ、特に舊曆毎二・七日に開市する西門市場、同四・九日に開市する東門市場は古來有名なり。西門市場は最も大きく準撰・江景と共に朝鮮三大市場なり、市日には遠近の鮮商雲集し、米・雜穀・鹽魚・生牛・織物等の取引盛に、その賣上高一八四萬圓（昭和九年度は二一五萬圓）の多額上る。藥令市も古來著名にして、秋季一箇月半に亙つて開かれ、漢藥の賣上高五〇萬圓を超ゆ。一般貿易も年々隆盛に赴き、大邱及び釜山の通關額は輸移出六三萬圓、輸移入四〇一萬圓にして、鐵道による貨物は石炭・木材・薪材・鹽・葉煙草・セメント・肥料・綿・米の移入、米・刻莫・繭・果物等の移出特に多し。大邱府は道政の中心たるを以つて諸官廳學校の設けらるるもの多く、官公署の主要なるものに道廳・府廳・覆審法院・地方法院・刑務所・歩兵第八十聯隊・陸軍病院・憲兵隊・同分隊・地方專賣局・達城郡廳・稅務監督局・稅務署・商工會議所・金融組合聯合會・米穀取引所・逓信管院・逓信所等にして、その他産業關係の施設に農事試驗場・商工奨勵館・蠶業取締所・原蠶種製造所・林業試驗場・道農會・農業倉庫・果物同業組合・蠶種業機合・漁業組合聯合會等あり、教育機關としては醫學專門學校を始め師範學校・中學校・商業學校・農林學校・高等女學校等及び寫眞・毒星・噯昧・復明・啓聖等の各私立學校等あり、言論機關には朝鮮民報・大邱日報等の各本社を始め内鮮各主要新聞通信社の支局が置かれ、銀行會社には朝鮮銀行・殖産銀行・興業銀行の各支店、慶尚合同銀行等、大興電氣・大邱瓦斯・朝鮮生絲等の各株式會社、並に東洋拓殖・朝鮮製絲・片倉製絲・朝鮮紡績の各支店等あり。また府營の公會堂・圖書館等のほか、東雲町に公設運動場、同町新川河畔にプールを設け、最近府に南隣せる壽城面大明洞に約一〇ヘクタールの地域を選びて近代的設備を有する綜合運動場を設け、また西郊花園面城山洞の景勝の地を府に於て買收、遊園地となす等、保健施設は遺憾なきに近し。〔沿革〕此地はもと新羅の達句火縣にして一に達弗城と稱せしが、景德王これを大丘と改め壽城郡の領縣となす。のち高麗顯宗の時、京山府に屬し、仁宗の時に縣令を置きしが、李朝世宗改めて郡となし、世祖に至り慣を設け慶護府となし、監司を置きて管轄せしむ。のち屢々改廢あり、李朝開國五〇四年（明治二十八年）慶尚道を南北兩道に分つや、此處に觀察使及び郡守を置く。内地人の始めて移住せしは明治二十六年にして、同二十七八年役後移住者漸増し、同三十七年日露役に際し京釜鐵道速成工事に伴ひ來住者頗に増加し千七、八百名に達せり。當時は釜山領事館の管轄に屬す。同三十八年十一月、李朝の築造に係る石築の城壁と大小の門六箇を取毀ち、城内外の區劃を撤廢、交通に便し、翌三十九年八月大邱理事廳を置き、同年十一月居留日本人の自治機關なる大邱居留民團を設く。同四十三年理事廳及び大邱郡を廢し、大邱府を置き、大正三年三月府の行政區域を市街地に限り、その他は新設の達城郡に屬せしむ。同年四月府制施行。〔大邱神社〕達城公園内に鎭座。國幣小社。例祭四月十七日・十月十六日。〔達城公園〕府の西部にあり、驛前より・バスを通ず。盃臺の丘阜を以て形成し、往昔の達弗城の遺蹟にして達城の名はこれより起る。園内に大邱神社あり。營舊たる松樹櫟楓の間に望京樓・觀風樓ありて眺望絶佳なり。

【大邱面】　朝鮮平安南道成川郡の東部。地形汪茫起伏多く海拔二〇〇粁餘、東西七—八粁。南部を北大峯山脈走りて、東南陽德郡界に紫霞山（一二一六米）峙立し、他脈域内に縱橫に走りて平地に乏しきも、漸次北西に低爽し、東より來る平原川は南部を北走する支谷を容れて域内を北西の方向に蛇曲流し、北方より來る沸流江と合し、顯著なる蛇曲を繞けて西流す。この沿岸には狹長なる平地拓け農耕行はる。農産に蔘・豆・繭等、林産に業あり、鑛産やや多く龜屋・正興・同德・大德・大成等の各鑛山より金・銀を、瓦洞鑛山より金・銀・亞鉛を出す。右のうち龜屋鑛山（鑛區は陽德郡に跨る）は產額金一八瓩、銀八瓩（五・六萬圓、昭和十年、以下同じ）、大成金鑛は金三六瓩、銀一六瓩（一一・一萬圓）、大德鑛山は金二一瓩、銀一一二瓩（七・一萬圓）にしていづれも規模やや大なり。平原川に沿うて馳甘府鐵道平元西部線と、平元一等道路並走し、前者に東元驛（昭和十一年設置）あり北部は交通・運輸ともに便なるも、南部は險路多く交通不便なり。東元驛の東方、平原川に沿ひ仁義嶺を中心として上下一粁の間は山水美を以て著はれ成川郭馬湫の稱あり、また化仁里より南方、崇仁面陽仁里に至る約一五粁の間、平原川の支谷と南江一支湧川の上源に亙る地域は成川金剛と稱し絶景なり。

ダイキュー　大救面（だいきゅう）　朝鮮黄海道長淵郡の南部。南は大東灣に面す。東

西約二〇粁、南北五—八粁。北境に減恩山脈連亙し巒峰（四六三米）・三峰山（三八〇米）等聳え、南方に緩斜し、中部以南海に至る間に開き平地開く。何川も流程何れも大ならず、皆南流して海に注ぐ。海岸は概ね砂嘴を成し東部に處々岩礁を見る。西部に約二粁を距てて陸島（蛤筒島）・烏鵠島の屬島あり。産物は農産に米・小麥・大豆・棉花等あり。大東洞及び近海に鯛・太刀魚・鰆・鰯・烏賊等の漁獲多く、九美里以東の海濱には海苔の養殖行はれ、また海岸の硅砂を硝子原料として內地に移出す。南部な苦灘（遠達面）・夢金浦（海安面）間三等道路通じ自動車の便あり。九美里は近海航路の寄港地にして、海陸の交通便なり。面邑松川里は中央に位し、郵便所・金融組合等あり。九美里の海岸に九味浦と稱し、岬角半島狀に斗出して水深き錨地を擁し、西北海岸に金水里の好海水浴場を控へて外人避暑客多く、現在外人家屋七十餘戸あり。海水浴場は陸島の對岸にして白沙青松の間にあり、風光明媚にして夢金浦と共に全鮮第一の避暑地を以て稱ぜらる。

タイキョー　大杏面（たいきょう）　朝鮮慶尚南道安岳郡の北西部。北及び西北に於て大聞江に面し、北二粁の江中に横ばる猪島は本面に屬す。南部に高南山（三九五米）聳ゆる外著しき山なく、處々に官乃至二百米臺の丘陵起伏するも、大部分は平坦にして田畑なく拓く。北部江岸は西部に基部の幅四粁餘、長さ約六粁の半島斗出し、その兩側に順著なる詞入を施するも何れも泥濁を成す。猪島はこの半島の東にあり、西北—東南の長さ約四粁、平頂にして北岸の猪島角附近で最高なし、對岸鎭南浦港まで僅に二粁。近時、猪島角と、西方三粁を隔つる半島の突角鹽串とを結ぶ線、並に島の東側中央より鴨湯中の總鹽島・北島の二小島を連れ、對岸の家後山（西河面）に至る線より南側本陸に至る間を干拓し約二千ヘクタールの畓を開かんとして昭和八年來工事中に屬す。河川は南隣銀面に發し、東部を流れて大同江に入るものを主とし、此川は高南山北西麓に於て堰止られて一大貯水池をつくり之によりて面內は灌漑の利大なり。農産に米・麥・綿等あり、大同江岸には蝦の漁獲多し。東部を載寧邑より來る二等道路通じ北鐘の猪島に達しバスの便あり、猪島とその西方鹽串とより對岸鎭南浦港へ渡船を以て交通便なり。

タイキョク　大極面　朝鮮平安南道寧遠郡の西北端。狼林山脈に屬する仁達山（一六九四米）及び降仙峯屹立して北境を劃し、東北境には白崖山（一五二四米）・姑城山等の峻嶺相連り、西南境赤加馬峠・寺頂山等聳え域內山岳重疊と之等周縁山地に發源せる大赤川は東南流して大同江に合流し南流して西外に流出す。耕地に乏しきを以て農産少なく、產物は大豆を第一とし黍・煙草・紹・紬等之に次ぐ。南部は率遠邑への二等道路通じ乘合自動車の便あるも他は峻坂峠多く交通僅ならず、大同江は急湍多く水運に適せず。棗蒂は溪谷に沿ひて發達す。

ダイクラタカ　臺倉高山　那須火山帶の一峯。栃木縣鹽谷郡と福島縣南會津郡とに跨る。標高二〇六七米。北に帝釋山、南に孫兵衛山峙つ。東麓よりは鬼怒川發源し、西北麓よりは伊波川の上流檜枝岐川發源す。

タイケー　大溪（たいけい）　【大溪郡】臺灣新竹州一市八郡の一。州の東北部に位置す。管內は概ね土地高燥にして、最低地に於ても海拔約六十五米を有し、郡の南半蕃地には、千五百乃至二千五百米の標高を有する高山嶺峰連り、其間に蕃社點在す。主なる河は、淡水河の上流たる大嵙崁溪にして、遠く中央山脈に源を發し、北流して郡管內に入り、前記諸高山の間を縫ひて流下し、枕頭山の南に到りて西折、石牛山に到りて更に北に廻り、大溪街を過ぎ、更に北流して管外に出づ。卽ち管內地勢は北部低く、南するに從ひて高くして、中央山脈に連續す。管內の重要產業は、農・畜・水・林・工・鑛業等多岐に亙り、其生產總額三四〇萬圓に達するも、產額・價額共に首位を占むるは農業にして、年二百萬圓に達し、畜產・工產是に亞ぐ。農產の主なるものは、米・茶・蔬菜・甘藷・柑橘等とし、特に茶の栽培盛んなり。畜產は、農家に於て、水牛・黃牛・豚・山羊・家禽等の飼育をなすを主とし、牛類は概ね農耕に使役せらる。工業は、製糖・製茶・木製品・鍛冶・製樟及び精米等あり、山地にては石炭・コークスを產出す。林業に郡下の重要產業の一にして、天然林よりは、相思樹・楠・一位樟・楠仔等の木材を出す事多し。水產は、大嵙崁溪より漁獲せらるゝ鯉魚・草魚・鯉魚・鰻・鮎魚等の淡水魚にして、鼠中鮎魚は、最も多く捕獲せられ臺北・新竹市等の都會地に搬出せらる。管內交通は、主として手押軌道・自動車に依るも、近年道路四通八達せるを以て、管內交通は甚だ便良く、管內貨客の搬出入は圓滑となれり。蕃地には、內地人・本島人・高砂族住居す。郡下の高砂族は、其大部分はアタヤル族にして、若干のサイセット族あり。是等蕃地に於ける主要生產物は、木材の他樟腦・腦油・芳樟油にして、高族族は里芋・蕃薯・木耳・籐・竹等を栽培し、織物・繭・狩獵品等と共に、角板山なる蕃產品交易所に持ち行きて交易す。本郡の地に漢人の足跡到りしは、清の乾隆年間にて其後海山堡・桃澗堡建てらる。後光緒二十年建てられたる南雅廳の管轄するところとなる。明治二十八年本島の我帝國の版圖に歸するや、翌二十九年には、民政布かれ本郡の屬する南雅廳下の前記二堡は臺北縣の管下に入りしが、明治二十八年、我領臺と共に廢せられ、翌二十九年民政の弘布に際し、臺北縣の管下に入り、爾來幾度か其屬する處を改められたるが、大正九年十月地方制度の根本的改正の際、海山堡下の十五庄（現大字）の地に割かれて、大溪街となり、新竹州大溪郡の管下に入る事となれり。（大溪社）昭和御大典記念事業の一として建設せられ、大國魂命・少彦名命・大己貴命・能久親王を奉祀す。（大溪公園）大字大溪にあり。臺灣十二勝の一にして、地形天然の風致に富み、淡水河を俯瞰し、東南に白石、西南に大赤柯山の高峯を望み、近く觀音亭の丘阜に接し、風景絕佳なり。特に櫻花の盛りには、一入の賑を添へ、夏季の納涼・觀月に適す。

【大溪】　宜蘭線の一驛（大正九年設置）。

臺灣臺北州宜蘭郡頭圍庄大溪にあり。

タイゲツ　大月面　朝鮮京畿道利川郡の中部東偏。利川面の東南に隣る。東の驪州郡との境に百米程度の丘陵連る外は南部に低丘を見るのみにして概ね八〇米以下の平坦地をなし、耕地到る處に拓く。東部を揭花川、西邊を縞河川流貫して北流し、いづれも驪州郡に入りて漢江に注ぐ。產物に米・麥・棉花・牛等あり。京釜街道東境を掠め、社稷京東鐵道水驪線の利仁驛（利仁面）・西山驛（戶法面）に近くして、交通便なり。

タイケン　大峴面　朝鮮慶尚南道蔚山郡の東部。方魚津邑の南に隣り、東に蔚山灣、西南には外陽江の注入ありて半島狀をなし、南東部は日本海の波に洗はる。面內到る處高度一〇〇米以下の低き丘陵起伏しその間所々に幅狹き小低地ありて農耕行はれ、米・麥・豆類を產し果樹の栽培行はる。東岸中部には西方に灣入する蔚山灣の支灣の北岸に長生浦灣あり、水深く風浪靜かに船舶の出入自由にて良港をなす。捕鯨會社の事業場あり、近海に於ける捕鯨は例年五十頭乃至百頭に及ぶ。また漁業組合ありて漁獲高二二萬圓に達す。蔚山へは自動車道を通じ、釜山との間には日鮮の汽船ありて交通便なり。

タイコ　大湖　【大湖郡】臺灣新竹州一市八郡の一。州の東南部に位置す。東南は、小雪山・大雪山・次高山等を連ぬる分水嶺を以て臺中州東勢郡等地に接す。管內に概れ山地にて、郡北部境界には加裡山・鹿場大山、東には大霸尖山・次高山、南郡界には大雪山・小雪山等の高山横ばり、其間を大嵙崁溪山麓に源を發せる大安溪は管內蕃地に縱谷を造りて西流し、郡下の卓廚庄南を流れて郡外に出づ。又後龍溪は、一は鹿場大山麓に發源して西流し、一は盡尾山下に發源して西北に流れ、大湖庄に入りて合流して管外に流出す。管內は、平地甚だ尠く、僅に前記兩溪岸に耕地を見るのみ。住民の大部分は、農業に從事し、柑橘等とし、特に茶の栽培盛んなり。畜產は、農家に於て、水牛・黃牛・豚・山羊・家禽等の飼育をなすを主とし、牛類は概ね農耕に使役せらる。工業は、製糖・製茶・木製品・鍛冶・製樟及び精米等あり、山地にては石炭・コークスを產出す。林業に郡下の重要產業の一にして、天然林よりは、相思樹・楠・一位樟・楠仔等の木材を出す事多し。水產は、大嵙崁溪より漁獲せらるゝ鯉魚・草魚・鯉魚・鰻・鮎魚等の淡水魚にして、鼠中鮎魚は、最も多く捕養せられ臺北・新竹市等の都會地に搬出せらる。管內交通は、主として手押軌道・自動車に依るも、近年道路四通八達せるを以て、管內交通は甚だ便良く、管內貨客の搬出入は圓滑となれり。蕃地には、內地人・本島人・高砂族住居す。郡下の高砂族は、其大部分はアタヤル族にして、若干のサイセット族あり。是等蕃地に於ける主要生產物は、木材の他樟腦・腦油・芳樟油にして、高族族は里芋・蕃薯・木耳・籐・竹等を栽培し、織物・繭・狩獵品等と共に、角板山なる蕃產品交易所に持ち行きて交易す。本郡の地に漢人の足跡到りしは、清の乾隆年間にて其後海山堡・桃澗堡建てらる。後光緒二十年建てられたる南雅廳の管轄するところとなる。明治二十八年本島の我帝國の版圖に歸するや、翌二十九年には、民政布かれ本郡の屬する南雅廳下の前記二堡は臺北縣の管下に入りしが、明治二十八年、我領臺と共に廢せられ、翌二十九年民政の弘布に際し、臺北縣の管下に入り、爾來幾度か其屬する處を改められたるが、大正九年十月地方制度の根本的改正の際、海山堡下の十五庄（現大字）の地に割かれて、大溪街となり、新竹州大溪郡の管下に入る事となれり。（大溪社）昭和御大典記念事業の一として建設せられ、大國魂命・少彦名命・大己貴命・能久親王を奉祀す。（大溪公園）大字大溪にあり。臺灣十二勝の一にして、地形天然の風致に富み、淡水河を俯瞰し、東南に白石、西南に大赤柯山の高峯を望み、近く觀音亭の丘阜に接し、風景絕佳なり。特に櫻花の盛りには、一入の賑を添へ、夏季の納涼・觀月に適す。

【大溪】　宜蘭線の一驛（大正九年設置）。

臺灣臺北州宜蘭郡頭圍庄大溪にあり。

タイゲツ　大月面　朝鮮京畿道利川郡の中部東偏。利川面の東南に隣る。東の驪州郡との境に百米程度の丘陵連る外は南部に低丘を見るのみにして概ね八〇米以下の平坦地をなし、耕地到る處に拓く。東部を揭花川、西邊を縞河川流貫して北流し、いづれも驪州郡に入りて漢江に注ぐ。產物に米・麥・棉花・牛等あり。京釜街道東境を掠め、社稷京東鐵道水驪線の利仁驛（利仁面）・西山驛（戶法面）に近くして、交通便なり。

タイケン　大峴面　朝鮮慶尚南道蔚山郡の東部。方魚津邑の南に隣り、東に蔚山灣、西南には外陽江の注入ありて半島狀をなし、南東部は日本海の波に洗はる。面內到る處高度一〇〇米以下の低き丘陵起伏しその間所々に幅狹き小低地ありて農耕行はれ、米・麥・豆類を產し果樹の栽培行はる。東岸中部には西方に灣入する蔚山灣の支灣の北岸に長生浦灣あり、水深く風浪靜かに船舶の出入自由にて良港をなす。捕鯨會社の事業場あり、近海に於ける捕鯨は例年五十頭乃至百頭に及ぶ。また漁業組合ありて漁獲高二二萬圓に達す。蔚山へは自動車道を通じ、釜山との間には日鮮の汽船ありて交通便なり。

タイコ　大湖　【大湖郡】臺灣新竹州一市八郡の一。州の東南部に位置す。東南は、小雪山・大雪山・次高山等を連ぬる分水嶺を以て臺中州東勢郡等地に接す。管內に概れ山地にて、郡北部境界には加裡山・鹿場大山、東には大霸尖山・次高山、南郡界には大雪山・小雪山等の高山横ばり、其間を大嵙崁溪山麓に源を發せる大安溪は管內蕃地に縱谷を造りて西流し、郡下の卓廚庄南を流れて郡外に出づ。又後龍溪は、一は鹿場大山麓に發源して西流し、一は盡尾山下に發源して西北に流れ、大湖庄に入りて合流して管外に流出す。管內は、平地甚だ尠く、僅に前記兩溪岸に耕地を見るのみ。住民の大部分は、農業に從事し、柑橘等とし、特に茶の栽培盛んなり。畜產は、農家に於て、水牛・黃牛・豚・山羊・家禽等の飼育をなすを主とし、牛類は概ね農耕に使役せらる。工業は、製糖・製茶・木製品・鍛冶・製樟及び精米等あり、山地にては石炭・コークスを產出す。林業に郡下の重要產業の一にして、天然林よりは、相思樹・楠・一位樟・楠仔等の木材を出す事多し。水產は、大嵙崁溪より漁獲せらるゝ鯉魚・草魚・鯉魚・鰻・鮎魚等の淡水魚にして、鼠中鮎魚は、最も多く捕養せられ臺北・新竹市等の都會地に搬出せらる。管內交通は、主として手押軌道・自動車に依るも、近年道路四通八達せるを以て、管內交通は甚だ便良く、管內貨客の搬出入は圓滑となれり。蕃地には、內地人・本島人・高砂族住居す。郡下の高砂族は、其大部分はアタヤル族にして、若干のサイセット族あり。是等蕃地に於ける主要生產物は、木材の他樟腦・腦油・芳樟油にして、高族族は里芋・蕃薯・木耳・籐・竹等を栽培し、織物・繭・狩獵品等と共に、角板山なる蕃產品交易所に持ち行きて交易す。本郡の地に漢人の足跡到りしは、清の乾隆年間にて其後海山堡・桃澗堡建てらる。後光緒二十年建てられたる南雅廳の管轄するところとなる。明治二十八年本島の我帝國の版圖に歸するや、翌二十九年には、民政布かれ本郡の屬する南雅廳下の前記二堡は臺北縣の管下に入りしが、明治二十八年、我領臺と共に廢せられ、翌二十九年民政の弘布に際し、臺北縣の管下に入り、爾來幾度か其屬する處を改められたるが、大正九年十月地方制度の根本的改正の際、海山堡下の十五庄（現大字）の地に割かれて、大溪街となり、新竹州大溪郡の管下に入る事となれり。（大溪社）昭和御大典記念事業の一として建設せられ、大國魂命・少彦名命・大己貴命・能久親王を奉祀す。（大溪公園）大字大溪にあり。臺灣十二勝の一にして、地形天然の風致に富み、淡水河を俯瞰し、東南に白石、西南に大赤柯山の高峯を望み、近く觀音亭の丘阜に接し、風景絕佳なり。特に櫻花の盛りには、一入の賑を添へ、夏季の納涼・觀月に適す。

【大溪】　宜蘭線の一驛（大正九年設置）。

臺灣臺北州宜蘭郡頭圍庄大溪にあり。

タイゲツ　大月面　朝鮮京畿道利川郡の中部東偏。利川面の東南に隣る。東の驪州郡との境に百米程度の丘陵連る外は南部に低丘を見るのみにして概ね八〇米以下の平坦地をなし、耕地到る處に拓く。東部を揭花川、西邊を縞河川流貫して北流し、いづれも驪州郡に入りて漢江に注ぐ。產物に米・麥・棉花・牛等あり。京釜街道東境を掠め、社稷京東鐵道水驪線の利仁驛（利仁面）・西山驛（戶法面）に近くして、交通便なり。

タイケン　大峴面　朝鮮慶尚南道蔚

は若山大山東側麓の山地にしてやその末端農も多く、日和田山の二南側の方向に走る。大字登俗・日和田・山里一帯には、古代武蔵の国より庄内に通じた古道があつたといふ。

北は去原諸尾根に発し、南は大字登俗・日和田の二集落の北方に走る。大字登俗・日和田・山里一帯には、古代武蔵の国より庄内に通じた古道があつたといふ。

農作と共に、本村・前・四方及び日和田利用川の立岸沿ひの農地を形成する。大字日和田の一部には古墳あり、京政東に接する。

る農地を有し、明治中頃より桑園に変じ、養蚕を主とする農家多し。街道は狭く、人家は下方に集中し、商店も少く他町村への出稼ぎする者多し。

に接し、東は大字登俗・日和田・山里一帯には、古代武蔵の国より庄内に通じた古道があつたといふ

今は種々の理由により、生産数量等に於て稍低下したりといへ、猶ほ家内工業としての独自の地歩を保持し、昭和十一年中の生産三百四十一萬俵餘、價格百三十三萬餘圓を算す。然れども流行に支配せらるゝこと多く、紙帽全盛にして年生産三百三十九萬俵に對し、在來の大甲帽は僅かに九千三百俵餘に過ぎず。他にマニラ麻帽・林投帽・ピスコース帽等を製造す。各街庄に帽子生産者組合を設置する外、清水及び大甲に各々生産品の荷受組合・帽蓆同業組合組織せられ、販賣統制其の他斯業の改善發達に貢獻する所甚大なり。製帽の外、農作物を原料とする製糖業・精米・製油業等あり。製糖は昭和製糖の沙鹿工場に於て行はれ、之を除けば概れ小規模にして大なる消長なし。金融機關は清水街に彰化銀行の支店ある外、各街庄に夫々一儲蓄の產業組合を有し、殊に後者は地方金融機關としての機能なよく發揮し、產業・經濟の開發に資する處頗る大なり。海岸線開通以前までは僻隅の海岸地帶に偏在する爲め文化の程度低く、住民の教育に對する理解亦極めて薄かりしも、海岸線の開通に依り交通の便大に開け、急速に文化の流入を促し、時勢の趨運に伴ひ、急激なる尚學心の向上を來せり。交通は中央部を南北に貫く海岸線の開通を契機として爾來飛躍的進歩を遂げ、道路の開設並びに乘合自動車の發達と共に完備の域に達せり。海岸線（縱貫線の内竹南・彰化間）は郡下に日南・大甲・甲南・清水・沙鹿・龍井・大肚・追分の八驛を有し、なほ臺中線は郡の南端を僅かに掠めるに過ぎざるも、王田驛（明治三十八年設置）を大肚庄に設き、追分・王田兩驛間には海岸・臺中兩線を連絡する鐵道あり。私設線は大日本製糖經營のものにして、東隣豐原郡の后里驛より大甲街を横斷して大安港（大安庄）に至る。縱貫道路は海岸線に沿ひて北隣苗栗郡より南下し來り、大甲・清水を經、沙鹿に至りて東折し、大肚山脈を横斷して東隣豐原郡に入る。沙鹿以南更に鐵道に沿ひて南下し、大肚溪畔に於て臺中より來れる縱貫道路に合する指定道路あり、局營バスを通ず。本郡の内、大正九年現行制度施行と同時に街庄となりしものは清水・梧棲の二街のみにして、大甲街は大正十一年四月、沙鹿街は昭和十三年二月に夫々庄より昇格せるものなり。尙昭和十年四月二十一日の中部地方大震災には甚大なる被害を蒙りたるも、爾來官民一致復興に努めたる結果、全く面目を一新するに至れり。

【大甲街】 臺灣臺中州大甲郡の北端。大安・大甲二溪の中間に介在し、西は臺灣海峽に面す。管内には殆んど山地なく、北半は大安溪の最多の大小分流に依り三角洲地帶を形成し、南には大甲溪の分流ありて管内平野を潤す。地勢上農耕地廣く、虎眼大料・頂店料・大安料・九張犁・晴耕等の埤圳を有し、灌漑至便にして水田開く拓く。農業者は總人口の過半數を占め、大字大甲を中心とする市街地を除けば總べて純然たる農村部落を形成す。農業に依る年生產額百七十九萬餘圓の内、米その大部分を占め、年產百六十一萬餘圓に上る。外に甘蔗七萬五千餘圓、甘藷六萬一千餘圓、蔬菜四萬二千餘圓を主要なる農產物とし、尙大甲帽の產出多以て著ほる。畜產にては水牛九百餘頭、黃牛二百餘頭は農耕並に運搬に使役せられ、豚五千四百餘頭、山羊三百餘頭、鷄一萬四千餘羽、鴨二千五百羽、鵞三千五百羽は農家に於いて副業的に飼養せられ、重要なる農村經濟の一支柱たるも、その衝に當るべき婦女子が、總べて製帽等に從事する關係上、他の地方に比し不振の狀態にあり。製帽業は工業中の白眉にして、大甲帽の名は既に人口に膾炙し、紙帽の八十三萬餘個、價格八十三萬餘圓を筆頭に、大甲帽・林投帽・セルホン等あり。尙大甲蘭にて製したる大甲蓆・草履其他の副製品の特產を有す。其の外に製摺・精米・製油・製麵・繊詰製造・陶磚瓦製造・木製品製造・菓子製造等を主要なる工業とするも、規模の大なるものなく、自給自足を維持する程度なり。縱貫線（海岸線）は街の中央を南北に貫通し、日南・大甲の二驛（共に大正十一年設置）を設置す。大甲驛は大日本製糖の私設線により、東は臺中縣后里驛（豐原郡内埔庄）に連絡し、西は近來海水浴場として名もる大安港（大安庄）と結ぶ。縱貫道路は縱貫線に沿ひ、局營バスを運轉す。本街はもと東西に隣接する外埔・大安二庄と共に苗栗三堡（舊大甲堡の地に屬し、清の光緒元年竹南四堡と稱し、同十四年代に苗栗三堡と改む）を形成し、大甲附近は明末に於ける鄭氏開屯の地にして、鐵砧山に國姓井の舊址を存す。往昔は平埔蕃族たるヌオカス部族のタイカア社の地に屬し、大甲は蕃社名に寃てたる近音の譯字なり。清の康熙四十年代の頃には、鹿港地方（彰化郡）より北進せる漢族及び大安港より上陸せる漢族によりて拓殖の緒に就き、當時林・張二姓の福建人及び邱姓の廣東人は衆個を率ゐて荒埔の開墾に從事し、九張犁・日南の二大字之により て開かれたり。同四十五年頃には大甲の市街の在る所に福建・廣東兩族雜居の小市街を成し、雍正九年十二月此の地方を中心として起れる番變は一時漢族移殖の前途に著しき打撲を與へたるも、番變平ぐや更に開發事業進捗し、嘉慶二十一年巡檢を此の地に移してより、初めて之を大甲街と稱せり。明治二十八年帝國領臺以來數次行政區上の變遷を經て、大正九年十月に至り、清領時代より存續し來りし保は廢せられ、二十一大字（大甲を除きもと各々庄と稱せり）を一括して大甲庄となし、臺中州大甲郡に編入せられしが、大正十一年四月街に昇格せり。〔→白川宮

大甲御舍營所〕大字大甲にある文昌廟なり。同廟は光緒十二年（明治十九年）地方有志發起し、工費六千餘圓を募りて建立せしものとす。明治二十八年八月二十三日、能久親王には此の地に御宿、同日及び翌二十四日二の廟に御舍營あらせらる。明治三十八年大甲を巡視は當時親王が御乘馬を繋ぎ給ひし樹の存せる外庭の西南隅を選び、廟内に遺棄せられたる砲身を其の地點に埋め、木標を立てて遺跡の表示をなせしが、大正九年街に於て之を改め、新に臺石を置き、上に砲身を立てゝ木標に代へ、更に昭和九年に至り、街費一千圓を以て之を改修し、中央に臺石を設け、其の上に高さ一丈の混凝土碑を建て、「北白川宮能久親王御遺跡碑」と刻せり。

【大甲溪】 臺灣西海岸臺中州の一大河。臺灣中央山脈分水嶺山地の南湖大山・中央尖山・畢祿山・合歡山等の西腹より發源せる溪流を集めて西流し、北側は次高山を主峯とする次高山地、南側はパタ大山・八仙山等の連嶺によりて境劃せられ、東勢街附近にて山地を離れ、臺中盆地に入り、豐原街の北を更に西流して海岸の洪積臺地（大肚山脈）を突破し、海岸平野に達して見事なる三角洲を形成し、臺灣海峽に注ぐ。流路延長約一一八粁。三角洲の南北に清水・大甲の二市街發達し、梧棲港は河口の南方近くに位す。上・中流域殊に八仙山附近は檜林で知られ、下流域は水稻・甘藷・甘蔗・落花生等の農作物栽培せられ、特に大甲帽・大甲蓆の原料たる大甲蘭の產地として知らる。平時水量少く兩側に花崗の砂礫の河原を露出するも、一朝霖雨に際會せんか、激流氾濫して流域の田園を流失することあるからず。往時に於ては北部臺灣第一の難流を以て目せられ、臺北道里記（鳴鶴蘭通判施瑯著、道光元年成る）を始め、淡水廳志（同治九年成る）等には皆その狀況を記載し、次いで道光十六年には竹塹の制を設け、以て行客に便せりといふ。

タイコー　大江面　朝鮮慶尙北道金泉郡の西部。西は忠淸北道永同郡と界す。西境に黃鶴山（一一一一米）の山嶺連りて東方に傾き、南境西部に虎尊堂山（八九四米）、東部に德大山（八一二米）ありて、その山脚各東北に延び、面の大部分は山地をなす。甘川の支流直指川西部山地に出で東北流して北隣鳳山面に出でて東流す。面の東北部はその流域平野の一部に當り、低平にして耕地拓く。米・麥・大豆・棉等を產し、綿布を出す。京釜本線この低地を走りて直指寺驛（大正十四年設置）を置く。〔直指寺〕面の西部雲水洞、黃鶴山の東谷にあり。新羅訥祇王の二年、阿道和尙の創建に係ると傳ふ。のち屢々火災に罹り、今の堂宇は高麗の遺宗の世に成りしものなり。境内幽邃、黃金佛・古經典等珍重すべきものを藏す。

タイコー　帶江面　朝鮮全羅北道南原郡の西南端。郡邑南原の西方約一五粁。二條の山脈相平行して南北に走り以て東・西兩境を劃し、中央に帶狀の低地横ばり蟾津江西南境を流れて沿岸に小段丘の發達を見る。地味概して肥沃なも生產力乏し。住民は農業を主とし副業として養蠶・養豚等を盛むも一般に裕かならず。農物產は大麥を第一とし、大豆・棉花・煙草等あり、其他乾柿・木炭・紙等の取引行はれ、年取引額約二萬五千圓に達す。

タイコー　代項面　朝鮮慶尙北道金泉郡の西部。西は忠淸北道永同郡と界す。西境に黃鶴山（一一一一米）の山嶺連りて東方に傾き、南境西部に虎尊堂山（八九四米）、東部に德大山（八一二米）ありて、その山脚各東北に延び、面の大部分は山地をなす。甘川の支流直指川西部山地に出で東北流して北隣鳳山面に出でて東流す。面の東北部はその流域平野の一部に當り、低平にして耕地拓く。米・麥・大豆・棉等を產し、綿布を出す。京釜本線この低地を走りて直指寺驛（大正十四年設置）を置く。〔直指寺〕面の西部雲水洞、黃鶴山の東谷にあり。新羅訥祇王の二年、阿道和尙の創建に係ると傳ふ。のち屢々火災に罹り、今の堂宇は高麗の遺宗の世に成りしものなり。境内幽邃、黃金佛・古經典等珍重すべきものを藏す。

タイコー　大邱　→大邱府

タイコー　大興　【大興面】 朝鮮平安南道寧遠郡の東北部。郡邑寧遠を距る東北方六〇粁の僻隅の地にあり。狼林山脈中に位置し、西北境に主峯狼林山（二、〇一四米）盟主の如く屹立し、南方に延びて南谷嶂・永丹山、北境には黃峰（一、八二四米）、北東境には馬倉山（一、七四五米）、東境及び南境には黃峰（一、七三六米）・雅日峰（一、七四三米）各聳立し、域内峻嶺重疊す。大同江の上流、面の中部を南流すれども舟楫通ぜず。僅かに附近に猫額の河岸段丘低地を形成するの他は嵌入蛇曲流を成して平地乏しく、永丹山東部緩斜面に稍々廣き耕地の集團を見るに過ぎず。住民は農を生業とし傍ら狩獵また機織に從事する者尠なからず、生活程度低く生計概して裕かならず。郡邑寧遠より來る二等道路、中部を横隣すれども西境に黃虎嶺（一、〇二四米）、東境に鳳山嶺（一、一二七米）等の諸嶺あり險坂多く交通不便なり。駐在所を置く。

【大興面】 朝鮮忠淸南道禮山郡の略々中央。西南境に鳳首山（四八四米）の聳立せる他は著しきものなく、花崗岩の削剝による丘陵起伏し耕地よく拓け、地味肥沃にして農產に富む。氣候概して溫和にして雨季を除き一般に乾燥す。產物は米・大麥・大豆及び特用作物たる麻・苧麻・煙草等あり。鐵產には金・マングステン等あるも何れも未稼行に屬す。面邑大興は鳳首山の東麓に位置し、北方禮山、西方洪城、南方青陽、東南方光州へ各二・三等道路を岐ち交通の要衝に位し各種乘合自動車の便あり。面事務所・郵便所・警察官駐在所及び陰暦三・八の日に開く市場ありて、穀類・諸菜・麻布・綿布等

あり。淳昌・南原間の二等道路北部を東西に横隣し、乗合自動車を通じ、その他域内の等外道路も改修を見、交通比較的便なり。

タイコー　對高山（たいこう）　臺灣阿里山地の一高峰。沼ノ平の集落より約三粁。頂上は平坦に近く、緩やかに西北側に傾斜し、他の三方は絶壁を以てナマカバン溪に臨み、海抜二四四四米。東方には新高山・大水窟山・秀姑巒山等の分水嶺山地の峻嶺指呼せられ、時には北方遙かに次高山地の連嶺をも望み得る勝地なり。阿里山國立公園に包含せらる。

ダイコー　大岡山（大崗山）（だいこう）　臺灣高雄州岡山郡の海岸平野東縁に崛起す。もとは大岡山に作り、古來支那大陸より本島の南部に來航する船舶の好目標とせられたり。阿蓮（あれん）・田寮（でんりょう）二庄の境界をなす。山中に岩石・洞窟の奇勝多く、且つ明末以來古く開かれたる地にあるを以て、此の奇勝に因みて多くの說話を傳ふ。又古來鳳山八景の一に算へられ、山腹に古刹超峯寺あり、觀音佛祖を祀る。山は高からず暗青灰色の砂質頁岩を基底とし、上部には高雄市の海山の如く隆起珊瑚石灰岩を載せ、稍東に傾動せるも、頂はほぼ平坦なる卓狀を呈す。これ等の石灰岩は洪積世以前のものならんとの說あり。

ダイコー　大紅山（だいこう）　朝鮮咸鏡南道・平安北道境の山。兩道の境界を南北に走る狼碣峯山脈中に位し、主峯臥碣峯（二二六八米）の東南約六粁にあり、標高二一五二米。長津江の一支、その東側に發源す。附近一帶は針、闊葉樹の密生海をなす。

ダイコー　大崗面（だいこう）　朝鮮忠淸北道丹陽郡の東南部。丹陽面に東隣す。東部に小白山脈の主脈逆宜し、慶尙北道との境に兜率峠（一三一四米）を始め一千米以上の峻峰を聳えしめ、一支脈は西境を走り道藥山・惡吟山等を起し、漸次西方に低夷するも、地勢峻嶮にして極めて平地に乏し。西北境を漢江主流鉅濟南流し、城内の支谷西北流して之に合す。東境の慶尙北道榮州郡界には有名なる竹嶺（最高點六八九米）あり、忠州・豐德間二等道路通じてバスを通ず。其他、漢江に沿うて丹陽・永春間三等道路通ずるも、邊隅に位するを以て交通不便なり。産物に麥・雜穀・藁草・朝鮮紙等あり。※竹嶺（だけ）

ダイコー　大耗島（だいこう）　關東州長山列島の一島。列島の中部、椵子島の東北方約六粁に横ほり、東約二粁の小耗島、西北約二粁の豬蓮島と鼎立の駄ななす。東西四・南北各々約二粁、山勝ちにて最高處に東岸に近く一五〇米を示す。西北岸に大小二箇の小灣入あり灣岸に小低地ありて農落あり農業行はる。いま椵子島會に屬す。

ダイゴー　大合面（だいごう）　朝鮮慶尙南道昌寧郡の北部。北に慶尙北道達城郡と界す。北境に寒白山（二八五米）、西境に九龍山（二〇八米）、東境に旺嶺山の西に續く二〇〇米內外の丘陵山地ある外は面內一般に平坦にして、二〇—四〇米內外の丘陵南北に波狀をなしその間に低地ありて耕地拓け、西北部に龍洞、南部に沙皆浦の河跡湖あり。農業を主として米・麥・豆類を產し、養蠶・養豚等行はる。昌寧より大邱に至る二等道路東部を南北に通ずるも交通なほ便利ならず。

ダイゴー　大鄕村（だいごう）　新潟縣越後國中蒲原郡の西部。信濃川の左岸。中ノ口川とによる中洲の北部にあり。東より北の境界は信濃川環流し、小合・荻川・南川の諸村に界し、西は鷲津村に南は白井村に接す。面積九・一一方粁。土地平坦にして、水田開け、米の產多く、又越後梨の產あり。道路は村を圓繞する如く通じ、新津町へ約十粁途中バスの便あり。信濃川には海福の便あり新潟市へ出づるも得。この地は近世まで河水氾濫して一洲をなせしより大鄕島とも稱したり。

ダイコージ　大光寺村（だいこうじむら）　青森縣陸奥國南津輕郡の西部。弘前市の東約四粁。西は平川を隔てて中津輕郡に相對す。津輕平野の東部、岩木川の支流平川の沖積平野上に位置す。平川の支流六羽川・庄司川灌流す。地勢平坦にして肥沃灌漑の便に惠まれ純水田地域をなし、僅かに苹果園を混へるのみ。苹は謂ゆる黑石苹果の最たるものとして夙名高し。如は水田の一割に足らず、しかも畑地は野菜の生產よりも苹果の栽培を行ふもの多し。副業に藁を利用したる蓆・叭・繩等の蓑工品を出す。北方黑石町及び西方弘前市に至る兩縣道は東南部にて交叉し、此線弘前縣道また南部を通じその主要部たる平賀驛・舘田驛（共に昭和二年設置）を置きやや都市の色彩を持ち商業等も行ほる。弘南鐵道は此の他、石鄕驛・荒田驛（共に昭和七年設置）の二驛あり。この地は中古、曾我氏の地頭たりし頃平賀郡大平賀鄕と稱せし地にて、大光寺部落の東端現在小和森小學校のある小丘は謂ゆる大光寺城の址なり。（大光寺城）奥州大崎城主葛西氏の族此地に來りて築くといふ。文龜以後南部氏の有となりその將鐵本氏の居城となる。天正三年一月一日津輕爲信之をうちて之を定め津輕領となし、女婿左馬助建廣の居城となす。慶長八年建廣夫人死亡、爲信之を悼み三重の大塔を建つ、寬永十年雷火のため燒失す。本城は慶長十二年建廣卿ありて追却さるに及び廢城となる。

タイコーリ　大光里（たいこう）　京元線の一驛（大正元年設置）。朝鮮江原道鐵原郡新西面にあり。

タイコカン　大碧峽溪　臺灣の臺北・新竹二州に亘る川。新竹州大溪郡、中央山脈の一部たるシタキス山西方附近に發し、大溪郡を西北に貫き、更に東北に轉じて臺北州海山郡に入り臺北市西方

に於て新店溪と合して淡水河となり西北流して淡水にて海に注ぐ。上流の山岳地方は大溪郡の番地にて、この溪を中心として、タヤル族のガオガン・マリコアン兩番居住す。臺灣北部に於ける大河にして臺北平野に於ける主流なり。

ダイコク　大谷（【大谷面】）　朝鮮平安南道成川郡の南端。郡邑成川の南々東二五粁。東南部に北大峯山脈走り南東の黃海道谷山郡界に四方山（九七五米）屹立するを始めとし、西境に支脈逕りて七百米臺の諸峰を起し、域內にも等峰その他六百米級の山岳蟠踞するも、概次東北方に低夷す。南江に東より來り黃海道遂安郡との境、嶮岸の間を西流し、北隣祟仁面に發する渭川、中央を南流して之に注ぐ。耕地は渭川沿岸と山間傾斜地とに發達し、主畑作農業行はる。產物は麥・大豆・粟等の外、蔴山金鑛より金・銀・銅を、海月砂金鑛より砂金を出す。中央の面邑谷倉より北方成川邑に三等道路通ずるも、四隣に通ずる里道と共に途中峻坂多く、交通不便なり。

【大谷面】　朝鮮平安南道成川郡の東北部。面積四七方粁餘。東北境上に丘陵性山地逕り、中部にも、これに平行する一連の丘陵あり、中部より東北に延び、その間に狹長なる低地を抱み、南境を南流する南江沿岸の低地につづく。耕地よく拓け、米・麥・大豆・棉・大麻等の農產あり。

タイコク　大黑嶋（だいこく）　→宇和島市

ダイコクカミ　大黑神島（だいこくかみじま）　鹿島縣佐伯郡東南方に浮ぶ島。東方約二粁に西館美島浮ぶ。島は直徑約三粁のほぼ圓形島にして、島内樹木多く、西海岸は海最なだらかなるも東北部沿岸に僅少の低地あり。南に鵜泊鼻、東北方に牛石ノ鼻斗出するも比較的海岸線の出入に乏し。

ダイコクザン　大黑山（【大黑山群島】）　朝鮮全羅南道の西端。小黑山島の北北東方に橫たる群島。黑山諸島の最北部に位し、大黑山島・鴉島・大竜島・多勿島・僧島・永山島・上竹島・下竹島・長島・虎嶼島等、及び數多の嶼岩より成る。群島は土地礎硝にして農牧の利勝く、島民は漁を主として自給自足す。且つ冬季には殆ど漁獵なく、獨り鮑は此地唯一の名產なれども近年濫獲の結果大いに減少す。近海に捕鯨行はる。

【大黑山島】　朝鮮全羅南道の西部。大黑山群島の主島にして、一に西草島ともいふ。莞安郡黑山面に屬す。木浦港を距る西方五八浬、北は大竜島に、東は永山島に、西は大長島に對し、屬島には底山島・玉島・鴉島・小島等あり。島の長さ約八粁、幅約四粁。島の中央西部に偏して門嶺山（四〇二米）聳え、北に上峯、東に仙臺峯（三四三米）・大風山等あり、其他に七落山・箭九尾山等連亙し、南半は殊に山勢嶮峻に、北半に低夷して耕地をつくる。島岸は東に曳里半島斗出しその西に

ダイコク　大黑嶋（だいこく）　→宇和島市

ダイコクカミ　大黑神島（だいこくかみじま）　鹿島縣佐伯郡東南方に浮ぶ島。東方約二粁に西館美島浮ぶ。島は直徑約三粁のほぼ圓形島にして、島内樹木多く、西海岸は海最なだらかなるも東北部沿岸に僅少の低地あり。南に鵜泊鼻、東北方に牛石ノ鼻斗出するも比較的海岸線の出入に乏し。

ダイコクザン　大黑山（【大黑山群島】）　朝鮮全羅南道の西端。小黑山島の北北東方に橫たる群島。黑山諸島の最北部に位し、大黑山島・鴉島・大竜島・多勿島・僧島・永山島・上竹島・下竹島・長島・虎嶼島等、及び數多の嶼岩より成る。群島は土地礎硝にして農牧の利勝く、島民は漁を主として自給自足す。且つ冬季には殆ど漁獵なく、獨り鮑は此地唯一の名產なれども近年濫獲の結果大いに減少す。近海に捕鯨行はる。

ダイコンスイ　大湊水山（だいこんすいざん）　單に湊水山ともいふ。臺灣高雄州岡山郡燕巢庄大字湊水にある泥火山の稱。約一〇ヘクタールの平地にて大小四箇聳立す。此地は所謂南部第三紀層坑內系背斜軸の油田帶にあり、泥火山は底部の周圍約一〇〇米、高さ八米、完全な富士山型をなし、頂の噴孔の徑約一米、泥水を湛へ數分おきに間歇的に噴騰して猛烈に瓦斯を噴出し同時に暗灰色の泥土を孔外に排出す。秋より冬にかけての乾季に活動盛にて、夏には活動鈍り或は休止することあり。潮汐の干滿にも關係あるものの如く研究上の好標本となる。

タイザ　間人町（たいざ）　京都府丹後國竹野郡の北海岸。奥深半島北部に位し竹野川の河口を占む。面積僅に四・〇四方粁。西南部は丘陵をなし東北部には低地開け竹野川東境近く北流して海に注ぐ。北部には城島橫ほる。東北部低地には田知よく拓け、米・麥を產し養蠶盛にして繭の產出多く丹後縮緬は本町より出すところ多し。また村民は海上に活躍し、竹野川河口僅ち間人港は內務省指定港の一にし

て好漁地なし、水産豊富にして水産製造物・食料品の産少なからず。海岸に沿ひて府道走り峰山町方面へはバスの便あり、又夏季は定期船あり。古くは間人郷に作る。和名抄に竹野郡間人郷あり、而して郷城は本所及び徳光村に當る。間人の訓義詳ならず。ハシウト或はマムトと訓みしものの如し、いま之をタイザと訓む故な知らず。一にハシウトは愛人の意なるべし、古言に愛なうるはしきと曰へり。一説に土師人氏の祖豊屋別王の外祖大酒主の大酒を音讀せしに由來し、蓋し此地間人氏の故里なるべしと。聖徳太子の母を穴穂部間人皇后といふ。丹後舊事記に此里は間人皇の由緒あり、よつて村名となすと。日碑によれば、鍛にこの里の人にして、いま御所の壺と稱する所は即ち鍛の舊蹟なり、而して守屋大臣の叛逆に依て奈良の都を立去り給ひ、この里に來りて世を避給ふ、御供奉の人々は東漸直駒・木目見宿禰・蒲田麿・興世額臣・下戸部大達・小坂部民谷・穂見中江麿・中臣村主等なり、程經て守屋の大臣亡び世の中安穏になりしかば大和の斑鳩の宮へ還幸し給ふ。皇后の御名な土倍の唱へ奉らん事の恐れありと文字は其儘皇后の御名を用ひて間人村と書き、本來ハシウドと訓むで、きを皇后御退座の故を以てタイザと訓むに至りしといふ。いまこの地の東氏は東漸直駒より出で、相見氏は木目見宿禰より、蒲田氏は蒲田麿呂より、小谷氏及び谷氏は小坂部民谷より、下戸氏は下戸部大達より、中江氏は穂見中江麿、中村氏は中臣村主忠世より出づといふ。間人皇后のこの地におらせられし頃より漁業の發達せる部落なりしものの如く、のち穴穂部皇子(安康天皇の皇子)皆我馬子に追はれて當村に居りし時、隣村竹野にて强賊を誅伐したる事あり之れが敦導なりしたるは此地の漁夫にして下戸の姓を名乗れりと。この時代に行はれ居りし漁業は網及び釜延網及び柔魚一本釣等なりしと云ふも、其起原を知るに由なし。海東諸國記に家國、戊子年(應仁二年)遣使來貢、書稱丹後州田伊佐津平朝臣四郎家國、以宗貞國接待と見え、田伊佐は即ち間人にして、當時朝鮮交通のありしを知る。天正年間荒川武蔵守は住民をして盛に漁業を營ましめたりと云ひ其城址たりし城島の土中より漁具の發掘せらるることあり。慶長五年京極丹後守この地を領し、寛文六年代官中村左右衛門これに代る、寛文九年永井信濃守、延寶八年小野甚左衛門・市岡利右衛門、同九年阿部對馬守これに代り、元禄十年奥平大膳太夫、享保二年久下藤重郎・上林又兵衛・飼塚孫永郎を經て、慶應四年小笠原美之助の支配となる。明治二年久美濱縣の支配となり五年豊岡縣管轄となり、明治九年同縣廢止京都府の管轄となれり。大正十四年町制を布く。

タイサ　大沙河　鳳東州の東北部を流るる川。嶺洲國奉天省復縣の中部に發し南流して鳳東州に入り鹽子窩・普蘭店の兩民政署管轄區の境をなして東南に流れ黄海に注ぐ。鳳東州に於ける長流なるも水量は多からず、兩岸には平地ありて農耕に適す。

タイサン　大山　【大山面】朝鮮慶尚南道昌原郡の北東隅。北は洛東江の下流を境として密陽郡に對し、面積三二方粁餘。中部の西偏に高さ五〇米程度の小丘阜地ある外は、洛東江下流々域の沖積地にして耕地廣く拓け、米・麥・豆類・棉等の農産に富む。面邑加途里は西部に位し東面へ道路を通じ、南方造氷より密陽に至る三等道路域内を縦走し、また面の北邊は洛東江の水運の便ありて交通便なり。

【大山面】朝鮮忠清南道瑞山郡の北方に突出せる加露林半島の北半部を占め、西は加露林灣、東は大湖芝興、北は唐津郡石門面に隣する大蘭芝島・小蘭芝島等の諸島嶼を望む。南境に近く望日山(三〇二米)の聳ゆる他は著しきものなき全域山地を成し平地極めて乏し。海岸は出入多く風曲に富めるも干潮の差大にして干潮時には海岸遠く干潟を現はし船の出入便ならず。産物は大麥・大豆を主とし、粟・荏・煙草・棉花等あり、又綿布・明紬を產す。水產物には石首魚・鯖・鰕・貝類等あり。道路は幹線路なるも改修され面邑大山里を軸として放射狀に通じ、面内各要地は勿論南方瑞山邑、東の大湖芝面其他へよく連絡す。

【大山面】朝鮮全羅北道高敞郡の最南部。雲嶽山脈の餘勢猛びて、東部及び南部に五〇米臺の低丘陵をつくるも、南部の全羅南道界と劃して西流する河川と、北部を流れて西南し之に合する河との流域は低平、特に北部は三〇米以下の貴き沃野にして農產裕かなり。產物は米・麥・綿・叭等を主とす。高敞・靈光間三等道路南部を走り途中西北方へ支線を出し交通比較的便利なり。

【大山面】朝鮮全羅北道南原郡の西北端。郡邑南原邑の西方約七粁。東境に蛟龍山(五一八米)及び嘉禎峰(五六八米)聳立し、西の淳昌郡との境に楓嶽山(三三八米)聳え、域内概して高燥にして、東部及び北部に稍低地を見るも地味一般に肥沃ならず。產物は大麥を第一とし、大豆・棉花・煙草・麻布・乾柿・木炭等なり。慶尚南道全羅線北東邊を掠め、南原・光州間二等道路面の南縁を東西に通じ定期乘合自動車の便あるも交通未だ便ならず。

タイザン　台山面　朝鮮平安北道宣川郡の南部。郡邑宣川とは郡山・新府の二面を隔て、南は西朝鮮灣に臨む。ほぼ中央に大岡山(二〇三米)の孤立圓錐丘あり、それより西北へ一〇〇—一五〇米の丘陵延ぶる外は概ねて低平にして沃野

間くる。海岸は中央に直浦の彎入あり、東境を限る蒼江用は帆筏河口をなして、やや屈曲に富むも、泥地干出して泊津並に魚塲の利乏し。海岸に近く竹島、南方六粁に蝶島あり。產物は米・大豆・綿(在來棉)・蕪叭等を主とす。道路は路面平坦なるも何れも等外道路にしてバスを通ぜず、交通やや不便なり。

ダイサン　代山面　朝鮮慶尚南道咸安郡の北部。南は郡邑咸安面と山仁面を隔て、北は洛東江を挟みて昌寧郡南旨面に對し、西北は支流南江によりて芝正面と界す。面積五七平方粁餘。北部と中部に高さ一〇〇米臺の丘陵地あるも、大部分は南江流域の平地に屬し、特に北部丘陵の南は低濕にして、月浦池の湖沼群あり。米・麥・大豆・棉・大麻等の農產裕かなり。

ダイサンキャク　大山脚　慶貴線の一驛(大正十一年設置)。臺灣新竹州竹南郡後龍庄大山脚にあり。

ダイサンザン　大三山島　關東州南岸中部にある島。大連灣口の中部に浮び北方の小(北)三山島に對し、大三山島(南三山島)とよばる。大連港口を塞る東南約一五粁、東西廣き部分にて約一・五粁、南北三・五粁あり。南端の岬上に、第三等閃白光、光達距離二三浬の燈臺設けらる。

ダイサンブ　大三夫島　↓三山面

(朝鮮全羅南道)

タイサンブ——タイシ

ダイシ　大師　↓大師河原(神奈川縣)

ダイジ　大峙面　朝鮮忠清南道青陽郡の中部東偏。青陽面に東隣す。域内を東嶺山脈東北より西南に走り、東南境やや高くして七甲山(八六一米)・大峙等あり、七甲山より支脈西に出でて中央に分水嶺をつくるも、西北は開けて低地をなす。龍記中央支脈の北に之川上支發源し青陽・錦陽の兩面を流れて得び面内に入り分水嶺南斜面の諸水を集めて鉅曲南流し、流域には地味やや肥沃なり。農產物に米・麥・大麻・苧麻・繭・煙草等あり煙草は郡中第一の產額を示し、牛・豚材等も多く、花山天祐(鎮區の一部)・五光・七甲・湧寶の各鑛山より金・銀を、大峙金山より金・銀・鉛を出す。青陽・公州間三等道路、東境の大峙(最高點三一七米)を越えて中部北偏を東西に走りバスを通ずるも、交通未だ便ならず。

ダイジ　太地町　和歌山縣紀伊國牟婁郡の東南部。下里町の東に隣り半島狀をなして北・東・南の三面熊野灘に臨み西北は下太田村に界す。面積僅に五・六三方粁。全村山地丘陵起伏し東北に燈明崎の突出あり。其西には鯨ノ巢崎の突出ありて間に太地灣を抱き中に向島を擁す。太地灣頭の太地及び鯨ノ巢崎西方灣頭の森浦二港を有す。東南部に梶取崎ありて燈臺あり。明治三十二年の設置にして白色圓形コンクリート造、燈質は不動白光、光達距離八浬。水產多く沖漁業なるし、來・廟の產あり、外に工產・林產・畜產あり。縣道は下里町と北方皆浦町とを連絡し、省線紀勢中線西部を走りて太地驛(昭和十年設置)あり。大正十四年町制を布く。町の一部は吉野熊野國立公園の内に屬す。町内の燈明崎は一に太地崎ともいひ、所謂古の牟婁崎にして吉備大臣歸朝の際大風に遭ひて漂着せしところと傳ふ。一説に牟婁崎を潮岬にあつる説あるも、口碑に此崎を古來室崎と稱すとあるより見れば、潮岬は熊野岬にして牟婁崎はこの燈明岬ならん。海邊に朝比奈三郎義秀の遺蹟ありて和田の岩屋と稱す。口碑に和田義盛の三男朝比奈三郎義秀建暦三年五月和田合戦に敗れ、諸國を漂泊したるのちここに落ち來りて世を忍びたりといふ。

ダイシガワラ　大師河原　神奈川縣橘樹郡の村なりしが、大正十二年大師町と改稱し、同十三年川崎町・御幸村と合し、川崎市を置く。東京灣に面し、多摩川河口の右岸の三角洲上にあり。弘法大師に因める平間寺(川崎大師)は此地にあり、社線京濱電氣鐵道川崎大師驛を置く。

タイシャ　大社

【大社】兵庫縣武庫郡にありし村。昭和八年西宮市に編入す。

【大社町】島根縣出雲國簸川郡の西部。日本海に面す。北部は高さ五〇〇米の險峻な流紋岩横ほりて南に傾斜し南半は神戸川及び同支流斐伊川の沖積平野にして水田多く、農產物は米・麥・大豆・煙草・蔬菜・甘藷・馬鈴薯・養蠶・養豚・養鷄等にして、米は縣下第一の產額を示す。面積四七方粁餘。人口一萬二千餘。大社・杵築・出雲・荒木・神門・日下部・上塩冶・下塩冶・佐香・久多美・上分・下分・上熊谷・下熊谷・上古志・下古志・上直江・下直江・上長浜・下長浜・上小境・下小境・上小津・下小津・上小山・下小山・上小田・下小田・上小原・下小原・上小村・下小村・上小野・下小野・上小谷・下小谷・上小坂・下小坂・上小林・下小林・上小川・下小川・上小倉・下小倉・上小池・下小池・上小島・下小島・上小屋・下小屋・上小寺・下小寺・上小堂・下小堂・上小社・下小社・上小宮・下小宮・上小祠・下小祠・上小廟・下小廟・上小殿・下小殿・上小閣・下小閣・上小楼・下小楼・上小塔・下小塔・上小門・下小門・上小関・下小関・上小城・下小城・上小砦・下小砦・上小陣・下小陣・上小営・下小営・上小軍・下小軍・上小兵・下小兵・上小将・下小将・上小士・下小士・上小民・下小民・上小農・下小農・上小工・下小工・上小商・下小商・上小漁・下小漁・上小猟・下小猟・上小牧・下小牧・上小林・下小林・上小山・下小山・上小川・下小川・上小谷・下小谷・上小坂・下小坂

給ふと見え、歴世其子孫國造として大社に奉仕し、殆ど當地方に於ける政治及び文化の中心地たるの名を維持せしも、中古國府を中御に近き出雲郷に移さるゝに及び、政治的意義失はれ漸く衰ふるに至る。然し大社に奉仕する者は必然的に國典を研究せしを以て自から國文學の勃興を來し近世所謂杵築文學なるものを生むに至る。古くは和名抄、出雲郡杵築郷の地にして、もと杵築町と稱せしが大正十四年杵築村と合併して大社町と稱す。なほ出雲大社を締結の神とする由來は天照大神の國土經營の際、大國主命に諭して「汝もし國神（出雲族）を以て妻とせば、なほ汝を疎んずる心ありと謂ひむ。されば今吾が女三穂津比賣を汝に配はせ取らすべければ宜しく妻とせよ」と宣はれ、天孫族と出雲族との實質上の合同なりしことゝ、神武天皇が橿原宮に御位の大禮を行はせられしと共に、出雲族の頭目たる事代主神の女、姫蹈鞴五十鈴姫を納れて正妃（皇后）となし給ひしことなどに依る。※五十猛命之小汀〔出雲大社〕官幣大社。大國主命一座を主神とし、天之御中主神・高皇産靈神・神皇産靈神・宇麻志阿斯訶備比古遲命・天之常立神の五柱を客座として配祀す。延喜式に杵築大社と載せ、また古の天日隅宮・石巣比賣之曾宮・厳神之宮といはゝ出雲の國の一の宮なり。大國主命は建速須佐之男命六世の孫にして少彦名命と心を協せて葦原の中國を固め、造化伊弉諾尊・伊弉冉尊の大業を贊けて國造りの大功績を成し給ふ。依りてその功を稱へて國造大神と稱す。天孫降臨に際し國譲りまし天神の勅に依り天日隅宮に住居ぜらる。これ即ち杵築の大社とす。崇神天皇御宇出雲臣遠祖出雲振根、事により大神を祀らざりし時、丹波の人氷香戸邊が兒に託宣ありて祭し給ふ事あり、神異ありしため勅して祭りを行はしめらる。齊明天皇五年出雲國造に命じて厳神之宮を修造せしめ、稱德天皇天平神護元年神封十一戸を充て奉り、延喜の制名神大社に預かる。爾來歴朝の崇敬厚かりしが、のち朝廷式微のため修理宣の如くならず、永正年間尼子經久造營のことありしが、神佛兩部の習合を信じ堂塔伽藍の新築をなすのち松平直政國主となるや、寛文二年幕府に請うて大いに社殿を造營す。現存するものは延享元年の造營にて、文化・明治の兩度に亘り修復を加へらる。神殿は所謂大社造と稱し宏壮偉大を極め、その特殊なる樣式は神社建築史上特筆せらるべきものにして、寶物中國寶八合（秋野琴岳將）、太刀一口（銘光忠、赤銅造）と共に何れも國寶に指定ぜらる。例祭は五月十四日勅祭を以て行はせらる。その他年中の祭祀極めて多し。又攝社には大神大后神社・伊能知比賣神社等を初め他に十三社を數へ、何れも式内社たり。〔大社教本院〕神道大社教は明治六年出雲大社大宮司千家尊福が敎神講と稱する講社を組織せしに起源す。本院を千家氏邸内鳳凰館に置く。明治十五年神道大社派と公稱し、更に同年神道大社敎と改稱す。敎旨は主神大國主神の經國治幽の神意神業を奉體して國民道德を振興し、天壤無窮の皇運を扶翼するを要旨とす。〔出雲敎本院〕神道出雲敎は明治十六年北島修孝の組織せる所にして、本院を北島氏邸内に置き、造化の三神・天照大神・大國主命・天穂日命・産土神を奉齋す。〔出雲お國墓〕大鼓原墓地にあり。中村一家の墓の中、中央にありて石柵を繞らす扁平な自然石がお國の墓と傳ふ。お國は本邦歌舞伎の始祖、女優の元祖なり。當町中村三右衛門の女にして大社の巫女たり。慶長中京都に出で、四條河原に舞臺を構へて歌舞伎を演じ都人士の高評を博したり。晩年歸國して尼となり、智月と稱して宇中村に庵を結び遠歌庵と號し、傍にお國寺とも呼びたり。明治維新後廢寺となり、今は一小地蔵を存するのみ。

【大社線】省線山陰線の一。島根縣簸川郡今市町の山陰本線出雲今市驛より分れて荒木村の大社驛に至る七・五粁。大社町には出雲大社儀座するを以て參拜の便を計り大阪より直通急行列車を運轉し約八時間二十分にして達す。

ダイシャ　代車面　朝鮮黄海道海州郡の西部。海州邑を去る西約三〇粁、西の一端は慶源川河口（大東灣）に面す。南半は秀峯山（四三二米）ほか三—四百米程度の丘陵起伏して平地に乏しきも、北半は東境の德大山（三五三米）を最高とし、峨れ一—二百米の丘陵と平地とを相交錯す。慶源川は北部の長淵郡界に近くを西流、ついで西南に蛇曲流して豊津郡との境を劃し、中央部を西流する一支を下流に於て合せ大東灣に注ぐ。この流域の平地はやや廣くして地味肥沃なる田畑を拓く。南部には豊津水利組合の大貯水池隧洞堰あり。物産は米・麥・大豆・棉等の農産を主とし、また海州・豊津の兩鐵山より金銀鑛等を出す。この兩鐵山は何れも重要鑛山の一に屬し、前者は三菱鑛業株式會社の所有にして鑛種は金・銀・銅・鉛・亞鉛等の多種に亘り、昭和十年産額金銀鑛三、三二〇瓲（三二萬圓）を算し、後者は日本鑛業株式會社の所有にして、鑛種は金・銀・鉛・亞鉛、その産額は同年に於て金銀鑛一五、〇七七瓲（一三四萬圓）。

タイシャク　帝釋

【帝釋山】那須火山帶に屬する一峯。栃木縣鹽谷郡栗山村と福島縣南會津郡檜枝岐村・館岩村との境上に跨る。標高二〇六〇米。山體は輝石安山岩より形成ぜらる。

【帝釋村】廣島縣備後國比婆郡の南部。東境町と西城町の間にあり。村内は高瀬五—六〇〇米の準原性の山地よりなり中

央部に西北より東南に流る。この渓谷の水を集めて帝釋川南流す。農牧よく行はれ米・麥を產し又良牛を出す。山地よりは林產物を出しその他蔴草を栽培し、蠶表・花莚・麥稈眞田等の工產あり。帝釋川上流は帝釋峽の名勝地にして石灰岩よりなる奇巖絶壁ためぐりて渓谷幽邃なり。その渓谷美は天下に名高し。中央を南北に村道通りて西城町・福山市に至る自動車の便あり。古くは和名抄、奴可郡三上郷の地なり。未萢・姑蔑・山中・宇山の部落を合併して帝釋村と名付く。帝釋の名は未萢の帝釋堂より出づ。〔永明寺〕大字未萢にあり。禅宗曹洞派。石雲山と號し、俗に帝釋堂の名を以て著聞す。和銅二年の創建と傳ふ。修驗道として帝釋天惡鬼退治の事を載せ、且つその正體は杵築明神なりとなす。蓋し大己貴命の惡神征討、國土開拓の傳說に依り上古より崇拜せしを、佛敎渡來の後帝釋天に附託せしものならむか。天文中炎上、毛利一族再建す。堂宇、嚴上或は洞窟の裡にあり登詣奇勝に富む。附近に神楊・唐門の景あり。

【帝釋峽】廣島縣帝釋峽谷の東西に擴がる臺地。神石郡永渡村・新坂村及び比婆郡久代村・帝釋村の四村に亙る、石灰岩地にして炭酸を含む水の浸蝕作用により種々特有なる地貌を生ず。石灰岩の裂隙が雨水の浸蝕作用を受けて殆ど鉛直に近き傾斜に發達せる石灰鉢（ドリーネ）は合計凡そ百七十箇の多數に達し、多數のドリーネの成長過程より窪地多し。湯牛狀長楕圓及び瓢などの形態をなす石灰凹（ウバーレ）は總數十二箇に達し、洞窟は二十二あり。殊に帝釋村の鬼ノ岩屋・白雲洞、永渡村の天川洞は、共に奥行二〇〇米以上に及ぶ雄大なるものなり。ドリーネの分布密度は一方粁につき秋吉臺が三十乃至四十なるに對し、四十八乃至六十八に達す。

【帝釋峽】廣島縣の東部神石・比婆兩郡境に近く所謂帝釋高原の略々中央を流れて東城川に合する帝釋川沿岸約二〇粁の峽谷。いま指定名勝たり。交通不便のためこの仙境も久しく埋れ、廣く世に知られるに至りしは大正年代以後にして、殊に近年水力電氣のための堰が築かれ、多くの人の注意を引くに至る。最近は遊覽地として省線庄原線の備後庄原驛、山陽本線福山驛より自動車を通じ、探勝道路の開鑿も計畫さる。帝釋峽は長門の秋吉臺と共に石灰岩の廣き分布を示し、同岩より成る臺地を百米餘の深さに刻む峽谷の奇勝なり。高臺の頂には所々にドリーネ・石灰洞窟等發達し、所謂カルストのあらゆる地形を觀察するを得。此地に於て最も奇なるものは雌橋・破橋・白雲洞・藥師洞等の天然橋にて、外に石雲山・唐門・龍鼻渓・雪艇渓等の名勝あり。

タイシャミヤジマ　大社宮島鐵道　社線。島根縣簸川郡今市町の山陰本線出雲今市驛より廣石驛西須佐行の出雲須佐驛に達する一八・七粁。軌間一・〇六七米。蒸氣・ガソリンの動力車にて省線と連帶運輸。

ダイジュ　大樹庄　臺灣高雄州鳳山郡の最北部。菅内は山地・平地相半し、東部下淡水渓に沿ふ地方及び南部は低く北部・西部は高し。菅内を流るゝ河川は何れも下淡水渓の支流にて數條あり、共に菅内山地に發源し、東流して本流に合す。本庄は純然たる農村にして、主要なる農產物は米・甘蔗・甘藷等にしてその總額九十萬圓に達し、また園藝作物としても風梨は本庄の特產物なり。畜產は、農家に於て、副業として行はるゝ豚・牛・家禽にして、牛は水牛・黄牛あり、主として勞役用として飼育せらる。菅内山地よりは、若干の薪炭材を出す。工業には、製糖・鳳梨罐詰・精米・煉瓦等あるも、其うち鳳梨罐詰業は最も盛にして十數ケ所の工場を有し、製品は、島内外に移出せらる。大字渓埔には、株式會社統領農場あり、李花の名所として著名なり。交通は、臺鉄縱貫線株式會社經營の鳳山驛より本庄下に設けられたる潮州線九曲堂驛を基點として本庄を縦斷して旗山に到るあり。又道路も相當完備して、自動車の運行あり。大字九曲堂には、官線潮州線の九曲堂驛あり、又臺鉄縱貫社經營の輕便鐵道旗尾線の起點をなし、大字小坪頂には、高雄水道水源地ありて眺望絶佳なり。また鹹泉局鳳嶺温泉あり。なお附近は古墳多く、石器時代の遺物を發見す。

ダイジュジ　大樹寺　愛知縣額田郡にありし村。明治三十九年本村ほか三村か廃し岩津村を置き、岩津村は昭和三年町制を布く。

タイシュー　對州　對馬國の略稱。

タイジュツ　大述面　朝鮮忠清南道禮山郡の東北端。郡邑禮山の東方五粁。東に絵頂峰（四九〇米）及び鳳首山（五三五米）等聳えて東境を劃し、西北境沂く道高山・德鳳山等聳えて其山脈西境を劃し中央に南北帶狀の低地横ほり金馬川

の支流其間を貫流し以て灌漑に資し、地味肥沃にして農産に富む。産物は米を主とし大麦・大豆及び特用作物たる麻・煙草・蒲草等の栽培等盛に行はる。京南鐵道忠南線(禮山面)より乗合自動車の便あり。

タイシヨ　大所面　朝鮮忠清北道洪城郡の西南端。郡邑洪城の西方約二〇粁。中央に一〇米の丘陵聳ゆる外は著しきものなく老年期の丘陵地を成し耕地よく拓け農産豊かなり。氣候は京城に比し稍凌ぎ易く、最高攝氏三二度、最低零下一〇度を超ゆることなし。住民は農業を主とし、副業として養蚕に精勤す。産物は米・大麦・大豆・荏・栗・黍等・煙草等を主とし、珠に黄色煙草は品質優良にして市場聲價高し。二等道路東南部を通過する他は何れも未改修路線にして馬背に據る。

タイショ　大渚面　朝鮮慶尚南道金海郡の南東部。洛東江下流の三角洲を占め、東は江を隔てて釜山府との間に東業郡沙上・沙下二面を隔て、西は江の分流によりて製帛面と界す。面積約三四方粁。至る處土地平坦、南部の麥島は最も低濕なり。米・麥・大豆・棉・蔬菜・梨等の農産多し。面邑沙徳里は北部江岸に位し、京釜本線鎭浦驛(東業郡鎭浦面)に近く交通便なり。

タイショー　大正　たいしょう
【大正村】北海道十勝國河西郡の東北部。十勝支廳管下。帯廣市の南に接し、十勝川支流札内川の流域を占む。面積五五八・八平方粁。十勝平野の西部に當り、中央部を札内川北流し支流岩内川・戸蔦別川の流域低地廣く土地概ね平坦、沃野に富む。木材・甜菜・亞麻の産多くまた大豆・馬鈴薯の産出あり。帯廣市に通ずる地方費道にバス通じ、省線廣尾線また南北に貫き愛國・幸震・中札内(何れも昭和四年設置)の諸驛を置く。

【大正村】神奈川縣相模國鎌倉郡の西部。戸塚町の西に隣る。多摩丘陵に續く臺地の一部を占め林あり、西境を南流する境川の流域は概ね平地をなして畑地あり。甘藷・麥を産し養蠶行はる。東海道は戸塚町より來りて村内を西南に走り藤澤町に通ず。バスの便あり。この地は相名抄、高座郡岡本郷の地なるべく、大正四年俣野村・長尾村・富士見村を合し本村を設く。長尾とは近世鎌倉郡の郷名にして桓武平氏、鎌倉氏の族、長尾氏の起りし所、景虎に至り山内上杉憲政を養子として越後に上杉氏を興す。俣野は往時俣野郷と稱せし地にして、桓武平氏、鎌倉氏の族、この地に俣野氏を稱せり。三浦系圖に大庭景宗の子景久、俣野五郎とあり。

【大正池】長野縣上高地盆地の南端なる細長き堰止湖。南安曇村にあり。大正四年六月六日燒岳(硫黄岳)火山よりの泥岩が梓川を堰止めて作りしもの、その長さ第に堆没しつゝありしも、昭和二年以來梓川電力會社が排水口に堰堤を設くるに及び水位やゝ上昇す。いづれにしてもこの湖は近き將來に消失する運命にあり。昭和二年八月現在にて、海抜高度一五三四米、湖岸線二・四粁、面積〇・一五平方粁、深度は三・九米。多量の河水が通ずるため湖の如き狀態なるも高山よりの雪解けの冷水を受けるを以て、水温は夏季表面にて一四度、底部は九度位。冬は南部のみ結氷し、厚さ五〇糎位に及ぶ。反應は弱酸性にして、湖底にはイテフォイロクモ繁茂し、イハナその間を游泳す。大正四年春の噴火前に於ける樹木は白骨の如く今なほ湖底に群樓し、四周の雪を頂く高山に對し特殊な景觀をなす。この湖は上高地の名勝として名高く、その水は貯水せられて三一三キロワットの電力を起す源となる。

【大正村】大阪府河内國中河内郡の南部。大和川の右岸に位し、大阪市東南隅より東南方約三粁。龍華町の南に隣り、東は南河内郡に續く。面積僅に三・八六方粁。大和川流域沖積平原の一部を占め地形低平、大和川南境を西流す。田畑よく拓け河内米の産多く畜産・鑛産もあり。又工産額多し。縣道・鐵道等本村を通過せざるも北方八尾町及び藤井寺町にバス通じ、省線關西本線久寶寺驛へは北方約二粁、また柏原驛へは東方約二粁なり。もと三本木村と云ひしが大正二年現名に改稱す。

【大正村】奈良縣大和國南葛城郡の西部。金剛山脈の東斜面に位し、東は御所町に隣接す。西境に金剛山縣連りて一〇〇〇米たらずの高度を呈し東方へ次第に傾斜し、東部の山麓は臺地狀をなし東南境に近く關屋線に沿ひて葛城川北上す。臺地に田畑拓けて米・麥を産す。東北隅を省線和歌山線掠め御所驛(明治二十九年設置)あり。本村は大正四年、東松本・西松本・竹田・小林・鎌田・三室・稲葉・稲葉の八村を廃しその地域を以て置けるもの。大字三室に孝昭天皇の掖上博多山上陵あり。稜線は葛城山の東麓、式内鴨山口神社あり。永井氏の陣屋のありし處。延寶八年徳川幕府丹後宮津城主永井尚長の弟直圓に禄維・新庄の地一萬石を與ふ。永井氏初め陣屋を新庄に置きしがのち此地に移し子孫相承けて明治維新に至る。明治四年廢藩を廃して縣とせしが同年之を廃して奈良縣に入る。(掖上博多山上陵)大字三室にあり。孝昭天皇の御陵。御陵形圓丘。天皇即位の八十三年八月五日崩御、葬儀のことは日本書紀によれば孝安天皇三十八年八月十四日掖上博多山上陵に葬る由を記せるも、葬事紀に崩御の翌年八月葬儀となす。孝安天皇三十八年に改葬し乗りしものか。陵號は日本書紀・延喜式共に掖上博多山上陵とし、古事紀には、御陵は掖上博多山上にあり、となす。葬事紀には葬を陵に作る。式の頭

北城東西六町、南北六町、字戸五個よりかげ、慈陵に接す。中世山陵荒廃しその所在を失ふに至りしも、元祿の檢討現陵の位置に決定し、即ち三室の博多山に周垣を施し、墓末修陵の際にはまた大いに修補を加へ、その竣工に當りて慶應元年三月十二日廣橋右衞門督を遣はし奉幣せしめ、且つ巡檢をなせり。(鴨山口神社)大字德堀にあり。村社。祭神、大山祇命ほか二神、式内の大社たり。

【大正村】鳥取縣岩美郡の東部。千代川の左岸。東は鳥取市及び岩美郡美保村に隣す。面積僅に五・〇八方粁。東境を北流する千代川左岸の沖積平地をしめて全村概して平坦・豊沃なり。西部に小山地連亙するも何れも耕作よく行はれ、米産多くその他繭・果實・甘藷等を産す。山地より薪炭材その他の林産物を出だし畜産も少からず。北境を東西に山陰街道通り鳥取市と西方米子市とをつなぎ、鳥取市にバスを通ず。本村は大正六年、海德村・蒲野部村を廃し、その地域を以て置けるもの。(大野見宿禰命神社)大字德尾に鎭座。郷社。祭神、大野見宿禰命。例祭、四月十三日。(大野見宿禰命神社々叢)指定天然記念物。二千八百坪餘、主として「もちのき」より成り其大なるは目通幹圍三米に達す。其他「たぶのき」「しひ」等の喬木を交へ「もちのき」に富める社叢として著しきものなり。

【大正村】南島縣備後國蘆品郡の北部。村内高原約五〇〇米の山地より成り河川の侵少し。從つて耕地に乏し。西南に木野山(五五九米)あり、その東山麓を蘆田川の上支南流して流域に僅少の耕地を拓き、米・麥・養蠶の産あり。山地は林産物を出しまた牧牛を含む。西北の上下町と東南の府中町を連絡する縣道通りバスの便あり。大正二年行藤・桑木・木野山の三村を合併して本村を建つ。

【大正村】高知縣土佐國幡多郡の北部。東より北に高岡郡に、西北に愛媛縣北宇和郡に境す。面積二一三・八六方粁の大村なり。四周は七百乃至千米の高山を以て圍繞せられ、それ等の山麓村内を縦横に走り諸處に六百—七百米の諸山を起し概ね山地なす。四万十川南部を横切りて西流し、西縁の緩谷をその支流曲折南流してこれに合す。農林産ほゞその産額に於て匹敵し、農産中米・蕃・麥等はその主なるものとす。縣道四万十川に沿ひて東西に走り、高岡郡窪川町方面にバス通ず。大正三年東上山村を大正村と改稱す。

【大正村】長崎縣肥前國南高來郡の北岸。島原半島北縁に位し九千部山の一峯たる香妻山の北麓斜面を占め漸早調に面す。南境を頂點とし北岸を底邊とする略二等邊三角形をなせる村にして面積一〇・三六方粁。香妻山(八六八米)の北部中腹より海岸地を占める狹き南部に高く北岸に低地開く。北部に田畑拓け米・麥・甘藷等を産し、水産業も行はれ、農商多く北部低地に散在す。島原半島を繞る縣道北岸を走り社線島原鐵道同じく北部沿岸を通じて古部驛(大正元年設置)あり。往古のことは詳ならず。大正十五年伊編・古部の二村を合併して本村を置く。

【大正巌】↓白瀧山

タイショー　大庄　たいしょう　臺灣花蓮港廳にありし玉里支廳の區。昭和十二年十月玉里郡富里庄となる。

タイショー　大松面　たいしょう　朝鮮慶尚北道迎日郡の東南部。浦項邑の南隣にて、東北部は日本海に瀕し、西南は慶州郡に界す。南半は高度三〇〇米内外の山地、北半は東境に一〇〇米臺の丘陵連亙するもその西側は西隣延日面につづく平坦地にして、北部には兄山江北通じて迎日灣に注ぎ、番田比較的よく拓けて米を主とし麥・大豆等の農産あり。浦項より九龍浦・甘浦に向ふ三等道路北部を横ぎりいづれもバスを通じ交通不便ならず。

タイショー　大昌面　たいしょう　朝鮮慶尚北道永川郡の南部西偏。東北部は郡邑永川邑の南部に接し、南と西とは慶山郡に界す。西北部は琴湖江平野につづき概ね平坦なるも東南の大部は南境を東西に連る高さ五〇〇米内外の山地と北境にある操臺山(四九八米)の山脚のなす丘陵起伏し、その間所々に小低地あるのみ。低平の地には耕地よく拓け山間渓谷に灌漑用の池塘多く米・麥・大豆・大嘉等を産し、蠶業も行はれ、農商多く北部低地に散在す。島原半島を繞る縣道北岸を走り社線島原鐵道同じく北部沿岸を通じて古部驛(大正元年設置)あり。往古のことは詳ならず。大正十五年伊編・古部の二村を合併して本村を置く。

【大正巌】↓白瀧山

タイショー　大庄　たいしょう　臺灣花蓮港廳にありし玉里支廳の區。昭和十二年十月玉里郡富里庄となる。

タイショー　大松面　たいしょう　朝鮮慶尚北道迎日郡の東南部。浦項邑の南隣にて、東北部は日本海に瀕し、西南は慶州郡に界す。南半は高度三〇〇米内外の山地、北半は東境に一〇〇米臺の丘陵連亙するもその西側は西隣延日面につづく平坦地にして、北部には兄山江北通じて迎日灣に注ぎ、番田比較的よく拓けて米を主とし麥・大豆等の農産あり。浦項より九龍浦・甘浦に向ふ三等道路北部を横ぎりいづれもバスを通じ交通不便ならず。

タイショー　大城面　たいしょう　朝鮮慶尚北道清道郡の中部。北は慶山郡に、南は慶尚南道密陽郡に界す。地形恰も石斧狀を呈し、東境に六〇〇米内外の高度を有する山嶽南北に連る外、南境に華荷山(九三一米)、北境に龍角山(六九七米)ありて面内山地廣し。たゞ清道川西隅華陽面より中部に入り、東西山地の狹合谷を南流し、東境を流るゝ東倉川に注ぎ、東部に堆積し、水田開墾多く、米・麥・大豆・棉・蔬菜・梨等の農産多し。面邑沙徳里は北部江岸に位し、京釜本線鎭浦驛(東業郡鎭浦面)に近く交通便なり。

タイショー　台章面　たいしょう　朝鮮京畿道水原郡の東部。水原邑の東南に隣り、東は龍仁郡と境す。東境に最高一五〇米程度の丘陵南北に連なる外は地頗る低平にして、耕地廣く拓け、米産に富む。産物は米の外、麥・豆類・棉並に各種の蔬菜も少からず、副業に蠶・臥の製造盛なり。總督府鐵道京釜本線と京城・木浦間一等道路並走し西南部を横ぎり、前者に餠店驛(明治三十八年設置)あり、北部には社線京東鐵道水原線通じて忠川驛(昭和五年設置)あり、京釜一等道路これに並走し、交通便なり。

タイショー　泰昌鑛山　たいしょう　朝鮮京畿道水原郡の東部。水原邑の東南に隣り、東は龍仁郡と境す。東境に最高一五〇米程度の丘陵南北に連なる外は地頗る低平にして、耕地廣く拓け、米産に富む。産物は米の外、麥・豆類・棉並に各種の蔬菜も少からず、副業に蠶・臥の製造盛なり。總督府鐵道京釜本線と京城・木浦間一等道路並走し西南部を横ぎり、前者に餠店驛(明治三十八年設置)あり、北部には社線京東鐵道水原線通じて忠川驛(昭和五年設置)あり、京釜一等道路これに並走し、交通便なり。

タイショー　泰昌鑛山　たいしょう　朝鮮京畿道忠清北道忠州郡の西部。忠州邑の西隣にして、鑛區は

に合す。これらの河流と北部を南下する清道川の支流の谷に狭長の平地ありて、米・麦・豆・綿・大麻・梧等の農産あり。京釜本線清道川に沿ひて北上し、中部西偏の高樹洞に清道駅（明治三十八年設置）を置く。また釜山・大邱間の一等道路は京釜本線に並行し、昌寧より慶州方面への三等道路は中部を東北に、南部の梅川より東倉へ至るもの亦東倉川に沿ひて通じいづれもバスの便あり。高樹洞には郡廳・警察署・面事務所等あり、商工業行はれ、郡の行政・経済の中心なす。（磧川寺）院洞の西部禁山の南側にあり。新羅時代、善照國師の開創に係る古刹にて数百の佛像を安置し、特にその四天王像は異彩を放つ。

ダイジョー　乃城面　朝鮮慶尚北道奉化郡の首邑。本郡の西南端を占め、南と西とは榮州郡に界す。面積七五方粁餘。東北境には文殊山の西南山脚、北境には鷹坊山（五八七米）、西境には大馬山（二七三米）等の山地あり、その他は高さ一五〇米内外の丘陵起伏するも、概れ平坦にて、南流して洛東江に合する乃城川の二上支一は東北より他は西北より来りて南西部にて合流し、その沿岸に低地をつくり耕地發達す。主要農産に米・麥・大豆・綿・大麻・莞草あり。榮州・醴珍間の二等道路は西南より東北に、安東・乃城間の三等道路は東南部を通じ、バスの便あり。乃城・道庁別の面例は面

ダイジョーダイイチ　大城第一　伊田線の貨物扱（明治三十九年設置）。慶尚北道金泉郡大徳面にあり。

タイシン　大津　【大津驛】朝鮮咸鏡北道の東端。造山灣の一支灣。造山灣の北岸中央に於て、雄基灣の東角なる大鎚と赤島との間に成れる開灣にして、灣内危險なく水深八—十二尋、泥底の好錨地なり。灣頭に近く鎚道北鮮線及び雄基・羅津間の三等道路並走す。赤島に灣の東角より聳々西約一粁にある小島嶼にして、遠望すれば黒色を呈し、漸く近づくに及び其下部ぼ隣接なし其名の如く赤色をなし顯著なり。

タイシン　大神面　朝鮮京畿道驪州郡の北部。西南は漢江に臨む。面積約七一方粁。東北境に高度約五百米の牛頭山聳え西南に續峙し、北部に百—百五十米臺の丘陵起伏する外は概れ低平にして、漢江々岸に至るまで沃野拓く。河川は曲水川その他いづれも西南流し平野部を灌漑して漢江に注ぐ。産物は米・大麥・大豆・綿花等の農産を主とし、礦山鎭山より金・銀を出す。三等道路は中部西偏を縦走し、西北端の川西里より東して曲水里（低地面）に至る三等路線分岐し、其他の路線も改修行れ、漢江には舟楫を通じて、交通便利なり。

タイシン　大新　京釜本線の一驛、大正五年設置。慶尚北道金泉郡大徳面にあり。

タイシン　泰仁面　朝鮮全羅北道井邑郡の北部東偏。東北境に最高二百米前後の山嶺を連ね、山脚北境と南方とに延ぶるも西南一帯は廣き平野開け、東津江これを灌漑して地味頗る肥沃、農産裕かなり。産物は米最も多く麥・綿・莞草等これに次ぐ。ほぼ中央を京城・木浦間一等路道通じ、扶安・淳昌間三等道路これと交叉して何れもバスの便あり、聘皆貯鐵道聘場所等仁里（泰仁面）に近く、交通至便なり。面内各所に市場ありて物産交換し、地方農業の中心にして各種組合・市場等あり商取引甚なり。本面は近年南端を貫通する湖南線の一部を併せて境域を有大なり。

タイシン　赤神島　朝鮮全羅南道濟州島の西南端。漢拏山の裾野に當り地概ね低平なるも、北西に叢南峰（一〇〇〇米）、南に慕瑟峯（一八九米）等の小寄生火山あり。海岸に柔南角の松岳山（八一米）西方に沙頭を見る外は悉く絶壁を成し、沙頭部西方に小轡入ありて慕瑟浦の泊港あり沿岸航路の寄港地を成す。南方二粁餘に加波島、同じく八粁神合に馬羅島あり。後者に馬嚴島燈臺（大正四年設置）あり、燈質閃白色にして毎一〇秒に一閃光を發し、先達一八浬。面の農産物は麥・大豆・米・綿花を主としなほアリンセーズ・除蟲菊・薄荷等の特産あり。其の他、猪槽類・蘚及び各種の木産に富む。濟州島周回の三等道路通じてバスの便あり、慕瑟浦より里道數條を出し交通便利なり。

ダイセキコー　大石公山　臺灣中央分水山脈の一峰。臺中州新高郡と花蓮港廳鳳林郡との境界に聳立す。標高三〇四八米、北の關門山、南の丹太山に續く。

ダイセツザン　大雪山　【大雪山】アイヌ名はヌタクカムシップ岳。北海道本島中央部上川支廳上川郡上川村・東川村・美瑛村に亙り蟠踞する一大火山群。廣大なる波紋岩臺地（東西三

六年六月前田利治、兄光高の所領のうち七萬石を分たれてより子孫相承け、文政四年更に鞆田三萬石を加増して十萬石となり、明治維新版籍に至りて歴つ。（菅生石部神社）國幣小社。祭神、菅生石部神。別宮、菅生天神、數地天神。式内社。神饌、天慶三年正四位を授けらる。國寶、葛綿角赤手綿一合・正殿町院辰鏑銅詠草一幅。例祭、二月十日。（江浜神社）八間造に鎭座。縣社。祭神、前田利治・菅原道眞。利治は前田利家の子利當の三男にして、寛永十六年、江沼・能美兩郡を與へられ大聖寺城に居りて藩主となる。本社は寛永年間前田氏の創立にして、もと松島神社と稱す。明治に至りて道眞を合祀す。（山下神社）大宇大聖寺に鎭座。縣社。祭神、天照大神。もと神明宮と稱す。藩主前田氏累代の崇敬社。また大聖寺の鎭守として尊信を蒐む。（專稱寺）鐵眼町にあり。黄檗宗本山寺派。もと天台宗に屬せしが、承元元年住僧報譽に歸して現宗となす。

【大聖寺川】　石川縣江沼郡の中部の川。郡の東南塩大日山の西北麓に源流し、九谷燒の原料陶土を産する西谷村大字九谷谷を過ぎ、大字風谷に於て北折し、山中・山代温泉を過ぎて平野に入る。この平野より鞏高約百米の海岸丘陵地を切り、耕地特及び九谷燒を産する大聖寺町を經、鹽谷村に於て海に入る。流程約五〇粁、一に大白川・鞏地川・鞏川・菅生川ともいふ。

ダイショーガイ　大正街　朝鮮慶尚北道奉化郡の首邑。本郡の西南端を占め、南と西とは榮州郡に界す。面積七五方粁餘。東北境には文殊山の西南山脚、北境には鷹坊山（五八七米）、西境には大馬山（二七三米）等の山地あり、その他は高さ一五〇米内外の丘陵起伏するも、概れ平坦にて、南流して洛東江に合する乃城川の二上支一は東北より他は西北より来りて南西部にて合流し、その沿岸に低地をつくり耕地發達す。主要農産に米・麥・大豆・綿・大麻・莞草あり。榮州・醴珍間の二等道路は西南より東北に、安東・乃城間の三等道路は東南部を通じ、バスの便あり。乃城・道庁別の面例は面

ダイショーガイ　大正街　淡水線の一驛（大正四年設置）。臺灣臺北市にあり。

タイショージ　大正寺村　秋田縣羽後國由利郡の北端。秋田市の東南方一五粁。第三紀層よりなる出羽丘陵の中部を占め、南境には扇ヶ森（八一米）あるもこの丘陵の高度低し。雄物川が出羽丘陵を切りて蛇行し西北へ流れ、また北部にて淀川を合す。雄物川の兩岸には水田多く、丘陵上にも水田多く分布す。交通はあまり便ならず、雄物川の水上交通行はる。（新波神社）大字新波に鎭座。縣社。祭神、大國主神・健御名方神・八坂刀賣神・天照皇大神等十一柱。

ダイショージ　大聖寺　【大聖寺町】石川縣加賀國江沼郡の西部。加賀の海岸平野の西南端に位す。面積僅に二・〇五方粁。北部海岸丘陵と、南部は牛の谷峠の山裾とに挟まれたる狭き沖積平野を占め、大聖寺川西流し、西南方鹽屋港より海に入る。古くより加賀の中心地なせし羽二重・九谷燒の集散地として著はる。省線北陸本線大聖寺驛（明治三十年設置）は前篇三木村に在り、驛

ダイジョーダイイチ　大城第一　伊田線の貨物扱（明治三十九年設置）。編岡縣宜方市にあり。

タイシン　大津　【大津驛】朝鮮咸鏡北道の東端。造山灣の一支灣。造山灣の北岸中央に於て、雄基灣の東角なる大鎚と赤島との間に成れる開灣にして、灣内危險なく水深八—十二尋、泥底の好錨地なり。灣頭に近く鎚道北鮮線及び雄基・羅津間の三等道路並走す。赤島に灣の東角より聳々西約一粁にある小島嶼にして、遠望すれば黒色を呈し、漸く近づくに及び其下部ぼ隣接なし其名の如く赤色をなし顯著なり。

【大津】　↓寒海面（朝鮮慶尚北道慶德郡）

タイシン　大神面　朝鮮京畿道驪州郡の北部。西南は漢江に臨む。面積約七一方粁。東北境に高度約五百米の牛頭山聳え西南に續峙し、北部に百—百五十米臺の丘陵起伏する外は概れ低平にして、漢江々岸に至るまで沃野拓く。河川は曲水川その他いづれも西南流し平野部を灌漑して漢江に注ぐ。産物は米・大麥・大豆・綿花等の農産を主とし、礦山鎭山より金・銀を出す。三等道路は中部西偏を縦走し、西北端の川西里より東して曲水里（低地面）に至る三等路線分岐し、其他の路線も改修行れ、漢江には舟楫を通じて、交通便利なり。

タイシン　大新　京釜本線の一驛、大正五年設置。慶尚北道金泉郡大徳面にあり。

タイシン　泰仁面　朝鮮全羅北道井邑郡の北部東偏。東北境に最高二百米前後の山嶺を連ね、山脚北境と南方とに延ぶるも西南一帯は廣き平野開け、東津江これを灌漑して地味頗る肥沃、農産裕かなり。産物は米最も多く麥・綿・莞草等これに次ぐ。ほぼ中央を京城・木浦間一等路道通じ、扶安・淳昌間三等道路これと交叉して何れもバスの便あり、聘皆貯鐵道聘場所等仁里（泰仁面）に近く、交通至便なり。面内各所に市場ありて物産交換し、地方農業の中心にして各種組合・市場等あり商取引甚なり。本面は近年南端を貫通する湖南線の一部を併せて境域を有大なり。

タイシン　赤神島　朝鮮全羅南道濟州島の西南端。漢拏山の裾野に當り地概ね低平なるも、北西に叢南峰（一〇〇〇米）、南に慕瑟峯（一八九米）等の小寄生火山あり。海岸に柔南角の松岳山（八一米）西方に沙頭を見る外は悉く絶壁を成し、沙頭部西方に小轡入ありて慕瑟浦の泊港あり沿岸航路の寄港地を成す。南方二粁餘に加波島、同じく八粁神合に馬羅島あり。後者に馬嚴島燈臺（大正四年設置）あり、燈質閃白色にして毎一〇秒に一閃光を發し、先達一八浬。面の農産物は麥・大豆・米・綿花を主としなほアリンセーズ・除蟲菊・薄荷等の特産あり。其の他、猪槽類・蘚及び各種の木産に富む。濟州島周回の三等道路通じてバスの便あり、慕瑟浦より里道數條を出し交通便利なり。

ダイセキコー　大石公山　臺灣中央分水山脈の一峰。臺中州新高郡と花蓮港廳鳳林郡との境界に聳立す。標高三〇四八米、北の關門山、南の丹太山に續く。

ダイセツザン　大雪山　【大雪山】アイヌ名はヌタクカムシップ岳。北海道本島中央部上川支廳上川郡上川村・東川村・美瑛村に亙り蟠踞する一大火山群。廣大なる波紋岩臺地（東西三

…積雪で四年間は正度性年月を経す。一般に地…半・半雪・大川産物に食量・…り。大川産の御料地は昔年より…

…高・市場は絵図三・八の日に同き一ケ年取引。

タイセン　泰川

【泰川面】朝鮮半安北道の西部。道…内一府十九郡の一。北は碧潼・厳州の二…郡、東は雲山・泰豊の二郡、西は義州・…橋は錦川郡にそれぞれ隣接す。面積六二…〇方粁の小郡なり。同面は山岳丘陵を以…て成り、東北部には…(九三七米)・…(九三七米)等聳ゆる山…(九七二米)・…(九三七米)・…(九三七米)・…(九三七

タイソ

…る黒松林。…原始林を始…の純林、高山…と共に本国立公園…。此の自然の…国立公園たるの価…に山上の史蹟・社寺・霊…に、大山北面の山腹には古刹大山…・国幣小社大神山神社奥宮あり、公園…山上には開闢の歴史を語る史…地は米作を行ひ、また繭を産す。…の産も世に知らる。北篠下の海…て山陰本線通じ、その伯耆大…スの便ありて大山登山の一基地…海抜約九〇〇米に近き大山北麓…あり、十一月より翌年三月以外…十三・四日の開日には牛馬市場が…取引盛んなり。地に大山国立公…を占む。古くは和名抄、汗入郡…内に属せしもの、如し。南部に…山に因みて大山村と称せしもの…一に大仙にも作れり。南部大山…は牧畜盛んにして、大神山神社奥…宮の祭日、即ち五月二十四日・七月十五…日・九月二十四日には牛馬の大市開かれ…頗る雑沓す。殊に牛の出場頭数多し〔大…山きやうぼく純林〕指定天然記念物。大…山の絶頂にあり。東南より西北〔約三六…四米、東北より西南〔約二一八米、面積…約八〇〇アールを占め、遠くより望めば…一面暗緑色を呈す。幹は側個して〇・九一…一・八米の高さを有し、太き幹は幾度も地…中に入りてその地表に出づる毎に一株の…如く枝を叢生し、幹の太きものは周囲一・…二米に達す。〔大山寺〕天台宗。寺僧に…尭老年中、出雲の人俊方の草創といふ。…中世以来寺観盛大を極めしが、明治初年…神仏分離の際一時寺號を廃し同三十六年…に至り復興。

ダイセンゲチ　大山口　省線山陰本線の一駅〔大正十五年設置〕。鳥取県西伯郡所子村にあり。

ダイセンゲン　大千軒山　北海道渡島支廳松前郡の北部と檜山支廳檜山郡の南部に跨る山。標高一〇七二米。古くより単に大千軒と呼ぶ。南方には前千軒岳・百軒岳の連嶺あり、東北麓には七ツ岳、西北麓は水無山に続く。麓麓に昔時採金者の集落ありて千軒と称せり。

ダイセンジ　大善寺村　福岡県筑後国三潴郡の東北部。筑後川東岸に位し東北隅の一部は久留米市西南部に接す。全村地勢平坦にて筑後川の支流中央を西流し西境に沿ひて南流する本流に合す。田畑よく拓け米・麦・菜種・繭等の産多し。久留米市より西南方大川町に至る県道西部を西南方へ走り東部には同じく久留米市より西南山門郡柳河町に向ふ県道走り、之と交錯して社線大川鐵道通じ御塚〔大正二年設置〕・大善寺〔大正元年設置〕の二駅ありて交通至便なり。古くは和名抄、三潴郡夜間郷の地にして、大字夜明には其遺称を存す。中世は夜明庄と称せらる。村名は蓋し寺號より出でしものと。〔御塚古墳〕指定史蹟。大字宮本一本松にあり。鬼塚と称せられ円墳なるも、一見前方部かと思はるる如くして略々方形の造出しあり。封土は径九米、高さ一〇米を有し、周圍に、もと三重に濠を廻らせしもの、如く思はるるも、今は埋められて南方の濠址に痕切られ、内側の濠のみ遺存す。〔福現塚古墳〕指定史蹟。御塚の北に接して並び、一本松塚共田にあり。御塚と共にもとこの地にありし四十餘基古墳群の一たり、円形にて高さ各九米、内外二重の濠なほ遺存し、各濠の外側に土堤あり。内濠の土堤より墳輸土偶頭部二個発見せらる。環濠を二重・三重に環らせし円形古墳は類例の現存するもの比較的乏しきものなり。〔玉垂神社〕大字宮本に鎮座。縣社。祭神、武内宿禰・八幡大神・住吉大神。なほ第一殿に玉垂命、第二殿に荒木田神麻呂彦命を祀るといふ。地方著名の古社にして武門武将及び藩主の崇敬社。慶永元年領主大友親臣武蓮長久の祈願をなし社領三十町を寄す。のち藩主田中氏三百石を寄せ、元和中有馬氏入國後も亦同額を安堵す。社寶の「玉垂宮縁起」二幅は國寶に指定せられ、その他多数の寶物古文書を蔵す。

タイソー　大草島　↓繖津府〔朝鮮〕

タイソー　大倉面　朝鮮平安北道昌城郡の東南部。郡邑昌城の東南六〇粁。東境に九峯山〔八八一米〕、南境に雪嶋山〔九六一米〕、西境に翠峰〔八〇一米〕悠鬱立し城内山岳重畳し中央部を昌城江南流し浩岸段丘発達し、蛇曲流地帯に帯状の小平地を見る。一般に地味痩せ灌漑不利にして畑作を主とし、農産物には雑穀に粟・大豆・馬鈴薯・煙草等あり。道路は昌城邑より二等道路を通ず。

タイソン　大村面　朝鮮全羅南道光山郡の西南端。光州府の西北方約一〇粁。栄山江西部を灌流し、その支流砥石川東部を貫流して水利に富み、地味肥して肥沃、加ふるに気候温和にして農業に好適す。産物には米・大麦・大豆・小豆・粟・棉花・麻等あり。光州府より来る二等道路は東部を縦貫し、乗合自動車の便ある外、総督府鐵道湖南本線松汀駅〔松汀邑〕及び羅州駅〔羅州郡〕に近く交通比較的便なり。

タイソン　退村面　朝鮮京畿道廣州郡の東北部。郡邑京安里を距る東北五粁餘。北の一部に於て漢江を距て楊州郡と相対し、東に楊平郡に接す。東部及南部に四―五百米の丘陵起伏し、西境にも五百米嵩の山地逶るも、中央部はやや廣き平地南北に開け、南より流下する慶安川及びその支谷これを灌漑して北流し、面の北端に於て漢江に合す。耕地に前記平地と山腹とに発達し、米・麦・大豆・棉等の産あり。西部を三等道路橫断し、中央部の光東里を中心に里道四通するも交通未だ便ならず。

タイソン　乃村面　朝鮮江原道洪川郡の東北部。郡邑洪川の東北約十五粁。四境皆んど山を以て繞らし北部の白羽山〔八九五米〕、東境の領倫峠〔六八三米〕やや著はれ、東北麟蹄郡との境に最も高峻なり。東方鷹峰山〔一一〇三米〕に発する乃村川中央に淺鮮谷をつくり、蛇曲西流し、沿岸に狭長の平地ありて田畑拓く。耕地にはは山間各所に散在し、疎々火田を交ふ。農産に麦・大豆・雑穀等あるも自給自足の域を脱せず。養産やや多く、江元・和尚垈・原洪・湍金の各鐵山より金・銀を、東成谷鐵より砂金を出す。道路は何れも路面不良にして交通の便を缺く。

タイタ　太多線　省線中央線の一。岐阜縣土岐郡多治見町の省線中央本線多治見驛より可兒郡を經て加茂郡太田町の高山本線美濃太田驛に至る一七・八粁。

タイタイ　大代面　朝鮮平安南道龍岡郡の南部。南に大同江口に面し、東南に鎭南浦府を包擁す。北境に牛山〔五〇七米〕屹立し南及び東に緩斜する外は、概ね低平にして、南部に五〇米嵩の丘陵点々に起伏するのみ。江岸は概ね屈曲に富み虎島・臥牛島・津島等の小島を擁するも鎭南浦港附近を除きては泥堆干出し碇泊の便に乏し。産物は米・麦・大豆・棉等を主とし、江岸には蝦・鰡の漁獲少からず。東部に總督府鐵道平南線と平南一等道路並走し、其他二・三等道路通じて何れもバスの便ありて交通便利なり。東部の椎山里附近には高句麗時代の古墳散在し、そのうち四神塚は壁壁に色彩畫を有し結構壮大なり。

タイタクスイ　大濁水渓　臺灣臺北州蘇澳郡と花蓮港廳の境界なす渓。中央山脈の中ダリヨー山・ボトノフ山・南湖大山等を出でて北流水源・南湾水渓は合して東流し、大濁水渓となり太平洋に注ぐ。水源地方の粘板岩を崩壊しつゝ流をなすため濁水の名あり。

ダイタサ　大多沙島　多獅島の別稱。

ダイタンカトン　大潭家屯會　關東州旅順民政署管下の西北端。大沙河の左岸に沿ひ、北に遼洲國奉天省復縣と界す。地西北より東南に長く國境寄りに高さ一五〇米内外の丘陵ありて東南に延伏するも西部・西南部の大沙河流域は土地低平にして農耕行はれ高粱・大豆・粟その他の農産あり。

ダイチ　大池面　朝鮮慶尚南道昌寧郡の略中央部。昌寧面の西に隣り、南は昌寧面の西部に、西は漁渕面に、北に大合面・高岩面に隣接す。面積約一八方粁に過ぎず。中部東西に高度六〇米内外の臺地ある外は概ね低平にて北部と南部には畓田よく拓け、西南部の漁渕面界には蛇浚浦の御沼あり。米・麦・豆類等の農産あり。昌寧に接し交通不便ならず。

タイチュー　臺中　【臺中州】臺灣五州三廳中の一。〔位置〕本島西海岸の中央部に位し、東は中央山脈の南湖大山・畢祿山・番菜主山北峯・番菜主山・能高山・白石山・安東軍山・關門山・丹大山・秀巒轄山等三千米以上の峻嶺を以て花蓮港廳に接し、南は南投山・新高山・鹿林山の高峯をにじめ石水山・石山・見玉山・玉山・大塔山・ポアーバ山・烏松坑山・能高山・石壁山等の山岳及び濁水渓を以て臺南・高雄兩州に境し、北は南湖大山・ヒヤナン鞍部・桃山〔三六〇二米〕・次高山〔三九三一米〕・大雪山〔三六〇〇米〕・小雪山等の山嶽及び大安渓を境として新竹・臺北兩州に隣接し、西は廣大なる平野をなし臺灣海峡に面す。〔地勢〕東部に高く西部に低くして、山地帯・丘陵帯・盆地帯・臺地帯及び海岸帯に明瞭に區分せらる。最東部は飾ち山地帯にして、所謂中央山脈南北に連り、之より西に分岐せるものに次高・水社・新高の諸山脈あり、文字通り山嶽重畳し、高峰峻嶺の多きこと日本第一にして、帝國全領土を通じ三千米以上の高山六十餘座の内、本島には四八座を有し、本州は其の内三十二座を擁す。而して此等の山帯は主として第三紀の粘板岩・粘板岩砂頁岩より成り、中に砂岩を挟有し、岩質堅硬なり。山地帯は順次に低平なる丘陵帯に移るも、雨者とも概めて平坦地に乏しきは當然にして、僅かに埔里及び日月潭附近の構造盆地が見られ、特に日月潭は臺灣唯一の湖沼なり。丘陵帯の西には州下の中心平野をなす臺中・南投の盆地帯を隔てゝ大肚山・八卦山の臺地帯連り、此の一帯は諸渓に依り切離せらるゝも、前北の延長約六〇粁に亘り追跡することを得。洪積世の砂礫層より成り、最近の隆起に基づく傾動

地塊なること明瞭にして、西斜面の急なるに反し、東斜面は頗る緩慢なり。更にその西に續く浩岸帶は最近の海岸上昇と相俟つて形成せられたる沖積三角洲平野にて、北端の大甲溪口附近にては東西の幅僅かに五粁に過ぎず、彰化附近より著しく增幅し南端の二水附近に於ては五〇粁にも達し、地味最も肥沃にて、臺灣西海岸平野の重要なる部分を占む。河川は概れ中央山脈に源を發し峽谷をなして西流す。何れも水流急にして下流は河幅廣大となり、支流多く灌漑に利あるも舟楫の便なし。且つ平時は水量比較的少く、殆んど砂礫のみの乾渓を呈するも、一朝豪雨に遭遇せんか忽ち河水氾濫して災害を及ぼすこと勘からず。其の主要なるものを大安溪（約七九粁）・大甲溪（約一一八粁）・烏溪（下流は創ち大肚溪、約一一〇粁）・濁水溪（約一六五粁）とす。〔氣象〕地勢の關係上風向は自ら二樣に分れ、冬季季節風期に至れば北東の風吹き續き、夏季は南西の風多きも風力極めて弱し。然れども雷雨頻繁にして能く暑熱を排す。其の月別概況は例年十一月頃より北東季節風期に入るや、氣温漸く低下し、冷涼を覺え、十二月に入るや北東季節風猛烈となり、寒氣漸く加はりて炎第に風力を增し、一月・二月は寒氣その極に達し、東部の高山には積雪を見るも、依然好天氣を持續す。藉に平地にありて霜を結ぶことあり、三月に氣温漸次温暖に赴き、季節風次第に弱り、四月に入りて北風全く衰ふ。然れども是より大陸に低氣壓の發生頻繁にして天候定らず、内地に於ける梅雨期に變化たることあり、四月・五月は季節風の變換期に屬し、風向きは區々に分れ、愈々亞熱帶の特色を發揮し、氣温上昇し、雷雨の度を加ふ。此の季節は中南部の雨期に屬し、每年四月より八月に至る間降雨多量なり。六・七・八の三ヶ月に於て氣温の昇騰甚だしく、就中七月に於て氣温最高となり、屢ゝ攝氏三五度を超ゆることあるも、九月より再び北東風期に入ると雖も殘暑去らず、風向きは海陸風に影響せられて區々となり、下旬頃より冷氣少しく加はり、雷雨皆無となり、十月に入りて全く北東季節風期に復す。〔農業〕本州産業の大宗にして、山地は廣大なる面積を占むるも、背肥沃なる大平野を抱擁し、臺地及び丘陵斜面の一部また開墾せられ、氣候適順なるに加へて水利の便に惠まれたるため甚だ盛況を呈し、各種の農産物に富み、農業經營の多角化に伴ひ、逐年品質向上し産額また增加を示し、昭和十年中に於ける農業總生産額實に八千五百萬餘圓に達す。耕地は水田多くして耕地總面積の六〇餘%に當る。農業者は總人口の五八%を占めこれ亦逐年增加しつゝあり。主要農産物の概況次の如し。米は本州農産の大宗にして中部米（副產蓬萊米・員林米）として内地市場に屢ゝ價を博し、收穫高また增加して全島生産額の二九%に當り全島に亞ぎ、第二位を占む。甘藷は南部に多く栽培せられ、收穫高また增加して全島生産額の二九%に當り全島に亞ぎ、第二位を占む。甘蔗は南部に多く栽培せられ、收穫高また增加して全島生産額の二九%に當り全島に亞ぎ、第二位を占む。甘蔗は南部に多く栽培せられ、收穫高また增加して全島生産額の二九%に當り全島に亞ぎ、第二位を占む。

請事業の興隆に伴ひ、年々著しき增産を見る。何氣候風土の果樹栽培に適する關係上、以上の他、李・龍眼・柿等の產果亦少からず、年産額二十八萬圓を超ゆ。蔬菜は地味及び氣温の好適なる關係上到る處にて容易に栽培せられ、年産額二百七十萬圓に達す。大甲蘭は西北端なる大甲郡より産し、大甲蓆等の原料となる。〔畜産〕主に農家の副業として行はれ、家畜にては、水牛五萬七千一百餘頭、黄牛一萬三千七百餘頭は專ら農耕と運搬に使役せられ、他に少數の印度牛・雜種牛・洋牛あり、合計七萬一千八百頭に上る。豚二十三萬七千四百餘頭・鷄百三十二萬六千羽・鴨四十一萬羽・鵞二十萬羽等は皆く飼養せられ、副產改良の結果、漸次增産に向ひ、普通農産に次ぎ農家經濟の有力なる一支柱として重きを爲す。何最近國策線上に沿ひ、馬産奬勵に努め、昭和十三年より五ヶ年繼續、豫算五十萬圓を以て豐原郡内埔庄后里に州營にて、全國一の大牧場建設せられつゝあり、將來全島馬産の中樞地たるべく囑望せらる。〔林業〕東部に廣大なる山地を擁し、森林植物帶は平野地方の熱帶林に始まり、暖・温の兩森林帶より中央山脈の寒帶林に跨り、林相極めて複雜にて樹木の種類亦多し。然れども平地並に海岸方面は夙に開拓せられて平地林・海岸林に乏しく、中山・低山地帶は本島農民の勞夙たる濫伐濫墾甚だしく、著地の大部分亦等しく新竹縣に次ぐ。昭和十年（以下同にては新竹縣に次ぐ。昭和十年（以下之に準ず）に於ける總產額は五六九七萬圓なり。甘蔗は製糖用のものを主とし、近年糖界の好況に依り產額激增し、全島に於ては臺南州に次ぐ。その見込價格一千三百五十四萬餘圓を算す。甘藷は前二者に次ぐ重要作物にして、佳民の食料・家畜の飼料及び酒精の原料となり、到る處にて栽培せられ、之が豐凶は農家の經濟に直接影響する所勘からず。價格五〇三萬圓。落花生は主として製油原料となり、又製菓用及び副食物として本島人の嗜好に適し需要多し。州下に普く栽培せらるゝも、就中北斗郡を主產地となす。價格三十六萬圓。黄麻は製繩原料として自家消費に充つる外、屢ゝ麥桑原料として内地に移出す。二十八萬圓。葉煙草は專賣制度の下に栽培するものにして大屯・豐原及び員林地方を主產地となす。その產額は三十八萬圓にして全島總產額の三六%を占む。芭蕉は山手方面に多く栽培せられ、その價格二百七十七萬圓にて全島の首位を占む。果物類は山地開發の促進に伴ひ之が栽培益々隆盛となり、柑橘・パイナップル最も多く、柑橘類は年產額五十餘萬圓に達し、大部分椪柑にして總生產額の九一%を占め、文旦・斗柚之に亞ぎ、員林・南投・東勢・豐原の諸郡を主產地とす。パイナップルは年產額百三十八萬餘圓、員林・彰化・南投・大甲等諸地方の丘陵傾斜地帶を主產地とし、罐

分亦著人の濫墾放火のため荒廢せし所勘からざるも、今尙原始林の狀態をなす所あり、貴重樹の蓄積保存せらるゝもの亦乏しからず。最近平地にては耕地防風林・海岸防風林を造成して颱風及び季節風に備へ、山手方面の荒廢防止策としては官行造林を行ひ、同時に民行造林を保護奬勵し、一面林野取締を嚴にせり。森林は針葉・闊葉の貴重樹に富み、八仙山・沙里仙溪大學演習林・望鄉山・烏石坑等の斫伐事業著はる。林產物は扁柏・紅檜・松・樟・楠仔を始め、相思樹・龍眼等の雜木に至るまで、各種用材及び薪炭材あり。外にパイナップル・蓬玉子・棗類・黄藤・魚藤木・柳・竹材・筍等の副產物豐富にして、殊に竹材・筍は重要なる林產物として見過すべからず、丘陵帶南端部の竹山郡は隣接の嘉義郡（臺南州）と共に竹林豐富にして、本島に於ける竹紙製造の中心地なり。なほ林業に附隨する製脳事業亦注目に値す。〔水產業〕漁撈・製造業及び養殖業に大別せられるも何れも盛なりといふを得ず。約百粁に亘る海岸線を有するも概れ遠淺にして漁船の出入に適する漁港なく、漁撈方法亦幼稚、唯僅かに竹筏に依る蝦曳釣・鉾旋網・鰆流網等の季節的漁業に過ぎず。其の外治岸漁業として見るべきものなく、從つて之が從業者も專業者百七十餘人、兼業者一千五百十餘人の少數にして、基隆・高雄方面より年額約百萬圓の鮮魚介類を搬入す。然れども臺灣海峽は魚族豐富なる好漁場なるを以て、之が開發を計る爲め水產試驗場を設立し、試驗船を建造して積極的に漁業の改善と向上に努む。製造業は海產原料に乏しく、僅かにカラスミ・蒲鉾・鰻蒲等の製造が副業的に行はれ、產額多からず。養殖業は廣大なる養殖場及び有望なる潮沼・河川を有するにも拘らず、未だ粗放の域を脫せず、沿岸には數千甲に亘る淺海養殖適地を有するも全く放任の狀態にして、僅かに鹹水に於ける牡蠣養殖稍注目せらるゝに過ぎず、該方面の開拓未だ着手せられざるものといふべし。〔工業〕農產物を原料とするものを主要なるものとし、製糖・酒精製造・製帽・疊詰製造・製材・精米・製麻・製麵・製鹽・窯業等にして、製糖・酒精製造・製麻・製鹽を除く外概れ小規模、且つ家内工業の域を脫せず。主要工產物は砂糖・酒精・鹽・帽子・パイナップル罐詰・麻製品・麵類・煉瓦・瓦・陶磁器等にして、就中帽子の生產は全島に於て獨自の地歩を占め、大甲・彰化兩郡及び彰化市を主產地とし、員林・豐原兩郡これに次ぐ。年產額五百八十五萬數千個、二百二十萬數千圓に達す。製麻は主として臺灣製麻株式會社（所在地豐原街）に於て行はれ、同社の規模は實に全島第一なり。製鹽は鹿港街（彰化郡）の海岸方面に於て行はれ古來より著はる。なほ大甲郡大肚庄王田莊（臺中線）附近にアルミニューム會社工場建設中なり。〔貿易〕對岸貿易は僅かに鹿港・梧棲の兩港に於て戎克船により行はるゝに過ぎず、輸出入額亦微々として振はず。内地貿易は基隆・高雄兩港を通じて行はれ、主要移出品は米・砂糖・バナヽ・パイナップル罐詰・帽子等にて、移出年額一億六百四十四萬圓に達す。尙本州は良好なる港灣を有せざるため產業・經濟其他の見地より不便損失尠からず、多年の宿望たる大甲郡下梧棲港の一大商港築港計畫漸く實現の運びとなり、十箇年繼續にて昭和十三年度より着手し、六年目には使用し得ることとなり、完成の曉は南北の高雄・基隆兩港と並び、中部地方の呑吐港として繁榮すべく期待せらる。〔交通〕臺中・彰化兩市を二大中樞となし、道路は總延長二二四八粁、其の内鐵貫道路一〇八粁、西部平野を縱斷として貫通し、主要都邑を連結し、局營バスを運行す。州指定道路三九六粁、其他の道路一七四二粁ありて四通八達し、バス營業隆盛を極む。官設鐵道は臺中線・海岸線・集ヶ線の三線にして、前二者は北隣新竹州下竹南驛より分岐し、臺中線は山間を貫きて本州に入り臺中を經て彰化に至る。海岸線は海濱に沿ひて本州に入り、大甲・清水を經て臺中線と彰化にて合し、それより南下して臺南州に入る。尙この二線を連絡する玉田・追分間の鐵道あり。集ヶ線は員林郡下二水驛より分岐して東に向ひ、集ヶ（濁高郡）を經て外埔堤に至る。此等の總延長二五四粁。私設鐵道は臺中輕鐵株式會社經營の豐原・土牛間の一線を除き、他は悉く製糖會社經營のものにして、官設鐵道・乘合自動車と共に產業開發及び交通運輸上重要なる地位を占む。〔沿革〕明の永曆十五年（皇紀二三二一年）鄭成功の本島占據後始めて二縣を設置し、北路の諸羅地方（今の嘉義以北）を天興縣と稱し、後に天興州と改む。鄭氏亡び清領となるや、康熙二十三年（皇紀二三四四年）全島を一府三縣に區分し、天興州に諸羅縣を置く。本州は區劃上始め天興縣（州）、次いで諸羅縣に屬したりしも、當時は統治の中心を臺南に置きたれば、本州地方まで統治の手を延ばし得ざりしこと疑を容れず。次いで雍正元年（皇紀二三八三年）諸羅縣の内、虎尾溪以北を割きて彰化縣を設置し、これより本州は彰化縣の治下に置かる。此の時までに漢人の拓殖既に本州地方に及びしなり。其後光緒元年（明治八年）改めて臺灣府（臺南）・臺北府の二府となり、彰化縣（本州地方）は前者の管轄となる。更に同十一年（明治十八年）臺灣を一省となし、全島を三府に分ち、本州地方を臺灣府といひ（もとの臺灣府を臺南府と改む）、之に臺灣・雲林・苗栗・彰化の四縣及び埔里社廳隸屬す。此の時、巡撫劉銘傳は全島の首府を今の臺中（當時東大墩と稱す）に定め、同十五年省城建設の工を起せしも、同十